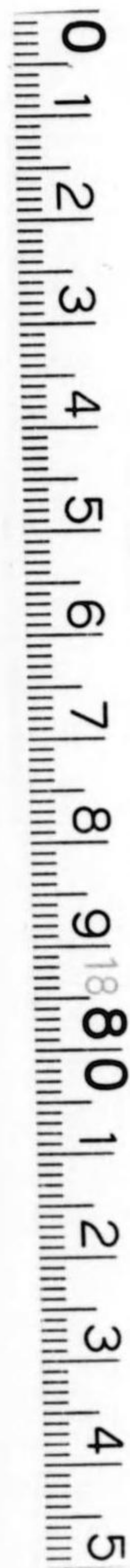


東京織物人物要鑑

342

14

東京信州交換所
發行



始



特230
884

昭和六年十月

東京織物人事要鑑

東京信用交換所



緒言

あらゆる事業の盛衰が、人物の如何に繋がることは言ふまでもない、とりわけ我が國にあつては、事業を代々相傳するの習慣と、特有の家族制度との關係を重視せねばならぬ、即ち現在の經營主を中心に、將來の繼承者及び家族、姻戚などを詮議することは、普通の經濟的考察より一步を進んで信用の基礎に觸着する所以である、本書は此の必要に應ずべく編纂され、公簿を原據となして多年蒐集の材料を適宜按排した、たゞいさゝかも私見を加へず、公表して差支へないと信ずる程度においてありのまゝを書き、以てこれを世に送るのである、其の如何に吟味され、如何に活用されるかは、もとより看者の自由裁量であるが、よつて秀拔なる幾多人物の業績の活畫圖となり、ために後進啓發の鍵鑰となり、また相互認識の連鎖となり、ひいて業界の共存共榮に資することを得ば、まことに編者の至幸とするところである、思ふに既出の類書は少くない、しかしそれらを分業的立場から眺めると、取材の範圍が徒に廣汎で、到るべきところを究め盡さざるの憾み

がないといはれぬ、我が東京信用交換所は、織物業界専門の信用調査機関として拮据經營既に二十餘年、本書に收めた約八百の人々は、數において決して多いとされないけれども、齊しく帝都斯業界の第一線に活躍しつゝある名流で、同時に廣き意味における實業界に代表的地位を占め、一大勢力を形成するものと見るこゝとが出来、若し本書が専門的に人事を録せる最初の文献として、世間の期待に添ひ得るなら、甚だ手前味噌ながら、我等多年努力の一端の現はれとなすことを許されたい、同時にかやうなおほけなき言葉をこゝに書きつらねられる所以は、ひとへに大方後援の賜として感謝を捧げる

昭和六年九月二十日

編者識

凡例

- 一、本書は東京市並に市外近接地内に營業せる主なる織物問屋、小賣商を初めデパート、毛織物卸、廣巾綿布卸等織物界紳士の氏名、營業所、住所は勿論、經歷、家庭、親戚、出身等詳細に互り記載したるものにして、店主、社長の人事より幹部店員の家庭に到る迄逐一戸籍謄本と本所の調査資料とに基き取捨したるものなり。
- 一、東京市以外の府縣に本店を有せるものにして概ね營業の重心を東京市に置けるものは當該店主又は代表取締役が東京市乃至市外近接地に居住の奈何に關はらず採録したるもの尠からず。
- 一、本書記載中主なる親戚欄は戸籍謄本に準據したるもの多きが爲め時に本籍地と現住所とを混同したるもの無きに非らず。
- 一、本書記載中營業欄に木綿太物、綿布、吳服、絹布等の名稱を混用し、羅紗、毛織物を併稱したるは編纂上便宜なりしが爲めなり。
- 一、本書主なる親戚欄は主として戸籍謄本に因りたれば脱異あるを免れず又編輯中人事家庭の異動等は可及的最新のものに就き是を改廢し又校正の如き特に意を用ひたりと雖も時に誤り無きを期せず次の補正に俟つ。

昭和六年九月

は
之
部

井上善之助氏.....
井田石女.....
井部信兵衛氏.....
稻村源助氏.....
稻葉利雄氏.....
稻生恒藏氏.....
生田茂氏.....
生島十男吉氏.....
池田知次郎氏.....
池田和吉氏.....
池田中氏.....
猪田喜三郎氏.....
板倉基三郎氏.....
衣斐長三郎氏.....
五十嵐忠藏氏.....
磯貝末次郎氏.....
長谷川治郎兵衛氏.....
長谷川久四郎氏.....
長谷川芳藏氏.....
林幸平氏.....
林新太郎氏.....
林松太郎氏.....
林圭三氏.....

に
之
部

林治郎氏.....
橋本幸吉氏.....
橋本勇吉氏.....
濱田四郎吉氏.....
濱村理三郎氏.....
春木壽美吉氏.....
春川敬八氏.....
馬場幸七氏.....
馬場捨藏氏.....
原田治助氏.....
原田正氏.....
伴傳兵衛氏.....
陌間甚助氏.....
萩原榮次郎氏.....
畑爪龍雄氏.....
菅見善一氏.....
服部米善内氏.....
花村榮吉氏.....
早部保司氏.....
畑中源治郎氏.....
西澤利一氏.....
西澤善七氏.....

西澤喜三郎氏.....
西川甚五郎氏.....
西川常八氏.....
西川政吉氏.....
西川伊亮氏.....
西村與助氏.....
西村永吉氏.....
西村武兵衛氏.....
西村力藏氏.....
西村嘉右衛門氏.....
西村重治氏.....
西村益者氏.....
西脇亮三郎氏.....
西脇庄五郎氏.....
西脇千太郎氏.....
西脇千太郎氏.....
西脇宗治郎氏.....
西谷寅藏氏.....
西垣菊次郎氏.....
二宮爲次郎氏.....
二谷英太郎氏.....

ほ
之
部

堀越勤治氏.....
堀常吉氏.....
堀日文氏.....
堀甚吉氏.....
堀富二氏.....
堀又吉氏.....
細田貞雄氏.....
細田又吉氏.....
坊野喜三郎氏.....
坊野情一郎氏.....
星野啓次郎氏.....
本多啓次郎氏.....
本多庄七氏.....
本多徳之助氏.....
本間純治氏.....
本間安三氏.....
外山彌助氏.....
外村茂氏.....
外村彌治右衛門氏.....
土井清次郎氏.....
土井彦治郎氏.....
土井彦太郎氏.....
富永眞造氏.....

ぬ
之
部

沼崎勘兵衛氏.....
大村彦一郎氏.....
大森喜右衛門氏.....
大森彦八氏.....
大森和八氏.....
大森藤八氏.....
大橋安次郎氏.....
大橋治左衛門氏.....
大橋登羅女.....
大橋平三郎氏.....
大橋保久七氏.....
大橋保省順氏.....
大橋保次吉氏.....
大熊柳三氏.....

大熊丑之助氏.....
大熊吉松氏.....
大熊一信氏.....
大塚長次郎氏.....
大塚芳松氏.....
大塚仲女.....
大塚竹次郎氏.....
大塚捨次郎氏.....
大前龍太郎氏.....
大前龍太郎氏.....
大前治三郎氏.....
太田晋吉氏.....
太田辰之助氏.....
大内元三郎氏.....
大野長之助氏.....
大岡信二郎氏.....
大林庄内氏.....
大林惣一氏.....
大辻松吉氏.....
大澤廣氏.....
大西キエ女.....
大瀧正一氏.....
大瀧源藏氏.....
大瀧兼藏氏.....

奥井新左衛門氏.....一七
 奥澤茂三郎氏.....一七
 奥田藤八氏.....一七
 奥野忠三郎氏.....一七
 奥住市太郎氏.....一七
 奥川金之助氏.....一七
 奥田幸三郎氏.....一七
 奥村善助氏.....一七
 小田久太郎氏.....一七
 小川源兵衛氏.....一七
 小川勘重郎氏.....一七
 小川竹次郎氏.....一七
 小川利男氏.....一七
 小川豐三氏.....一七
 小川清藏氏.....一七
 小野三郎氏.....一七
 小澤保彦氏.....一七
 岡田壯四郎氏.....一七
 岡田正吉氏.....一七
 岡田小平氏.....一七
 岡田吉次郎氏.....一七
 岡田良夫氏.....一七
 岡島菊藏氏.....一七
 岡島久七氏.....一七
 岡清藏氏.....一七

岡本寅之助氏.....一七
 岡村榮次郎氏.....一七
 岡本己之助氏.....一七
 岡本貴一郎氏.....一七
 黄地金左衛門氏.....一七
 黄地岩治郎氏.....一七
 尾崎詮次氏.....一七
 冲野喜久治氏.....一七
 渡邊喜之助氏.....一七
 渡邊七郎氏.....一七
 渡邊金次郎氏.....一七
 渡邊六三郎氏.....一七
 渡邊忠三郎氏.....一七
 渡邊久藏氏.....一七
 渡邊春吉氏.....一七
 渡邊兵吾氏.....一七
 渡邊祥藏氏.....一七
 柿原萬藏氏.....一七
 柿原龜吉氏.....一七
 柿沼久四郎氏.....一七

垣内幸太郎氏.....一七
 川崎榮助氏.....一七
 川崎寅藏氏.....一七
 川崎千代吉氏.....一七
 川村忠五郎氏.....一七
 川村嘉七氏.....一七
 川田伊三郎氏.....一七
 川瀬與四郎氏.....一七
 川瀬幾藏氏.....一七
 川瀬留吉氏.....一七
 川上源三郎氏.....一七
 川上悅二氏.....一七
 川口繁次郎氏.....一七
 川口安次郎氏.....一七
 川島齋兵衛氏.....一七
 川手幸之助氏.....一七
 川合通之氏.....一七
 河原崎忠治郎氏.....一七
 河原崎傳四氏.....一七
 河窪二郎八氏.....一七
 河村道之助氏.....一七
 河野千代吉氏.....一七
 河西近泰氏.....一七
 金子良吉氏.....一七
 金盛佐平治氏.....一七

金安榮之助氏.....一七
 門田嘉右衛門氏.....一七
 門坂治三氏.....一七
 桂田傳治郎氏.....一七
 桂田敏一氏.....一七
 桂田松之助氏.....一七
 龜井喜一郎氏.....一七
 龜井眞一郎氏.....一七
 加藤五兵衛氏.....一七
 加藤清氏.....一七
 加藤孝輔氏.....一七
 加藤乙松氏.....一七
 加藤正之祐氏.....一七
 加藤甲次郎氏.....一七
 加藤章三氏.....一七
 加藤光三氏.....一七
 神野清五郎氏.....一七
 角田晴之助氏.....一七
 影山七太郎氏.....一七
 片岡龜吉氏.....一七
 片岡鉞平氏.....一七
 紙谷作次郎氏.....一七
 紙谷昭二氏.....一七
 桐原藤三郎氏.....一七

よ之部
 吉田芳太郎氏.....一七
 吉田悅一郎氏.....一七
 吉田貞一氏.....一七
 吉田安吉氏.....一七
 吉川萬藏氏.....一七
 吉川萬藏氏.....一七
 吉野藤一郎氏.....一七
 吉野吉五郎氏.....一七
 吉井芳太郎氏.....一七
 吉岡藏二氏.....一七
 吉村新藏氏.....一七
 横田新藏氏.....一七
 横田禎之氏.....一七
 横田榮助氏.....一七
 横井健次郎氏.....一七
 横江正知氏.....一七
 米澤豐加氏.....一七
 大之部
 田中新左衛門氏.....一七
 田中齊氏.....一七
 田中清一氏.....一七
 田中三男氏.....一七
 田中泰藏氏.....一七
 田部金次郎氏.....一七

田島清太郎氏.....一七
 田村豐氏.....一七
 田端要平氏.....一七
 田名綱茂三郎氏.....一七
 田口三郎氏.....一七
 田口浦次郎氏.....一七
 田口浦次郎氏.....一七
 建石角次郎氏.....一七
 瀧浦富太郎氏.....一七
 瀧浦順平氏.....一七
 瀧口藤太郎氏.....一七
 瀧口孝平氏.....一七
 瀧川忠次郎氏.....一七
 瀧川新吉氏.....一七
 龍澤新吉氏.....一七
 龍澤停三氏.....一七
 龍田春雄氏.....一七
 瀧田憲次郎氏.....一七
 高羽憲次郎氏.....一七
 高橋太三郎氏.....一七
 高橋惣三郎氏.....一七
 高橋龜太郎氏.....一七
 高橋ひさ女.....一七
 高橋源次郎氏.....一七
 高橋源次郎氏.....一七
 高田良平氏.....一七
 高田保六氏.....一七
 高木鶴吉氏.....一七

高木 與吉氏……………二四
 高木 幸三氏……………二五
 高木 市次郎氏……………二五
 高野 丈吉氏……………二六
 高野 林治氏……………二六
 高野 吉之助氏……………二七
 高杉 榮太郎氏……………二八
 高瀬 榮太郎氏……………二八
 立花 百之助氏……………二八
 立花 重次郎氏……………二九
 立花 實氏……………二九
 立花 茂治氏……………三〇
 立花 兼市氏……………三〇
 武井 清吉氏……………三一
 武井 榮一氏……………三一
 武田 安司氏……………三三
 竹内 周吉氏……………三三
 竹内 龍吉氏……………三四
 竹内 藤三氏……………三五
 竹山 文吉氏……………三六
 竹中 慧音氏……………三六
 竹中 拾九氏……………三七
 竹中 菊次郎氏……………三七
 竹中 延次郎氏……………三八
 谷岡 鐵藏氏……………三八
 谷 泰助氏……………三九

丹下 德治郎氏……………三〇
 立川 利平氏……………三一
 多賀 權藏氏……………三一
 種村 源之介氏……………三三
 そ之部
 曾田 一藏氏……………三三
 園部 四郎氏……………三三
 園田 治郎吉氏……………三四
 曾我 良之助氏……………三五
 つ之部
 塚本 定右衛門氏……………三六
 塚本 市藏氏……………三六
 塚本 信三氏……………三七
 塚本 清三氏……………三七
 塚本 長治郎氏……………三八
 塚本 平吉氏……………三九
 塚本 鉢三郎氏……………三九
 塚本 伊三郎氏……………四〇
 塚本 彌七郎氏……………四一
 塚本 藤助氏……………四一
 塚田 頼藏氏……………四二
 辻 義三郎氏……………四二
 辻 金之助氏……………四三

な之部
 中島 伊平氏……………四八
 中島 淳次郎氏……………四八
 中島 伊三良氏……………四九
 中村 英太郎氏……………五〇
 中村 芳三郎氏……………五〇
 中村 正太郎氏……………五一
 中村 柳二氏……………五一
 中村 富平氏……………五二
 中村 重太郎氏……………五三
 仲村 益藏氏……………五三
 中村 幸吉氏……………五四
 中村 恒司氏……………五四
 中村 眞實氏……………五五
 中川 平七氏……………五五
 中川 與惣太郎氏……………五七
 中川 慶次郎氏……………五七
 中川 泰治氏……………五九

中井 長兵衛氏……………三九
 中井 喜七郎氏……………四〇
 中西 儀兵衛氏……………四〇
 仲 彦太郎氏……………六一
 中 杉 舉藏氏……………六一
 中野 作治郎氏……………六二
 中野 彌一氏……………六三
 中野 信三郎氏……………六四
 中野 彌太郎氏……………六四
 中野 彌太郎氏……………六五
 中野 彌太郎氏……………六五
 中野 彌太郎氏……………六六
 中野 彌太郎氏……………六六
 中野 彌太郎氏……………六七
 中野 彌太郎氏……………六七
 中野 彌太郎氏……………六八
 中野 彌太郎氏……………六八
 中野 彌太郎氏……………六九
 中野 彌太郎氏……………六九
 中野 彌太郎氏……………七〇
 中野 彌太郎氏……………七〇
 中野 彌太郎氏……………七一
 中野 彌太郎氏……………七一
 中野 彌太郎氏……………七二
 中野 彌太郎氏……………七二
 中野 彌太郎氏……………七三
 中野 彌太郎氏……………七三
 中野 彌太郎氏……………七四
 中野 彌太郎氏……………七四
 中野 彌太郎氏……………七五
 中野 彌太郎氏……………七五
 中野 彌太郎氏……………七六
 中野 彌太郎氏……………七六
 中野 彌太郎氏……………七七
 中野 彌太郎氏……………七七
 中野 彌太郎氏……………七八
 中野 彌太郎氏……………七八
 中野 彌太郎氏……………七九
 中野 彌太郎氏……………七九
 中野 彌太郎氏……………八〇
 中野 彌太郎氏……………八〇
 中野 彌太郎氏……………八一
 中野 彌太郎氏……………八一
 中野 彌太郎氏……………八二
 中野 彌太郎氏……………八二
 中野 彌太郎氏……………八三
 中野 彌太郎氏……………八三
 中野 彌太郎氏……………八四
 中野 彌太郎氏……………八四
 中野 彌太郎氏……………八五
 中野 彌太郎氏……………八五
 中野 彌太郎氏……………八六
 中野 彌太郎氏……………八六
 中野 彌太郎氏……………八七
 中野 彌太郎氏……………八七
 中野 彌太郎氏……………八八
 中野 彌太郎氏……………八八
 中野 彌太郎氏……………八九
 中野 彌太郎氏……………八九
 中野 彌太郎氏……………九〇
 中野 彌太郎氏……………九〇
 中野 彌太郎氏……………九一
 中野 彌太郎氏……………九一
 中野 彌太郎氏……………九二
 中野 彌太郎氏……………九二
 中野 彌太郎氏……………九三
 中野 彌太郎氏……………九三
 中野 彌太郎氏……………九四
 中野 彌太郎氏……………九四
 中野 彌太郎氏……………九五
 中野 彌太郎氏……………九五
 中野 彌太郎氏……………九六
 中野 彌太郎氏……………九六
 中野 彌太郎氏……………九七
 中野 彌太郎氏……………九七
 中野 彌太郎氏……………九八
 中野 彌太郎氏……………九八
 中野 彌太郎氏……………九九
 中野 彌太郎氏……………九九
 中野 彌太郎氏……………一〇〇
 中野 彌太郎氏……………一〇〇

む之部
 村越 庄左衛門氏……………三六
 村越 福三郎氏……………三六
 村田 茂七氏……………三七
 村田 平治氏……………三七
 村田 東洋兒氏……………三八
 村田 彌助氏……………三八
 村田 左吉氏……………三九
 武藤 貞保氏……………三九
 村上 信九氏……………四〇
 村上 武雄氏……………四〇
 村岸 武雄氏……………四一
 村岸 武雄氏……………四一
 村岸 武雄氏……………四二
 村岸 武雄氏……………四二
 村岸 武雄氏……………四三
 村岸 武雄氏……………四三
 村岸 武雄氏……………四四
 村岸 武雄氏……………四四
 村岸 武雄氏……………四五
 村岸 武雄氏……………四五
 村岸 武雄氏……………四六
 村岸 武雄氏……………四六
 村岸 武雄氏……………四七
 村岸 武雄氏……………四七
 村岸 武雄氏……………四八
 村岸 武雄氏……………四八
 村岸 武雄氏……………四九
 村岸 武雄氏……………四九
 村岸 武雄氏……………五〇
 村岸 武雄氏……………五〇
 村岸 武雄氏……………五一
 村岸 武雄氏……………五一
 村岸 武雄氏……………五二
 村岸 武雄氏……………五二
 村岸 武雄氏……………五三
 村岸 武雄氏……………五三
 村岸 武雄氏……………五四
 村岸 武雄氏……………五四
 村岸 武雄氏……………五五
 村岸 武雄氏……………五五
 村岸 武雄氏……………五六
 村岸 武雄氏……………五六
 村岸 武雄氏……………五七
 村岸 武雄氏……………五七
 村岸 武雄氏……………五八
 村岸 武雄氏……………五八
 村岸 武雄氏……………五九
 村岸 武雄氏……………五九
 村岸 武雄氏……………六〇
 村岸 武雄氏……………六〇
 村岸 武雄氏……………六一
 村岸 武雄氏……………六一
 村岸 武雄氏……………六二
 村岸 武雄氏……………六二
 村岸 武雄氏……………六三
 村岸 武雄氏……………六三
 村岸 武雄氏……………六四
 村岸 武雄氏……………六四
 村岸 武雄氏……………六五
 村岸 武雄氏……………六五
 村岸 武雄氏……………六六
 村岸 武雄氏……………六六
 村岸 武雄氏……………六七
 村岸 武雄氏……………六七
 村岸 武雄氏……………六八
 村岸 武雄氏……………六八
 村岸 武雄氏……………六九
 村岸 武雄氏……………六九
 村岸 武雄氏……………七〇
 村岸 武雄氏……………七〇
 村岸 武雄氏……………七一
 村岸 武雄氏……………七一
 村岸 武雄氏……………七二
 村岸 武雄氏……………七二
 村岸 武雄氏……………七三
 村岸 武雄氏……………七三
 村岸 武雄氏……………七四
 村岸 武雄氏……………七四
 村岸 武雄氏……………七五
 村岸 武雄氏……………七五
 村岸 武雄氏……………七六
 村岸 武雄氏……………七六
 村岸 武雄氏……………七七
 村岸 武雄氏……………七七
 村岸 武雄氏……………七八
 村岸 武雄氏……………七八
 村岸 武雄氏……………七九
 村岸 武雄氏……………七九
 村岸 武雄氏……………八〇
 村岸 武雄氏……………八〇
 村岸 武雄氏……………八一
 村岸 武雄氏……………八一
 村岸 武雄氏……………八二
 村岸 武雄氏……………八二
 村岸 武雄氏……………八三
 村岸 武雄氏……………八三
 村岸 武雄氏……………八四
 村岸 武雄氏……………八四
 村岸 武雄氏……………八五
 村岸 武雄氏……………八五
 村岸 武雄氏……………八六
 村岸 武雄氏……………八六
 村岸 武雄氏……………八七
 村岸 武雄氏……………八七
 村岸 武雄氏……………八八
 村岸 武雄氏……………八八
 村岸 武雄氏……………八九
 村岸 武雄氏……………八九
 村岸 武雄氏……………九〇
 村岸 武雄氏……………九〇
 村岸 武雄氏……………九一
 村岸 武雄氏……………九一
 村岸 武雄氏……………九二
 村岸 武雄氏……………九二
 村岸 武雄氏……………九三
 村岸 武雄氏……………九三
 村岸 武雄氏……………九四
 村岸 武雄氏……………九四
 村岸 武雄氏……………九五
 村岸 武雄氏……………九五
 村岸 武雄氏……………九六
 村岸 武雄氏……………九六
 村岸 武雄氏……………九七
 村岸 武雄氏……………九七
 村岸 武雄氏……………九八
 村岸 武雄氏……………九八
 村岸 武雄氏……………九九
 村岸 武雄氏……………九九
 村岸 武雄氏……………一〇〇
 村岸 武雄氏……………一〇〇

の之部
 梅田 建次郎氏……………三九
 梅田 勇藏氏……………三九
 久保 田惣右衛門氏……………三九
 久保 富太郎氏……………三九
 久保 米資氏……………三九
 久我 由松氏……………三九
 久保 井金三氏……………三九
 栗原 宗治氏……………三九
 栗原 茂吉氏……………三九
 栗原 弘氏……………三九
 栗本 捨造氏……………三九
 栗田 庄太郎氏……………三九
 野田 建次郎氏……………三九
 野田 勇藏氏……………三九
 野村 市太郎氏……………三九
 野村 幸助氏……………三九
 野村 三郎氏……………三九
 野村 信太郎氏……………三九
 野村 外松氏……………三九
 野村 賢之助氏……………三九
 野崎 賢之助氏……………三九
 野口 新兵衛氏……………三九
 野呂 豊吉氏……………三九
 野水 寅資氏……………三九

や之部

栗田 佩英氏……………三〇五
 栗田 豐太郎氏……………三〇四
 黒部 八郎平氏……………三〇四
 黒川 善一氏……………三〇五
 黒川 傳氏……………三〇六
 桑島 貞作氏……………三〇六
 桑原 定治氏……………三〇七
 山本元三郎氏……………三〇八
 山本 太右衛門氏……………三〇九
 山本 與吉郎氏……………三〇九
 山田 忍三氏……………三〇〇
 山田 平次郎氏……………三〇〇
 山田 藤五郎氏……………三〇一
 山田 勘藏氏……………三〇二
 山田 末松氏……………三〇三
 山田 誠一氏……………三〇三
 山下 清吾氏……………三〇四
 山下 庄之助氏……………三〇四
 山崎 良吉氏……………三〇五
 山崎 増三郎氏……………三〇五
 山鹿 信造氏……………三〇六
 山口 康太郎氏……………三〇七
 山澤 悅彌氏……………三〇七

ま之部

山中 忠兵衛氏……………三〇八
 矢島 榮三郎氏……………三〇八
 矢島 源一郎氏……………三〇九
 矢野 佐太郎氏……………三〇九
 矢野 拾吉氏……………三〇九
 安田 源藏氏……………三一〇
 安田 周吾氏……………三一〇
 安田 仁太郎氏……………三一〇
 安居 吉太郎氏……………三一〇
 柳 治三吉氏……………三一〇
 柳 才吉氏……………三一〇
 柳生 譽三吉氏……………三一〇
 八木 増次郎氏……………三一〇
 前川 太郎兵衛氏……………三一〇
 前川 萬治郎氏……………三一〇
 前川 斧次氏……………三一〇
 前川 久次郎氏……………三一〇
 前田 三來雄氏……………三一〇
 松居 元右衛門氏……………三一〇
 松居 久左衛門氏……………三一〇
 松下 岩雄氏……………三一〇
 松崎 慶治氏……………三一〇

ふ之部

松田 永松氏……………三一〇
 松村 久次郎氏……………三一〇
 松阪 はつ女……………三一〇
 松浦 豊藏氏……………三一〇
 松倉 留吉氏……………三一〇
 松原 健次氏……………三一〇
 松宮 語氏……………三一〇
 増田 孝右衛門氏……………三一〇
 丸山 協助氏……………三一〇
 丸茂 文次郎氏……………三一〇
 萬崎 與五右衛門氏……………三一〇
 間探 嘉一郎氏……………三一〇
 眞弓 留吉氏……………三一〇
 古屋 徳兵衛氏……………三一〇
 古屋 惣八氏……………三一〇
 古屋 榮一氏……………三一〇
 古川 源次郎氏……………三一〇
 古川 伊右衛門氏……………三一〇
 古谷 増三郎氏……………三一〇
 古田 光伯氏……………三一〇
 藤野 茂八氏……………三一〇
 藤原 友太郎氏……………三一〇

こ之部

藤井 良吉氏……………三〇五
 藤咲 稻太郎氏……………三〇六
 藤咲 卯之吉氏……………三〇七
 藤村 清太郎氏……………三〇七
 藤本 徳藏氏……………三〇八
 藤沼 喜三郎氏……………三〇八
 藤沼 敬氏……………三〇九
 深田 與三兵衛氏……………三〇九
 深町 秀一氏……………三〇〇
 服井 一郎氏……………三〇〇
 布施 寅吉氏……………三〇一
 福田 喜平氏……………三〇二
 福田 傳吉氏……………三〇三
 福田 久次郎氏……………三〇三
 福田 生藏氏……………三〇三
 福田 善市氏……………三〇四
 福島 安三氏……………三〇五
 福島 豊次郎氏……………三〇五
 福島 重太郎氏……………三〇五
 福島 多一郎氏……………三〇五
 福山市 三郎氏……………三〇七
 福山 隈次郎氏……………三〇七
 福井 賢之助氏……………三〇八
 福井 辰二郎氏……………三〇九
 福富 基氏……………三〇九

小林 吟右衛門氏……………三一〇
 小林 源左衛門氏……………三一〇
 小林 八百吉氏……………三一〇
 小林 文次郎氏……………三一〇
 小林 了了一氏……………三一〇
 小林 確郎氏……………三一〇
 小林 利八郎氏……………三一〇
 小林 甚太郎氏……………三一〇
 小林 寅吉氏……………三一〇
 小林 敏次郎氏……………三一〇
 小林 三郎氏……………三一〇
 小林 平八氏……………三一〇
 小林 平助氏……………三一〇
 小林 士郎氏……………三一〇
 小林 明司氏……………三一〇
 小林 恒太郎氏……………三一〇
 小菅 恒太郎氏……………三一〇
 小菅 千代市氏……………三一〇
 小堀 治三郎氏……………三一〇
 小堀 孝太郎氏……………三一〇
 小松 孝次郎氏……………三一〇
 小松 由太郎氏……………三一〇

小松 茂氏……………三一〇
 小島 彌三郎氏……………三一〇
 小島 一郎氏……………三一〇
 小泉 覺次郎氏……………三一〇
 小泉 佐吉氏……………三一〇
 小瀬 竹松氏……………三一〇
 小室 榮三郎氏……………三一〇
 小杉 幸次郎氏……………三一〇
 小横 秀太郎氏……………三一〇
 小谷 卯一郎氏……………三一〇
 小駒 兼次郎氏……………三一〇
 小和 瀬傳次郎氏……………三一〇
 小峰 三郎氏……………三一〇
 小宮 山傳七氏……………三一〇
 香月 芳氏……………三一〇
 近藤 靜吉氏……………三一〇
 鯉江 萬助氏……………三一〇
 木暮 英二郎氏……………三一〇
 互井 仁平氏……………三一〇
 戎野 喜太郎氏……………三一〇
 遠藤 喜兵衛氏……………三一〇
 遠藤 貞三郎氏……………三一〇
 遠藤 種三郎氏……………三一〇

え之部

て之部

遠藤松五郎氏... 江口金三郎氏... 江口長七氏... 江藤喜三郎氏... 寺島五兵衛氏... 寺島政次郎氏... 寺澤才女... 寺本孝氏... 寺本治郎氏... 寺本孝氏...

あ之部

青木五兵衛氏... 青木新九郎氏... 青木隆藏氏... 青山幸助氏... 青山末吉氏... 青山藤太郎氏... 青山久三氏... 青山平三郎氏... 青山平太郎氏... 青山庄三郎氏... 荒居庄三郎氏... 荒井秀次氏... 天野半七氏...

き之部

幾度永氏... 北田内藏司氏... 北村謙藏氏... 北村秀雄氏... 北村芳五郎氏... 北村英吉郎氏... 北川馬之助氏... 北川新一郎氏... 北原藤吉氏... 北原數馬氏... 木村新次郎氏... 木村久作氏... 木村英氏... 木下長次郎氏... 岸善造氏... 岸善造氏... 湯澤三之助氏... 湯淺まつ女... 柚口定吉氏...

ゆ之部

湯澤三之助氏... 湯淺まつ女... 柚口定吉氏...

さ之部

會田佐長氏... 足立清一氏... 明智安太郎氏... 東幸吉氏... 薩摩治兵衛氏... 澤井藤助氏... 澤井節雄氏... 澤田東作氏... 澤田政七氏... 澤田小平氏... 澤田佐久平氏... 澤田岩吉氏... 澤崎定治氏... 澤崎嘉吉氏... 齋藤市助氏... 齋藤市助氏... 齋藤由三郎氏... 齋藤由三郎氏... 齋藤吉五郎氏... 齋藤吉五郎氏... 佐藤延次郎氏... 佐藤延次郎氏...

み之部

宮川忠助氏... 宮川幸三郎氏... 宮崎庄太郎氏... 宮本増太郎氏... 宮井理一郎氏... 三浦芳造氏... 三宅俊雄氏... 三原順三郎氏... 三原順三郎氏... 三上宇三郎氏... 三上彌之輔氏... 水野錦吾氏... 水村浩治氏... 水谷光治郎氏... 美濃部五三郎氏... 溝呂木嘉助氏... 白石甚兵衛氏... 白石萬吉氏... 白石德三郎氏... 白子省三氏... 澁谷定七氏...

し之部

白石甚兵衛氏... 白石萬吉氏... 白石德三郎氏... 白子省三氏... 澁谷定七氏...

濵谷 正治氏	四七〇	平井 留次郎氏	四六六	杉村 甚兵衛氏	五〇六
柴田 源七氏	四七一	平野 和三郎氏	四六七	杉村 友次郎氏	五〇七
柴田 直吉氏	四七二	平本 彌三郎氏	四六七	杉山 貞助氏	五〇八
柴田 安吉氏	四七三	廣瀬 良一氏	四六八	杉山 眞徹氏	五〇九
柴田 清之助氏	四七三	廣瀬 豊松氏	四六九	菅 山治兵衛氏	五〇九
柴田 武治氏	四七三	弘部 幸次郎氏	四六九	菅 元次郎氏	五〇〇
柴崎 三之助氏	四七四	姫川 繁治氏	四九〇	菅 安之助氏	五〇〇
柴本 鐘吉氏	四七四			菅 徳次郎氏	五〇一
島田 利右衛門氏	四七五			須田 鐵次郎氏	五〇二
島田 茂氏	四七五			須田 武松氏	五〇二
島村 友三郎氏	四七六			須田 重平氏	五〇三
島崎 清作氏	四七七			須山 岩松氏	五〇三
篠原 榮吉氏	四七七			須崎 長造氏	五〇四
志村 賢一郎氏	四七八			須木 岩次郎氏	五〇四
清水 滋平氏	四七九			須木 五市氏	五〇五
清水 新治郎氏	四七九			鈴木 康輔氏	五〇六
島田 千代見氏	四八〇			鈴木 幸夫氏	五〇六
清水 彌一郎氏	四八〇				
下村 嘉吉氏	四八〇				
下野 岩松氏	四八〇				
城野 定昌氏	四八三				
茂田 定昌氏	四八三				

關口 忠助氏	五〇三	關口 勘兵衛氏	五〇三
關口 雅次郎氏	五〇三	瀬川 雅次郎氏	五〇四
瀬川 眞吉氏	五〇四		
關口 莊之助氏	五〇三		
關口 勘兵衛氏	五〇三		
瀬川 雅次郎氏	五〇四		
瀬川 眞吉氏	五〇四		

いの部

市田彌三郎氏

明治五年一月十六日生

【營業又は職名】 織物問屋株式会社市田商店専務取締役、合名會社市田商店代表社員

【營業所又は勤務先】 本店 東京都日本橋區田所町二十七番地(浪花六八) 支店 京都市中區東洞院三條上ル(電話五五五)

【住所】 京都市柳馬場通三條上ル油屋町八七番地(本局五五三)

【本籍地】 住所に同じ

【略歴】 氏は京都市上京區高倉通御池上ル終町五七六太田友吉氏の弟にして亡重兵衛氏の三男なり、明治三十一年十二月十五日亡市田しげ家に入夫し同年同月十九日家督を相続す當店は先々代市田彌一郎氏の創業に係り明治七年東京店を設置し京吳服専門の卸業を始めしが漸次業運を開きて明治三十四年京都店を同四十一年大阪店を設け東西相呼應し業勢の伸更に努むる所あり大正三年一月合名會社市田商店に組織を變更同七年二月更に株式會社市田商店を創立し斯界の第一流問屋として業容發展しつゝあるが氏は目下前記現職にあり同店今日の際盛は氏の堅實なる手腕に因る事大なり。

【宗教】 佛光寺派眞宗

【所得税】 四、八七六圓

【家庭】 妻女はつ女 明治十七年三月十七日生、亡市田彌惣八氏三女、大正五年十月三日婚姻入籍。長男彌之助氏 明治三十六年九月十一日生。二男彌二郎氏 明治三十八年八月十日生。三男彌吉郎氏 明治三十九年十一月十二日生。四男彌藏氏 明治四十年十一月二十一日生。三女コト女 明治四十三年二月二十日生。長女てふ女 明治三十三年十一月二十一日生。二女ゆき女は滋賀縣甲賀郡柏木村大字泉百九十二番地戸主山中岩吉氏二男周藏氏を婿養子に迎え分家。

【主なる親戚】 市田彌枝女 京都市南禪寺福地町。市田周藏氏 同市柳馬場通三條上ル油屋町八十七。市田昭之助氏 同市柳馬場通三條上ル油屋町九十六(東京店長)。青山幸助氏 同市柳馬場通三條上ル油屋町二の十一。市田治一郎氏 同市柳馬場姉小路下ル。

【主なる出身者】 神野清五郎氏 日本橋區富澤町一三、各種織物卸株式會社神野商店代表取締役。瀬川雅次郎氏 同區橋町二ノ五、風呂敷中形卸。猪田喜三郎氏 同區橋町二ノ六、綿布卸。畑龍雄氏 同區長谷川町二五、久留米絨・伊豫絨卸。

市田昭之助氏

明治十九年五月十七日生

【職業】 織物問屋株式會社市田商店取締役兼東京店長
 【は職名】 東京市日本橋區田所町廿七番地 電話(代表浪花) 五五五
 【勤務先】 東京府北豐島郡東鴨町平松一五三八 電話(大塚) 六六六
 【住所】 東京都中京區柳馬場通三條上ル油屋町九六
 【本籍地】 滋賀縣神崎郡北五箇莊村大字龍田百八十七番地

【略歴】 氏は京都市下京區麩屋町通萬壽寺下ル下鱗形町四十一番地戸主平民佐藤竹治郎氏の弟にして亡佐藤善助氏四男に生れ大正二年五月十二日同府人亡先代市田彌三郎氏長女マチ女に入夫し家督を相続す而して同三年一月合名會社市田商店設立さるゝや同氏は其の出資社員となり更に同七年二月株式會社市田商店創立と同時に取締役に就任、傍ら東京店長を兼ねて今日に至る、温厚なる紳士にして東京店業容の今日に至れるは氏の力與つて大なりと謂ふべし。

【宗教】 佛光寺派眞宗 【所得税】 四、七七八圓
 【家庭】 妻マチ女 明治二十八年一月二十五日生、亡市田彌三郎氏長女。長女千代女 大正三年五月三日生。二女千恵女 大正四年八月十六日生。二男昭二郎氏 大正十二年九月十七日生。四女マサ女 昭和二年七月三十日生。
 【主なる親戚】 市田彌三郎氏欄参照

市田信藏氏

明治拾九年六月廿四日生

【職業】 京吳服卸市繁商店主
 【住所】 東京市日本橋區久松町三番地 電話(浪花) 三三三番
 【本籍地】 滋賀縣神崎郡北五箇莊村大字龍田百八十七番地

【略歴】 氏は先代市田繁藏氏の長男なり先代は滋賀縣神崎郡北五箇莊村字龍田に生る生家は麻布の製織販賣を営み傍ら質商を兼營したるが時勢の變遷と共に業況不振となりしより廢業し爾來吳服の持下りを爲したるが當時市内日本橋區通鹽町松本商店に見習中なりし長男信藏氏が退店歸郷せしかば明治四十二年上京同區小傳馬町に本業を開始し後現所に移れり而して昭和二年五月十一日先代死後家督を相続今日に至る。

【宗教】 眞宗 【所得税】 三三一圓
 【營業收益税】 一九六圓
 【家庭】 母いよ女 慶應元年四月六日生亡市田繁藏氏未亡人。妻美與女 明治二十五年四月三日生滋賀縣人藤井定七氏二女。
 【主なる親戚】 中村彌右衛門氏(江州北五箇莊村字中、素と織物商)母の生家。藤井定七氏(江州北五箇莊村字宮莊)妻

女の生家。藤井善次郎氏在大阪毛織物商(姻戚)。

市橋治三郎氏

明治十二年四月十八日生

【職業】 京吳服卸商
 【住所】 東京市日本橋區久松町五番地 電話(浪花) 四二二
 【本籍地】 滋賀縣犬上郡多賀村大字多賀千二百二番地

【略歴】 氏は市橋慈圓氏の次男幼少の時京都の丸柵市田商店に入り後東京店に轉じ市田彌惣右衛門氏の獨立に従ひ入丸市田に移りて勤続五年静岡市織物卸商叔父市橋正藏氏の養子となりしが事情ありて離籍し渡米してシヤトル市に於て雜貨の行商を始め在留六年若干の資金を得て歸朝種々の事業を計畫したるも當らず大正元年日本橋區小傳馬町に現業者となり大正九年震災に遭遇したるが支障なく再起し同十五年現所を買収進出したるものにして相當の資力を有す。

【趣味】 圍碁 【宗教】 淨土宗
 【家庭】 妻捨女 明治二十六年七月十日滋賀縣犬上郡松原村九十七番地中川作平氏の長女。長女通代女 大正三年三月十日生。長男慶一氏 大正六年七月二日生。次女美代子女 二

市瀬三五氏

明治六年一月十日生

【職業】 羅紗卸小賣並洋服製造販賣
 【住所】 東京市四谷區傳馬町一丁目二十四番地電話(四谷) 三三三番
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は長野縣下伊那郡飯田町四一二番地士族市瀬信氏三男に生れ、十三歳の頃上京市内麴町區山元町羅紗問屋太田音吉氏方に奉公し恪勤約十八年の後、明治卅五年現所に獨立洋服製造販賣業を開始、大正十年四月より羅紗卸小賣をも兼業し今日に至る温厚なる紳士なり。

【宗教】 眞宗 【所得税】 四九六圓
 【營業收益税】 二一〇圓
 【家庭】 妻女ちよ女 明治十七年十月一日生。市内本所區龜澤町一丁目十二番地松下兵助氏長女明治卅六年七月十三日婚

(h)

姻入籍。養子千賀子女。明治卅六年八月十六日生同上松下兵助氏四女明治四十三年二月八日養子縁組入籍、大正十五年八月廿五日木下猛雄氏と婿養子縁組婚姻。婿養子猛雄氏。明治卅五年三月廿五日生、長野縣下伊那郡山本村大字山本二九〇番地木下耕作氏實弟。孫美智子女。大正十五年九月十八日生。

【主なる親戚】 松下兵助氏。市内本所區龜澤町一丁目一二番地、妻女及養子千賀子女實家。木下耕作氏。長野縣下伊那郡山本村大字山本二九〇番地、農業。

市川覺造氏

明治二十一年八月五日生

【營業】 吳服綿布卸

【營業所】 東京市日本橋區通旅籠町十六番地 電話(浪花六六〇)

【住所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣愛知郡日枝村大字吉田八十九番屋敷

【略歴】 氏は滋賀縣愛知郡日枝村市川金藏氏の二男にして舊名萬治郎と稱す、年少時上京して日本橋區小泉伊兵衛商店に入り五六年修業の後一時郷里に歸へり若干の資金を携へて再び上京し神田區東松下町に米穀商を開始せり爾來刻苦勉勵の

結果相當の産をなすに至り大正十一年本業に轉じたるが震災後現所に進出し以て今日に及ぶ。

【趣味】 謡曲 【宗教】 眞宗 【所得税】 五九圓

【營業收益税】 四五圓

【家庭】 父金藏氏。安政五年十二月十日生。母屋才女。萬延元年四月四日生。兄忠治郎氏。明治十七年十月廿一日生。嫂きみへ女。明治卅一年十月十日生忠治郎氏妻。妹すて女。明治卅四年十二月十八日生。甥吉一氏。大正八年二月六日生忠治郎氏長男。姪民子女。大正十年六月十六日生同上長女。甥忠雄氏。大正十二年九月六日生同上二男。姪廣子女。大正十五年一月十四日生同上二女。

【主なる親戚】 市川彦太郎氏。實弟川崎市南川原町吳服商。

上田龜太郎氏。實妹子。女夫滋賀縣神崎郡旭村。

市丸八郎氏

明治十九年十月十二日生

【營業】 百貨店株式會社三越銀座支店長

【營業所】 東京市京橋區銀座四丁目一番地 電話(京橋三三三)

【住所】 東京市牛込區矢來町三十番地 外七本

【本籍地】 同 所

に同店取締役社長たる外伊藤銀行、名古屋製陶所各社長、日本貯蓄銀行、福壽生命保險、福壽火災保險、愛知時計電機各取締役、愛知銀行、中央信託、昭和毛織紡績、愛知時計各監査役を兼ねて實業界に重きをなし、名古屋商工會議所會頭たり。

【所得税】 七五・四〇八圓

【家庭】 母みつ女。安政三年十一月二日生。長男松之助氏。明治卅五年七月五日生。三男鈴三郎氏。明治卅八年十一月十六日生。三女鑑女。大正二年十月廿七日生。四女好女。大正七年十月十三日生。男輝彦氏。大正十二年十二月廿九日生。百合子女。大正十五年七月廿日生。男鶴彦氏。昭和三年五月卅一日生。嫁靜子女。明治四十二年三月廿三日生松之助氏妻。孫多喜女。昭和五年七月廿日生松之助氏長女。

【主なる親戚】 二男伊藤銃次郎氏分家。大阪府豊能郡南豊島村字原田二千年殖産、山東煙草各取締役、山東窯業、八勝俱樂部各監査役、伊藤産業代表。女婿柏原孫左衛門氏。京都市下京區問屋町通五條下ル三丁目西橋町柏原合資代表、柏原洋紙、黒江屋漆器各社長、百五銀行取締役、西成製紙相談役(住所赤坂區青山南町六ノ一〇四)。義弟西村吉右衛門氏。京都市三條通室町西絹物卸商。岡谷惣助氏。名古屋市中區蛭子町五

【略歴】 氏は佐賀縣杵島郡橋村字大日亡市丸嘉五郎氏の三男として生れ昭和四年分家す夙に三越吳服店に入り精勵多年累進して現時三越銀座支店長たり。

【所得税】 二二五圓

【家庭】 妻顯女。明治三十年四月一日生。長女壽子女。大正七年一月十七日生。長男陽太郎氏。大正九年三月十六日生。二男章二郎氏。大正十年十月三十一日生。二女住子女。大正十三年三月十日生。

【主なる親戚】 生家市丸章氏。佐賀縣杵島郡橋村字大日八一。一三。妻女實家伊佐義基氏。熊本縣宇土郡綠川村字笹原一五三二。

伊藤次郎左衛門氏

明治十一年五月二十六日生

【營業】 百貨店株式會社松坂屋取締役社長

【營業所】 本店(名古屋)下谷區上野廣小路一番地 電話(下谷二二〇)

【住所】 名古屋市西區茶屋町三丁目三番地 電話(本丸)

【本籍地】 同 所

(h)

【略歴】 氏は先代次郎左衛門の四男にして大正十三年十一月先代の隠居により家督を相續し襲名して前名守松を改む、現

〔w〕 ○正六位勳四等名古屋商業會議所常議員銅鐵金物商。東京市麴町區富士見町一ノ三十一侯爵貴族院議員佐竹義春氏||嫁靜子女兒。

伊藤元治氏

明治十年二月九日生

【營業】 吳服太物毛斯綸小賣
【營業所】 東京市日本橋區人形町通蠟燭町二丁目十一番地市外千住町中組七番地 電話(千住三三六) 北海道野付牛町、斜里、網走町帶廣町
【住 所】 北海道野付牛町
【本籍地】 新潟縣北魚沼郡小出町大字小出島四七五番地

【略歴】 氏は新潟縣人伊藤久治氏の四男なるが明治三十九年十二月五日同縣北魚沼郡小出町大字小出島四百七十五番地伊藤吉右工門氏の養子となり明治四十三年四月廿九日養父吉右工門氏隱居により家督相続す幼時渡道札幌今井吳服店に奉公し其人物手腕を見込まれて累進明治四十年七月四日自家の一族函館今井榮七氏の三女サタ子を娶る之現夫人なり大正二年主家を退店して北海道野付牛町に吳服太物小賣を開始し漸進大正四年網走町大正八年斜里大正十三年六月東京に進出し入形町同年十月千住支店を開設する等旺盛なる業容を示し來

れり。

【趣味】 讀書 【宗教】 淨土宗 【所得稅】 二八九圓
【家庭】 養父吉右工門氏||嘉永元年十一月十一日生は大正二年二月七日病歿。妻サタ女||今井榮七氏三女明治十九年三月十一日生。長男元一郎氏||明治四十年八月卅一日生は大倉商業學校卒業後札幌今井商店に勤務。二男元二郎氏||大正五年二月十五日生(在大久保)商業學校通學中。兄定七氏||萬延元年十二月七日生(在新潟縣)。兄妻ツル女||明治十年一月廿八日生(在新潟縣)。甥統一郎氏||兄阿達定七氏長男(目下野付牛支店に勤務)。甥篤司氏||明治四十五年三月一日生は兄阿達定七氏二男にして目下千住支店に勤務。甥登氏||同千住支店勤務。長女田鶴子大正九年九月二日生高千穂小學校通學。三男元三郎氏大正十四年一月二日生は大正十四年七月廿八日戸塚町源兵衛町井野病院にて病歿。
【主なる親戚】 函館市會所町參番地今井榮七氏。

伊藤音吉氏

明治十七年六月五日生

【營業又】 織物問屋株式會社久保田商店取締役東京店支配人
【は職名】

日生大正十五年一月七日病死。六女喜代||昭和貳年三月十一日生。

【主なる親戚】 伊藤喜平氏||(甥にして生家相續人)久保田商店營業部長。宮崎武兵衛氏||(實母の生家)同郡北八會村。宮木重右衛門氏妻女の里(入間川町)。

伊藤喜平氏

明治二十五年八月二十日生

【營業又】 織物問屋株式會社久保田商店東京店營業部長
【は職名】
【營業所又】 東京市日本橋區小舟町一丁目三番地 電話(浪花三三五) 三三五〇
【は勤務先】

【住 所】 埼玉縣入間川町三千八百八十六番地
【本籍地】 埼玉縣入間川町三千八百八十六番地
【略歴】 氏は入間川町三千八百八十六番地伊藤辰五郎氏の長男にして夙に八王子織染學校に入り明治四十一年同校卒業と同時に八王子久保田本店に勤務し後ち東京店詰となり目下同店營業部長たり資性濃厚にして内外に信望あり。

【宗教】 曹洞宗 【所得稅】 六九圓
【家庭】 祖母はる女||弘化三年一月十日生亡宮崎武兵衛二女。母とき女||明治二年八月四日生亡小峯安太郎氏長女。妻

【營業所又】 東京市日本橋區小舟町一丁目三番地 電話(浪花三三五) 三三五〇
【は勤務先】

【住 所】 埼玉縣入間川町三千八百六十九番地
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は埼玉縣入間郡入間川町三二二番地亡伊藤辰五郎氏の實弟にして大正十二年二月十七日同町三八六九番地の二に分家せるものなり而して同店營業部長伊藤喜平氏とは本家分家の間柄なると共に伯父甥に當れり。幼時久保田商店に勤務し精勤三十五年有餘に及ぶ久保田商店の先代以來引續き東京店支配人として東西同業間に知らる毎朝未明入間川自宅を出で店舗に來り熱心業務を監督して怠らず久保田東京店の年次隆盛となれるも亦氏の忠勤に負ふ處多しと謂ふ。

【宗教】 曹洞宗 【所得稅】 四二五圓

【家庭】 妻トメ女明治廿五年一月廿五日生宮木重右衛門氏養女明治四十五年一月入嫁。長女愛子女||明治四十五年四月十五日生川越女學校卒業後大妻技藝學校に學び目下在家庭。長男萬藏氏||大正三年一月卅一日生八王子織染學校卒業目下八王子久保田本店に勤務中。二男恒吉氏||大正四年十月十四日生川越工業學校在學中。三女カヤ女||大正九年一月一日生入間川小學校在學中。四女サイ女||大正十二年十二月廿七日生入間川小學校在學中。五女亡タマ子||大正十四年十一月廿五

美矢女 明治三十二年十一月三日生 西久保平太郎氏長女。長男喜久太郎氏 大正七年八月廿二日生 入間川小學校生徒。長女リキ女 大正九年五月六日生 入間川小學校生徒。二女ハマ子 大正十一年十一月三日生 入間川小學校生徒。二男達 氏 大正十四年四月十日生。三女ふみ子 昭和二年五月十二日生 四女みち女 昭和二年五月十二日生。五女ヒサ女 昭和四年一月十七日生。

【主なる親戚】 宮崎武兵衛氏 入間郡北八會村(祖母生家)。小峯常三郎氏 入間川町(母の里)。伊藤晋吉氏(入間川町)伯父。西久保平太郎氏 元加治村野田(妻女の里)。

伊藤利兵衛氏

慶應元年十二月八日生

【營業又】 毛斯縮小賣商やまさんモスリン本店店主

【職業先】 東京市京橋區銀座五丁目二番地 電話(銀座)四九〇

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は愛知縣愛知郡星崎村亡久野與右衛門氏の三男に生れ年少の頃姻戚なる中村喜兵衛商店に奉公し後同店が東京支店を開設するや氏は其支店詰となり忠勤の聞あり明治二十

五年望まれて同家の婿養子となりしものなり而して明治三十

年頃獨立開業を志し圓満退店の上日本橋區人形町通に店舗を構へ年次向上し明治四十四年現所に移轉したるものなり震災には相當の資産を烏有に歸せるも爾來復興現容を爲せり、因に妻サタ女は昭和三年一月十六日病歿せり

【所得税】 八七圓

【家庭】 孫慶一郎氏 大正七年二月十一日生。孫治雄氏 大正八年十一月二十八日生。三男直三郎氏 明治四十一年二月十日生。四男久澄氏 大正三年八月十五日生。三女澄子女 大正五年十月二十日生。

【主なる親戚】 市内淺草區千束町二丁目三四モスリン小賣やまさん淺草支店奈良山徳治氏 婿養子。

伊藤平三郎氏

明治三十二年六月十八日生

【營業】 洋反物縮布卸商

【營業所】 東京市日本橋區橋町四丁目三番地 電話(浪花)三四〇

【住所】 同 所

【本籍地】 千葉縣海上郡矢指村推名内三千五十七番地

【略歴】 氏は千葉縣海上郡矢指村吳服太物卸小賣商伊藤磯二

伊藤金一氏

明治二十六年三月二日生

【營業又】 廣幅縮布卸合資會社伊藤縮布商會代表社員

【職業先】 東京市神田區元右衛門町二丁目一番地電話(淺草)二四〇

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

郎氏の三男にて十五歳の折上京し市内日本橋區縮布問屋辻新兵衛商店に入り恪勤十三年に及び大正十三年三月圓満退店の上現所に獨立す、氏の實家は何れも郷里に在りて相當の資産家たれば獨立當初の資金は此の方面より仰ぎたるものなり爾來年次業容を進め其の將來を期待せらる。

【趣味】 讀書 【宗教】 眞言宗

【營業收益税】 二二圓

【家庭】 妻女津彌女 明治三十六年十月生 千葉縣海上郡矢指村土屋幸助長女 大正十三年正月婚姻。長女和子女 大正十三年十二月生。長男幸雄氏 昭和五年四月生。

【主なる親戚】 實父伊藤磯二郎氏 千葉縣海上郡矢指村吳服太物卸小賣商。妻女實父土屋幸助氏 千葉縣海上郡矢指村味噌醬油製造業。義兄齋藤龜作氏 福島縣雙葉郡木戸村醬油釀造業。實弟伊藤一雄氏 千葉縣醫學大學在學中。實弟篠塚卯之助氏 千葉縣香取郡小見川町吳服太物小賣。妻女兄土屋兼吉氏 府下練馬町大藏省銀行課官吏。

【略歴】 氏は名古屋市東區裏筒井町三丁目十二番地伊藤榮次郎氏の長男として生る土地商業學校卒業後同市縮布商伊藤新商店に入店大正八年轉じてカネカ服部商店に入り後販賣係となり東京支店詰となりたるが大正十一年中圓満退店日本橋區久松町路次内に縮布卸業を開始し一時相當に進出を見たるが大正十四年中蹉跌したるも屈せず大正十四年八月合資會社伊藤縮布商會を起し氏は其代表社員となり經營今日に至る。

【趣味】 弓術、和歌、俳句 【宗教】 淨土宗

【家庭】 妻はな子女 明治四十年七月五日生 千葉縣行徳町小永榮之助長女。長女千恵子 大正九年七月廿三日生 千代田小學校通學。二女以久女 大正十二年一月三日生 千代田小學校通學。三女佳子 昭和四年十一月十一日生。母かね女 明治三年十二月十一日生。名古屋士族飯田文三郎氏三女。

【主なる親戚】 飯田鎮治郎氏(名古屋市往還町母の生家)。横

〔w〕

内徳次郎氏(名古屋東區裏筒井町三の一〇)亡妻の里。松永利七氏(千葉縣行徳町原木四十四番地)現妻女の里。

伊東徳三郎氏

明治十九年二月七日生

伊藤伊五郎氏

明治三十五年三月十日生

【營業又】 廣幅織物卸商合資社黒谷商店支配人

【職業名】 東京市日本橋區田所町二十一番地 電話(浪花)二七三

【營業所又】 東京市日本橋區田所町二十一番地 電話(浪花)二七三

【住 所】 同 所

【本籍地】 福井縣吉田郡西藤島村上伏第十二號二十三番地

【略歴】 氏は福井縣吉田郡西藤島村上伏第十二號廿三番地伊藤伊左衛門氏の五男として生る夙に同郷關係なる中谷商店に勤務し(同店は震災後黒谷商店と改稱)ありたるが後ち同店支配人たる黒川正氏が昭和五年中病逝世後支配人となり古參店員と協力經營に力めつゝあり。

【家庭】 父伊藤伊左衛門氏安政四年十二月二日生郷里。妻繁子女。大正元年十二月十五日生福井縣人粟田惣兵衛氏三女。

【主なる親戚】 伊藤伊四郎氏。實兄(福井縣吉田郡西藤島村)農業。粟田惣兵衛氏。岳父福井縣吉田郡岡山山東村下四ツ居。

【營業又】 羅紗既製品卸商伊東東京店代表者

【職業名】 東京市神田區東龍岡町四番地 電話(浪花)三九七

【營業所又】 東京市本郷區駒込吉祥寺町二十番地

【住 所】 東京市本郷區駒込吉祥寺町二十番地

【本籍地】 滋賀縣蒲生郡八幡町大字魚屋町中五番地

【略歴】 氏は滋賀縣人亡伊東清祐氏の三男にして大正十一年四月分家して一家を成す、年少の頃より郷里滋賀縣八幡町にて家業たる古着太物及絨既製品の卸商を見習ひ居りたるが明治三十九年父清祐氏隱退したるより兄弟五名にて遺産を中心とする資本金廿萬圓の匿名組合を組織し翌四十年小樽に支店の設置さるゝや其の主任として赴き爾來八年間地盤の開拓に努めたるが後右支店を弟繁藏氏に委ね大正四年二月上京して神田區岩本町三番地に長兄清兵衛氏名義を以て本業を開始せり、同年八月長兄名義を變更して氏自身の名義となし翌五年現營業所に移轉せるが當初吳服太物及び若干の古着をも加味したりしを漸次羅紗製品専門店となりて現在其販賣力に於て市内同業中堅店たり人物温厚にして各方面の信望厚し。

【宗教】 淨土宗 【所得税】 三六九圓

【營業收益税】 一六八圓

【家庭】 妻キミ女。明治廿五年十一月三日生。長女富枝女。大正四年三月十九日生。長男康一氏。大正七年七月廿日生。

二男清氏。大正十年十二月十九日生。二女みどり女。昭和四年一月十一日生。

【主なる親戚】 岡田菊之助氏。妻女里方滋賀縣蒲生郡八幡町。伊藤清兵衛氏。長兄滋賀縣蒲生郡八幡町。伊東龜三郎氏。實弟東京神田岩本町六羅紗既製品商。伊東繁造氏。實弟東京市神田東龍岡町四廣中綿布卸。伊藤清七氏。義兄小樽市入舟町メリヤス雜貨卸。

伊東兵次郎氏

明治二十四年十月二十八日生

【營業】 婦人子供服製造卸商

【營業所】 東京市本所區綠町二丁目十六番地四號電話(本所)三三三

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

〔w〕

【略歴】 氏は神奈川縣高座郡御所貝村用田伊藤奎之助氏の三男にして大正八年五月分家して一家を成す、夙に上京し日本橋區通油町洋傘ショール加工卸商井部信兵衛商店に奉公し永年在店の後大正六年退店して本所區三ツ目通りに獨立開業せ

るが震災後の昭和三年現所に移轉せり。

【家庭】 妻トセ女。明治廿八年一月四日生。長男祐一氏大正八年五月十四日生。長女繁子女。大正九年八月廿四日生。

【主なる親戚】 水留貞七氏。妻女實兄神奈川縣三浦郡葉山町。

伊勢屋秀三郎氏

明治十六年二月二十一日生

【營業】 毛織品富士刺生地仲次

【營業所】 東京市日本橋區旅籠町十六番地 電話(浪花)七九〇

【住 所】 同 所

【本籍地】 東京市日本橋區蠅蝨町三丁目一番地

【略歴】 氏は大阪市人廣波七三郎氏の三男なるが母方の姓なる坂井氏を名乗り明治四十年二月十一日伊勢屋家の養子となる大正十二年七月廿六日前戸主伊勢屋イヨ女の死後家督を相続す夙に大阪府立中學を卒業し同市木原銀行に就職し後ち入營日露の役に従軍し凱旋後伯父勤務先なる日本橋區新材木町洋反物間屋杉村甚兵衛商店に勤務し精勵十七年退店して大野彌一郎氏と共に株式會社内外商行を創設し大正十四年二月區内高砂町に獨立し更に現所に移轉せるものなり。

〔w〕

【家庭】 妻さた女Ⅱ浅草諏訪町一九戸主山本庄兵衛氏二女明治廿一年二月廿七日生。嫡子喜代子Ⅱ大正八年三月廿七日生。
【主なる親戚】 山本庄兵衛氏(浅草區諏訪町十九番地)。田島鑛之助氏(日本橋區數寄屋町二番地)。

伊部 勝美氏

明治三十七年一月十三日生

【營業】 ハンカチーフ、シヨール卸

【營業所】 東京市神田區橋本町二番地 電話(浪花五番)

【住所】 同 所

【本籍地】 福井縣丹生郡萩野村岩倉第二十三號一番地

【略歴】 氏は福井縣丹生郡萩野村岩倉廿三號壹亡伊部乙吉氏の二男なり明治四十三年九月十九日父伊部勝美氏死亡により家督を相続す大正四年上京神田區柳原河岸にありし石川商店に奉公し在店貳年浅草區向柳原町にてハンカチーフ製造卸商竹中商店に轉じ勤続約五年にして退店し芝區高輪田阪某の出資にてハンカチ工場を經營し大正十二年春浅草區新須賀町二番地に獨立斯業を開始し爾來漸進大正十四年十一月現所に移る資性勤儉力行の人として知らる。

【趣味】 柔道 【宗教】 門徒宗

【家庭】 母シモ女Ⅱ明治十一年一月一日生福井縣人佐々木半七氏四女。弟三井氏Ⅱ明治四十年十月五日生店務に従事。妻タメ女Ⅱ明治三十五年三月十一日生。長女美佐子Ⅱ大正十四年一月十六日生。長男勝彌Ⅱ大正十五年十月廿八日生。同十二月貳日病歿。二男璋氏Ⅱ昭和三年八月廿三日生。

【主なる親戚】 鈴木秀雄氏(市外南千住町地才橋場一二九五番地) 岳父。鈴木傳明氏(松竹キネマ俳優)は妻女の實兄。

石川 吉郎氏

明治三十七年七月二十三日生

【營業又】 裏地中形 株式会社柏吉石川商店取締役社長

【職名】 加工卸

【營業所又】 東京市日本橋區新和泉町五番地 電話(浪花三三三)

【勤務先】 麹町區平河町五丁目十六番地 電話(九段三五五)

【住所】 東京市日本橋區新和泉町五番地

【略歴】 氏は初代石川吉兵衛氏の妹娘亡まさ女の婿養子たる亡宮之原助五郎氏の二男として生る然るにまさ女病歿すると共に父助五郎氏も生家に復籍し(後病歿)たる等にて氏は長男吉衛氏と共に母の姉に當り當時未亡人となり居りたる石川津な女に養育され來れるものなり而して昭和五年三月二十九日長兄吉衛氏の逝去後は石川家相続人の立場にあり。

【主なる出身者】 篠原榮吉氏Ⅱ日本橋區岩代町中形、裏地、風呂敷加工卸。加藤伊助氏Ⅱ同區室町、金物商。

石川 安太郎氏

明治十二年十二月二十日生

【營業】 中形裏地加工卸商

【營業所】 東京市日本橋區橋本町一丁目一番地 電話(浪花三三〇)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 當主の父梅吉氏は福井縣北郷村字東野石川安太夫氏の二男にして明治五年頃深川に於て繩蒔業を營める實兄を便りて上京後ち獨立實兄の業を開始す日清日露の役に戦地輸送の吠を一手に請負いて巨利を博す明治三十三年頃本業の傍ら中形裏地の加工卸を兼營次第に業容を整へ現在加工品の製産力に於ては近元、天野等の商店等と共に近時著敷進出を見るに至れり當主は其の長男大正十三年三月十日前戸主父梅吉氏隠居後家督を相続せり資性着實佛教に歸依す。

【趣味】 碁 【宗教】 淨土眞宗 【所得税】 一六二五圓

【營業收益税】 一八二圓 【地租】 九二圓

【家庭】 父梅吉氏Ⅱ安政元年九月十五日生。妻えつ女Ⅱ明治

〔i〕

【主なる親戚】 石川かね女Ⅱ(伯母)日本橋區北島町。植村傳助氏Ⅱ(母の親戚)日本橋區金吹町毛織物商。西村吉右衛門氏Ⅱ(妻女の兄)京都市絹物卸。伊藤次郎左衛門氏Ⅱ(姻戚)名古屋松坂屋社長。

石川家は初代吉兵衛氏が埼玉縣川越より出で初め本石町邊に兩替商を營み彼の亡安田善次郎氏とは頗る昵懇の間柄にして明治六年小傳馬町に木綿金中問屋を營みし以後も常に往復しありしものなりしが氏亦貨殖に天賦の才能を有し漸進産をなし明治二十六年現戸主長女津な女の婿養子正吉氏に譲り一旦隠居したるが正吉氏早死したるより明治三十三年以來再び店務を監督する事となれり而して其後親戚藤貫民十郎氏を支配人となし同氏歿後佐藤拾次郎氏支配人となり今日に至る。明治三十九年初代吉兵衛氏歿後長女津な女家督を相続し業界の資産家として知られ吉郎氏は其の相続人たると共に同店社長たり。

【趣味】 玉突、ゴルフ 【宗教】 眞言宗

【所得税】 八、一六〇圓

【家庭】 伯母津な女Ⅱ文久元年四月二十日生は石川家現戸主なり。妻種子女Ⅱ明治四十二年八月三日生京都府立第一高女出身にして亡西村吉右衛門氏二女。

〔w〕

十六年十月十一日生岩本倉藏氏二女。弟重吉氏。明治二十九年十一月二十五日生は淺草瓦町二八に分家。弟彌七氏。明治三十八年十二月十二日生。弟重吉氏妻富美女。明治三十七年九月十一日生夫重吉氏と共に分家。三男元三郎氏。昭和二年四月七日生。妹たか女。明治三十四年一月二日生。弟彌七氏妻喜世女。明治四十三年十月十四日生。

【主なる親戚】石川彌十郎氏(東縁河岸)毛織物仕立品洋傘卸商は伯父に當る。

石川彌十郎氏

明治元年十一月十二日生

【營業】毛織物仕立品洋傘卸商

【營業所】東京市日本橋區東縁河岸十一號地 電話(浪花)四〇

【住所】同所

【本籍地】同所

【略歴】氏は福井縣大野郡北郷村東野戸主亡石川安太夫氏の三男にして夙に上京日本橋區橋町一丁目中形裏地商を營める實兄石川梅吉氏を頼りて上京し同家に寄寓し耀吳服商として立ちしが幾年もならずして町内に小店舗を設け努力怠らず

漸次進展現所に移る、大正八年資本金五萬圓の株式會社となし氏は其代表取締役なりしも大正九年辭任退社して長男徳太郎氏社長たりしが大正十二年の震災後は當主個人名義の營業となし經營今日に至る。

【宗教】浄土眞宗

【家庭】長男徳太郎氏。明治二十七年一月二十五日生。二男利三郎氏。明治二十九年五月十二日生。婦テル女。明治三十三年三月五日生。二男利三郎氏妻にして足利市通二ノ一三六山田善吉氏五女。三男安廣氏。明治三十年四月七日生。四男順之助氏。明治三十二年十一月一日生。順之助氏妻スヨ女。明治三十七年十二月十一日生。廣島縣人川野鶴吉氏長女。長女サキ子。明治三十五年四月十五日生。淺草區新吉原町一ノ二五山下貞三氏と婚姻。五男武氏。明治三十八年一月九日生。六男政男氏。明治三十九年七月十九日生。七男彌兵衛氏。明治四十一年十一月十六日生。孫壽美江。大正十一年八月廿一日生。順之助氏長女。孫香。大正十四年十二月十日生。利三郎氏長女。婦巳代。明治三十八年六月九日生。參男安廣氏妻、清水福次郎氏長女。婦佐文。明治三十一年六月十九日生。長男徳太郎氏妻。孫照子。昭和三年二月十一日生。安廣氏二女。

【主なる親戚】石川梅吉氏(區内橋町加工綿布卸商實兄)

石川金太郎氏

明治四年十二月二十五日生

【營業又職名】吳服太物洋反物小賣合資會社石川屋吳服店代表社員

【營業所又勤務先】東京市牛込區神樂町三丁目二番地 電話(牛込三三)〇

【住所】同所

【本籍地】東京市牛込區神樂町三丁目二番地

【略歴】氏は東京府北多摩郡拜島村平民臼井林平氏の二男にして前名を悦藏氏と稱せり明治二十六年五月十二日亡石川金太郎氏の養子となり同年五月十七日先代金太郎氏を襲名す大正三年三月十七日麻布區坂下町一番地より轉籍大正八年三月店舗を合資會社石川屋吳服店となし氏は其代表社員となり經營今日に至る。

【所得稅】八七圓

【家庭】妻亡はな女。明治十年二月十日生。牛込區人吉野勝五郎氏二女。大正六年二月十一日病歿。長女いし。明治三十五年二月一日生。三男譽富氏。明治三十六年十一月二十九日生。五男辰男。明治四十年十二月二十日生。六男悅夫氏。明治四十五年一月四日生。二女米子。大正二年十月二十九日生。七男統雄氏。大正五年十一月十二日生。南多摩郡田中傳吉氏と養子縁組。

〔w〕

【主なる親戚】吉野鐵五郎氏(牛込區神樂町三丁目)亡妻はな女の生家。田中傳吉氏南多摩郡加住村中丹木二六(七男統雄養家先)。

石川與兵衛氏

明治元年六月二十六日生

【營業】羅紗切賣業

【營業所】東京市淺草區西三筋町一番地 電話(淺草四三)〇

【住所】同所

【本籍地】同所

【略歴】氏は前戸主亡石川與八氏の二男なり、明治十九年頃淺草區三筋町一四番地に於て古着商人となり、後渡米して勞働により若干の資財を得同三十年歸國神田區和泉町にて親族某と古着商を共營したるが、大正三年獨立毛織物小切れを扱ひ同五年本業者に轉換今日に至れり。

【宗教】眞宗 【所得稅】一四四圓

【營業收益稅】一一七圓

【家庭】長男榮一氏。明治三十五年六月四日生。甲種歩兵一等卒歸休兵。二男龍氏。明治三十七年十月二十七日生。甲種歩兵一等卒歸休兵。二女ふく女。明治四十二年九月二十六日

[w]

生。實踐高女及淺草實科高女を修業せり。四男平八郎氏。明治四十五年七月七日生。榮一氏妻女勇女。明治四十年三月三日生。本所區向島須崎町二五〇番地佐久間之彦氏五女。孫寅之助氏。大正十五年三月二日生。長男榮一氏の長男。孫美智子。昭和三年一月十五日生。長男榮一氏長女。

【宗教】日蓮宗 【所得税】一三八圓
【營業收益税】一四〇圓 【地租】八圓
【家庭】母きの女。弘化元年十一月十七日生。妻美代女。明治三十年二月二日生。山梨縣人理學士鈴木益良氏妹女子高等師範學校家事科卒業。長女富美子女。明治四十五年四月廿六日生。家政學院在學中。二女愛子女。大正二年十一月廿五日生。跡見高等女學校在學中。長男誠一郎氏。大正四年九月十五日生。高師附屬中學校在學中。二男宏氏。大正七年七月十八日生。三女信子女。大正十年五月廿一日生。三男健氏。大正十二年八月六日生。

石河信次郎氏

明治十六年十一月五日生

【營業】毛織物卸商

【營業所】東京市日本橋區鐵砲町十六番地 電話(浪花三三三)

【住所】同 所

【本籍地】同 所

【略歴】氏は先代盛信氏の二男なり、下谷區仲御徒町に生れ十六歳の時日本橋區通二丁目毛織物卸商矢部商店に入店し十二年間斯業を見習ひ圓滿退店明治四十三年七月日本橋區川瀬石町にて本業を開始したるが爾來直輸入商として進出し今日の資産を築き大正九年現所に移轉すると共に切賣を兼ね斯界に重きをなすに至れり。

【主なる親戚】義兄鈴木益良氏。理學士山梨縣北都留郡大原村。甥岩城市太郎氏。藥種貿易商日本橋區本町。生井伊四三氏。神田區橋本町羅紗卸。

石井英太郎氏

明治十四年十月九日生

【營業】近在織物卸

【營業所】東京市日本橋區高砂町十三番地 電話(浪花三〇四)

【住所】同 所

【本籍地】栃木縣安蘇郡田沼町大字戸奈良千五百三十番地

【略歴】氏は田沼町亡石井平三郎氏長男にして十五歳の時上京日本橋區長谷川町須關商店に奉公し勤続十五年の後圓滿退店し明治四十三年頃岩代町に獨立開業せり而して大正四年十一月二十八日平三郎氏病歿せしに因り家督相續を爲し爾來大過なく今日に至る。

【營業收益税】一七圓

【家庭】母、マ女。萬延元年三月十五日生。妻ハナ女。明治二十二年一月八日生。長男精一氏。明治四十四年一月三十日生。長女敏子女。大正五年八月二十三日生。二男晋次氏。大正十年八月二十日生。

【主なる親戚】栃木縣安蘇郡旗川村小堀源氏。妻女里方。

石井平治氏

明治十七年七月二十九日生

【營業】羅紗既製品卸商

【營業所】東京市神田區豐島町二十七番地 電話(浪花三三四)

【住所】同 所

【本籍地】東京市神田區富松町十四番地

[w]

【略歴】氏は埼玉縣南埼玉郡柏間村大字上柏間石井光五郎氏の二男として生る幼時より生家において父業を授け明治三十

石井勇吉氏

明治二十四年七月十三日生

【營業】毛斯綸現金卸商須田鐵商店支配人

七八年日露戰爭の際補充兵として徴集せられ凱旋に際して勳八等に叙せらる、除隊後上京し神田區柳町一番地河野千代吉商店に入り格勤する事八ヶ年に及び大正二年神田區富松町一四に羅紗既製品小賣商を以つて獨立し爾來好況を迎ふると共に漸次進出し大正八年卸業に轉換せり。

【趣味】論 【宗教】禪宗 【所得税】一五四圓

【營業收益税】一〇六圓

【家庭】妻タケ女。明治二十五年十月生。長男康一氏。大正四年十二月生。小岩尋常高等小學校卒業後目下父業の下見習中。二女さよ女。大正六年四月生。橋本小學校六年生。三女トシ女。大正八年十月生。橋本小學校五年生。二男義明氏。大正十一年六月生。橋本小學校二年生。

【主なる親戚】生家實兄石井保造氏。埼玉縣南埼玉郡柏間村農業。妻女實家神原關太郎氏。埼玉縣南埼玉郡菫浦町肥料荒物卸小賣。實弟石井本吉氏。府下三河島町字屋既製品羅紗小賣。

【營業所又】 東京市日本橋區堀留町二丁目十九番地電話(浪花)三三〇

【住 所】 市外浦ノ川町上中里六十二番地

【本籍地】 埼玉縣比企郡今宿村赤沼四十二番地

【略歴】 氏は埼玉縣比企郡今宿村大字赤沼四十二番地戸主石井林平氏の三男なり今より凡そ廿二年前上京須田商店に入り格勤次第に登用せられて遂に支配人となり大正九年主家が従来の貸賣卸を廢し洋反物専門の現金卸を開始するや店員と協力して店主の施設を補佐し漸次業容を更新して遂に現容を爲すに至れり資性着實内外に信望あり。

【宗教】 禪宗 【所得税】 五三圓

【家庭】 妻登代子 明治廿六年七月十六日生千葉縣人小高勝次郎氏長女。長女政子 大正十年十二月二日生瀧の川尋常高等小學校通學中。長男和夫 大正十三年十一月十七日生。二男康雄 昭和三年三月廿日生。

【主なる親戚】 石井益平氏(埼玉縣)は長兄に當る。小高勝次郎氏(千葉縣)は岳父なり。石井泰助氏(大崎町)實兄。

石井周治郎氏

明治十五年六月三日生

【營業】 吳服及縮緬

【營業所】 東京市日本橋區濱町二丁目十一番地 電話(浪花)七〇〇

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は千葉縣夷隅郡吉町字刈谷二四八石井宇之助氏の長男なり大正十二年伯父石井久松氏家より分家す氏は年少の頃より日本橋區新大阪町織物問屋佐久間嘉七商店に奉公し勤続十五年にして明治四十三年獨立斯業を開始し今日に至る。

【宗教】 淨土宗

【家庭】 妻さい女 明治十九年一月十三日生埼玉縣人徳丸平八氏長女。二男綠次郎氏 大正三年四月十一日生。三男恒三郎氏 大正五年七月廿七日生。二女宮子 大正十二年十一月十三日生。

【主なる親戚】 徳丸平八氏(埼玉縣北足立郡蕨町大字蕨一八三)岳父。石井久松氏(千葉縣夷隅郡吉町刈谷二四八)は氏の生家。

石田喜作氏

明治三十年四月二十日生

【營業】 洋反物卸商

【營業所】 東京市日本橋區新材木町十二番地 電話(浪花)五九

【住 所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣愛知郡愛知川町大字中ノ宿百二十六番地

【略歴】 氏は滋賀縣愛知川町中の宿石田喜太郎氏母米の二男として生る幼時上京日本橋區田所町木綿金巾問屋澤井藤助商店に奉公し格勤十餘年大正十二年十一月現營業所を設置木業を開始し着實奮闘の人として知らる。

【家庭】 妻喜美女 東京府人荒井良太郎氏長女明治三十七年九月七日生。長男禎作氏 昭和二年三月五日生。長女佳子 昭和五年八月五日生。

【主なる親戚】 石田喜造氏滋賀縣愛知川町中宿實兄。荒井良太郎氏 麴町區三番町十九番地松坂屋吳服店主妻女の實家。

石田嘉二郎氏

明治十五年三月七日生

【營業】 帶中形卸

【營業所】 東京市日本橋區濱町一丁目一番地 電話(浪花)三三〇

【住 所】 同 所

【本籍地】 大阪府南區竹屋町二十九番地

【略歴】 氏は通稱順亮と稱す京都市上京區第六組笹屋町四丁目三木嘉祐氏の三男なるが明治廿一年十一月三十日大阪市南區笹屋町廿九番地石田源三郎氏の養子となる夙に上京本所區松阪町二ノ八番地に居住しありたる事もありしが後歸阪し大正六年再び上京日本橋區村松町に於て帶伊達卷の卸を始め追次中形の取次卸をも營み來れり震災後大阪松下竹次郎氏の後援にて區内西線河岸に復興後ち現所に移る資性温和にして周圍の印象佳なる人なり。

【趣味】 書畫並に觀劇 【宗教】 淨土宗

【家庭】 妻やゑ女 明治十一年九月十八日生滋賀縣人田中久藏氏長女。長男亡武一氏大正二年六月十七日生後間もなく死去。長女忠子 大正四年六月十九日生日本橋紅葉川高等女學校出身。二男良吉氏 大正七年一月廿七日生府立第三商業學校生徒。

【主なる親戚】 三木嘉助氏(在京都)實兄。田中岩吉氏滋賀縣下阪本村八二九妻女の兄。

(w)

石田三郎氏

明治三十二年六月二十一日生

【營業】 中形、手拭、印袷天卸
【營業所】 東京市日本橋區芳町十番地 電話(浪花三六七)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 同店は先代與三吉氏の開業にしては先代は東京市日本橋區長谷川町川島才兵衛商店に勤務し明治三十七年頃日本橋區東萬河岸廿二號地に獨立して經營に力め居りしが大正十五年申腦溢血に罹り翌年世田ヶ谷に隱居し以來營業は婿養子三郎氏擔當しありしが昭和六年二月に至り營業を三郎氏名義に改む當主は滋賀縣神崎郡山上村大字山上百七〇戸主河合安藏氏の三男にして幼時上京富澤町篠原商店(現在せず)に奉公し引續き元濱町三惠商店に轉勤中大正十五年七月廿四日石田與三吉氏養女すかの婿養子となり現在に至る。

【趣味】 圍碁 【宗教】 門徒宗
【營業收益税】 三七圓

【家庭】 妻すが子 明治三十八年九月廿五日生は養父石田與三吉氏兄捨次郎四女、長女全子 大正十五年七月三十一日生長男勝紀氏 昭和四年五月七日生、二女幸子 昭和五年一月

三十一日生。養父石田與三吉氏 明治二年一月廿七日生滋賀縣高宮村出身(在世田ヶ谷代田一〇四七)。養女ふみへ 大正四年十二月三十一日生、三重縣西黒部村字松名瀬、織戸伊藏氏二女目下淀橋靜華女學校生徒。

【主なる親戚】 石田捨次郎氏 滋賀縣彦根町(橋向)養父の實兄にして妻の父、北澤寅之助氏(信州上田町)養母亡たつ實家。河合安藏氏(滋賀縣山上村)三郎氏實家。

石田千代女

明治十八年一月四日生

【營業名】 吳服太物小賣商近江吳服店名義人
【營業所】 東京市淺草區馬道七丁目一番地 電話(淺草四三六)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 同店は先代石田岩藏氏の開業なり先代は埼玉縣より出で年少の頃京橋區木挽町近江屋梅原吳服店に奉公し明治三十七年回滿退店現所に獨立年次業礎を築けり然るに大正四年五月十五日先代病歿せるより三男龜太郎氏家督を相續せるも尙幼少なりしより母千代女親權者となり併せて營業を繼續し來れるものなり。

【營業收益税】 五六圓

【家庭】 戸主三男龜太郎氏 明治四十一年四月七日生。長女とく子 明治四十二年六月三日生。三女豐子 大正三年十一月十一日生。

【主なる親戚】 小澤忠三郎氏埼玉縣新郷村字新郷一一九母の生家。

石橋喜美雄氏

明治四十五年一月二日生

【營業】 吳服太物小賣商尾張屋吳服店主
【營業所】 東京市本郷區本郷四丁目三番地 電話(小石川三三三)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 同店は先々代喜兵衛氏が明治廿四年創業したるものにして先代武雄氏は長野縣人年少より市ヶ谷あまさげ屋吳服店に奉公せしが明治四十三年喜兵衛氏の長女喜代の婿養子となり先々代歿後業務を繼續し來れり大正十二年五月小石川區柳町二番地に支店を設置し經營看るべきものありしが大正十五年一月廿七日病歿したるより當主家督を相續したるも尙幼年なるより母喜代女親權者となり業務を繼承し來れるものなり

石木貞一氏

明治十一年十二月二日生

【營業】 雜吳服卸
【營業所】 東京市日本橋區新乘物町四番地 電話(浪花三二七)
【住所】 同 所
【本籍地】 岐阜縣武儀郡關町乙三、五四一番地

【略歴】 氏は岐阜縣武儀郡關町乙三五四一番地石木豊治郎氏の長男なり年少の頃より桐生市の織物買繼商丸三商店に奉公したるが主家は其後廢業したるより明治三十九年頃上京して遠縁に當る篠金商店の店務を補佐し居たことありたるが、後間もなく日本橋區矢の倉町三番地に本業を開始し大正元年新材木町に轉じ、遂次仲展して現所に再轉今日に至りたるものなり。

【宗教】 門徒宗 【所得税】 一五圓

(w)

【營業收益稅】三四圓

【家庭】母の女文久二年四月廿日生は岐阜縣人塚原團次郎二女。妻ノエ女。栃木縣人大川源太郎氏三女明治十五年十一月廿五日生。長男明氏。明治三十六年六月十三日生(業務擔當)。四男三郎氏。大正四年八月十七日生中央商業學校生。五男行夫氏。大正八年四月廿七日生久松小學校生。四女光子。大正十四年二月廿日生久松小學校生。弟繁氏。明治廿四年十一月八日生武儀郡吉田村三五三九に分家。弟泉氏。明治廿九年九月四日生吉田村に分家。長女豐子明治三十八年十一月十日生吉田村石木光雄氏に嫁す。妹しづへ明治十九年九月十日生深川區東大工町六一吉田直次郎氏に嫁す。二男豐氏。明治四十一年八月十八日生名古屋市人羽山良次郎氏と養子縁組。妹さい女。明治十四年一月四日生羽山良次郎氏に嫁す。二女たつ子。明治四十一年十月廿六日生名古屋市人硝子商加藤徳次郎氏に嫁す。三男義貞幼歿。

【主なる親戚】塚原團次郎氏岐阜縣加茂郡富岡村(母の生家)大川源太郎氏(栃木縣富田村)妻女の里。石木光雄氏岐阜縣吉田村(長女豐子姻嫁先)。吉田兼次郎氏(深川區東大工町)妹しづへ姻嫁先。

石黒邦末氏

明治十八年七月十日生

【營業又】

銘仙生絹卸株式会社吉野藤商店事務取締役

【は職名】

東京市日本橋區長谷川町七番地 電話(浪花四七)

【營業所又】

東京市本郷區駒込林町九十三番地

【は勤務先】

新潟縣刈羽郡柏崎町大字枇杷島千八百九十四番地

【住 所】

東京市本郷區駒込林町九十三番地

【本籍地】

新潟縣刈羽郡柏崎町大字枇杷島千八百九十四番地

【略歴】氏は亡石黒五郎右衛門氏の長男にして大正元年八月七日父死亡に因り家督相続をなす明治三十一年十三歳の時吉野藤商店に入店したるが當時は同店創業後三年を経たる頃なりしかば主家の爲めに奮闘克く努め同東京支店開設と同時に東京に轉じ爾來同支店の業務進展に多大の貢献を爲す曩き同店が株式會社となるや専務取締役に就任す同東京支店が今次十數萬圓を投じたる本建築の新店舗も氏の運用に俟つ事多し資性温厚情誼に富みたる實際家なり、織物組合より三十年勤績として推賞を受けたる事あり。

【趣味】

讀書 【宗教】 門徒 【所得稅】 一七八圓

【家庭】

弟吉郎氏。明治廿一年正月廿八日生郷里にあり農業

弟喜知治氏。明治廿八年九月二日生市内日本橋區新乘物町株式會社松下商店取締役。弟妻チサ女。明治廿五年一月一日生吉郎氏妻。妻ヒロ女。明治廿三年十二月十三日生。姪千代女

大正三年一月廿三日生弟吉郎氏長女柏崎に在り。姪ミチ女。大正八年七月廿二日生弟吉郎氏二女柏崎に在り。弟妻シク女。明治卅六年三月二日生弟喜知治氏妻。長男邦明氏。大正十三年九月五日生本郷千駄木小學校在學。甥吉氏。大正十四年三月卅日生弟喜知治氏長男。長女貴恵子女。昭和三年一月六日生。甥泰光氏。昭和五年二月五日生弟喜知治氏二男。【主なる親戚】石黒三郎氏。明治廿五年七月廿五日生實弟分家。新潟縣柏崎町木材商。遠藤平吉氏。新潟縣刈羽郡北鯖石村妻女里方。小林久八氏。新潟縣刈羽郡枇杷島村弟吉郎氏妻女里方。山田壽平氏。新潟縣刈羽郡西中通村弟喜知治氏妻女里方。

石島參郎氏

明治二十八年一月二十七日生

【營業又】

吳服小賣商石島吳服店店主

【は職名】

東京市日本橋區蠣殼町二丁目十四 電話(茅場町三三)

【營業所又】

東京市日本橋區蠣殼町二丁目十四 電話(茅場町三三)

【は勤務先】

東京市日本橋區蠣殼町二丁目十四 電話(茅場町三三)

【住 所】

東京市日本橋區蠣殼町二丁目十四 電話(茅場町三三)

【本籍地】

東京市日本橋區蠣殼町二丁目十四 電話(茅場町三三)

【略歴】氏は亡石島福次郎氏の三男として生れ大正十一年六月分家して一家を成す夙に年少より日本橋區新材木町織物問

屋松下合名會社に奉公し恪勤多年の後大正九年圓滿退店して同區小網仲町三に獨立本業を開始し熱心經營の結果漸次伸展して大いに業務を擴張し大正十二年震災後現所に移り無難に今日に至る、氏は機敏にして商才あり現時店員三名を使用し活潑なる業勢を示し堅實なる經營振と相俟つて着々漸進業礎をなしつゝあり、性淡直にして誠意に富み一般の印象良しく業界有力者に數へらる。

【趣味】

劍道、舞踊 【宗教】 禪宗 【所得稅】 一〇圓

【營業收益稅】

三四圓

【家庭】

母ユク女。慶應二年十二月十五日生。妻むめ女。明治卅五年二月四日生。二男千人男氏。大正十五年十二月十五日生。三男清記氏。昭和三年十一月十八日生。四男友勝氏。昭和五年八月廿八日生。

【主なる親戚】兄石島實氏。兵庫縣尼ヶ崎市大物町大阪瓦斯社員。兄石島悌次郎氏。本郷區駒込動坂町一〇四國民新聞社員。妻兄中西退藏氏。府下淀橋町柏木一四〇東京海上社員。從兄上田直七氏。市内淺草區馬道五ノ一一吳服小賣商。從兄上田惣七郎氏。市内淺草區馬道五ノ三吳服小賣商。妹婿石川謙氏。日本橋區矢ノ倉町四貿易商。弟石島六郎氏。大阪府岸和田市別所町會社員。

[w]

石崎常吉氏

明治十二年九月二十日生

【營業】 綿布卸商

【營業所】 東京市日本橋區新大坂町四番地 電話(浪花011)

【住 所】 同 所

【本籍地】 千葉縣安房郡鴨川町貝渚三千四番地

【略歴】 氏は千葉縣安房郡鴨川町貝渚三〇〇四亡石崎萬吉同きん女の長男昭和三年四月七日前戸主萬吉氏死亡により家督を相続す、幼時上京日本橋區新大坂町宮田商店(現在なし)に奉公し後ち幹部店員たりしが主家廢業と共に區内久松町に獨立し其後轉々として現所に移る。

【趣味】 浪花節 【宗教】 淨土宗

【營業收益稅】 五六圓

【家庭】 妻瀧子 明治二十四年三月十五日生佐伯千太郎氏三女。長女英子 大正八年四月二十九日生久松小學校生徒、弟幸三郎 明治十七年十一月十一日生。
【主なる親戚】 佐伯千太郎氏 (淺草區田町一丁目四番地) 岳父。

石谷二一氏

明治十五年三月十二日生

【營業】 吳服太物洋反物小賣こがね屋吳服店店主

【營業所】 東京市四谷區鹽町二丁目二十五番地 電話(四谷四四五)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は岐阜縣本巢郡鷺田村大字呂久七十九番地戸主平民石谷利藏氏の二男なるが大正元年十一月廿日現所に分家す氏は夙に京都市油小路野口安左衛門商店に奉公し後ち同店の東京市日本橋區長谷川町支店詰となり勤務中明治四十二年同支店閉鎖の際退店現所に獨立開業するに至れるものなり資性味堅實にして東京織物商工信用組合信用評定委員たり。

【所得稅】 四四圓

【營業收益稅】 一二六圓 【地租】 一七五圓

【家庭】 妻すて女 滋賀縣阪田郡入江村大字米原五百番亡竹林庄次郎二女明治十七年七月三日生。長女まさ 明治四十二年七月八日生。二女ふさ 明治四十四年八月二十二日生。四女美代 大正六年十一月二十日生。
【主なる親戚】 竹林元次郎氏 (滋賀縣阪田郡入江村字米原) 妻女の實兄。

石塚基氏

明治二十八年十二月二十七日生

【營業】 綿布製造販賣卸合資會社石塚善商店代表社員

【營業所】 東京市日本橋區通旅籠町十九番地 電話(浪花七〇〇)

【住 所】 同 所

【本籍地】 兵庫縣多可郡松井庄村山野部六十三番地

【略歴】 氏は兵庫縣多可郡松井庄村石塚善兵衛氏の長男、同縣柏原中學卒業後大正三年市内神田區美倉町に於て銅鐵工具商を営み居りしが大正九年病の爲廢業相州片瀨にて靜養後大正十年實父善兵衛氏が郷里に於て綿布製造業を営み居り東京出張所を設けるや東京出張所を擔當し東京一流綿布商に賣込み餘力を以て東北地方にも及び相當收益を擧げ居りしが震災に依り深甚なる損害を受けしも再起し目下復興に努力しつつあるものなり。

【趣味】 信仰、讀書 【宗教】 眞言宗

【家庭】 妻キチ女 明治三十一年十二月十七日生、群馬縣邑樂郡小泉町大字下小泉千五百一番地生糸賣買商淺見儀三郎氏の八女にして佐野高女卒業す生家は儀三郎氏死去し長兄彌三氏同地に於て賣藥商を営み居り。二女政子女 大正十一年十月十八日生常盤小學在學。長男健氏 大正十三年十月十五

[w]

日生常盤幼稚園入學。

【主なる親戚】 安田宗吉氏 兵庫縣氷上郡柏原町資産家基氏伯父。石塚與三郎氏 福岡市住友生命保險會社福岡支社長氏實弟。

岩崎次三郎氏

明治十四年一月七日生

【營業】 毛斯輪綿布染糸綿糸卸、株式會社岩崎商店社長、株式會社近與商店社長

【營業所】 東京市日本橋區大傳馬町 電話(浪花 六九九)

【住 所】 東京市日本橋區大傳馬町 電話(浪花 五九八)

【本籍地】 東京市麻布區本村町百四十四番地 電話(高輪七七五)

【略歴】 氏は埼玉縣北足立郡原市町岩崎次郎吉氏の長男に生れ明治十五年次郎吉氏と共に上京し父は神田區佐久間町に斯業を開始し漸進して若干の蓄財を得しかば明治三十九年現所を買收移轉せり、明治四十年一月現妻女を迎へ同四十二年三月父病歿せる爲め家督相続す爾來實弟新吉氏と協力遺業を繼承し大正八年五月資本金二十萬圓の合名會社を設立し更に昭和五年三月現株式會社(資本金五十萬圓全額拂込)に組織を變更し其代表取締役として今日に至る。

【趣味】 謠曲 【宗教】 眞宗 【所得稅】 一八、〇六七圓

〔w〕

【家庭】 母みや女 安政二年十一月二十一日生。妻はな女 明治十六年九月三十日生。長男徳太郎氏 明治四十二年二月二十日生。二女時女 明治四十三年五月二十八日生。三女久子女 大正元年十一月二十日生。四女國子女 大正三年一月七日生。五女アキ女 大正七年九月十五日生。六女ヒロ女 大正十二年二月一日生。

【主なる親戚】 市内芝區高輪臺町二岩崎新吉氏 實弟。埼玉縣北足立郡志木町二〇七池内山太郎氏 妻女里方。本所區菊川町一丁目一八若林利徳氏 長女千代女の夫。

岩崎新吉氏

明治十八年六月九日生

【營業又職名】 毛斯綸綿布染糸綿糸卸株式會社岩崎商店專務取締役、株式會社近與商店專務取締役

【營業所又は勤務先】 東京市日本橋區大傳馬町二丁目九番地電話(浪花)六五八

【住所】 東京市芝區高輪臺町二番地 電話(高輪)三一九

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は埼玉縣人亡岩崎次郎吉氏三男にして昭和三年十月二十三日分家す、明治四十二年以降亡父の遺業を守り、實兄次三郎氏と共に協心家業の隆昌に努力する處あり、大正八年五月資本金二十萬圓の合名組織とするや氏は其の出資社員

となり、昭和五年三月現株式會社創立さるゝに及び專務取締役に就任し今日に至る。

【趣味】 謠曲 【宗教】 眞宗 【所得税】 三、三三六圓

【家庭】 妻てる女 明治二十三年十月二十日生、東京府人矢野龜太郎氏二女、明治四十五年十一月十一日婚姻入籍。二男秀吉氏 大正三年二月二日生。三男治吉氏 大正五年一月十九日生。四男康吉氏 大正六年九月二十九日生。五男源吉氏 大正九年七月八日生。六男幸吉氏 大正十一年三月二十三日生。七男信吉氏 大正十二年七月十日生。

【主なる親戚】 實兄岩崎次三郎氏 麻布區本村町一四四。義父矢野龜太郎氏 芝區三田豊岡町五二妻女實家。池内山太郎氏 埼玉縣北足立郡志木町二〇七義姉はな女實家。

岩佐信三氏

明治三十一年三月十三日生

【營業】 綿布卸

【營業所】 東京市日本橋區久松町十番地 電話(浪花)六一四

【住所】 同 所

【本籍地】 東京市麻布區三軒家十五番地

【略歴】 氏は岩佐貞次郎氏の三男にして十六歳の頃より日本

橋區久松町綿布卸奥田藤八商店に奉公し恪勤十餘年に及び主家の信任厚かりしが大正十四年圓滿退店して獨立開業せり。當初は區内富澤町に開業し更に昭和四年現所に移轉し來たり實弟五郎氏も在店して氏を輔けつゝあり。

【趣味】 觀劇 【宗教】 眞宗

【家庭】 妻女アサ女 明治四十一年一月二十日生秋田市本町五丁目長谷川定吉氏長女聖靈高等女學校卒業。二男良定氏 昭和二年九月五日生。長女容子女 昭和五年十一月十七日生實弟五郎氏 明治三十六年六月二十三日生二十一歳迄區内富澤町小川源兵衛商店に奉公せり。

【主なる親戚】 前記長谷川定吉氏 吳服商。

岩佐捨藏氏

元治元年四月八日生

【營業】 生地綿布卸商

【營業所】 東京市日本橋區堺町四番地 電話(浪花)三九七

【住所】 市外瀧ノ川町字瀧ノ川四百三十九番地

【本籍地】 東京市日本橋區堺町四番地

〔w〕

【略歴】 氏は滋賀縣犬上郡彦根町字西榮岩佐吉藏氏の二男として生る明治九年東京市日本橋區堀留町木綿金巾卸商前川太

郎兵衛商店に奉公し恪勤の聞えありたるが明治三十一年に至り圓滿退店と共に現所に獨立し爾來熱心努力漸進的に業礎を築きたるものなり、而して氏は漸次老境に入りたれば明治四十二年來區内杉村甚兵衛商店に約十ヶ年勤務し居りたる長男保太郎氏がが大正六年無事歸店するに及び店務一切を委ね現時は唯其の監督をなし居るのみなり保太郎氏は温厚なる奮闘家として知らる。

【宗教】 淨土宗 【所得税】 一〇五圓

【營業收益税】 九八圓

【家庭】 妻ツミ女 明治十年二月十七日生新潟縣黒川村澤田忠治郎氏姉。長男保太郎氏 明治二十七年八月三日生。保太郎氏妻ちよ女 明治三十二年十二月九日生埼玉縣行田町田代惣太郎氏二女。二男芳三氏 明治三十二年四月二十六日生京都聯合紙器株式會社に勤務中。保太郎氏長女幸子 大正九年四月十三日生瀧の川第三小學校通學中。

【主なる親戚】 澤田忠治郎氏(妻女の實家)新潟縣黒川村字黒川八〇。田代惣太郎氏行田町一三五保太郎氏妻女の里なり。

岩井勝次郎氏

文久三年四月十一日生

【職業又】 株式会社岩井商店社長、中央糸紡績株式会社社長

【は職名】 東京支店丸ノ内有樂館ビル内

【は勤務先】 本店大阪市東區北濱四丁目四十三番地(電話自四三三)

【住 所】 兵庫縣御影町郡家堂ノ裏百六十五番地 電話(御影四)

【本籍地】 兵庫縣武庫郡御影町郡家堂ノ裏百六十五番地

【略歴】 氏は京都府南桑田郡旭村平民亡蔭山源右衛門氏の二男にして明治廿二年二月二十二日岩井文平氏の養子となり同年十月三十日家督を相続す夙に直輸入業を営み傍ら莫大小セロロイ下人造絹糸・亞鉛鑛・製紙等各種事業に精勵し大正五年勅定綬綬褒章を賜はる正六位勳四等着實熱心にして實業界の重鎮として衆望あり主なる關係事業次の如し。山口銀行取締役、大日本海上火災再保險取締役、日本曹達工業取締役、合資社岩井井商店代表社員、白金莫大小製造所(大株主)日本橋梁(大株主)大阪鐵板製造所(大株主)關西ベイント(大株主)徳山鐵板(大株主)尙ほ大阪商工會議所顧問たり。

【所得稅】 一三、三二六圓

【家庭】 妻エイ女 明治四年四月五日生れは大阪市東區南久太郎町四丁目岩井文助氏の妹なるも實父文平氏明治廿二年四

月四月引取り長女となし養子たる當主勝次郎と結婚。二女ノミ子女 明治廿五年三月廿日生岩井文助氏と養子縁組。長男

亡英一郎氏 明治廿七年九月廿日生は昭和五年三月廿八日

御影町に於て死亡。四男雄二郎氏 明治三十五年六月三十日

生、武庫郡精通村字芦屋字石ノ口八十九番地に分家。三女博

子 明治四十一年八月廿四日生、三重縣人東畑謙三氏と結婚

四女英子 大正貳年一月貳日生。五男松三氏 大正五年十二

月十七日生。婦茂 明治卅二年十一月九日生は大正十四年四

月一日靜岡縣興津町に於て死亡。孫錢太郎氏 大正八年三月

三十一日生は亡英一郎氏長男大正九年五月三日死亡。孫英夫

氏 大正十年五月二十日生、亡英一郎氏二男。孫泰子 大正

十二年五月二日生。婦俊子 明治卅三年十一月二十三日生長

男亡英一郎氏未亡人、孫雅子 昭和三年十一月十一日生。婦

キミ 四男雄二郎氏妻明治四十一年五月二十一日生は昭和四

年七月十九日夫雄二郎氏と分家。

【主なる親戚】 岩井豊治氏 妻女の里大阪市東區南久太郎町

四ノ二九。東畑謙三氏 三女博子の縁嫁先。上松泰造氏 岐

阜縣鏡島村鏡島英一郎氏亡妻茂女の里。中村純九郎氏 佐賀

市神野町六二長男英一郎氏未亡人俊子の生家。生田耕一氏 大

阪府三島郡吹田町七六二番地四男雄二郎氏妻キミ子の生家

岩井勇次郎氏

慶應元年八月五日生

【職業又】 帽子裏地リボン子服地卸合資社岩井井商店代表社員

【は職名】 東京市日本橋區米澤町一丁目十一番地電話(浪花 四〇)

【は勤務先】 同 所

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は京都市下京區三組鯉山町寺田仁兵衛氏の二男なり夙に同市上京區富小路通二條上る鍛冶屋町三百八十四番地岩井キヌ女の養子となり明治十八年三月十四日家督を相続すもと寺田商店東京支店名義なりしが明治四十三年個人經營に改む大正十三年二月十八日資本金三萬圓の合資會社岩井井商店となし氏は其無限代表社員となり(出資金五千圓)實務は店員(無限三千五百圓出資)安藤友三郎氏等をして擔任せしめ氏は其大體を監督して今日に至る。

【所得稅】 一〇九圓

【家庭】 妻ヌイ 明治三年四月二日生京都府人今村源左衛門氏二女。五女フサ子 明治三十三年七月四日生は大正十四年四月二十七日村松町川島忠三郎氏に嫁す。二男直二氏 明治卅八年五月三十一日生(岩井井商店有限社員)。六女敏子 明治四十二年九月二十五日生。七女富子 明治四十五年一月十一

日生。八女秀子大正四年四月十一日生。

【主なる親戚】 今村源左衛門氏(京都市)妻女の生家。川島忠

三郎氏(日本橋區村松町四十三番地)五女フサ姻嫁先。

岩井信重氏

明治三十一年十一月一日生

【職業又】 吳服太物小賣綿善吳服店主

【は職名】 東京府荏原郡入新井町新井宿千二百 電話(大森 三〇)

【は勤務先】 八十七番地

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は東京市芝區濱松町四ノ四戸主栗本駒治郎氏の二男なり大正十一年十一月二十七日市外新井宿一二八七線善吳服店岩井善太郎氏の二女俊子の婿養子となり昭和三年一月四日前戸主善太郎氏の死後家督を相続し併せて家業を繼承す營業振りは堅實にして土地の老舗として知らる。

【所得稅】 二〇一圓

【營業收益稅】 九九圓

【家庭】 養母はま女 明治元年四月一日生同町岩井平次郎氏の二女にして前戸主善太郎氏未亡人。妻俊子 明治三十五年十一月二十五日生岩井善太郎氏長女。長男孝吉氏 大正十二

年三月四日生。長女貞子。大正十四年十二月二十九日生。妹壽枝子。明治四十三年九月二十日生。は淀橋町角管清水伊兵衛氏五女にして岩井善太郎氏の養女となるもの。二女理子。昭和三年十月十二日生。

【主なる親戚】 岩井平次郎氏(同町)母の里。淀橋町大字角管三番地清水伊兵衛氏。義妹壽枝子の生家。

岩淵道衛氏

明治三十年十二月二十日生

【營業】 羅紗既製品卸

【營業所】 東京市神田區豐島町二十六番地 電話(浪花五七)

【住所】 同所

【本籍地】 長野縣東筑摩郡中川村八千八百八十八番地

【略歴】 氏は岩淵金次郎氏の三男にして郷里高等小學を卒へ直に上京して當時神田區柳原木郷鐵之助商店に入店し勤続十七年に及ぶ。その間主家の信認厚くして地方部主任、生地販賣部主任等を勤む。又東京洋服同業組合より勤続十ヶ年の表彰を受けたることあり。昭和二年圓滿退店して獨立開業し爾來順調に推移して今日に及びたるものなり。

【趣味】 乗馬 【宗教】 日蓮宗

【營業收益税】 二八圓

【家庭】 妻房子女。明治三十二年四月二十二日生。東京府三宅島伊豆村栗原鐘太郎氏妹。長男直行氏。昭和二年八月十八日生。

【主なる親戚】 前記栗原氏。長野縣明科町關房吉氏(雜貨商)長野縣東筑摩郡中川村岩淵文太郎氏(農業)。

岩下良吉氏

明治四年四月二十三日生

【營業又】 吳服太物小賣いち喜屋店主

【營業所又】 東京市日本橋區蠟燭町二丁目一三番 電話(浪花三三六)

【住所】 同所

【本籍地】 栃木縣足利市通一丁目二千六百七十三番地

【略歴】 氏は栃木縣足利市大字足利に生る。岩下藤吉氏同ナヲの三男なり。明治三十三年九月二十四日山下モト女の養子となる。是より先明治三十五年上京して日本橋區富澤町吳服卸商堀越常七商店(現在なし)に入り勤務十二年圓滿退店して現所に獨立營業を開始し經營今日に至るものなり。

【所得税】 二五五圓 【營業收益税】 一四〇圓

【家庭】 妻ミチ女。明治十二年八月二十日生。岩下勝次郎氏長

女。長男順太郎氏。明治三十四年三月十五日生。長女喜代女。明治四十三年三月二十四日生。二男正次郎。大正元年十二月十八日生。

【主なる親戚】 岩下卯太郎氏足利市足利町足利六十三番地。

今井雄七氏

明治十一年四月三十日生

【營業又】 織物問屋株式會社藤武良商店社長

【營業所又】 百貨店株式會社今井吳服店社長

【住所】 東京市日本橋區村松町四番地 電話(浪花三三〇) 三三二〇

【本籍地】 新潟縣南蒲原郡大字三條一ノ町三百十四番地

【略歴】 氏は北海道札幌市北一條西一丁目一番地今井武七氏の長男として生る。夙に慶應義塾を卒へ亞米利加に涉りシカゴ大學に學ぶ。後同地に於て店舗を開き營業を開始するに至りしが偶々宗家今井藤七氏の養子となるに及び歸朝し札幌丸三藤武良屋吳服店の支配人となり具に經營の實體を研究し後ち宗家一族の事業たる丸井吳服店の營業に携さはり大正十四年十月二十四日先代藤七氏の歿後株式會社今井吳服店同藤武良商店同今井醸造部等の取締役社長となり今井系事業の統轄をなす。

同家先代藤七氏は越後三條より出で明治五年札幌に吳服店を開始し爾來努力怠らず札幌本店の外小樽、函館、旭川、室蘭等に百貨店を經營し東京、京都、大阪に仕入店を設け遂に今日の如き盛大の業礎をなす。此間同郷の子弟を店員として訓育し獨立開業せしめ今日成功し居るもの、實に數ふるに遑あらず。大正十四年同店出身者相寄り丸井報德會の名により札幌に紀念館を建設し先代の銅像を建てりあり誠に立志傳中の一人なりと共に業界奉仕の功大なるものありと。

【趣味】 謡曲 【宗教】 禪宗 【所得税】 一四、一〇四圓

【家庭】 養母ステ女。故今井藤七氏未亡人安政二年十月十六日生。妻ソナ女。新潟縣人松川藤陰同リツ五女。明治二十三年五月二十日生。長男道雄氏。大正四年一月二十四日生。高千穂中學生。二男義雄氏。大正七年三月三十日生。東京府立第五中學生。三男信雄氏。大正十一年一月六日生。帝國小學校生。四男秀雄氏。昭和二年三月十七日生。

【主なる親戚】 森山汎愛氏(新潟縣會議員)姻戚。松川第八郎氏新潟縣地主。今井普七氏同系重役實弟。今井清七氏同。

【主なる出身者】 藤屋モスリン吳服店直江新太郎(東京)。竹屋毛斯綸店竹山文吉(東京)。伊藤毛斯綸店伊藤元治(東京)。末廣屋モスリン店山澤悅彌(東京)。井筒屋毛斯綸店鈴木梅太

(1)

郎(東京)。毛斯綸店今井忠治(東京)。モスリン店丸山愛次郎(東京)。ゑびすや五十嵐忠藏(東京)。巴屋毛斯綸店竹中捨丸(東京)。藤屋毛斯綸店野水寅資(大森)。巴屋毛斯綸店竹中慧音(東京)。よしやモスリン店植木四郎(淀橋)。菊屋モスリン店蝶間林常藏(池袋)。大黒屋モスリン店寺木一郎(惠比壽)。竹屋モスリン店海藤監藏(武藏小山)。文献堂書籍店植野録夫。寶屋モスリン店永尾庄三郎(四ツ谷)。同永尾貞一(蒲田)。靴下製造卸今井兼吉(東京)。花屋モスリン山田新治(川崎)。藤丸モスリン北村藤作(中野)。内藤好音堂音機(東京)。塗料商玉木子三郎(札幌)。雜貨商白井六三郎(函館)。同大西昇(函館)。金物商久保平次(札幌)。食料品商諸橋熊吉(札幌)。吳服商古田純造(札幌)。木材商皆川愛次郎氏(札幌)。質業高島榮七(札幌)。金澤源太郎(札幌)。越後屋吳服店小柴榮一(小樽)。吳服商川崎文作(小樽)。橋屋洋品店磯部省三(小樽)金物商山田福治(函館)。酒造業大谷岩太郎(旭川)。雜貨商佐野幸太郎(旭川)。官吏塚田富次(旭川)。官吏大橋輝一(旭川)文具屋青木仙五郎(旭川)。金物商大矢馨三(室蘭)。雜貨商荒木貞次(室蘭)。吳服雜貨伊藤元治(野付牛)。同兩角榮治(釧路)吳服金物山田慎造(瀧の川)。吳服商田村文平(瀧の川)。同稻越健太郎(美深)。同丸山源二(栗山)。同今井忠治(岩内)。同

星野駒治(伊達)。同兩角嘉平(夕張)同居申榮治(網走)。同大谷三郎(帶廣)。同佐藤三四八(池田)。同鈴木哲治(早來)。同今井丈一郎(名寄)。同關崎高次郎同神定佐吉(砂川)。佐藤廣松(富良野)。同兩角保次(角田)。同小熊藤松(根室)。同栗林榮藏(十津川)。鶴屋吳服店宗村敬三郎(新潟)。書籍商小島祐治(新潟)。材木商藤井政治(新潟)。吳服商石村勇造(三條町)。

今井榮吉氏

明治十九年八月二十五日生

【營業】 羅紗既製品卸

【營業所】 東京市神田區富松町十四番地 電話(浪花三七)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は新潟縣長岡市生津一七五番地戸主今井重吉氏二男にして明治三十九年九月二十六日親戚に當れる今井順吉氏の養子となる、明治三十年十二歳にして上京し麴町區麴町一丁目古洋服卸商仁木傳吉商店に入店二十四歳迄約十二年間永勤、明治四十二年八月毛織物古着卸商として獨立、大正十年頃より漸次新物を加へ同十三年より全然現業者たるに至れり既往關東震災には相當打撃を受けたるも直後十月となるや復

興し現在十一名の店員を擁して年商約四十萬圓を遂行す家庭最も圓滿にして義弟星野梅吉氏を支配人とし致々業務の發展を劃しつゝあり、濃厚篤實なる紳士なり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 眞宗 【所得税】 四八五圓

【營業收益税】 二六六圓

【家庭】 妻女フミ女 新潟縣南魚沼郡鹽澤町大字鹽澤二八七番戸 主星野鷺藏氏長女、明治二十七年三月十五日出生、同四十二年七月十三日結婚特に生花に興味深し、長男榮一氏 明治四十三年十二月三日生、昭和三年三月中央商業學校卒業し爾來家業に従事す。長女愛子 大正三年十二月十五日生、大妻高女第四學年在學、女子大入學準備中。二女榮美子女 大正九年六月十七日生、東京市立橋本小學四年在學。義弟星野梅吉氏 明治三十二年二月一日生新潟縣南魚沼郡鹽澤町戸主星野鷺藏氏三男、當店勤続十八年。義妹星野まさ子女 梅吉氏妻女、明治三十八年三月六日生、新潟縣南魚沼郡鹽澤町戸主林熊次郎氏長女。

【主なる親戚】 實弟今井重吉氏 新潟縣長岡市文治町、割烹業。實兄今井重次郎氏 新潟縣長岡市文治町、割烹業。實弟今井重平氏 神田區南神保町二三番地、洋服小賣商、カイン洋服店主。義兄今井雄次郎氏 新潟縣長岡市文治町、割烹

業。義弟木村眞平氏 新潟縣村松町、旅館業

【主なる出身者】 洋服小賣業宮島忠吉氏 新潟縣南魚沼郡鹽澤町、洋服小賣業井口作吉氏 神田區和泉町、菊屋洋服店。

今井清七氏

明治十七年十一月二十二日生

【營業又】 織物問屋株式會社藤武良商店常務取締役

【職業名】 東京市日本橋區村松町四番地 電話(浪花三五九)

【營業所又】 東京府豊多摩郡落合町大字下落合四 電話(大塚三〇五)

【住 所】 東京府豊多摩郡落合町大字下落合四 電話(大塚三〇五)

【本籍地】 東京府豊多摩郡落合町大字下落合四百十五番地

【略歴】 氏は北海道に於て百貨店を經營しある今井家の一族今井武七氏の三男なるが兄雄七氏が本家今井藤七氏の養子となれるより昭和四年八月八日父武七氏の歿後生家を相続す夙に長崎高商を卒業し後第一銀行本店調査課に勤務し後ち貸付係等をなし勤務五六年の久敷に及びたるが退店して自家の營業に携り謙讓篤實の資性克く店員の信頼を得居り藤武良商店取締役たる外百貨店株式會社今井商店及今井釀造會社等の取締役をなしあり。

【趣味】 運動 【宗教】 禪宗 【所得税】 四二九三圓

(1)

〔w〕

【營業收益税】 二〇三圓

【家庭】 妻タイ子 明治二十五年二月二十一日生新潟縣北蒲原郡水原町山口一七七番師尾市太郎氏長女。長男和七氏 大正三年七月五日生成城中學校生。長女きん女 大正五年七月二十九日生、東洋女學校生。二男多七氏 大正七年三月二十七日生は成城中學校。四男弘七氏 大正十二年三月十八日生帝國小學校。二女たま女 大正十五年一月二十五日生。
【主なる親戚】 師尾市太郎氏岳父在(杉並町)。今井雄七氏實兄(在東京市外高田町)。今井音七氏實弟(在本郷)。
【主なる出身者】 今井雄七氏の項参照。

今井音七氏

明治二十一年十月二十日生

【營業又】 織物卸商株式會社藤武良商店事務取締役
【職名】 同上
【營業所又】 東京市日本橋區村松町四番地 電話(浪花三〇五)
【勤務先】 同上
【住 所】 東京市本郷區龍岡町十五番地 電話(小石川七五)
【本籍地】 函館市青柳町

【略歴】 氏は札幌市北一條東三丁目三番地戸主今井武七氏の五男として生る大正五年三月六日伯父に當る函館市青柳町七二今井良七氏の養子となる夙に札幌中學を卒業し一年志願兵

となり除隊後上京店舗の取引先なる日本橋區田所町織物問屋丸掛市田商店に六七年勤務し後自家の店務に携る目下藤武良商店事務取締役の外今井宗家の姉妹事業なる百貨店株式會社今井商店及今井醸造株式會社の取締役をなし温厚の質克く衆望あり。

【趣味】 讀書 【宗教】 曹洞宗

【家庭】 養母コマ女 明治二十九年三月五日生故今井良七氏未亡人。妻美代女 明治二十九年四月二十二日生今井良七氏コマ五女。長女昌子 大正六年二月二十一日生本郷富士前小學校通學中。二女芳子 大正十年一月九日生同小學校通學中。長男良雄氏 大正十一年三月十一日生同上。三女智子女 大正十三年九月二日生。

【主なる親戚】 今井雄七氏實兄(在高田町)。今井清七氏實兄(在落合町)。今井四郎氏義兄(四谷花屋モスリン店主)。

今井九左衛門氏

明治十二年八月一日生

【營業】 中形裏地加工卸
【營業所】 東京市日本橋區富澤町七番地 電話(浪花二〇九)

今澤喜代吉氏

明治九年十月二十五日生

【營業】 羅紗既製品卸商
【營業所】 東京市神田區豐島町二十七番地 電話(浪花四三二)
【住 所】 同
【本籍地】 同

【略歴】 氏は山梨縣中巨摩郡南湖村今澤榮兵衛氏の二男にして年若くして上京し親戚に當る神田區柳原河岸羅紗既製品卸商宮田留吉商店に奉公し恪勤する事十三年に及びたり。而して二十五歳の折圓満退店の上市内淺草區左衛門町に僅少なる資金にて羅紗精取を創始せり爾來地味堅實且つ熱心なる奮闘を以つて漸次業礎を基き大正八年現業に轉じて以來の進出著しきものあり今や店務従業員十名を役使し確固たる地盤と豊富なる經驗とに依りて業界に重きをなすに至れり。

【趣味】 尺八 【宗教】 禪宗 【所得税】 七一七圓

【家庭】 妻りん女 明治十二年十月生山梨縣中巨摩郡南湖村亡宮田幾右衛門氏二女。長男清藏氏 明治三十三年十月生京華商業學校三年修了後目下店務擔當。清藏氏妻勝子女 明治三十七年三月生千葉縣一ノ宮町市川榮助氏長女。孫喜代女 三十七年三月生千葉縣一ノ宮町市川榮助氏長女。孫喜代女 三十七年三月生千葉縣一ノ宮町市川榮助氏長女。孫喜代女 三十七年三月生千葉縣一ノ宮町市川榮助氏長女。

〔w〕

【主なる親戚】 細川市右衛門氏(本郷富士前町)母の里。今井利三郎氏(富澤町)従兄弟。河村清兵衛氏(宇治山田宮後町)妻女の里。

【主なる出身者】 今井友三郎商店富澤町富澤ビル内。

【住 所】 東京市牛込區南榎町七十八番地 電話(牛込五三六)
【本籍地】 三重縣飯南郡松坂町松坂本町二三九番地

【略歴】 先代友五郎氏は伊勢松阪町の出身にして多年三井銀行に勤務し引退當時の資産約三十萬圓と稱せられしが右蓄積の一部を投じて長男友之輔氏(當主後改名)の爲めに本業を開始せり近時經營は古參店員稻生恒藏氏擔任し來れり。

【宗教】 禪宗 【所得税】 六八〇圓

【營業收益税】 九八圓 【地租】 二五一圓

【家庭】 妻さい女 明治十九年一月十六日生、宇治山田町河村清六氏三女。長男友亮氏 明治三十八年一月六日生、早大經濟科出身。二女幸子 明治四十一年十月六日生、女子大英文科出身。二男友造氏 明治四十四年四月十四日生、早大生三男友平氏 大正三年三月十六日生。三女文子 大正五年四月三十日生、三輪田高等女學校生。四女やす子 大正九年五月二十二日生。

【主なる親戚】 細川市右衛門氏(本郷富士前町)母の里。今井利三郎氏(富澤町)従兄弟。河村清兵衛氏(宇治山田宮後町)妻女の里。

【主なる出身者】 今井友三郎商店富澤町富澤ビル内。

昭和二年一月生。孫節子女。昭和三年四月生。孫喜美子女。昭和五年十月生。

【主なる親戚】 實兄(生家)今澤直次郎氏。山梨縣中巨摩郡南湖村農業。妻女實家宮田彦太郎氏。市外西巢鴨町池袋元既製品卸商。長男清藏氏妻女實家市川榮助氏。東京市本所區石原町メリヤス加工業。

【主なる出身者】 松澤幸作氏。市内本郷區駒込神明町雜紗既製品小賣商。

飯田新七氏

安政六年十月二十八日生

【營業又職名】 百貨店株式會社高島屋取締役社長

【營業所又勤務先】 東京市京橋區京橋一丁目五番地 電話(代表京橋二三五)(東京支店)

本店 京都市烏丸通高辻下ル

【住 所】 京都市下京區本町二十一丁目吳竹庵 電話(祇二〇〇)

【本籍地】 京都市下京區烏丸通松原上ル藥師前町一番地

【略歴】 氏は先代新七氏の二男にして明治二十一年家督を相続し襲名して前名鐵三郎を改む、現に同店取締役社長たる外京都織物、高島屋飯田各會長、中央火災傷害保險取締役、京都商工會議所顧問たり。

【所得税】 一四、九四五圓

【家庭】 長男新太郎氏。明治十七年六月二十日生芝區高輪南町三〇同店取締役。婦子エ女。明治二十六年二月二十三日生新太郎氏妻。孫鐵太郎氏。大正四年九月五日生新太郎氏長男孫美枝女。大正六年十一月六日生新太郎氏長女。孫鉦次郎氏。大正九年五月十八日生新太郎氏二男。孫みち子。大正十二年七月二十二日生新太郎氏二女。

【主なる親戚】 飯田新三郎氏。京都市下京區室町通高辻北入山王町飯田政之助氏養子。甥飯田直次郎氏。京都市下京區佛光寺通烏丸西入釘隠町同店專務取締役。四男飯田憲造氏。京都市下京區二十一丁目四七七に分家。女婿豊田喜一郎氏。靜岡縣濱名郡吉津村山口一三。六男飯田功氏。京都市上京區上御靈横道寺町西入上御靈馬場町に分家。弟飯田太三郎氏。京都市下京區烏丸通室町通ノ間松原上ル小島町。女婿岸本裕氏。京都府與謝郡日置村三六八。女婿永松榮氏。大牟田市川尻三二三六。田村陽氏。大阪市東區安土町四ノ五五田村駒治郎氏二女婿養子。

飯田直次郎氏

明治十七年六月二十六日生

【營業又職名】 百貨店株式會社高島屋專務取締役

【營業所又勤務先】 東京市京橋區京橋一丁目五番地 電話(代表京橋二三五)(東京支店)

本店 京都市烏丸通高辻下ル

【住 所】 大阪市東區横堀町一丁目十一番地

【本籍地】 京都市下京區佛光寺通烏丸西入釘隠町二百四十七番地

【略歴】 氏は亡飯田新兵衛氏の長男として生れ明治四十二年二月父の死去によつて家督を相続す現に同店專務取締役及び高島屋飯田貿易株式會社取締役たり。

【家庭】 母ヤエ女。安政二年十二月十五日生。妻トシ女。明治二十五年九月十日生。長男新一氏。大正二年三月二十九日生。

【主なる親戚】 妻父飯田忠三郎氏。京都市下京區烏丸通室町之門松原上ル。妹婿西村彌太郎氏。京都市下京區三條通烏丸西入御倉町二四。

飯田元七氏

明治七年十月十一日生

【營業】 織物卸

【營業所】 東京市日本橋區通旅籠町二十七番地 電話(浪花會)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は群馬縣館林町の人亡飯田慎一氏の長男にして年少より日本橋區富澤町金巾問屋中村重太郎商店に奉公し明治三十三年四月十二日主家先代中村重太郎氏の二女登與子と結婚明治三十六年主家後援の下に現所に本業を開始したるものなり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 天理教

【家庭】 妻登與女。明治十二年二月十五日生先代中村重太郎氏二女。三男義正。明治三十九年二月五日生。長女八千代。明治四十五年七月二十一日生(府立第一高女卒業)。二女巴子。大正五年六月二十五日生目下家庭にあり。三女夫美。大正十年八月十九日生久松小學生。

【主なる親戚】 中村重太郎氏(東京市日本橋區富澤町金巾問屋) 義弟なり。

【主なる出身者】 渡邊治七氏(日本橋區新大阪町織物卸)

(w)

飯塚恒治氏

明治七年九月二十六日生

【營業】 風呂敷袴天加工卸
【營業所】 東京市日本橋區通旅籠町一番地 電話(浪花)△
【住所】 東京府荏原郡駒澤町上馬
【本籍地】 千葉縣夷隅郡古澤村桑田二百七十一番地

【略歴】 氏は千葉縣夷隅郡古澤村字桑田一二七一番地飯塚庄右衛門氏の長男幼時上京日本橋區馬喰町印絆天及足袋地問屋植野商店に入店勤続十九年の久しきに及び此間精勵したるより明治三十九年獨立の際主家營業の一部なる絆天の加工卸業の得意先を分與されたるものにして當初は通旅籠町堀越商店の家作に後ち橋町二丁目より區内通油町七番地に移り大正九年三月大傳馬町二ノ二十八に轉じ更に昭和六年春現所を買収移轉し來れるものなり資性採算に長じ平素節約を是事としあるも其郷里に對してはガソリン唧筒一臺の外一切の消防器具を寄附しある等の美學あり。

【宗教】 禪 宗 【所得稅】 八〇一圓
【營業收益稅】 三〇七圓
【家庭】 妻専女明治二十年十一月十六日生。長男矢一郎明治四十年十月二十九日生慶應大理財科出身店務に従事。二女重

子明治四十三年二月十三日生府立第一高女卒、在自宅。三女節子大正二年三月二十三日生青山女學院在學中。五女正子大正九年一月十二日生駒澤旭小學校在學中。
【主なる親戚】 安川壬午氏(芝區西久保巴町四七(妻女の兄)飯塚時次郎氏(千葉古澤村)實弟。

飯野三一氏

明治十年三月一日生

【營業】 百貨店株式會社三誠參事兼販賣部副部長
【職業】 同上
【營業所】 東京市日本橋區駿河町七番地 電話(日本橋)三二
【勤務先】 同上
【住所】 東京市麻布區宮村町四十二番地 電話(赤坂)△
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は士族故飯野歸一氏の長男として東京市に生れ明治三十年家督を相続す、明治二十三年三越吳服店に入り三十七年吳服部主任大正十二年吳服部長續いて營業部長に進み後職制改正に由り現時同店參事兼販賣部部長たり、温厚にして才腕あり。

【宗教】 禪 宗 【所得稅】 一、九九五圓
【家庭】 妻てう女明治十九年三月十二日生。長男弘氏明治三十九年七月十三日生慶應大學經濟學部卒業。二男匡氏

明治四十一年二月一日生慶應大學在學中。三男豊氏明治四十二年十月十二日生慶應大學在學中。四男誠氏明治四十四年八月一日生慶應大學在學中。五男薫氏大正二年十一月二十八日生。實弟信一氏明治十六年十二月五日生。同妻たか女明治二十七年一月十五日生。同長女カロール、カヅ女大正五年十月四日生。同長男民部氏大正九年四月二十五日生。同二男信郎氏大正十一年六月十六日生(信一氏は妻子と共に北米加洲ヲ克蘭下在住)。

【主なる親戚】 妻女實家飯塚卯平氏(群馬縣邑樂郡渡瀬村足次村一六。實弟妻實家飯塚卯之助氏)同上。

飯淵萬次郎氏

明治二十三年二月二十八日生

【營業】 羅紗甲斐細卸飯淵商店主
【營業所】 東京市神田區松永町二十六番地 電話(下谷)△
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

(h) 【略歴】 氏は宮城縣柴田郡船岡村飯淵五平氏二男にして十六歳の時上京日本橋區岩井商店に入り三十四歳迄十九ヶ年主家の爲に忠勤せしが大正十二年圓滿退店し同年三月淺草區榮久

町に開業せしも區劃整理を機として昭和三年八月二十七日現所に移轉するに至れり爾來大過なく推移して今日に至る。

【營業收益稅】 七〇圓
【家庭】 妻ふき女明治三十年十二月十八日生。長男隆一氏大正七年十月十日生。
【主なる親戚】 千葉縣山武郡丘山村鶴岡亘氏(妻女實家)。

飯村芳次郎氏

明治三十三年八月二十日生

【營業】 牛襟類小物小賣
【營業所】 東京市日本橋區住吉町二番地 電話(浪花)△
【住所】 東京市日本橋區鱈鼓町二丁目十五番地
【本籍地】 東京市日本橋區住吉町二番地

【略歴】 氏は飯村宗次郎氏の長男にして曾つて大阪市西區北堀江御池通二丁目飯村紋二郎氏の養子たりし事ありしも、大正五年十一月協議離婚の上復籍せり。現店は即ち當時養父政次郎氏の創業せしものなるが大正十年頃營業名義を當主譲り受け爾來順調に經過して今日に及ぶ。

【趣味】 植木 【宗教】 淨土宗 【所得稅】 三〇九圓
【營業收益稅】 一五一圓

(w)

【家庭】 實母ウタ女 明治十二年十一月廿三日生京都市上京區第六組溝前町十一番戸吉田伊助氏長女。芳次郎氏妻富女 明治卅九年七月廿八日生日本橋區新葎町長谷川半七氏三女。長女千代女 昭和三年一月廿七日生。實弟宗三郎氏 大正三年十一月廿一日生京北商業學校在學中。

【主なる親戚】 日本橋區新葎町長谷川半七氏 手拭風呂數卸商。日本橋區箱崎町一丁目小菅信作氏 小學校教員。

【主なる出身者】 淺草區茅町村岡勉氏 半襟小物小賣商。

井元政吉氏

明治十七年七月五日生

【營業又】 洋反物卸合名社齋藤嘉商店代表社員
 【職名】 同上
 【營業所又】 東京市日本橋區新大坂町十番地 電話(浪花)自製(〇)至製(〇〇)
 【勤務先】 東京市日本橋區濱町二丁目十一番地 電話(浪花)P1112
 【住 所】 東京市日本橋區濱町二丁目十一番地
 【本籍地】 東京市日本橋區濱町二丁目十一番地

【略歴】 氏は千葉縣安房郡那古町七二八番地富士屋吳服店高木與一郎氏の二男なるが少時上京日本橋區新大坂町洋反物卸商齋藤嘉商店に勤務しありたるが其人物を見込まれて明治四十二年五月十七日現齋藤嘉吉氏長女富貴子の婿養子となり齋藤氏の生家井元家を相続し目下齋藤嘉商店の出資社員となり

同店の支配人として克く店主を補佐しあり濃厚篤實なる紳士なり。

【宗教】 禪宗 【所得税】 三六一圓
 【家庭】 妻富貴子 明治廿五年十一月八日齋藤嘉吉氏長女。
 【主なる親戚】 齋藤嘉吉氏齋藤嘉商店主(養父)、高木與一郎氏那古町吳服商。根岸伴七氏(曾山)、石森宗二氏鶴巻町酒醬油商。

井上菊次郎氏

明治十年一月二日生

【營業】 毛織物卸商
 【營業所】 東京市神田區岩本町九番地 電話(浪花)三〇元 三六九
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は牛込區通寺町十六番地田原正治氏の伯父にして明治卅六年先代菊次郎氏二女すえ女の婿養子となり同四十五年五月養父病歿に因り家督相続して前名武三郎氏を改め菊次郎を襲名す家業は先代の創業に係り當初羅紗既製品卸なりしが明治四十二年頃より漸次切賣を主となすに至れり、其後昭和四年四月既製品部を分離して神田區大和町二十八番地に

移し本店とは別個の合資會社井上商店を設立したるが資本金一萬五千圓にして菊次郎氏は七千圓出資の無限社員、代表社員は古參店員たる岩井桂造氏なり。

【所得税】 二九一六圓 【營業收益税】 五三二圓
 【家庭】 妻すえ女 明治十四年九月十日生。長男英造氏 明治卅六年十一月廿二日生。二男文治郎氏 明治四十年二月十八日生。長女たま子女 明治卅八年十月廿九日生。昭和三年四月神田區美土代町三丁目四番地岩田實氏方へ嫁す。
 【主なる親戚】 田原正治氏 甥牛込區通寺町十六番地。岩田實氏 長女たま子夫、神田區美土代町三丁目四番地。

井上乙次郎氏

明治十四年四月十七日生

【職 名】 染吳服卸林藤助商店東京支店擔當者
 【勤務先】 東京市日本橋區堀江町三丁目八番地 電話(浪花)二三七(東京店)
 本店 京都市室町通り三條上ル
 【住 所】 東京市日本橋區堀江町三丁目八番地
 【本籍地】 京都市中京區兩替町通二條上ル北小路町百十番地
 【略歴】 氏は京都市下京區古門前通大和大路東入四丁目石橋町上治兵衛氏の二男にして明治四十二年十月實兄井上治

三郎氏より分家して一家をなす而して氏の妻女の父平七氏は主家林藤助氏の親戚岩本家の絶家しありたるを復興相續せるものにて自然主家親戚の一に連らなる氏は約三十五年前林商店に入店、藤井、石川、加納氏等の支配人を経て東京支店支配人たり資性濃厚篤實をもつて知らる。

【宗教】 門徒宗
 【家庭】 妻ナヲ女 明治二十年一月九日生。長女マツ女 明治四十四年一月五日生(京都高女出身)。三女トミ女 大正三年二月二十二日生(京都府立第一高女出身)。四女スズ女 大正十年八月二十日(京都龍池小學校生徒)。
 【主なる親戚】 井上治三郎氏(もと京都市會議員)京都下京區大和大路東入四丁目。岩本平七氏 妻女里方京都府葛野郡衣笠村。

井上桂藏氏

明治二十八年十二月一日生

【營業】 子供服製造卸
 【營業所】 東京市神田區東龍岡町十二番地 電話(浪花)三三三
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 横濱市中區西戸部町三百二番地

(w)

〔w〕

【略歴】氏は神奈川縣横濱市西戸部町字石崎三〇二番地井上萬藏氏二男なり、十四歳の時より日本橋區小田原町輕節問屋菊地寛次商店に約二年間奉公し十六歳にして京橋區中川屋足袋店に轉じ約四年勤続十九歳の時退店して横濱市在住伯母石井きん女方に止宿足袋職人となりたるが二十二歳の時獨立、足袋製造卸を開始せしも幾何も無く廢業し、二十三歳の頃子供服製造卸業に轉換す、かくて利益折半の契約にて同市シーベルヘグナー商會主依田彌助氏より二萬圓の出資を受け藤田屋商會を設立數年後には八萬圓に増資する等順調なる業勢を辿りありしも大正十二年八月依田氏の死亡、同年九月大震災災の打撃を蒙り依田氏とは事實上分離の止む無きに至れり、其後大正十五年上京し當時神田區橋本町に再起せるが間もなく神田區豊島町に轉じ昭和四年十月六日三度び現所に轉居す性溫和にして相當手腕あり、現在約十名の店員を督して熱心業務に従事しつゝあり。

【趣味】植木 【宗教】日蓮宗
 【營業收益税】一五圓
 【家庭】妻女チヨ女 明治三十年一月十二日生、富山縣富山市蛇町六番地中根覺兵衛氏長女大正十年三月婚姻。長男欽一郎氏 大正十年三月廿日生、橋本小學三年在學。三男龍介氏

大正十五年一月二十二日生。長女富江女 昭和四年一月二十日生。

【主なる親戚】義兄吉川三吉氏 横濱市中區大和町ワイシャツ製造業。伯父石井定五郎氏 神奈川縣藤澤町金貨業。甥小林俊郎氏 神奈川縣藤澤町化粧品雜貨卸。伯母石井きん女 横濱市中區鷺山町三六五番地、元スペイン領事アリアウス氏妻女。伯母石井きく女 北米デトロイト市自動車製造業。

井上常次氏

明治二十四年一月九日生

【營業】八王子織物卸
 【營業所】東京市神田區元柳原町十四番地 電話(浪花 九四)
 【住 所】同 所
 【本籍地】同 所
 【略歴】氏は神奈川縣津久井郡内郷村井上直義氏の實弟にして大正十年八月分家せり。年少時より八王子市久保田商店に奉公し、後同東京店勤務となり前後約十五年餘格勤す。大正十年頃無事退店して獨立せり。爾來地味なる經營方針に依り除々に業勢の伸展を計りつゝあるものなり。

【趣味】圍碁 【宗教】日蓮宗 【所得税】一四圓
 【營業收益税】五六圓
 【家庭】妻キク女 明治三十一年三月二十五日生府下南多摩郡淺川村岩崎藤吉氏長女。養子昇次氏 大正十三年三月十三日生。常次氏の實兄柿太氏は夙に八王子市久保田家に入婿し現に同店監査役たり。

【主なる親戚】八王子市平岡町久保田柿太郎氏 八王子久保田商店監査役。四谷區傳馬町安田和重氏 安田貯蓄小石川支店長。府下南多摩郡淺川村岩崎藤吉氏 帝國林野局出仕。

井上善之助氏

明治二十六年八月三十日生

【營業】廣幅織物卸
 【營業所】東京市日本橋區龜井町七番地
 【住 所】同 所
 【本籍地】福島縣岩瀬郡須賀川町大字須賀川字東九丁目五番地
 【略歴】氏は福島縣岩瀬郡須賀川町亡井上利三郎氏の長男に生る、日本橋區橋本町にありしワイシャツ業潮谷商會に勤続すること十年大正十年七月同商會破綻するや退社直に獨立斯業を開始し同年十一月現妻女と婚姻す、當初神田區橋本町にあ

りしも震災後現所に移轉し爾來大過なく今日に及ぶ。
 【家庭】母ウム女 明治七年十月二十五日生。妻キヨエ女 明治三十三年九月十六日生。長男盛雄氏 大正十一年三月三日生。二男孝氏 大正十五年五月十八日生。
 【主なる親戚】福島縣岩瀬郡榑村佐藤清志氏 妻女實家。同縣田村郡御館村佐久間政造氏 義妹テル女夫。

井田石女

明治七年十二月十二日生

【營業又 職名】中形裏地問屋井田長商店主
 【營業所】東京市日本橋區新大阪町四番地 電話(浪花 五九)
 【住 所】同 所
 【本籍地】同 所
 【略歴】當主經營の井田長商店は亡井田長作氏の開設にかゝる長作氏は埼玉縣兒玉郡本庄町平民高橋喜八氏の參男夙に上京日本橋區富澤町金巾問屋岡正商店に入店後ち支配人となる明治三十九年九月十四日井田周藏氏の養子となりしは徴兵關係に基けり明治四十三年主家を圓滿退店獨立本業を開始し爾來音曲染中形の製造元と知らるに至りしが昭和六年二月十七日病歿せるより當主營業を繼承す、當主は東京府人福永金之

(6)

助氏の長女明治三十九年十二月二十五日井田長作氏に嫁し賢夫人と稱せらる。

【宗教】 眞宗 【營業收益税】 三三六圓

【家庭】 亡夫井田長作氏との間に子なく甥福永俊雄氏を(二十四歳)を養子となす事に内定しあり。

【主なる親戚】 外山彌助氏(日本橋區元濱町織物問屋)親族。福永儀八氏(日本橋區葦屋町質屋)弟。伊藤實店(千葉縣幕張町妹縁嫁先)。山田幾太郎氏(日本橋區新材木町織物卸商)。

井部信兵衛氏

明治十六年十一月二日生

【營業】 洋傘及羅紗既製品卸商

【營業所】 東京市日本橋區通油町十六番地 電話(浪花5250)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は新潟縣中頸城郡旭村米倉四番戸井部修次郎氏の二男に生れ八歳の折叔父に當る井部新兵衛氏の養子となりて上京し岡田尋常高等小學校を卒業せり爾來家業に従事し明治三十七年一月先代死亡と共に家督を相続し尙幼名隆茂を改め襲名せり、同店の店業は明治元年先代信兵衛氏に始まり歴史

古く且つ確固たる地盤と業容を示し居るものにして目下店員十名を使用し居れり氏は温健着實にして現下通油町、町内幹事並に京濱羅紗同盟會第四部副部長たり。

【趣味】 謡 【宗教】 日蓮宗 【所得税】 九二圓

【營業收益税】 八四圓

【家庭】 妻こう女明治十九年一月生。長男信榮氏明治四十三年一月生青山學院商科卒業。五女恒女大正五年五月生千代田女學校三年在學。二男伸信氏大正七年十月生久松小學校六年在學。六女菊女大正九年十月生久松小學校五年在學。

【主なる親戚】 主家實兄井部修三氏新潟縣中頸城郡旭村農妻女實家前田鈴太郎氏淺草區南松山町佛具商。二女カヨ女夫井部達夫氏分家店內に在り。婿達夫氏實家仁藤隆作氏日本橋區通旅籠町醫師。

【主なる出身者】 伊東兵次郎氏本所區綠町三丁目婦人子供服卸商。山藤武治氏日本橋區濱町二丁目婦人子供服卸商。上野友藏氏埼玉縣浦和町羅紗ブローカー商。

稻村源助氏

明治二十八年二月三日生

【營業】 織物現金問屋

【營業所】 東京市日本橋區富澤町十番地 電話(浪花 五七七三)

【住 所】 東京府豊多摩郡千駄ヶ谷町燈田

【本籍地】 東京市日本橋區富澤町十番地

【略歴】 氏は先代稻村源助氏の長男にして明治四十五年四月先代歿後家督を相続し前名武治郎を改めて源助を襲名す、夙に白石商店にて實務を見習ひ家業を繼承す資性温厚なる青年紳士なり、同店は現在東西を通じて一流の織物現金問屋にして地盤廣汎良く業界の權威店たるの名に背かず、奥向資産と相俟ちて業容更らに進展しつゝあるものなり。

【趣味】 旅行 【宗教】 眞言宗 【所得税】 九一〇六圓

【營業收益税】 一五四〇圓

【家庭】 母テイ女明治二年生祖父稻村美明氏長女。妻ふさ女明治三十二年七月一日生日本橋區堺町九元吳服小賣商小川專之助氏妹。叔父駿司氏明治四十二年七月生祖父美明養子千葉縣海上郡銚子町平民白石嘉平氏甥養子。妹龍子女明治三十一年十一月生は東京府稻村音吉氏養子和次氏に嫁す。叔母たま女明治八年二月生は稻村音吉氏に嫁す。

【主なる親戚】 日本橋區葦屋町八幡中商小川專助氏。

【主なる出身者】 群馬縣伊勢崎町峰尾定三郎氏買織商。同縣下仁田竹内政吉氏吳服小賣商。日本橋區大傳馬町石倉長三郎氏衛生材料製造卸。神田區田代町莊英達氏骨董商。

下谷區上野町村田德藏氏吳服小賣商。府下寺島町高野潤之助氏同業。府下目黒改正道路竹内良造氏同業。府下大崎町桐ヶ谷木原健至氏同業。日本橋區村松町塚本眞治氏綿糸仲買田野井多吉氏。日本橋區久松町根岸爲三郎氏。横濱市日本通り勝倉文吉氏。川越市齋藤条藏氏織物整理。前橋市横山町手塚茂四郎氏吳服小賣商。栃木縣安蘇郡出流原小倉紋藏氏。八王子市八幡大澤銚一氏吳服小賣商。市外龜戸石井達也氏。府下王子町星野豊藏氏吳服小賣商。深川區富岡門前町金子眞澄氏モスリン小賣。埼玉縣所澤町倉片勝次氏吳服小賣商。千葉縣船橋町梶谷榮藏氏吳服小賣商。麻布區十番高橋義章氏帶商。府下岩淵町稻附吉井章祐氏モスリン小賣。朝鮮梶野覺衛氏吳服小賣商。

(6)

稻葉利雄氏

明治三十二年十二月二十九日生

【營業】 洋傘シヨール製造卸
【營業所】 東京市日本橋區蠟燭町一丁目四番地 電話(茅場町三三四)

【住 所】 同 所

【本籍地】 静岡縣賀茂郡城東村大川三百十四番地

【略歴】 氏は静岡縣賀茂郡城東村稻葉清藏氏の長男にして年少の頃より當時日本橋區富澤町にありたる洋傘問屋皆川商店に奉公し同店加工部に勤め其の餘暇に藏前商工圖案に講習を受くる等技術方面の修業には淺からざる經驗を有しあり、震災前圓滿退店して獨立開業し以て今日に及ぶ。

【所得稅】 五一圓 【營業收益稅】 七〇圓

【家庭】 祖母いと女 嘉永五年三月三十日生。父清藏氏 明治九年十一月十日。母たき女 明治九年十一月十三日生。妻マサヨ女 明治三十六年三月十八日生。弟唯夫氏 明治三十五年十月二十七日生。弟織太郎氏 明治三十八年七月十三日生。妹しづ女 明治四十四年十二月十二日生。弟重信氏 大正五年七月七日生。叔母タツ女 明治二十五年十月二十三日生。叔父亡時次郎氏妻。叔父虎吉氏 明治二十八年五月二十日生。叔母園枝女 明治卅五年六月四日生。叔父虎吉氏妻。從妹

富美子女 大正五年七月十二日生。叔父亡時次郎氏長女。從妹和子女 大正九年二月十四日生。同上二女。從弟博氏 大正十五年十月三十一日生。叔父虎吉氏長男。從妹高子女 昭和四年七月二十五日生。同上長女。

【主なる親戚】 田中作太郎氏 母里方静岡縣田方郡對島村。早川ソノ女 妻里方佐賀縣東松浦郡唐津町。

稻生恒藏氏

明治十八年五月二十七日生

【營業】 又 織物問屋今井九左衛門商店支配人

【職業】 同上

【勤務先】 東京市日本橋區富澤町七番地 電話(浪花三三三)

【住 所】 市外和田堀町大字和田千二百二十七番地

【本籍地】 三重縣一志郡松ヶ崎村大字松ヶ島三十二番屋敷ノ一

【略歴】 氏は三重縣人稻生喜之助氏の三男なり夙に同縣出身者今井九左衛門氏經營の織物問屋今井商店に入店し精勤怠らず主家の一族之今井友三郎氏の退店後同店支配人となり來れるものなり。

【家庭】 妻かづる女 明治二十五年十月八日生。大正二年七月二十三日恒藏氏と結婚。長女タミ 大正二年八月七日生。生後間もなく死亡。次女ちよの 同。三女恒子 大正五年四

月十九日生。長男喜代藏氏 大正八年三月十七日生。大正九年五月十四日死亡。二男實男氏 大正十一年三月五日生。大正十二年十二月二十四日死亡。三男陽亮氏 大正十三年三月二十一日生。四女惠以子 昭和二年一月二十五日生。四男祐氏 昭和三年三月十八日生。

は本材木町にありたるが後ち現所に營業所を新築移轉せり資性着實震災時坪内逍遙博士の知遇を得現に愛顧を受け氏の奮闘苦心史とも視らるべき博士の書を家寶とし子孫に傳ふべきものとし藏しありと。

生田茂氏

明治二十三年六月五日生

【營業】 ワイヤット生地卸商

【營業所】 東京市日本橋區藥研堀町三十五番地 電話(浪花二〇〇)

【住 所】 東京府荏原郡大井町森前五千四百十七番地 電話(高輪三三四)

【本籍地】 東京府荏原郡大井町森前五千四百十七番地

【略歴】 氏は愛知縣八名郡大野町字上野二番地生田福太郎氏の四男大正七年三月六日入新井町新井宿二四四五番地に分家し後現所に移る年少時上京銀座曾和商店に奉公し勤務十八年の久敷に及び退店大正十一年京橋區八官町に本業を開始し後ち同區八官町に店舗を移し大正十二年の震災後一時市ヶ谷田町にありたるが後ち日本橋區本銀町に店舗を復興し區整の際

【主なる親戚】 生田七郎氏(在熱海)長兄。生田岩尾氏(在小石川)次兄。生田治夫氏(在大阪)實弟。生田忠夫氏(在郷里)實弟。生田信氏(在大井町)。鈴鹿保家氏(在深川)肥料問屋妻女の親戚。

(w)

生島十男吉氏

明治十八年十二月七日生

【營業】京吳服卸
 【營業所】東京市日本橋區濱町二丁目三十八番地電話(浪花七五)
 【住所】同所
 【本籍地】京都市中京區室町通姉小路上ル圓福寺町三百四十八番地

【略歴】氏は京都府南桑田郡龜岡町大字古世小字大垣内九二番地戸主亡鋤板景尹六男なり夙に東京市日本橋區長谷川町織物問屋田源商店に奉公しありたる際同店の關係先なる京都市上京區新町通御池上る中の町四七生島マツ女の長女蝶子の婿養子となり大正四年九月二十二日入籍現姓となる目下京都及東京に店舗を有しあるが東京に在住しある事多し。

【趣味】野球 【宗教】門徒宗
 【營業收益税】七七圓

【家庭】養母マツ女 明治七年十月二十七日生、生島五兵衛氏三女。妻蝶子 明治廿八年七月十九日生生島マツ女の息女養女久子 大正十年十月四日生久松小學校生徒は京都府人川越竹次郎氏三女大正十一年六月養女となる。長男亡重男氏 大正十四年九月十九日生は大正十五年五月二十二日死亡。

【主なる親戚】末村長藏氏(京都市七條西洞院)母の甥。浦野健吉氏(京都市二條寺町)店主の實兄。川越竹次郎氏(京都市下加茂中河原町)久子嬢の生家。

池田知次郎氏

明治四年四月十三日生

【營業】牛糞、前掛、風呂敷卸
 【營業所】東京市日本橋區富澤町三番地 電話(浪花二〇九)
 【住所】同所
 【本籍地】同所

【略歴】氏は滋賀縣彦根町の人にして池田太一郎氏の次男たり。兄斧次氏は日本橋區堀留町前川家に入婿せしにより乃ち氏が池田家を相續して今日に至れるものなり。

氏は年少時上京して日本橋區田所町洋反物卸商大濱商店(現存せず)に勤務、格勤永年に及び明治三十三年に獨立せり爾來順調に經過して今日に至れるが、元來頗る着實にして經營方針の如きも地味堅實を旨としつゝ業勢の伸展を計り居るものなり。

【趣味】旅行 【宗教】禪宗
 【營業收益税】一四二圓

池田和吉氏

明治三十年五月二十五日生

【營業】雜綿布加工卸
 【營業所】東京市日本橋區通旅籠町八番地 電話(浪花四三)
 【住所】同所
 【本籍地】同所

【略歴】氏は岩手縣膽澤郡水澤町千葉和藏氏の五男にして永年同店に勤績し後入婿せしが妻女ちよ女の病歿により現妻女鈴女を娶る。現在同店には亡ちよ女の長男善一氏もありて和吉氏と共に従業し居るものなり。

池田中氏

明治十一年六月二十六日生

【營業】銘仙紬類専門小賣池田屋吳服店主
 【營業所】東京市日本橋區通二丁目三番地 電話(日本橋一六八)
 【住所】同所
 【本籍地】長野縣松本市大字筑摩四千六百六十一番地一號

【略歴】氏は長野縣松本市大字筑摩四六六一番地の一號亡池田義久 同ちか女の長男として生る夙に前橋市の某吳服店に

奉公したるが二十三歳の頃主家が閉店したるをもつて上京して尾張町太丸屋呉服店に入り約八年間勤務せしも實兄が日露の役にて戦歿したるより實家相続のため一時退店歸郷の餘義なきに至れり其後再び上京明治四十五年頃日本橋區下槇町に獨立大正二年元大工町に轉じ其後現所に再轉し銘仙、紬類の柄自慢の小賣店として名聲あり。

【所得税】 六〇九圓 【營業收益税】 七四圓

【家庭】 妻久代女 明治二十二年一月十五日生長野縣人原源重長女。長女愛子 明治四十二年十二月九日生。二女富士子 明治四十五年三月十一日生。長男虎雄氏 大正三年九月二十五日生。三女セイ子 大正十年四月二十九日生。母ちか女 安政二年十一月十一日生は大正十五年五月十日日本籍地に於て死亡。

【主なる親戚】 中藤齊次氏 長野縣出川町村母の生家。原源重氏 長野縣本郷村横田妻の生家。土屋大門氏 長野縣新村妹よしの縁嫁先。

三日生は小樽市に材木商を営む。弟喜六郎氏 明治三十四年三月六日生店務に従事。三男智一氏 大正四年一月三十日生區内莫大小間屋小杉清七商店に勤務。五女信子 大正五年二月五日生日本橋女學校生徒。四男四一氏 大正六年四月二十日日生栃木縣西郷村西郷小學校生。六女俊子 大正七年七月六日生日本橋女學校。喜二郎氏妻のふ 明治三十一年一月十五日生。甥賢一氏 大正八年三月十二日生喜二郎氏長男保全商業生。七女南奈子 大正八年十一月十六日生久松小學校生。甥義郎氏 大正十年三月十一日生喜二郎氏二男にして市川小學校生徒。甥泰治氏 大正十二年六月二日喜二郎氏三男にして市川小學校生徒。五男悟一氏 大正十二年六月八日生久松小學校通學。六男陸一氏 大正十四年二月十一日生久松小學校通學。婿養子末松氏 明治三十一年十月五日生は長女積の良人。弟妻すて 明治三十八年二月十日生弟喜五郎氏妻甥格一氏 大正十五年九月二十九日生弟喜五郎氏長男。孫昭三氏 昭和三年三月二十日生末松氏長男。甥昭雄氏 昭和三年十月十八日生喜二郎氏五男。甥昌次郎氏 昭和三年十月二十日日生喜五郎氏二男。弟妻ツネ 明治四十年十二月十八日生喜六郎氏妻。姪操女 昭和四年二月二十一日生喜六郎氏長女孫利祐氏 昭和五年二月十四日生末松氏二男。姪美智子 昭

猪田喜三郎氏

明治十二年九月二十五日生

【營業】 綿布卸
【營業所】 東京市日本橋區橋町二丁目六番地 電話(浪花 六〇〇)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 同店は先代喜三郎氏の創業なり先代は北海道紋別の高橋商店に勤め明治七年頃現所に獨立し北海道を地盤として勤儉力行克く今日の業績を築きたるが大正三年六月十一日病歿したるより長男喜一郎氏相續襲名したるものなり當主は田所町株式會社市田商店東京店に見習らひ先代以上の堅人と稱され健康近年回復し二弟喜二郎氏並に先代以來の古參店員西村鐵次郎氏と共に業容の進展を計りつゝあり。

【宗教】 門徒宗 【所得税】 四一七圓

【營業收益税】 九八圓 【地租】 八一圓

【家庭】 妻佳枝女 岐阜縣人米山延次郎氏長女明治廿一年三月三十日生。長女積 明治三十九年十月二十四日生。婿養子末松妻。長男無一氏 明治四十二年五月二十三日生。二男仁一氏 明治四十五年一月十七日生。弟喜二郎氏 明治二十三年二月三日生店務擔當。弟喜五郎氏 明治三十一年三月二十

和五年十月十五日生弟喜二郎氏長女。

【主なる親戚】 米山周平氏(滋賀縣蒲生郡西大路)妻女の生家澤田仁兵衛氏(滋賀縣神崎郡大字佐生)弟喜二郎氏妻のふ女の里。吉岡宇右衛門氏(滋賀郡朝日村蒲生堂)婿養子末松氏の生家。中西竹次郎氏(滋賀縣八幡村體光寺)弟喜五郎氏妻すて女の生家。平岡靜三郎氏(東京府下青梅町機業家)喜六郎氏妻ツネ女の生家。

板倉基三郎氏

明治二十五年三月二十一日生

【營業】 綿布問屋株式會社田端屋商店取締役營業部長
【職業名】 同
【營業所又勤務先】 東京市日本橋區新大坂町一番地 電話(浪花 三三三)

【住所】 東京市本郷區東片町百四十五番地電話(小石川 三三三)

【本籍地】 三重縣飯南郡松坂町大字松坂日野町五百九十五番地
【略歴】 氏は亡板倉善右衛門氏の三男にして十四歳の折上京田端屋商店に入店せり爾來恪勤する事多年漸次累進し現在同店取締役兼營業部長たり資性温厚にして商才に富み富永專務を中心にして三百年の歴史あり老舗の重職にあり然も情理に富めり、前任者の後を享け環境不良の裡に克く業容を進展す以つ

(h)

て氏の人格的商才を想像せらるゝものあり、大正十五年生家より分家し一家をなし今日に至る。

【宗教】 眞宗 【所得税】 五〇圓
【家庭】 妻理子女〓明治三十四年十一月五日生。長男弘作氏
〓昭和三年二月二十三日生。

【主なる親戚】 實兄板倉龜次郎氏〓三重縣飯南郡松坂町日野町。叔父小津寅之助氏〓東京市深川區龜住町地主。實母實家福生祐郎氏〓三重縣八日市市醫師。妻女實家田口隆子女〓岡山縣苦田郡津山町細工町。

衣斐長三郎氏

明治十八年十二月十三日生

【營業又職名】 織物雜貨卸衣斐農商店主

【營業所又勤務先】 東京市日本橋區濱町一丁目六番地 電話(浪花區)〇〇

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は岐阜縣揖斐郡小島村七番地亡衣斐小三郎氏の長男なり明治廿九年七月卅一日家督を相続す幼時横濱市に出で綿糸仲立業藤本商店に奉公せるが居る事五年にして同店は閉店したれば上京して横山町洋傘商、シヨール問屋有賀玉吉商

店に勤務五年にして退店し當初莫大小のブローカー等をなし居りしが其後妻女の兄益池氏と共に京都市上京區麩屋町に於て縮緬卸業を營みし事もあり大正四年一月再び上京日本橋區濱町二ノ五番地に本業を開始し後現所に移る。

【所得税】 三圓 【營業收益税】 六七圓
【家庭】 妻イク女〓明治廿一年四月一日生日本橋區龜井町益池政太郎氏妹。長女文子〓大正二年七月廿二日生。長男永三氏〓大正九年七月廿日生。二男文三氏〓大正十一年七月廿三日生三男勇三氏〓昭和四年十一月廿日生。

【主なる親戚】 益池政太郎氏〓妻女の實兄。

五十嵐忠藏氏

明治十九年十月十二日生

【營業又職名】 モスリン小賣及びヤモス繪店主

【營業所又勤務先】 東京市下谷區上野廣小路町十一番地

【住 所】 同 所

【本籍地】 東京市下谷區上野廣小路町十一番地

【略歴】 氏は新潟縣中蒲原郡龜田町亡五十嵐福三郎氏の長男にして年少より渡道札幌今井吳服店に奉公し後ち室蘭店等に轉勤し奉公十五年にして退店したるが大正四年四月市外高田

町豊川に於て吳服太物小賣商を開始し大正十三年四月現所に轉じ經營今日に至る。

【營業收益税】 八四圓

【家庭】 繼母シゲ女〓萬延元年正月六日生。妻モト女明治廿七年十二月十七日生東京府人矢澤宇之吉三女。長男忠太郎氏〓大正六年七月四日生。三男健次郎氏〓大正十一年五月一日生。二女裕子〓大正十三年一月十六日生。弟靜藏氏〓明治三十年五月二日生。四男實〓大正十四年二月廿六日生。三女麗子〓昭和四年十月七日生。

【主なる親戚】 新潟縣新發田町職人町上田英範氏(繼母シゲ生家)。小石川區音羽町三丁目八番地矢澤宇之吉氏(妻女の里)。

磯貝末次郎氏

明治六年十二月十日生

【營業又職名】 吳服太物洋反物小賣中島屋吳服店主

【營業所又勤務先】 東京市小石川區初音町九番地 電話(小石川區)〇〇

【住 所】 東京市小石川區初音町九番地

【本籍地】 岐阜縣羽島郡中屋村下中屋九百十二番地

【略歴】 氏は岐阜縣羽島郡中屋村下中屋九一二番地に生れ年

少の頃まで家業たる機業に従事せしが明治四十年頃名古屋に出で妹婿たる芝垣鐵次郎氏の經營せし洋燈製造業を補佐すること七八年其間佛教信者たる氏は同市養老院住職と懇意となりありたるが住職が上京して頻りに上京を勧めたるを動機に上京日本橋區芳町十三おばなや酒井孝次郎氏と昵懇となり氏の後援を得て大正三年初音町に大正十三年眞向ひ柳町十九にモス部を開設現在に至れるものなり。

【宗教】 淨土眞宗 【所得税】 一八二圓

【營業收益税】 九八圓

【家庭】 妻はる女〓明治十二年七月二日生岐阜縣人伏屋九郎右衛門二女。長女たかゑ〓明治三十六年八月廿五日生は大正九年六月廿六日東京市芝區白金三光町百廿八番地に死亡。二女巳津ゑ〓明治三十九年一月廿四日生は大正十一年十一月十一日小石川區戸崎町十三番地に於て死亡。長男歡一氏〓明治四十四年八月一日生。二男鶴實氏〓大正二年九月三日生。三男輝明氏〓大正八年十一月廿四日生。

【主なる親戚】 磯貝丑太郎氏(岐阜縣中屋村下中屋八〇番戶(實兄)。伏屋九郎右衛門氏(岐阜縣羽島村伏屋百九番戶(妻女の里)。

はの部

長谷川治郎兵衛氏

明治二十四年四月九日生

【職業名】 綿布硝子問屋株式会社長谷川商店取締役社長
 【職業所又】 東京市日本橋區大傳馬町一丁目 電話(浪花)二四〇七(六〇七)
 【勤務先】 目九番地
 【住 所】 三重縣飯南郡松阪町魚町千六百十三番地
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は三重縣松阪町素封家長谷川家の先代治郎兵衛氏の長男にして元福三郎と稱したるが大正十四年一月先代病歿に因て家督相続し同時に治郎兵衛を襲名せり、先代治郎兵衛氏は同地森田家の戸主にして前名定次郎と稱したるが後森田家を廢して長谷川家に入り先々代治郎兵衛氏の跡を承けたる人時勢を見るに一慧眼を有し大正七年十二月從來の個人經營を統一して株式組織となし業礎を固めたり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 門徒宗
 【家庭】 母れぬ女 明治二年七月十六日生。妻ミツ女 明治三十年三月二十二日生。三男雅清氏 大正十三年十二月二十一日生。

【主なる親戚】 塚本条右衛門氏 妻里方、滋賀縣神崎郡南五個莊村。長谷川久四郎氏 實弟、麴町區中六番町五十三番地 同店取締役。長谷川成房氏 義弟、赤坂區表町三丁目三十六番地 同店監査役。

長谷川久四郎氏

明治二十九年十月十七日生

【職業名】 綿布硝子問屋株式会社長谷川商店取締役
 【職業所又】 東京市日本橋區大傳馬町一丁目九番 電話(浪花)二四〇七(六〇七)
 【勤務先】 地
 【住 所】 東京市麴町區中六番町五十三番地 電話(九段)五六一〇
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は株式會社長谷川商店取締役社長長谷川治郎兵衛氏の實弟にして夙に慶應義塾に學び大正七年十二月長谷川商店の株式組織に改めらるゝや其の取締役として就任し現在に及ぶ現時麴町區民會兵事部幹事の外兵事關係に携はる事多く亦同方面に貢獻する所少なからず。

【趣味】 繪畫 【宗教】 門徒宗
 【家庭】 妻千代子 明治卅七年四月十三日生。長男精男氏 大正十三年十一月二日生。二男暢男氏 大正十五年三月五日生
 【主なる親戚】 子爵竹内惟斌氏 妻實見府下中野町字中野。

長谷川治郎兵衛氏 實兄 三重縣飯南郡松阪町。長谷川成房氏 義弟 赤坂區表町三丁目三十六番地。

長谷川芳藏氏

明治十五年十一月二十八日生

【職業名】 結城紬結城御召玉袖卸
 【職業所又】 東京市日本橋區高砂町十四番地 電話(浪花)一〇〇六
 【勤務先】 同 所
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 埼玉縣北足立郡戸田村大字戸田千六百四十三番地

【略歴】 氏は埼玉縣北足立郡戸田村字戸田一六四三番地長谷川倉吉氏の二男にして明治三十五年四月四日父倉吉氏死後家督を相続す年少より日本橋區橋町秋場商店に奉公し斯業を見習ふ。大正五年退店し當初濱町二ノ十七番地に本業を開始す大正十二年の震災後現所に移轉し來れるものなり。

【趣味】 觀劇、旅行 【宗教】 觀音信仰
 【營業收益税】 五六圓
 【家庭】 母はる女 嘉永五年七月二十日生は荒卷武左衛門長女にして目下本籍地に居住。妻むめ女 明治二十二年五月十日生茨城縣人岡田貞三郎氏四女。養子季子 大正二年三月十七日生千葉縣人今井亮三郎氏三女、日本橋女學校生徒。

妹むめ女 明治二十五年二月二十日生は、大正十一年戸田村に別家。甥喜一氏 大正二年三月七日生妹むめ實子。
 【主なる親戚】 長谷川兼藏氏 北足立郡戸田村戸田一六四三(妹むめ婿養子)。岡田監作氏(茨城縣筑波町八四七)妻女の生家。荒卷豐藏氏(北足立郡田島村)母の生家。

林 幸 平氏

明治十三年四月二日生

【職業名】 百貨店株式会社三越取締役
 【職業所又】 東京市日本橋區駿河町七 電話(日本橋)三三〇外八五本
 【勤務先】 東京市牛込區若松町七十六番地 電話(牛込)二七三三
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は群馬縣桐生市亡林伊太郎氏の二男として生れ大正五年分家一家をなす、夙に三越呉服店に入り明治三十七年歐米に航し各國を歴遊視察し四十四年歸朝せり而して同店室内裝飾部主任となり大正十一年營業部長に同十三年經理部長に同十四年參事兼營業部長に擧げられ現時取締役たり三越姉妹會社たる株式會社二幸商會の監査役をも兼任し居れり。

【趣味】 美術 【所得税】 四、五八四圓
 【家庭】 妻よし女 明治二十四年生。長男一郎氏 明治四十

〔は〕

四年六月三十日生。長女紅子女。大正元年八月二十日生。二女雪女。大正三年十月二十七日生。三女るり子女。大正七年一月二十四日生。三男三雄氏。大正九年十月十四日生。四女すみ子女。大正十年十二月四日生。五女きみ子女。大正十四年一月一日生。

【主なる親戚】妻女實家亡原勢鏡之助氏。群馬縣桐生市新町一〇九。實兄林鼎輔氏。桐生市安樂土町一一一〇。

林 新太郎氏

明治十八年十一月十五日生

【營業】婦人子供服生地卸商

【營業所】東京市神田區淡路町二丁目十四番地 電話(神田)三五五

【住所】東京市外濠谷町北谷四十九番地 電話(青山)三五五

【本籍地】同 所

【略歴】氏は先代辰三郎氏の長男なり、麴町區麴町九丁目に生れ十四歳の時京橋區新着町毛織物卸商垣内徳三郎商店に入り恪勤二十四年間現主幸太郎氏と二代に仕えて忠勤を勤み同店今日の隆盛に盡したる功顯者なりと云ふべし。大正十三年圓滿退店して現所に二葉屋と號し獨立創業し逐年盛大に向ひつつあり。資性温厚篤實にして人格者なり、英米佛に遊ぶ事

二ヶ年間斯業の造詣深く將來の商才と俟つて業界に於ける第一人者との定評あり。

【趣味】謠曲、釣魚 【宗教】曹洞宗

【所得稅】一四五圓 【營業收益稅】一二六圓

【家庭】妻千代女。明治二十六年三月十四日生。麴町區麴町十丁目一五骨董商田中正次郎氏の長女にて成女女學校卒業。

長男俊介氏。明治四十五年五月四日生。高師附屬中學在學。長女愛子女。大正三年七月十一日生。お茶の水女學校在學中

二男勇吉氏。大正七年六月二十九日生。三女和子女。大正元年九月二十三日生。三男三郎氏。大正十二年七月二十三日生。

四女光子女。大正十五年二月五日生。四男辰雄氏。昭和四年三月九日生。

【主なる親戚】田中正次郎氏。骨董商、麴町區麴町十丁目一五市川彦兵衛氏。米穀商 四谷區新宿一丁目。

林 松太郎氏

明治五年四月二十五日生

【營業】雜綿布卸

【營業所】東京市日本橋區長谷川町二番地 電話(浪花)四七五

【住所】同 所

【本籍地】同 所

【略歴】氏は林定次氏の長男なり。幼時上京して當時區内林末記氏のもとに來りて本業を習得し明治三十年頃獨立せり。爾來手堅く經營され來りて今日に至る。

【宗教】眞宗 【所得稅】一四七圓

【營業收益稅】五〇圓

【家庭】妻ふち女。明治十年三月二十五日生。埼玉縣北埼玉郡忍町大字佐間加藤太三郎氏妹。養子謙三氏。明治四十五年三月四日生。埼玉縣北埼玉郡忍町大字佐間加藤太三郎氏三男、現在早稻田大學第一高等學院に在學中。

【主なる親戚】埼玉縣北埼玉郡忍町加藤太三郎氏。忍町行田足袋製造卸橋本喜助商店勤務。

林 圭三氏

明治十五年十二月二十八日生

【營業名】羅紗切賣卸商株式會社林羅紗店取締役

【營業所】東京市神田區連雀町八番地(切賣部) 電話(神田)三五三

【住所】東京市神田區連雀町八番地(洋服部) 電話(神田)三五三

【本籍地】福井縣坂井郡金津町金津第六號二番地林幸吉内

【略歴】氏は福井縣坂井郡金津町字金津六ノ二六林長平氏の三男にして本籍は兄幸吉氏方の居籍なり氏は明治三十三年露國に渡り某商館に入り日露の役には通譯をなしたる事もありたるが其後斯業を開始し明治三十九年には浦鹽斯德スイツランスカヤにも林洋行を設立し居留民間に信用厚く相當の進出を見たるが露國革命の際歸朝し大正十二年十二月即ち東京震災後東京に進出し以後經營し來れるが昭和五年七月十四日切實部を資本金七萬五千圓の株式會社林羅紗店となし洋服部を資本金二萬圓の株式會社ロンドン洋服店と組織を變更今日に至る。

【所得稅】四八六圓 【營業收益稅】二三八圓

【家庭】妻マサ女。明治十六年十一月一日生。奈良縣人島井榮吉長女。大正四年七月十九日婚姻。戸主兄幸吉氏。明治四年十

〔は〕

〔は〕

月二十五日生(在福井縣)前戸主亡林長平氏二男。姉さく明
治十年一月一日生。福井縣人平民小鶴彌助氏に嫁す。姉ちや
う明治十二年五月二十九日生。福井市人松村乙二氏と婚姻。
妹さく明治十年一月一日生。福井市人福田榮五郎氏と婚姻。
姉もと明治十六年三月二十五日生。兄幸吉氏妻女にして三
重縣人天笠直道氏四女。兄幸吉氏長男弘氏明治四十三年九
月十四日生。亨氏(幸吉氏息)大正二年一月十五日生は大正
十二年五月八日林圭三氏養子となる。

【主なる親戚】 林幸吉氏(在福井縣津町)實兄戸主。鳥井榮
吉氏(奈良縣添上郡帶解村大字柴屋十八番地)妻マサ女里。

林 治 郎 氏

明治二十六年十月二十六日生

【營 業】 子供服婦人服製造師

【營業所】 東京市日本橋區若松町九番地 電話(浪花 九六)

【住 所】 同 所

【本籍地】 東京市日本橋區横山町二丁目十七番地

【略歴】 氏は山梨縣甲府市大字鏡町六十二番地平民戸主手澤
喜兵衛氏實弟なり、明治三十五年五月二十二日實姉林たい女
隱居せるため指定を以て即日林家戸主となる。而して氏は年

少の頃姻戚なる日本橋區横山町メリヤス洋傘卸業有賀玉吉商
店に當業を見習ひ退店後現所に於て本業を開始し今日に至れ
り、性温厚にして同業者間の信望厚し現在店員十名を使用し
地味堅實なる營業振りを見せつゝあり。

【趣味】 庭球 【宗教】 日蓮宗

【所得税】 一、二六圓 【營業收益税】 七一圓

【家庭】 妻女ため女明治三十六年十一月五日生、大正十一
年十一月七日婚姻、神奈川縣立第一高女卒業。長女博子女
昭和三年十月十一日生。

【主なる親戚】 堀内宗作氏横濱市中區中村町一五五番地
生糸卸業妻女義父實家。伯父渡邊團次郎氏甲府市山田町二
丁目生糸商。伯父有賀玉吉氏日本橋區横山町二丁目一七番
地 洋傘ショール莫大小製造師。

橋 本 幸 吉 氏

明治十九年三月十二日生

【營業又 職業名】 吳服太物洋反物洋品雜貨小賣古久屋吳服店主

【營業所又 勤務先】 府下南足立郡千住町仲町七十二番地 電話(淺草 三三五)

【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代勘助氏の長男にして高等小學校卒業後京橋

區八丁堀井上吳服店の見習として入りたるが十六歳の折主家
廢業するに至り止む無く歸宅せり而して明治十八年實父が創
業して業容未だ小なりし吳服店を基礎とし附近四里四方に渡
り外賣を開始せり爾來奮勵良く進展し常に附近同業に先立ち
て店內を改革し大正十一年デパート式現店舗を建築以來益々
其の商勢を揚げ遂に千住町及其の附近に於ける第一流となる
に至れり、氏は極めて研究心に富み且つ人格者にして町内の
ために卒先して公共の爲めに盡せり。又之よりさき明治三十
九年に重砲兵第一聯隊に入營退役後は千住軍人分會々長並に
南足立郡聯合軍人分會副長等に選せられ大正六年砲兵伍長に
任ぜられたり、其の他千住町助役南足立郡千住外九ヶ村組合
助役千住消防組頭、大日本消防協會副會長、相續稅審査委員
國勢調査委員千住軍人後援會星櫻會會長、第一師團管内聯合
支部理事、東京消防協會評議員等に選ばれ之等に對し功勞者
とし各方面より賞揚せられたる事故擧に暇あらず斯くの如く
氏の熱心なる善行は年と共に益々高まり、以つて各方面の信
頼を博しつゝあるものなり。

〔は〕

因に同家の家號古久屋は其の先祖が地元に在りて穀類の販
賣をなしたるに依るものと稱せらる。

【趣味】 油繪 【宗教】 眞言宗 【所得税】 二、五二六圓

【營業收益税】 五〇四圓 【地租】 三八八圓

【家庭】 母てつ女文久三年三月八日生。妻フク女明治二十
七年一月十三日生。長女久子女大正四年八月四日生。女子
聖學院四年在學。實弟良造氏明治二十二年二月六日生千住
仲町一三二にてラヂオ商を營む。實妹壽美女婿讓吉氏明治
二十一年二月六日生自店に勤む。實妹壽美女明治二十六年
五月二十七日生。實妹なみ女婿久平氏明治二十六年十月三
十日生自店に勤む。實妹なみ女明治三十年十二月五日生。
讓吉氏長男孝太郎氏大正九年一月二十一日生千住小學校四
年在學。讓吉氏長女嘉子女大正十四年五月七日生。同二女
泰子女昭和三年一月三十日生。久平氏長女昌子女大正十
一年一月十六日生千住小學校三年在學。同二女治子女大正
十二年十二月十四日生千住小學校二年在學。久平氏三女榮子
女大正十四年九月十八日生。同長男紀久夫氏昭和二年十
一月五日生。

【主なる親戚】 實母實家鈴木吉五郎氏府下小松川町洋品雜
貨小賣。妻女實家大澤録之助氏市内日本橋區龜井町吳服卸
商。實母の姉山下わか女府下澁谷町道灌山(株式會社龜忠
商店先代未亡人)。叔母森川トヨ女麴町區五番町無職。

(は)

【主なる出身者】 高橋淺吉氏 淺草區鳥越町帶々製造業。島崎庄太郎氏 埼玉縣草加町六丁目呉服商。山本忠次郎氏 千住町仲町糸綿商。大熊嘉久藏氏 南足立郡花畑村新田呉服太物商。

大正十四年二月十三日生。三男省三氏 昭和四年四月二十四日生。

濱田四郎吉氏

明治十八年五月一日生

橋本勇吉氏

明治三十三年六月二十五日生

【營業】 廣幅織物卸

【營業所】 東京市日本橋區米澤町三丁目七番地 電話(浪花三三〇)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は福井縣吉田郡河合村高屋重水仁作氏の長男として生れ大正十三年四月橋本はな女の婿養子となり昭和二年一月同女の歿するに及びて家督を相続す、曩に大正三年より日本橋區田所町二十一中谷商店(現黒谷商店)に入りて奉公し恪勤十年にして圓滿退店の後大正十二年震災直後現所に獨立開業して無難に今日に至る。

【趣味】 相撲、野球 【宗教】 淨土宗

【家庭】 妻ウメ女 明治三十六年四月十五日生。長男勇雄氏

【營業又】 關東尾州織物卸濱田商店主
【營業所又】 東京市日本橋區高砂町二番地 電話(浪花一六九)
【住所】 同 所
【本籍地】 福井縣南條郡武生町橋三番地

【略歴】 氏は福井縣南條郡武生町橋三番地亡濱田磯吉氏の長男なり而して父磯吉氏が昵懇の間柄なりし東京市日本橋區高砂町二番地杉崎伊兵衛氏經營の商店を大正十四年二月引受け當主名義の下に經營する事となれるが爾後業容を振興し今日の隆盛をなすに至る資性着實力行の人として知らる。

【所得税】 一一二圓 【營業收益税】 八四圓

【家庭】 亡父磯吉氏安政五年九月二十九日生は昭和三年九月三日本籍地に於て死亡。母ぶん女 文久元年三月二十八日生は福井縣中西兵衛二女。妻常女 明治二十六年十月五日生は笹原榮藏四女。長男光一氏 明治四十三年六月八日生。弟義一氏 明治卅二年九月二十二日生れはもと杉崎商店に店員

をなし目下兄業を補佐しあり。弟磯七氏 明治廿年十一月五日生れは其妻とよ女と共に本籍地に分家。甥壯之助氏 昭和三年三月一日生は弟義一氏長男。弟妻智恵子 明治四十二年三月十四日生は須田彦平氏二女。姪禮子 昭和五年五月一日生義一氏長女。

【主なる親戚】 笹原榮藏氏 福井縣雄島村宿第二十四號妻女の里。田中西兵衛氏 同縣今立郡鯖江町母の生家。奈須田彦平氏 同縣坂井郡大關村大味弟妻女の里。

濱村理三郎氏

明治十九年六月九日生

【營業】 毛斯綸加工卸

【營業所】 東京市日本橋區高砂町十五番地 電話(浪花三三三)

【住所】 同 所

【本籍地】 東京市日本橋區高砂町二十番地

(は)

【略歴】 氏は静岡市吳服町一丁目亡濱村彌七氏の四男にして年少時上京日本橋區新乗物町モスリン卸杉村甚兵衛商店に奉公し約二十五ヶ年在店の後大正十年圓滿退店して同區新乗物町に毛斯綸風呂敷及半襟卸を開業し十二年震災後現所に移轉せり。

春木壽美吉氏

明治三十三年十二月八日生

【營業】 足袋生地及廣幅雜織布卸

【營業所】 東京市日本橋區伊勢町五番地 電話(浪花二五・三三五)

【住所】 東京市日本橋區小舟町一丁目五番地

【本籍地】 東京市日本橋區伊勢町五番地

【略歴】 氏は先代壽美吉氏二男なり。大正十四年春實父病歿するに及び同十五年十月二十五日名次郎を改め壽美吉と變更昭和二年七月十二日分家相續をなす。當主は東京府立第三中學二年を中途退學の上、直ちに大阪市東區備後町木綿問屋浦野商店に奉公し滿二十歳まで實地見習をなしたるが、圓滿退店後爾來家業擔當者たるに至りしものにして機敏快活なる青年紳士なり現在店員約十名を使用し、行田方面を販路として業容實力共に同業一流の店舗に屬す。

【趣味】 野球 【宗教】 天台宗

〔は〕

【家庭】 妻女千代女 明治四十年一月八日生 日本橋區堀江町一丁目二番地吉田直吉氏長女 日本橋高女出身、趣味生花昭和二年五月十八日當主壽美吉氏に婚す。長女淑子女 昭和三年四月二十三日生。

【主なる親戚】 實兄春木一郎氏 日本橋區根津清水町二番地、上野美術學校出身畫家。義父吉田直吉氏 日本橋區堀江町一丁目二番地うちわ扇子製造卸伊場仁商店。

春川 敬八氏

明治二十一年二月十日生

【營業】 羅紗加工並ニ既製品小賣業

【營業所】 東京市四谷區鹽町一丁目十九番地 電話(四谷 吳天)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は新潟縣刈羽郡高田村字堀三一五番戸春川儀三郎氏實弟にして大正元年十二月十四日分家す。年少時上京し親戚筋なる市内牛込區市ヶ谷田町春川洋服店に永年奉公し實地修業の上大正十年頃現所に獨立今日に至れり。溫和無口なる人物にして着實業務に従事しつゝあり。

【趣味】 園藝、骨董 【宗教】 淨土宗

【營業收益税】 一四圓

【家庭】 妻女みと子 明治二十一年六月十六日生、新潟縣刈羽郡野田村字田屋小池善作氏二女。長男勳氏 大正九年六月一日生。長女壽美子 大正二年一月十八日生 跡見女學校四年在學。

【主なる親戚】 義父小池善作氏 新潟縣刈羽郡野田村田屋農業。實兄春川儀三郎氏 同縣同郡高田村字堀三一五番戸 農業。

馬場 幸七氏

明治十三年一月十一日生

【營業又 是職名】 吳服太物小賣東國屋吳服店主

【營業所又 是勤務先】 東京市日本橋區瀨戸物町十八番地 電話(日本橋 三毛丸)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 同店は安政時代の創業にして當主は先代馬場與兵衛氏の長男なり資性濃厚着實所謂江戸商人の風格を有し附近に頗る信用あり。町會副會長の外氏子總代をなし業務は養子馬場市郎氏に委ねあるが元來同店の得意筋はもと魚市場に相當多かりしも魚市場移轉後多少商勢に影響したるも目下は山の

手方面に持出し賣をなし店容を維持しあり。

【所得税】 一四八圓

【營業收益税】 九八圓 【地租】 三八圓

【家庭】 母テイ女 弘化元年三月十三日生。妻とめ女 明治十五年五月六日生 鈴木巳之助氏の女親戚石割家を相続しありたるが明治三十五年四月九日區内岩附町四番地石割家を廢家馬場家に入嫁。長男繁雄氏 明治三十九年十二月六日生。二男盛雄氏 明治四十四年一月二十四日生。三男潤之助氏 大正四年十二月八日生。四男忠雄氏 大正七年三月十八日生。

馬場 捨藏氏 (通稱 孝至)

明治十五年七月二十三日生

【營業】 中形裏地加工卸商

【營業所】 東京市日本橋區濱町二丁目三番地 電話(浪花 三三三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 東京市日本橋區村松町二十九番地

【略歴】 氏は通稱孝至滋賀縣坂田郡馬居本村の出身亡馬場半内の七男として生る年少の頃小杉合名小樽支店に入り勤續約四年退店して釧路港にて米穀商を營み居たる長兄吉藏氏の店にありしが明治四十年頃上京久松町路次内に居を構へて木綿

〔は〕

【營業收益税】 一四圓

【家庭】 妻女みと子 明治二十一年六月十六日生、新潟縣刈羽郡野田村字田屋小池善作氏二女。長男勳氏 大正九年六月一日生。長女壽美子 大正二年一月十八日生 跡見女學校四年在學。

【主なる親戚】 義父小池善作氏 新潟縣刈羽郡野田村田屋農業。實兄春川儀三郎氏 同縣同郡高田村字堀三一五番戸 農業。

馬場 幸七氏

明治十三年一月十一日生

【營業又 是職名】 吳服太物小賣東國屋吳服店主

【營業所又 是勤務先】 東京市日本橋區瀨戸物町十八番地 電話(日本橋 三毛丸)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 同店は安政時代の創業にして當主は先代馬場與兵衛氏の長男なり資性濃厚着實所謂江戸商人の風格を有し附近に頗る信用あり。町會副會長の外氏子總代をなし業務は養子馬場市郎氏に委ねあるが元來同店の得意筋はもと魚市場に相當多かりしも魚市場移轉後多少商勢に影響したるも目下は山の

の鞘取をなし居たるが其後日本橋區堺町にて本業を營み居りし末兄力三郎氏病歿したるより同營業を繼承明治四十二年十二月二十五日北海道釧路町大字入舟町三より村松町に轉じ區

整後今日に至る。

【趣味】 野球、テニス

【家庭】 妻君惠女 明治二十三年九月一日生 大阪府人長田富三郎氏長女。長女國子 明治四十二年十二月廿日生。三女照子 大正元年八月六日生。

【主なる親戚】 在京者中になし。

原田 治助氏

明治二十八年一月二日生

【營業又 是職名】 吳服セル小賣原田屋吳服店主

【營業所又 是勤務先】 市外入新井町不入斗九百九十三番地 電話(大森 三〇〇)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は東京府荏原郡矢口村大字矢口七二八戸主原田幸二郎氏の四男なり年少より東京市新橋やまと屋吳服店に入り格勤すること十餘年に及びたるが大正十二年の震災の折退店して現所附近に持出賣をもつて獨立し昭和二年現所を約一千

〔は〕

圓にて権利を買収し目下持出賣に主力を注ぐ力行的の人に
して取引先の印象佳良なり。

【家庭】 妻とめ 明治三十六年七月十三日生 芝區小澤善太
郎氏の長女。長男一郎氏 昭和三年十二月六日生。

【主なる親戚】 原田清太郎氏 矢口村字矢口七二八(實兄)。
芝區日蔭町一ノ一小澤善三郎氏 妻の生家。

原田正氏

明治十六年一月十三日生

【職業又】 毛斯綸小賣やよい屋モスリン店主

【營業所又】 東京府南葛飾郡龜戸町五丁目十四番地

【住 所】 同 所

【本籍地】 新潟縣高田市西城町三丁目九番地ノ一

【略歴】 氏は高田市吳服町七十六番地亡原田辰彌の二男同町
原田博の實弟なり大正十四年十二月二十五日同市西城町三丁
目九番地原田太郎氏の妹和子婚養子となる氏は年少の頃上京
日本橋區彌生町毛斯綸紗問屋島利商店に奉公し勤務十七年
に及ぶ昭和四年十月現所にやよい屋モスリン店を創業今日に
至る。

【家庭】 妻和子 明治四十一年一月九日生 原田太郎氏長女。
長女惠美 大正十五年六月八日生 生後間もなく死亡。二女榮
子 昭和二年八月十日生。

【主なる親戚】 原田太郎氏(高田市西城町三ノ九)養家にして
義兄。坂本政八郎氏(秩父郡下吉田)義兄の妻女の里。

伴 傳兵衛氏

明治七年四月五日生

【職業又】 蚊帳、疊表、花筵、蒲團、織物小販小賣商伴傳商店主

【營業所又】 東京市日本橋區通リ一丁目五番地 電話(日本橋)三三三

【住 所】 並に二丁目五番地 滋賀縣蒲生郡八幡町中十番地

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代傳兵衛氏の長男にして明治三十三年七月九
日家督を相続し前名傳之助を改め父名を襲ぐ家業は伴傳と稱
し蚊帳、蒲團、寝具、織物、疊表、花筵商にして江湖に著聞
せらる因に同家は往昔名家大伴の末裔にして業界著名の老舖
たり。

【趣味】 圍碁 【宗教】 淨土宗

【營業收益税】 八六五圓 【地租】 四〇三圓

【家庭】 母たか女 嘉永六年十一月二十七日生 伴庄作氏二

女。妻婦女 明治十三年九月一日生は滋賀縣人塚本条右衛
門氏妹、弟新吉氏 明治十八年十月二日生は八幡町字池田町
五ノ二に分家す。

【主なる親戚】 塚本条右衛門氏南五個莊村字川並(妻女の實
兄)。

陌間甚助氏

明治十七年八月七日生

【職業又】 各種織物問屋株式會社丸紅商店取締役兼東京支店長

【營業所又】 東京市日本橋區元濱町八 電話(浪花)四〇〇

【住 所】 同 麹町區上六番町四十二番地 電話(九段)八八

【本籍地】 滋賀縣犬上郡東甲良村大字横關三百七十番地

【略歴】 氏は亡陌間角藏氏の長男にして昭和四年家督を相續
す、郷里の高等小學校修了後明治三十年丸紅伊藤忠商店に入
り精勤多年漸次重用せられ大正十年丸紅本店仕入部長に累進
翌十一年六月京都支店長に撰せられ同年十二月取締役として
同店最高幹部に列す而して昭和四年六月東京支店長として赴
任以て今日に至る、氏は温厚にして商才に富み且つ對者に好
感を與へる風格を備へ現時東西を通じて其の業容に於て商勢
に於て業界の覇者たる丸紅商店の重役として各方面に絶大な

〔は〕

【宗教】 眞宗 【所得税】 七八〇圓

【家庭】 母せい女 慶應二年八月二十九日生。妻たま女 明
治二十五年四月十九日生。長女峰子女 大正六年二月十三日
生 千代田女學校三年在學。三女秀子女 大正十五年五月二十
五日生 上六尋常小學校四年在學。

【主なる親戚】 妻女實家奥川彦七氏 滋賀縣犬上郡東甲良村
農業。

萩原榮次郎氏

明治五年六月十日生

【職業又】 織物卸石井合名會社代表社員

【營業所又】 東京市日本橋區橋町一丁目五番地 電話(浪花)三〇八

【住 所】 同 所

【本籍地】 東京市日本橋區高砂町二番地

【略歴】 氏は埼玉縣兒玉郡七木村大字三町五番地戸主土族
亡萩原忠義氏の二男にして明治四十四年八月十八日兄萩原玉
太郎家より高砂町二番地に分家す氏は夙に東京市日本橋區橋

-(65)-

-(64)-

〔は〕

町一の一五番地綿布卸商石井清兵衛商店に奉公し（後ち合名會社石井商店となる）格勤次第に其手腕を認められて支配人となり大正十三年六月資本金十一萬圓石井合名會社の組織さるゝや氏は其二萬五千圓の出資社員となり業務執行の任に當りあり、性着實をもつて知らる。

【所得稅】 五七圓

【家庭】 妻津類女 明治十二年七月二十日生、東生龜治郎二女 明治四十四年八月十八日入嫁。長男隆太郎氏 明治卅七年八月廿九日生。長女家壽 明治三十八年十月十四日生、婿養子茂之丞氏 昭和四年十二月婚姻。婿養子茂之丞 明治三十五年八月十八日生亡松岡喜十郎氏七男。

【主なる親戚】 萩原玉太郎氏 埼玉縣兒玉郡七木木村（實兄にして生家）。東生龜次郎氏（日本橋區通旅籠町）妻女の生家。松岡喜十郎氏（岐阜縣不破郡宇留生村字福田一四六七）婿養子茂之丞氏實家。

畑 龍 雄 氏

明治二十五年十月二十三日生

【營業】 久留米耕卸商店店主

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町二十五番地 電話（浪花四三二）

【住 所】 同 所

【本籍地】 東京市上京區一條通新町東入西日野殿町三百八十一

【略歴】 氏は京都府人畑康太郎氏次男なり明治三十九年十五歳の時上京日本橋區田所町株式會社市田商店に入り、勤続十七年にして退店大正十二年九月一日獨立開業したるが開業僅か半日にして大震災に會せり。而して震災直後久留米國武商店より益々信賴を受けて同年十月二日小石川區原町に假營業所を設け復興に努力し異常の業績を擧げ翌年現所に復歸新築して遂に現容をなす資性快活果斷の人にして商才あり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 淨土宗

【所得稅】 九六圓 【營業收益稅】 一六七圓

【家庭】 父康太郎氏 安政五年八月廿日生京都府人小田勝重氏二男 明治二年三月五日如家に入籍。母ます女 明治元年十二月十九日生京都府人三村英造氏二女、明治十九年八月二十三日如家の人となる。妻ぬゑ女 明治三十二年一月八日生滋賀縣人福山安次郎二女大正十年八月八日婚姻。長女和子 大正十一年四月廿五日生。二女園子 大正十四年十二月十二日生。三女孝枝 昭和四年十月八日生。姉愛子 明治廿一年一月廿二日生京都府人三村コト家に養子縁組。弟勝三氏 明治

卅一年四月一日生大阪府東成區林寺町二百四十六番地に分家四弟英造氏 明治三十一年四月一日生。京都府人三村コト女の養子となる。妹豐子 明治三十四年十月廿五日生大阪府人八田勝三氏と婚姻。
【主なる親戚】 小田勝重氏（京都市上京區第三組牡丹鉾町）父の生家。三村英造氏（京都市上京區西日野枝町）母の生家 福山仲次郎氏 滋賀縣愛知郡葉枝見村大字三つ谷五四一（妻女の里）。
【主なる出身者】 清水彌一郎氏（堀江町二ノ四織物卸）

橋 爪 貴 一 氏

明治二十九年十月一日生

【營業又 は職名】 風呂敷卸合名會社橋爪商店代表社員

【營業所】 東京市日本橋區新乗物町四番地 電話（浪花 三三〇）

【住 所】 同 所

【本籍地】 和歌山縣海草郡加茂村大字中三百八十五番地

〔は〕

【略歴】 氏は橋爪元五郎氏の五男にして大正十三年二月分家す。多年日本橋區田所町樋口商店に奉公斯業の經驗を積みたるものなり。同店は氏の實兄亡橋爪權平氏の創業なりしが大正十五年權平氏病歿したる爲め當時樋口商店にありし氏は直

筈 見 善 内 氏

明治十四年六月五日生

【營業又 は職名】 東京中形筈見染裏地卸 合資會社筈見商店代表社員

【營業所又 は勤務先】 東京市日本橋區葎屋町十二番地 電話（浪花 三三八）

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣愛知郡稻枝村大字田原三十五番屋敷筈見兵右衛門氏の三男なるが幼時上京日本橋區堺町天野半七商店に多年勤務し支配人として主家に盡す處尠ならず大正十二年六月退店新材木町に本業を開始したるが、大正十二年九月の震災には開業間もなかりし際とて打撃は尠なく間もなく復

〔は〕

興したるが昭和六年春合資會社に組織を變更して現所に移轉
更生に努力しつゝあり。

【趣味】 釣、將棋 【宗教】 門徒宗

【所得税】 一二五圓 【營業收益税】 一二二圓

【家庭】 妻つたい女 富山縣東礪波郡中野村大字中野三六〇
三藤井利作氏二女明治十五年四月一日生。長男養之助氏 明
治三十七年三月十五日生明治大學卒業後店務に従事。三女愛
子 大正二年三月十日生日本橋高女出身。三男繁治郎氏 大
正五年一月八日生東京市立第一中學校生。

【主なる親戚】 管見平七氏(滋賀縣愛知郡稻枝村彦富)。藤井
利作氏富山縣中野村大字上中野三六〇三。

服部米藏氏

明治十八年二月十二日生

【營業又
は職名】 吳服太物小賣河内屋吳服店主

【營業所又
は勤務先】 東京市日本橋區彌穀町二丁目十二番地 電話(茅場町)三五〇〇

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は東京府人亡服部吉兵衛氏の四男にして幼名を英
太郎氏と稱す夙に京橋區八丁堀中島屋吳服店に奉公し後ち店

務に従事す同店は明治廿三年の創業もと同區下槇町中通りに
て營業し居たるが明治三十四年現所に轉ず、大正十五年一月
十一日前戸主兄米藏氏死後家督を相続す目下店務は深澤左右
吉氏擔當しあり。

【所得税】 二八九圓 【營業收益税】 四一圓

【地租】 二八九圓

【家庭】 妻喜久女 東京市人成川彦太郎氏三女。長男謙太郎
氏 大正四年五月廿七日生。兄妻ヒサ子 明治十五年八月二
日生亡瀧川松右衛門氏四女。

【主なる親戚】 服部市兵衛氏(堀江町資産家)は本家。成川彦
太郎氏(麻布區飯倉町三丁目廿七番地)妻女の里。

花村榮吉氏

明治三十四年十月五日生

【營 業】 婦人子供服製造卸商

【營業所】 東京市日本橋區小傳馬町四丁目十七番地 電話(浪花)五〇〇〇

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は花村紋治氏の四男其本名花村薫なるも男性的
姓名にあらずとて取引には多く花村榮吉氏となしあり長野縣

東筑摩郡宗賀村に生れ十六歳の時横濱市伊勢佐木町毛織物既
製品小賣商天賞堂島田又右衛門商店(後ち淺草壽町)に入り
精勤十一年間昭和二年圓滿退店し昭和三年四月神田區内に於
て獨立本業を開始し後ち現所に轉ず濃厚着實の人として知ら
る。

【趣味】 野球 【宗教】 眞宗

【家庭】 父紋治氏 嘉永六年十月廿日生。母いつ女 文久三
年三月廿二日生。妻やゑ女 明治三十九年二月廿二日生淺草
區駒形河岸六毛織物商島田又右衛門氏三女に生れ實科女學校
卒業にして生花に堪能なり。長男富太郎氏 昭和四年二月廿
六日生。

【主なる親戚】 島田又右衛門氏 地主淺草區駒形河岸四十四
番地。中野彌一氏 毛織物卸商日本橋區久松町十一。

早部保司氏

明治二十九年十月十二日生

【營業又
は職名】 羅紗切賣及附屬品販賣ハヤベ羅紗店主

【營業所又
は勤務先】 東京市麴町區麴町十丁目六番地 電話(九段)一八〇〇

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

〔は〕

【略歴】 當主は東京市淺草區南清島町十三番地戸主亡早部清
吉氏の二男にして大正十一年二月十四日兄早部隆太郎家より
分家一戸を創立す之より先大正九年十月羅紗及附屬品等の販
賣業を開始し着々業礎を確立今日に至る。

【所得税】 五八圓 【營業收益税】 七五圓

【家庭】 妻ハナ女 明治三十四年六月一日生は深川區東森下
町三十五番地久永留次郎二女大正十二年四月廿八日嫁す。長
女靜子 大正十二年四月十六日生。二女昭子 大正十五年三
月八日生。三女喜代子 昭和二年二月廿三日生。長男榮一氏
昭和三年五月四日生。四女保子 昭和四年七月五日生。

【主なる親戚】 早部隆太郎(實兄)淺草區南清島町。久永留次
郎氏(妻女の里)深川區東森下町三十五番地。

畑中源治郎氏

明治二十六年三月二十四日生

【營業又
は職名】 晒金巾婦人子供服地卸又一株式會社

【營業所】 東京出張所主任 東京市日本橋區通旅籠町十九番地 電話(浪花)三三三六

【住 所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣蒲生郡金田村大字上田千五百三十一番地

【略歴】 氏は滋賀縣蒲生郡金田村大字上田千四百八拾三番地

〔は〕

戸主畑中直次郎氏の三男なるが夙に大阪市南區久太郎町二ノ一三縮糸綿布商阿部禎次郎商店に入店し大正十年四月同店が資本金百萬圓の株式會社に組織を變更し次で震災後東京出張所を設くるや氏は其主任に選ばれたるものなり性着實の人として知らる。

【趣味】 乗馬、飼禽 【宗教】 日蓮宗

【所得税】 三〇九圓

【家庭】 妻女高尾 明治三十四年四月十八日生滋賀縣人高橋三郎氏長女。長女由子 大正十一年十一月廿四日生大阪市天王寺町四百四十二番地に出生目下久松小學校通學中。

【主なる親戚】 畑中直三郎氏（滋賀縣蒲生郡金田村字上田一四八三）は氏の生家の後嗣にして甥に當る。高橋三郎氏（同縣柏原村大野木）妻女の里。

に の 部

西澤善七氏

安政五年七月二十三日生

【營業】 中形裏地金巾卸

【營業所】 東京市日本橋區新材木町一番地 電話（浪花）二〇八

【住所】 市外澁谷町上通三丁目五十五番地 電話（青山）一八七

【本籍地】 東京市日本橋區新材木町一番地

【略歴】 氏は東京府人小林八十吉氏の長男にして前名を兵次郎と稱せり夙に西澤家の養子となり先代歿後相續襲名せるものにして克く先代の遺業を守れり陸軍教導團を卒業して曹長に累進し退職して後ち區會議員、府會議員、府參事會員東京商業會議所議員に擧げられ又東京織物問屋同業組合長の任にある外東京信用組合理事自立會副會長となり併せて免因保護事業に盡力しつゝありて家業は息善三郎に任せ氏は多く公共の事業等に奔走しつゝあり。

【趣味】 書畫、謠曲 【宗教】 眞宗

〔に〕

【家庭】 妻ふじ女 明治三年十一月十一日生養父善七二女（昭和六年二月死亡）。長男善三郎氏 明治二十一年十一月十

日生東京高商卒業もと曾和商店員たりしが目下父業の傍ら新毛原料商を營む。善三郎氏妻キミ女 明治二十七年八月十六日生津村重舍養女。善三郎長女よし女 大正四年七月十八日生府立第六高等女學校通學中。同長男善一氏 大正六年十一月二十一日生慶應普通部通學中。同二男正治氏 大正九年九月十日生大和田小學校通學中。同二女眞佐子 大正十二年五月二十五日生。同三女美智女 大正十五年三月二十五日生。善七氏長女キヨ子 明治二十八年五月生辻新兵衛氏二男千三郎氏に嫁す同二男滋之助氏 明治廿四年八月生。同妻たま 明治三十年四月生（太田熊太郎妹）は其子女を伴ひ分家す。【主なる親戚】 貴族院議員津村重舍氏（津村順天堂主）。辻新兵衛氏 日本橋區通油町（長女婿家）。【主なる出身者】 吳服商近江屋村田佐吉氏（下谷竹町）。吳服商近江屋西垣菊次郎氏（本所業平）。

西澤利一氏

明治二十年六月一日生

【營業】 吳服卸合資會社西澤商店代表社員

【營業所】 東京市日本橋區濱町一丁目十番地 電話（浪花）一三〇〇

【住所】 横濱市彌生町二丁目二十一番地 電話（長者町）三六

(に)

【本籍地】同 所

【略歴】氏は滋賀縣愛知郡秦川村大字日加田西澤六太郎氏の二男にして明治二十三年三月西澤六左衛門氏に養子縁組入籍せり。年少時上京して日本橋區新大坂町蛇の目外村商店に奉公せり。大正三年頃退店して一時實兄利三郎氏と各種織物商を開始せしことあり。大正六年頃純然たる本業者となれるものなるが元來氏は居を横濱に有し専心斯業に従事する能はざる状態にあれば昭和五年五月現合資會社を組織し店員をして主として實務を擔當せしむることとなり今日に至る。

【宗教】眞宗 【所得税】三五圓

【營業收益税】四二圓

【家庭】妻サク女 明治三十一年十月二日生横濱市久保町字直上五四三番地晝間楠次郎氏長女。長男英一氏 大正五年三月二十六日生神奈川縣立第三中學在學中。

【主なる親戚】滋賀縣愛知郡秦川村清水傳次郎氏 吳服小賣商。京都市高辻油小路東入西澤利三郎氏(實兄) 吳服整理業。【主なる出身者】日本橋區馬喰町北川仲次郎氏 吳服卸。

西澤喜三郎氏

明治二十七年四月十五日生

【營業】洋反物綿布卸商

【營業所】東京市神田區岩本町三十番地 電話浪花(一五)

【住 所】同 所

【本籍地】滋賀縣愛知郡日枝村大字澤七番地

【略歴】氏は年少時京都丸紅商店に奉公し大正九年退店京都にて獨立せしが業績不振、大正十二年十一月上京、日本橋區堺町に開店して後現所に移店せるものなり。

【趣味】野球 【宗教】眞宗

【家庭】妻きみ女 明治三十九年四月三日生滋賀縣愛知郡日枝村字澤八番屋敷洋品商西村条治郎氏二女。長女千恵子女 昭和四年四月八日生。

西川甚五郎氏

明治三年六月十三日生

【營業】織物蚊帳、蒲團疊表莫産卸小賣

【營業所】東京市日本橋區通り一丁目七番地 電話(日本橋 自五五)

【住 所】同 通り三丁目五十一番地

【本籍地】滋賀縣蒲生郡八幡町大字大杉十七番地

【職業】同 東京市駒町區富士見町二丁目四十六 電話(九段二五)

【略歴】同家は滋賀縣八幡町の商家にして祖業蚊帳疊表は豊臣時代の創業に係り又日本橋支店は三百餘年來の老舗なり當主は西川重威の長男明治三十一年十二月家督を相続す夙に大阪商業學校卒業後東京築地サンマーに就き英語を學び更に漢籍を中村栗園山本大造に學ぶ現時祖業を繼ぎあるも斯は一族店員に任せ自らは八幡銀行、近江帆布、近江蚊帳、滋賀合同貯銀日本ビロード會社等の重役をなす貴族院議員に當選せらる、事二回各慈善事業公共團體に盡す處尠ならず大正六年大演習の際營業功績者として大本營に召され特に御下問を賜はり、日獨戰爭の功により勳四等に叙せられ十三年更に勳三等に叙せらる。

【趣味】骨董、讀書 【宗教】淨土宗

【所得税】二五、九三六圓 【地租】七四五圓

【家庭】妻ため女 明治八年七月二十七日滋賀縣犬上郡豊郷村八町亡青山寛氏三女。二女しげ 明治三十年十一月十二日生大阪市東區今橋二丁目四二吉田穀に嫁。長男富太郎氏 明治三十四年三月十三日生は推定家督相続人廢除の裁判確定により京都市上京區車屋町通り丸太町上る砂金町四〇六に分家

二男清二郎氏 明治三十五年十月六日生早大卒業店務に従事四女保子女 明治卅九年六月十五日生弘世助太郎氏養子正一

西川常八氏

明治二十四年九月六日生

【營業】風呂敷類卸商

【營業所】東京市日本橋區大傳馬町二丁目十四 電話(浪花 一四〇)

【住 所】同 所

【本籍地】同 所

【略歴】氏は福井縣遠敷郡小濱町小濱鹽竈八吉岡喜兵衛氏の二男にして省三と呼び年少時上京日本橋區富澤町辻金之助商店に入り勤続十四年精勵中、同店と親戚關係にある先代西川常八氏の囑望に因り、其婿養子となりぬ。昭和二年十一月七

(に)

日前代逝去するや、創立三代目の主として家督を継ぎ、翌三年一月十日常八を襲名す。爲人温健にして着實、先代の見込に違はず堅實に家業を守れり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 浄土宗

【所得税】 七〇圓 【營業收益税】 八四圓

【家庭】 妻キヌ女 明治三十六年五月十九日生、故西川常八氏の二女、大正九年五月二十五日婚姻、長男省吾氏 大正十二年十二月十九日生。長女千枝子女 昭和二年七月六日生。

【主なる親戚】 辻金之助氏 日本橋區富澤町二十六番地にて木綿問屋。

西川政吉氏

明治二十年十一月十三日生

【營業】 風呂敷問屋

【營業所】 東京市日本橋區彌生町五番地 電話(浪花)三六二(三六)

【住所】 同所

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は荻野市兵衛氏の長男にして市太郎と稱し明治四十二年先代西川政吉氏の養子となり大正十二年暮養父政吉氏病歿して家督を相續し襲名したるものなり營業は先々代の開

業にして同業間に於ける老舗なるが當初京橋區銀座に於て經營し後通旅籠町人形町通りに移り明治三十二年頃現所に轉じ來れり氏は資性潤達の人にて信望あり現に織物同業組合の代議員たり。

【宗教】 門徒宗 【所得税】 七六圓

【營業收益税】 九二圓

【家庭】 養母清瀨女 元治元年八月一日生。妻テル女 明治卅年三月十九日生。三女代司子女 大正九年十一月十一日生

【主なる親戚】 妻女の兄 足利市足利銀行員柳田吉三郎氏。【主なる出身者】 日本橋區富澤町風呂敷卸業田村正三氏。

西村伊亮氏

明治七年二月十二日生

【營業又】 布團地蚊帳問屋 西伊商店主

【營業所又】 東京市日本橋區新大阪町三番地 電話(浪花)二二(二二)

【住所】 滋賀縣愛知郡八木莊村大字島川百十八番屋敷

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は亡西村伊助氏二男にして明治十五年三月二十七日家督相續す此より先明治六年先代が郷里八木莊村より出京現所に金巾商を開始せるを濫觴とし氏は郷里中學を退學後中央

西村與助氏

明治二十四年十一月二十三日生

【營業又】 洋反物問屋株式会社近與商店取締役

【營業所又】 東京市日本橋區富澤町二十番地 電話(浪花)一〇(一〇)

【住所】 府下荏原郡東調布町鶴ノ木二百 電話(田園調布)一〇(一〇)

【本籍地】 滋賀縣蒲生郡市邊村大字市邊九百四十四番地

【略歴】 氏は滋賀縣蒲生郡市邊村先代西村與兵衛氏の三男にして大正六年二月分家して一家を成す夙に父祖の業たる洋反物卸業に従事し大正七年株式会社西村商店となるや其の専務取締役となり昭和四年六月株式会社近與商店に改めらるゝに及びて現職に就き以て今日に及ぶ明敏快活の人なり。

【趣味】 謡曲、乗馬 【宗教】 浄土宗 【所得税】 六一圓

【家庭】 妻加代女 明治三十一年五月二十二日生。養女花子女 大正八年四月二十五日生久松小學校六年生。

【主なる親戚】 西村與兵衛氏 實兄市内四谷區信濃町二十八西村健次郎氏 義弟大阪市東區本町。西堀清兵衛氏 妻里方京都市烏丸通錦小路下ル筈町。西山喜太郎氏 養女生家滋賀縣犬上郡豊郷村。小杉文五郎氏 義兄市内日本橋區長谷川町九番地小杉合名會社實務擔當代表者。

(に)

【主なる出身者】 阿藤久太郎氏 日本橋區元濱町合名會社藤安商店。藤田勇次氏 日本橋區新材木町布團蚊帳卸商。西澤山松氏 東京府下荏原郡小山町綿商。相澤龍平氏 東京府下南葛飾郡大島町布團商。

〔に〕

【主なる出身者】 中杉舉藏氏 市内日本橋區長谷川町洋反物加工卸。森京次郎氏 同町洋反物卸。川瀬留吉氏 四谷區新宿いさみや毛斯綸店主。

西村永吉氏

明治二十七年十月十六日生

【營業】 綿布金中卸

【營業所】 東京市日本橋區大傳馬町二丁目三十番地 電話(浪花)三五〇

【住所】 同所

【本籍地】 滋賀縣蒲生郡八幡町大字新町三丁目十番地

【略歴】 氏は長野縣更級郡篠ノ井町亡酒井副治郎氏四男にして昭和四年五月二十一日西村永吉氏長女美代女の婚養子となり翌年七月先代病歿するや前名深美を更め相續襲名せるものなり而して同店は明治三十九年先代の開業に係り當初ブローカーなりしも若干の資力を以て開業してより漸次進展し遂に今日の業礎を築くに至りしものなり。

【宗教】 門徒宗 【所得税】 三二一圓

【營業收益税】 一二六圓

【家庭】 養母さだ女 明治十六年十月二十七日生。妻美代女 明治四十年十一月七日生。長男永一氏 昭和四年十二月二

十三日生。義妹米子女 明治四十三年十一月二十三日生。義妹晴子女 大正十年十一月十二日生。十思小學校通學。義妹眞佐子 昭和二年六月四日生。

【主なる親戚】 野田いか女 養母(姉妹) 在八幡町。西村富三郎氏(慶大教授) 在茅ヶ崎。酒井澄夫氏(甥) 長野縣篠井町

西村武兵衛氏

慶應三年十二月十二日生

【營業】 中形金中卸商

【營業所】 東京市日本橋區新和泉町七番地 電話(浪花)三五〇

【住所】 同所

【本籍地】 滋賀縣愛知郡八木莊村大字島川千二百九十番地

【略歴】 氏は亡西村武兵衛氏の長男にして前名曾與次と稱し明治二十八年九月相續襲名す年少時上京し日本橋區田所町澤井藤助商店に入り勤続三十六年大正二年退店同區久松町三十五番地に斯業を開始し後現所に轉じ來り明治三十一年九月同郷の人元持氏の女みね女を妻女に娶りしが同三十五年病歿し同三十九年前田半三郎氏の姉留須女を迎へしが大正六年病歿せり現時營業は主として長男龜太郎氏によりて經營せられ居るものなり。

【宗教】 淨土宗

【家庭】 長男龜太郎氏 明治三十二年四月二十日生。次女靜子女 明治四十五年五月十三日生。龜太郎氏の妻うさ女 明治三十六年一月五日生。孫武一氏 昭和三年一月三十日生。孫敏氏 昭和四年一月五日生。

西村力藏氏

明治二十年五月十七日生

【營業】 中形裏地加工卸

【營業所】 東京市日本橋區新大阪町四番地 電話(浪花)四九〇

【住所】 市外東中野千六百二番地 電話(中野)二〇〇一

【本籍地】 東京市日本橋區新大阪町四番地

【略歴】 氏は滋賀縣愛知郡西小椋村大字小倉一六岸川熊吉氏の二男なり年少より同業宮川善兵衛商店に勤務し、精勵怠りなかりしより同店に出入しありたる綿布仲介業西村忠介氏に望まれて婚養子となり現姓に改む。大正四年に獨立し爾來順調に經過し來れるが、元來が人物着實にして一般の氣受け良く、地味經營を店是としてその仲展を計りつゝあるものなり。

【趣味】 將棋

【宗教】 眞宗

【所得税】 九五圓

【營業收益税】 九八圓

【家庭】 養母ヨシ女 安政元年十二月十一日生。妻イク女 明治二十一年二月廿一日生。西村忠助氏四女。長男忠一郎氏 大正二年一月一日生。府立第一商業學校卒業現在は大阪市北久太郎町西島商店に於て斯業を見習ひつゝあり。長女正子女 大正四年九月二十五日生。三輪田女學校在學中。

【主なる親戚】 西村喜八氏(養母ヨシ女生家) 小松川町新町。三輪逸次郎氏(西村家親戚) 淺草區藏前町。中村廣吉氏(ペイント商) 芝區三田豐岡町。岸川源左衛門氏(店主の實兄) 滋賀縣愛知郡西小椋村。岸川庄次郎氏(實弟) 大阪西健商店員。渡邊三郎氏(義兄) 東京市外石神井驛前

西村嘉右衛門氏

明治九年九月十六日生

【營業】 裏地中形加工卸

【營業所】 東京市日本橋區新材木町十四番地 電話(浪花)三〇〇

【住所】 同所

【本籍地】 東京市日本橋區通油町十六番地

【略歴】 氏は滋賀縣愛知郡八木莊村西村加右衛門氏長男にして大正七年五月二十八日先代隱居により家督相續襲名す、年少時京都に出で伊吹合名會社に奉公斯業を見習ひ後明治三十

〔に〕

五年獨立當初田所町に在りしも昭和三年現所に移轉し來れるものなり、大正八年十二月十六日現妻女さき女と婚姻し長女綾子女を擧げたるも同女は大正十二年八月三日病歿せり。
【家庭】 妻たき女 明治十九年一月二十五日生。
【主なる親戚】 滋賀縣犬上郡多賀村字上田清水直三氏 妻女實弟。

西村重治氏

明治三十二年十二月十七日生

【營業名】 吳服太物洋反物小賣山田屋吳服店主
【營業所又】 府下豊多摩郡中野町本町通二丁目二十番地
【勤務先】 同 所
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は東京府西多摩郡成木村出身にして年少より埼玉縣所澤町山田力藏商店に永年業務を見習ひ明治四十一年主家の後援の下に現所に開業せるものなり爾來順調に推移し斯業の傍ら不動産業による殖財をも講じ今日の基礎を築くに至る
【所得税】 五三七圓 【營業收益税】 二二四圓
【家庭】 妻さく女 明治十二年六月十八日生。二女榮子女 明治四十二年五月七日生。長男文助氏 大正二年七月八日生

二男晃一氏 大正四年八月十六日生。三男裕次氏 大正六年九月八日生。長女あい女 明治三十九年五月四日生。三女静江女 大正十一年四月一日生。
【主なる親戚】 埼玉縣入間郡所澤町齋藤倉藏氏 妻女實父。

西村益者氏

明治二十七年一月二日生

【營業名】 綿ネル卸 まつた屋西村商店主
【營業所又】 東京市日本橋區大傳馬壘町十七番地 電話(浪花三三三)
【勤務先】 同 所
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は高知縣安藝郡野根村西村直行氏三男にして大正十年十月八日トキ女と婚姻し昭和四年四月八日現所に分家す大阪高等工業學校機械科出身にして松太綿布株式會社に入り後同社東京出張所主任たりしが昭和四年三月同出張所閉鎖するに至りたれば氏は其後を譲り受け綿ネル其他を扱ふと共に舊來の地盤を繼承し今日に至る。
【趣味】 野球

【家庭】 妻トキ女 明治三十一年十一月七日生。長男國彦氏 大正十一年二月二十一日生。長女ますみ女 大正十三年一

月二日生。二男泰藏氏 大正十五年七月二十四日生。
【主なる親戚】 大阪市南區南霞町九七五高瀬龜之助氏 (妻女實家)。大阪府西成郡北中島村五六七山本國藏氏 (妻女養父)

西脇亮三郎氏

明治三十年一月十九日生

【營業名】 越後兩毛米澤織物卸株式會社東京山西代表取締役
【職務先】 東京市日本橋區新和泉町八番地 電話(浪花二〇〇)
【住 所】 新潟縣北魚沼郡小千谷町九十五番地
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は新潟縣小千谷町素封家西脇家の當主新次郎氏の長男にして夙に慶應義塾を卒業昭和四年九月從來株式會社西脇商店東京支店として經營し居りたる日本橋區新和泉町八番地の店舗が本店より分離して株式會社東京山西となるや其の代表取締役となり現在に及ぶ。家業は先々代の創業に係り土地一流の商店として同地業界に重きをなし居れり。

〔に〕

【趣味】 謡曲 【宗教】 門徒宗 【地租】 二五八圓
【家庭】 戸主父新次郎氏 明治二年七月二十九日生。次弟得三郎氏 明治卅一年六月十四日生元鮮銀副總裁横部實之助氏

家に養子となる。妹頼子 明治三十三年六月三日生太陽生命徵收課長吉野源治郎氏に嫁す。妹篤子 明治卅九年十月六日生三輪田高女卒。弟洋三郎氏 明治三十一年四月十九日生法政大學生。五女知子大正二年八月二十九日生小千谷女學校生。長男基三郎氏 大正十三年十二月二十七日生小千谷小學生。妻眞澄 明治三十九年十一月八日生新潟市藤井忠太郎氏二女。二男祐之助氏 昭和五年二月十五日生。
【主なる親戚】 西脇濟三郎氏 (在東京西脇銀行頭取) 本家。西脇國三郎氏 (在新潟縣小千谷町) 亡母里方。藤井忠太郎氏 妻女生家 (在新潟市古町通り)。横部得三郎氏 (實弟) 小石川區關口臺町。吉野源治郎氏 (實妹頼女、夫) 牛込區東五軒町二十六。
【主なる出身者】 橋本留五郎氏 同區塚町 (長岡商事出張所員)。綿貫商店同濱町織物商。吉井商店 (同町織物商)。佐野幸作氏 (長岡市織物商)。西脇利平氏 (在濱町織物商)。

西脇源一氏

明治十六年二月十五日生

【營業】 羅紗既製品卸及切賣商
【營業所】 東京市神田區東龍閑町十九番地 電話(浪花三〇〇)

〔に〕

【住 所】同 所
【本籍地】同 所

【略歴】氏は元麴町區にて古着商を営み居りし渡邊山太郎氏の二男として生れ後親類に當る西脇家の養子となりし人にして年少時より麴町區仁木傳吉商店に奉公し明治卅三年頃現所に獨立し順調の経過を辿り今日に至る。業容は現下同業の中堅處と目され頗る堅實なる經營が續けられ居れり。

【宗教】淨土宗 【所得税】五九〇圓

【營業收益税】二八〇圓

【家庭】妻女てい女 明治十六年四月生れ麴町區麴町一丁目一五仁木傳吉氏長女、長男龍雄氏 明治四十二年五月生慶應大學經濟科本科一年在學。二女美恵子 大正九年六月生千櫻小學校四年在學。

【主なる親戚】妻女實家仁木正之助氏 麴町區麴町一丁目元羅紗商、義弟西脇庄五郎氏 麴町區麴町五丁目羅紗商、生家渡邊源一郎氏 神田區豊島町洋服古着卸商。

【主なる出身者】島崎啓吾氏 日本橋區馬喰町、洋服古着商、清塚勇氏 本所區押上、洋服小賣商、伊藤幸三郎氏 神田區神保町、洋服小賣商。

西脇庄五郎氏

明治十七年八月十日生

【營業】羅紗及廣幅縮布卸商

【營業所】東京市麴町區麴町六丁目十五番地 電話(九段五六一)

【住 所】同 所
【本籍地】同 所

【略歴】先代健治氏は新潟縣長岡市より出で明治十三年現所に古着商を以つて獨立以來堅實なる營業方針にて漸次進出し殊に軍需衣服品を扱ふに至りてよりは異狀の成績を揚げ得たものなり、氏は年少より父業を授け大正十一年先代死歿に依り家督を相続せり、今日東京羅紗縮布卸商界に在りて資産業容共に重きをなし居るものにして店業は實弟健治郎氏が補佐し地味にて且つ機を見るに敏なる行動は一般の稱揚する處なり。

【趣味】謠 【宗教】淨土宗 【所得税】九八四圓

【營業收益税】二八〇圓

【家庭】繼母クマ女 萬延元年十一月生先代後妻、妻女まさ女 明治十六年一月生麴町一丁目一〇仁木傳吉氏三女、妹つる女 明治三十五年四月生。

【主なる親戚】妻女實家仁木正之助氏 麴町一丁目一〇元羅

西堀千太郎氏

明治十年二月十三日生

【營業】關東織物問屋株式會社森五商店監査役

【職業】東京市日本橋區本石町二丁目十番地 電話(日本橋自〇九三)

【住 所】同 所

【本籍地】滋賀縣蒲生郡朝日野村大字大塚三百七十九番地

【略歴】氏は滋賀縣人西堀久兵衛氏二男にして明治三十六年十一月七日戸主となる年少の頃より當店に入り恪勤精勵する處あり後年拔擢されて東京支店支配人たりしが、其後更に昇進して當店本部(東京)理事となり専務理事森八郎助氏の下にありしが本年八月同店が株式會社に組織を變更するや擧げられて監査役の重職に就任せり、濃厚且社交的の紳士なり。

【宗教】禪宗

【家庭】妻てる女 明治八年十一月十五日生、同縣人吉村久七氏長女、明治三十年八月三十日入籍同三十六年十一月七日

西堀千太郎氏

明治十年九月二十三日生

【營業】吳服小賣近江屋吳服店主

【職業】東京市淺草區山ノ宿町三十一番地 電話(淺草三三〇)

【住 所】同 所

【本籍地】滋賀縣愛知郡日枝村大字下枝七番屋敷

【略歴】氏は江州の出身にして年少より日本橋區堀留町前川太郎兵衛商店に奉公し二十七歳の時淺草區千束町に於て獨立し震災後現所に移轉し來れるものなり、而して現時市内一二流カフェー専門に持出を爲し其他當主は横濱に於て高級バ「地球」を經營する等主として其方にあれば業務は妻女及長女婿養子半七氏擔當しつゝあり。

【家庭】妻すえ女 明治十六年十月三十日生。長女民恵女 〃

〔に〕

明治三十九年七月一日生。婿養子半七氏。明治三十五年八月五日生。店務補佐を爲す。孫千恵子女。大正十五年十月二十三日生。孫一郎氏。昭和三年六月十七日生。

西堀宗治郎氏

明治二十七年九月十三日生

【職業又】無地モスリン加工卸合資会社西堀商店代表社員

【職務先】東京市日本橋區堺町九番地 電話(浪花)1080

【住所】府下荏原郡東調布町大字鶴ノ木

【本籍地】東京市日本橋區堺町一番地

【略歴】氏は京都市柳馬場六角下る京吳服卸西堀清兵衛氏の二男にして明治卅六年七月滋賀縣愛知郡西押立村西堀すが女の養子となり同年十二月すが女の隠居によりて家督を相続す。夙に京都第一商業學校を卒へ大阪モスリン問屋千草安兵衛商店に入りたるが後東洋紡織の常務取締役となり其の東京出張所主任たりしが大正十二年退社し同社が廢業するや出張所跡を譲り受けて本業を開始し昭和五年四月現會社に組織を變更せり。

【趣味】 話 【所得税】 一〇五圓

【營業收益税】 二八圓

【家庭】 妻壽榮女。明治廿九年三月廿八日生。長男宗一氏。大正六年七月十六日生。二男義治氏。大正八年二月六日生。三男篤氏。大正九年十一月廿六日生。四男英夫氏。大正十三年一月一日生。長女弘子女。大正十三年十一月廿八日生。五男五男氏。昭和二年八月十三日生。

【主なる親戚】 西堀清兵衛氏。生家、京都市柳馬場六角下る吉田全助氏。妻里方、京都市室町通佛光寺下ル。西村與助氏。實妹か代女夫。

【職業又】 吳服太物洋反物小賣合資会社西堀吳服店代表社員

【職務先】 東京市本所區東兩國四丁目十六番地

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

西堀與三松氏

文久三年八月二十三日生

【略歴】氏は滋賀縣愛知郡秦川村西堀多郎右衛門氏の實弟にして年少より日本橋區某包紙店に奉公せしが主家の蹉跌により退店暫く同業を営みしが後本業に轉換して漸次今日の業容を爲すに至れり然るに氏の長男は早逝し相続人は孫なるも性來虛弱にして營業に適せず氏は既に七十一歳の老齡に達し居

ることゝて業務は店員に委せ自身は監督するに止め晩年を保養せん意圖より昭和六年三月一日家族及び店員を出資社員とする資本金三萬圓の合資會社を組織し氏は其代表社員となり今日に至る。

【所得税】 五七六圓 【營業收益税】 一九〇圓

【家庭】 養子ひさ女。明治四十三年二月二十四日生。

【主なる親戚】 東京市本所區相生町四丁目十七番地福島精一氏。ひさ女實兄。

西谷寅藏氏

明治十一年六月八日生

【職業又】 中形裏地加工卸山西商店主

【職務先】 東京市日本橋區新材木町十番地 電話(浪花)6208

【住所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣神崎郡北五個莊村大字龍田三十九番屋敷

【略歴】氏は滋賀縣神崎郡北五個莊村西谷萬太郎氏の長男にして明治三十年八月家督相続す夙に東京市日本橋區田所町織物問屋澤井藤助商店に入り恪勤の上大正十五年七月圓滿退店して現所に獨立開業せり。

【宗教】 淨土宗

西垣菊次郎氏

明治七年十二月五日生

【職業又】 吳服太物洋反物小賣近江屋吳服店主

【職務先】 東京市本所區吾妻橋三丁目二番地 電話(墨田)355

【住所】 同 所

【本籍地】 府下南葛飾郡寺島町大字寺島千二百三十五番地

【略歴】氏は滋賀縣犬上郡龜山村垣見儀八氏の二男にして十四歳の時上京日本橋區新材木町西澤善七商店に入り恪勤十數年主家の信任厚く後望まれて西垣藤女の養子となれるものなり、其後退店し一時日本橋區濱町に金巾中形類の鞘取をなし

〔に〕

たるも意の如くならず再び主家に奉公し明治四十四年に至り
獨立斯業を開始し以て今日に及ぶ。

【所得税】 二〇四圓 【營業收益税】 一二六圓

【地租】 七圓

【家庭】 妻とら女明治三十一年九月十四日生亡西垣藤女の
養子。長男定雄氏明治三十六年四月十一日生本店業務の補
佐をなす。二男榮孝氏明治四十四年五月十日生支店擔當。

【主なる親戚】 滋賀縣犬上郡龜山村五十六番屋敷垣見儀八氏
實家。市内深川區深川西六間堀町辰野喜兵衛氏妻女實父

二宮爲次郎氏

明治十七年四月二十五日生

【營業】 近在織物卸

【營業所】 東京市日本橋區高砂町七番地 電話(浪花二五)

【住所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣伊香郡伊香具村大字北布施二百二十三番地

【略歴】 氏は二宮繁治氏の二男にして年少時より京都市下村
忠兵衛商店に入店し間もなく東京支店詰となり。爾來恪勤二
十年余に及ぶ。大正七年十一月無事退店して獨立す。

【宗教】 眞宗 【所得税】 九圓

【營業收益税】 三三圓

【家庭】 戸主實兄甚之助氏明治九年五月十二日生二宮繁治
氏長男本籍地に住す。爲次郎氏妻菊女明治三十二年七月五
日生滋賀縣伊香具村原元治郎氏三女。

【主なる親戚】 滋賀縣伊香郡伊香具村大字北布施二宮甚太夫
氏農業。同所原元治郎氏生糸仲繼業。

二谷英太郎氏

明治三十一年一月二十五日生

【營業又
は職名】 吳服太物洋反物小賣小池屋店主

【營業所】 東京市下谷區元黒門町十七番地 電話下谷(四七)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は東京府人亡二谷鶴吉氏の長男にして昭和四年十
一月鶴吉氏死亡に因り家督相續す夙に四谷武藏屋吳服店に奉
公し永年勤続の後大正八年歸へりて父業を扶け今日に及ぶる
が其商才は一般に認めらるゝ處なり。

【所得税】 五四圓 【營業收益税】 五六圓

【家庭】 母さた女明治元年十月九日生。妻トミ女明治卅
六年九月十六日生。長男英一氏大正十二年十二月十三日生

【主なる親戚】 原吉吾氏妻女里方下谷區三輪町三十一番地

ほの部

堀越勘治氏

明治二十三年一月十一日生

【營業又
は職名】 毛斯綸問屋堀越合名會社代表社員

【營業所又
は勤務先】 東京市日本橋區通旅籠町十二番地 電話(浪花二五)

【住所】 東京市麴町區四番町二番地 電話(九段二〇六)

【本籍地】 東京市日本橋區通旅籠町十二番地

【略歴】 氏は先代勘治氏の長男なり、先代は群馬縣吉井藩士
族堀越辰之助氏の長男夙に同藩の出身者なる東京市日本橋區
通旅籠町十四番地洋反物卸商堀越角次郎商店に勤務し後角次
郎氏の長女を娶り明治二十五年四月別家す、堀越本店の廢業

するや其地盤一切を繼承大正八年七月資本金三十萬圓の合名
會社に組織を變更し大正十四年十月二日歿せり、當主は幼名
を安太郎と呼びしが先代歿後勘治を襲名相續す、慶應大學理
財科を卒業頭腦明晰にして成績優等なりき、温厚なる紳士な
り。

【趣味】 讀書の外繪畫

【宗教】 眞言宗

【所得税】 五、〇七九圓 【營業收益税】 一、九六八圓

【地租】 三一八圓

【家庭】 母茂と女明治元年十月二十八日生先代堀越角次郎
長女。弟泰次郎氏明治二十六年七月十三日生早稻田實業を
卒業し以來父兄を輔けて實家に在り特に繪畫の趣味を有す、
堀越合名會社々員たり。

【主なる親戚】 從兄堀越角次郎氏勳五等東京府多額納税
者。養伯母明子女西尾忠篤子爵夫人。伯母美代女日本銀
行理事堀越鐵藏氏夫人。

【主なる出身者】 毛斯綸加工卸故坂本健藏氏日本橋區田所
町坂健商店先代。同中村菊次郎氏同區通旅籠町。竹屋モス
リン店大竹喜之助氏同人形町通。藤屋モスリン店藤沼仁三
郎氏龜戸。越後屋吳服店安藤德藏氏三田。

堀常吉氏

慶應元年三月十日生

【營業】 風呂敷卸

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町八番地 電話(浪花四〇)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣神崎郡葉枝見村野田德兵衛氏の三男にし

て明治二十九年三月堀猪三郎氏の養子となり同年十二月猪三郎氏の死去に因り家督を相続す。年少時上京し、當時日本橋區富澤町にて裏地問屋たりし篠原直吉(現存せず)商店に入り恪勤する事多年明治三十一年無事退店すると共に區内橋町に獨立したり。

遣り口終始一貫堅實方針を採り來りて氏の眞面目なる性格と堅實味は各方面に對し好印象を與へ居れり。

【宗教】 眞 宗 【營業收益税】 七五圓

【家庭】 妻志つ女 明治十四年二月十三日生、滋賀縣蒲生郡八幡町西川勝助氏五女。二男猪三郎氏 明治四十年一月十六日生現在店務従事。三男德平氏 明治四十二年三月十三日生現在店務従事。三女幸女 大正元年八月十五日生實科女學校卒業。五女美代子女 大正六年四月三日生府立第一女學校在學中。長女八重女は北川馬之助氏の妻女たり。

【主なる親戚】 日本橋區久松町風呂敷卸北川馬之助氏。滋賀縣蒲生郡日野町無職高井作兵衛氏。滋賀縣蒲生郡日野町酒造業鈴木仙右衛門氏。

【主なる出身者】 日本橋區久松町風呂敷卸北川馬之助氏。

堀 日 文 氏

明治九年六月二十九日生

【營業又】 百貨店株式會社ほてい屋吳服店常務取締役

【職名】 東京市四谷區新宿三丁目七番地 電話(四谷 六三〇)

【營業所又】 本郷區駒込淺嘉町一丁目四番地 電話(小石川 六三〇)

【住 所】 本郷區駒込淺嘉町一丁目四番地 電話(小石川 六三〇)

【本籍地】 兵庫縣出石郡出石町松枝二十九番地

【略歴】 氏は本籍地亡堀鯉助氏の男にして堀遊龜彦氏の甥に當り明治三十一年十月分家して一家を成す年少時の頃京都市直木吳服店に入りて奉公せしが約三年にして主家の廢業により退店の後種々の業に携はり嘗ては臺灣にて土木請負業をなせしことあり明治卅九年頃上京して牛込區神樂坂ほてい屋吳服店に勤務の後約一年半にして四谷區傳馬町ほてい屋本店に轉じ同店の爲に精勤熄まず同店の新宿に進出して昭和二年十二月株式會社ほてい屋吳服店の設立せらるゝに及び取締役に擧げられ同店經理部長の任にあり人物眞面目にして商手腕に富む。

【宗教】 眞 宗 【所得税】 五九圓

【家庭】 妻テウ女 明治十二年十二月十三日生。長男保彦氏 明治四十四年二月十八日生明治大學在學。

【主なる親戚】 妻兄近藤菊三郎氏 四谷區傳馬町新一ノ一〇

堀 甚 吉 氏

明治二十八年七月三十日生

【營業又】 吳服中形小賣株式會社堀吳服店代表取締役

【職名】 東京市京橋區日吉町二十番地 電話(銀座 一九六)

【營業所又】 同 所

【住 所】 同 所

【本籍地】 岐阜縣稻葉郡加納町大字東加納二百二番地

【略歴】 氏は日本橋區江戸橋三丁目吳服小賣商堀平三郎氏の先代堀金次郎氏の二男にして年少より家業に従事し居たりしが父金次郎氏が老境に入るや同店に永年勤続して姉婿となりし平三郎氏と共同經營せしも面白からず氏は大正八年十一月現所を支店として別家し斯業を開始せり而して更に後本支店合併して合名組織に更め或は解散したるが大正十一年嚴父病歿に依り家督を相続せり、尙昭和四年一月八日には資本金二十萬圓(拂込十二萬五千圓)に組織を變更し氏は代表取締役として今日に至る。

【所得税】 二九八圓 【營業收益税】 一七九圓

【家庭】 妻なか女 明治三十二年四月三日生。二女節子女 大正八年十一月廿四日生。二男博治氏 大正十年十一月十五日生。三男榮三氏 大正十一年十月二十六日生。姉いと女 明治六年六月二日生岐阜縣稻葉郡里野村亡野々村助八氏長女

堀 富 一 氏

明治二十三年一月八日生

【營業又】 洋服既製品卸

【職名】 東京市神田區岩本町十四番地 電話(浪花 四三五)

【營業所又】 同 所

【住 所】 同 所

【本籍地】 東京市神田區岩本町十番地

【略歴】 氏は新潟縣北蒲原郡新發田町字外ヶ輪裏一八二番地戸主堀三次氏叔父に生れ、昭和五年一月三十日分家戸主となる、夙に上京し東京羅紗既製品株式會社(震災にて解散不現存)の職人となりたるが大正七年現所に獨立今日に至れり。

【宗教】 眞 宗 【所得税】 一八圓

【營業收益税】 五六圓

〔ほ〕

【家庭】 妻女モト女 明治三十二年十月二十日生 東京市下谷區御徒町三丁目二十番地 戸主本間安三氏 實姉、大正十一年一月二十五日 婚姻入籍。長女あい子女 大正十一年五月七日生 和泉小學二年在學。二女トシ子女 大正十三年二月六日生。長男健吉氏 大正十五年十一月十一日生。二男榮吉氏 昭和五年五月三十一日生。

【主なる親戚】 義弟本間安三氏 東京市下谷區御徒町三丁目二十番地 羅紗並附屬品卸。實弟堀珊爾氏 東京市神田區東龍岡町六番地 羅紗既製品卸業。

細田又吉氏

明治十三年四月十七日生

【職業又】 半襟服飾品問屋株式会社細田商店常務取締役

【は職名】 東京市日本橋區田所町二番地 電話(浪花) 1010

【は勤務先】 府下荏原郡入新井町新井宿 電話(大森) 311A

【住 所】 千八百十九番地

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣犬上郡彦根町磯崎周吉氏弟にして明治卅九年四月細田家の養子となる、元來同店は斯界第一流の店舗にして本店は京都市中京區富小路御池上るに在り東京店以外各地に支店出張所を有し安政二年創業以來業容日に進み細田

合名會社は現時奥向資産の保全に營業は昭和二年一月より、

資本金百萬圓全拂の株式會社に區分したるが氏は東京店の代表重役として各支店を統轄し老舗の店格を維持しつゝあるものにして資性温厚篤實なる紳士なり。

【趣味】 謠曲 【宗教】 淨土宗 【所得稅】 一、二七三圓

【家庭】 妻女春女 明治十七年四月二十五日生。長男益男氏 大正七年九月五日生 慶應普通部在學。四女惠美女 大正九年十二月二十一日生 森村小學校在學中。

【主なる親戚】 細田善兵衛氏 京都市富小路二條南入株式會社細田商店相談役。細田禮輔氏 京都市富小路北入同店社長。大川榮次氏 東京市日本橋區江戸橋一丁目六番地 長女トキ女夫、乾物問屋。加藤近信氏 東京市外蒲田町御園、妻女里方。

細田貞雄氏

明治二十五年八月二十五日生

【營業】 中形裏地加工卸商

【營業所】 東京市日本橋區田所町二十二番地 電話(浪花) 555

【住 所】 同 所

【本籍地】 東京市日本橋區久松町三十五番地

女ノブ女と婚養子縁組をなす。大正十年五月分家せり。

氏の實家は機業家なるが氏は年少の頃より大阪市關東織物商小野利三郎商店にて斯業を見習ひ兩毛仕入を擔當せし關係上入家後も兩毛品を併せ扱ふに至れり。氏の分家前同店は奥向と區分する爲め大正四年合資組織とせしが今日に於ては氏の個人經營下にあるものと見て差支なく堅實なる業歩を辿り居るものなり。

【宗教】 眞言宗 【所得稅】 二八圓

【地租】 二八圓

【家庭】 妻ノブ女 明治二十五年二月二十四日生 日本橋區橋町二丁目亡先代坊野宗兵衛氏二女。長男喜太郎氏 明治四十五年四月二十七日生 府立第一商業學校卒業 現在店務に従事しつゝあり。長女喜美子女 大正五年二月十二日生 東洋家政女學校在學中。

【主なる親戚】 日本橋區小傳馬町桑原七兵衛氏 鐵問屋業及び鐵業銀行頭取。日本橋區橋町二丁目一 中川喜四郎氏 びロ ード製織卸。奈良縣高市郡天滿村大字奥田一番屋敷西川藤太郎氏 喜三郎氏の實兄にして現在機業を営みつゝあり。

〔ほ〕

【略歴】 氏は山梨縣北巨摩郡熱見村字藏原農亡細田伊三郎氏長男十四歳上京叔父に當る日本橋區新大阪町風呂敷卸商坂本条三郎商店に奉公廿一年間恪勤の後大正十四年三月獨立開業昭和三年現所に移轉今日に及びしものなり。

【宗教】 日蓮宗

【家庭】 妻千代女 明治卅五年一月二十四日生 市外龜戸町染物業亡大枝惣太郎氏三女にして立教高女卒。養子愛女 大正十年三月九日生 千代女妹けい女の子にして昭和四年五月同家と養子縁組せしものなり 久松小學在學。

【主なる親戚】 妻女生家 父大枝惣太郎氏死亡實兄大枝惣吉氏 小松川町に於て染物業。

坊野喜三郎氏

明治十四年三月六日生

【職業又】 本橋區市卸商會社坊野商店代表社員

【は職名】 東京市日本橋區橋町二丁目二番地 電話(浪花) 1100

【營業所】 同 所

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は奈良縣高市郡天滿村大字奥田一番屋敷西川藤太郎氏の弟にして明治四十三年三月七日先代坊野宗兵衛氏の二

〔ほ〕

星野情一郎氏

明治十五年三月十七日生

【營業】 綿布金巾卸
【營業所】 東京市日本橋區元濱町五、六番地 電話(浪花)二四〇
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は埼玉縣北足立郡鴻巣町星野寅吉氏の長男なり。十二歳の時上京して區内橋町舊門田嘉右衛門商店に奉公し勤続十一年主家閉店に際し其地盤を繼承し區内東縁河岸に獨立開業せり。其後橋町に移轉し更に震災後現所に再々轉せしものなり。終始堅實なる歩調を以て年次業勢の伸展に努力しつゝ今日に及ぶ。

【趣味】 釣魚 【宗教】 眞言宗 【所得税】 三四七圓

【營業收益税】 一八七圓
【家庭】 妻てい女 明治十六年五月一日生 府下日暮里町大字金杉小林信次郎氏三女。長男榮三氏 大正三年一月一日生 慶應大學豫科在學中。

【主なる親戚】 日本橋區馬喰町四丁目星野賢次郎氏(實弟) 〓 吳服小賣商。同區油町十四塚田賢次郎氏 〓 メリヤス卸。芝區白金臺町金澤藤三郎氏 〓 日糖重役。日本橋區藥研堀町石田與太郎氏 〓 兄。

次郎氏(實妹の夫にして現在同店に従業す)。
【主なる出身者】 日本橋區久松町篠原熊吉氏 〓 綿布卸。

本田啓次郎氏

明治二十一年九月二十六日生

【營業】 襪吳服問屋
【營業所】 東京市日本橋區濱町二丁目九番地 電話(浪花)六三〇
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 同店は先代繁次郎氏が明治十二年創業せしものにて古着背負商より所謂七轉八起の経路を辿り今日の基礎を爲せりと説かれ啓次郎氏は亡田島忠藏氏の次男に生れ明治二十八年三月叔父に當る繁次郎氏の養子となり大正十一年繁次郎氏病歿して家督を相続したるものなり營業は襪吳服問屋にして現在同業第一流の店舗と目されつゝあり。

【宗教】 門徒宗 【所得税】 六五七圓

【營業收益税】 八三四圓
【家庭】 養母はん女 〓 文久二年十月二日生。妻つね女 〓 明治二十四年十一月十九日生 南葛飾郡平井町字上平井寺島重太郎氏の長女なり。長男繁男氏 〓 大正二年一月七日生。

一高女卒業。二男幸治氏 〓 昭和三年十二月二十二日生。

【主なる親戚】 京橋區月島西仲通四丁目六吳服小賣商伊東隆太郎氏。日本橋區通旅籠町二三元雜綿布卸商高橋新四郎氏。

本多庄七氏

明治三十四年三月二十三日生

【營業】 袴地、袴、洋反物卸
【營業所】 東京市日本橋區通油町十八番地 電話(浪花)三〇〇
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は舊名を榮次郎と稱し、先代庄七氏の二男なり。明治三十九年十一月先代死去により家督を相續し更に先代を襲名せり。當時氏は未だ幼少なりしかば先代未亡人擔當の下に營業は持續されれるなり。氏は後、區内長谷川町近房商店(現在せず)に斯業を見習ひたるが大正八年未亡人死歿するに及び、歸店して業務を繼承し、爾來地味堅實に經營し來りて今日に及ぶ。

【趣味】 旅行 【宗教】 眞宗 【所得税】 五二圓

【營業收益税】 五六圓
【家庭】 妻已代子女 〓 明治三十八年十二月十五日生 東京府南葛飾郡吾嬭町大字龜戸製藥販賣商長井幸三郎氏四女、府立第

本多徳之助氏

明治二十一年六月十四日生

【營業又職名】 羅紗綿布卸合資會社本多商店代表社員
【營業所又勤務先】 東京市神田區東松山下町三十二番地
【住所】 同 所
【本籍地】 福島縣安達郡二本松町字龜谷一丁目五十四番地

【略歴】 氏は福島縣伊達郡川俣町高橋愛之助氏二男にして大正三年十月本多家に婿養子となれるものなり是より先氏は實兄修藏氏の營業を補佐し居りしが大正十五年實兄病歿せしを以て營業を繼承せり而して昭和五年五月十八日資本金五千圓の合資會社に組織を更め氏は其代表社員となり現在に及ぶ。

【家庭】 妻ヤス女 〓 明治二十三年三月二十七日生。養子國次氏 〓 明治三十八年六月十八日生。長男敏男氏 〓 昭和二年四月二十五日生。長女セキ女 〓 明治四十二年一月二十二日生 昭和二年十月二十七日 福島縣伊達郡小牛村森兵衛氏と婚姻す。

【主なる親戚】 福島縣安達郡二本松町本多徳次郎氏 〓 國次氏

〔ほ〕
實父。

本間 純治氏

明治十一年八月七日生

【營業又
は職名】 織物現金問屋稻村源助商店支配人

【勤務先】 東京市日本橋區富澤町十番地電話(浪花) 三三〇
【住所】 同 日本橋區濱町三丁目四十五番地

【本籍地】 埼玉縣大里郡深谷町大字深谷二十六番地

【略歴】 氏は埼玉縣大里郡深谷町本間貞六郎氏の七男なり。

明治二十四年十月織物問屋稻源商店に入店し先代當代の二代に仕へその信認を受くること厚く大正十二年三月支配人に進む。震災後の難局に善處して主家の復興に努め爾來店勢の向上に勤みつゝ今日に及びたり。資性温厚の士にして大正十三年織物同業組合より勤続二十五年以上の表彰を受く。

【趣味】 旅行 【宗教】 日蓮宗

【家庭】 妻はま女 明治十五年九月十五日生埼玉縣深谷町須藤治兵衛氏長女。二男善八郎氏 明治四十三年十月六日生慶應大學經濟科在學中。

【主なる親戚】 埼玉縣深谷町本間綾子女。同町卜部義雄氏 醫學博士。同縣寄居山田豊次氏 醫師。臺北市本間六郎氏。

本間 安三氏

明治三十四年十月二十八日生

【營業】 羅紗並附屬品切賣商本間羅紗店主

【營業所】 東京市下谷區仲御徒町三丁目三番地 電話(下谷) 五八三三

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は市内下谷區本間廣太郎氏長男に生れ長じて神田區東龍岡町武神商店に奉公し後退店同僚と共に一時ブローカーを營みし事あり而して大正十年一月僅少の資本を以て羅紗切賣兼ブローカーを始めし程なく入營し除隊後再び開始せんとする折柄震災に遭遇せりされど氏は十三年六月現所に復興進出し爾來一躍店業を擴張爲し來れるものなり。

【營業收益税】 三三〇

【家庭】 母てる女 明治十年十一月十二日生。弟泰市氏 明治三十八年九月十日生。妹きみ女 明治四十五年六月二十日生。弟萬明氏 大正三年七月二十七日生。妻昌子女 明治四十四年九月六日生。長男安雄氏 昭和四年三月十七日生。

【主なる親戚】 市内京橋區銀座三丁目十八番地種村亮一氏 妻女實弟。東京市神田區岩本町十四番地洋服既製品卸堀富二氏 義兄

と の 部

外山 彌助氏

明治四年四月五日生

【營業又
は職名】 織物現金問屋三彌外山彌助商店主

【營業所又
は勤務先】 東京市日本橋區元濱町九番地 電話(浪花) 三〇六七

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は京都府葛野郡朱雀村字西京亡多田佐助氏の長男にして京都下忠商店に多年勤続後明治三十六年四月先代外山彌助氏の養子となり同四十一年四月前名貞治郎を改めて彌助を襲名し同年五月分家して一家を爲す先代彌助氏は眞美と稱して現在相州鎌倉雪の下に隠居す、元來同店は享保元年の創業に係り今尙ほ織物現金問屋として店格を保持せるは當主の努力に俟つ事大なり東京府多額納税者たり、尙ほ稻源近元岡正等一流同業者と親戚同様の縁故あり現時店務は養子達三郎氏擔當せるが氏も亦鋭意業務の進展に努め内外に聲望ある人なり。

【趣味】 讀書骨董 【宗教】 眞宗 【所得稅】 八、五八三圓

【營業收益税】 一、五四〇圓

【家庭】 妻ユキ女 明治十四年二月十九日生先代彌助氏長女 養子達三郎氏 明治二十八年九月五日生婿養子。長女チャウ女 明治三十六年八月十五日生日本橋高女卒達三郎氏妻女。四女芳子女 大正九年二月十五日生。孫ゑい子女 大正十五年六月三十日生達三郎氏二女。孫道子女 昭和三年十月十七月生達三郎氏三女。孫暢子女 昭和五年三月三日生達三郎氏四女。

【主なる親戚】 外山英之助氏 市外杉並町高圓寺外山英之助氏質業(本家)。古河治郎兵衛氏 淺草區橋場町古河汽船會社々長。薩摩治兵衛氏 神田區駿河臺。下村忠兵衛氏 京都市烏丸四條下る。鈴木喜兵衛氏 徳力地金店神田區松田町。塚崎忠三郎氏 足利市大月機業家。大川浪太郎氏 栃木縣足利郡渠田村。多田反三郎氏 日本橋區濱町。

【主なる出身者】 市外五反田大丸屋吳服店市原芳藏氏。市外龜戸天神屋吳服店大瀧初治氏。淺草區福井町巳之吉吳服店主 同玉姫町西岡吳服店主。京橋區銀座西、蛭原萬吉氏(正金商會社々長)。

外村 茂氏

明治三十五年十二月二十三日生

【營業又】 繙帯材料布剛綿製造卸合資會社外村商店無限社員
 【は職名】 府下北豊島郡高田町百一番地(本店)電話(牛込三三〇)
 【營業所】 東京市深川區西大工町十九番地
 【住 所】 滋賀縣神崎郡南五個莊村大字金堂六百三十一番地
 【本籍地】 滋賀縣神崎郡南五個莊村大字金堂六百三十一番地

【略歴】 氏は滋賀縣神崎郡南五個莊村大字金堂亡外村吉太郎氏の三男にして昭和二年十二月十四日家督を相續す、家業は亡父吉太郎氏の創始せるものにして衛生材料部は明治四十年頃合資會社組織となし製綿部と區別し居りたるが昭和二年十一月二十三日嚴父病歿せるより兩者を合併して現組織に統一し古參店員木村利三郎氏を代表社員として經營今日に至る、氏は昭和二年東京帝大經濟學部出身の俊才にして日本橋區新大阪町同店支店に勤務し兼て店務を總轄す温厚篤實なる青年紳士なり。

【趣味】 文 藝 【宗教】 淨土眞宗
 【家庭】 母みわ女 明治十一年二月七日生、滋賀縣人外村元明氏長女、明治二十八年十二月十七日亡吉太郎氏と婚姻入籍。義兄謙次氏 明治二十五年五月十二日生、姉と姉女。姉と姉女 明治三十一年一月十八日生。弟昌明氏 明治四十年一月十六日生。甥吉夫氏 大正十年六月五日生謙次氏長男。姪富美子女 大正十四年十一月十七日生謙次氏長女。

【主なる親戚】 伯父外村宇兵衛氏 滋賀縣神崎郡南五個莊村大字金堂御幸毛織株式會社取締役社長。伯父外村專五郎氏 東京市小石川區丸山町一六無業。岡島久右衛門氏 義兄謙次氏里方滋賀縣神崎郡南五個莊村農業。
 【主なる出身者】 小杉道藏氏 小杉屋吳服店主市内淺草區小島町。柴田甚五郎氏 脱脂綿製造業市外高田町。

外村 彌治右衛門氏

明治十七年二月二十五日生

【營業】 綿布卸商
 【營業所】 東京市日本橋區長谷川町八番地 電話(浪花 四三)
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 滋賀縣神崎郡南五個莊村大字川並七百二十八番地
 【略歴】 氏は先代彌治右衛門氏の五男に生れ彌五郎と稱す先代は永く持下り商を營み明治十九年現所に店舗を設け爾來今日に至る大正二年老齡により隱居し彌五郎氏相續同年六月交代して襲名す。
 【宗教】 一向眞宗 【營業收益税】 八四圓

【家庭】 母の女 弘化四年四月拾九日生。妻かく女 明治二十四年三月十九日生。長男彌一氏 明治四十五年三月二日生。長女さだ女 大正四年三月三日生。
 【主なる親戚】 大阪市備後町綿ネル廣巾織物卸商大橋嘉兵衛氏(妻の兄)。

土井 清次郎氏

明治十九年十一月二十二日生

【營業又】 毛織物問屋株式會社土井商店取締役社長
 【は職名】 東京市日本橋區田所町六番地 電話(浪花 三五〇) (妻六)
 【營業所又】 東京市日本橋區濱町三丁目二番地 電話(浪花 四六〇)
 【住 所】 東京市日本橋區濱町三丁目二番地 電話(浪花 四六〇)
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は神田區久右衛門町建部庄八氏の二男にして大正三年二月土井商店先代亡猶楠氏長女ミツ女の婿養子として迎へられ大正九年八月分家して一家をなす夙に同店の興隆の爲めに養父猶楠氏と協力奮闘したり昭和五年猶楠氏歿するや其の跡を襲いて社長となるは當然なり業界知名の紳商にして温厚篤實商手腕に富む。

【趣味】 謡曲 【宗教】 眞宗 【所得税】 一、三二八圓
 【家庭】 妻ミツ女 明治二十七年二月五日生。長女美代子女

土井 彦治郎氏

明治三十年十月八日生

【營業又】 毛織物問屋株式會社土井商店專務取締役
 【は職名】 東京市日本橋區田所町六番地 電話(浪花 三五〇) (妻六)
 【營業所又】 東京市日本橋區北久太郎町三丁目 電話(船場 一五一)
 【住 所】 東京市日本橋區田所町六番地
 【本籍地】 東京市日本橋區田所町六番地

【略歴】 氏は和歌山縣人亡土井猶楠氏の長男にして昭和五年六月猶楠氏死亡に因り家督相續す家業は父猶楠氏の創業に係り現時毛織問屋界第一流の班に列し居れるが現會社は大正九

〔と〕

年一月資本金百萬圓内七十七萬五千圓拂込にて設立されたるものにて大阪市東區北久太郎町に支店を有し業界第一流の店として知らる、彦治郎氏は土井家の相續人なるも營業上會社々長は義兄にして前專務たる清次郎氏が就任し彦治郎氏は先年大阪支店長たりし關係上現在專務として大阪支店監督の任にあり濃厚なる紳士なり。

【宗教】 眞宗 【所得税】 三、八七五圓

【家庭】 母ウタ女 明治六年四月十二日生。妻よし女 明治三十一年八月三十一日生。長女清子女 大正十年九月二十九日生。二女松枝女 大正十二年十月三十一日生。三女治世女 大正十四年十一月十五日生。弟要之輔氏 明治三十六年一月二十日生。弟藤吉氏 明治三十八年十二月三十一日生。弟徳造氏 明治四十二年四月七日生。妹マツ女 明治四十四年十二月十六日生。

【主なる親戚】 天野氏 母里方京橋區越前堀二丁目。半田幸太郎氏 妻里方群馬縣原市町。土井清次郎氏 義兄日本橋區濱町三丁目二番地。

土井彦太郎氏

明治二十九年十二月二十七日生

【營業】 内外羅紗卸商

【營業所】 東京市神田區久右衛門町一番地 電話(浪花 九〇)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は大阪に於て貿易商を營める土井彦十郎氏の四男として生る幼時上京實兄彦一郎氏の營業を手傳ひ居りしが大正七年中兄弟出資の資本金貳萬圓の合資會社土井彦商店を設立し氏は其代表社員となる同社は大正十一年七月三十日解散し當主の個人經營となせり是れ現在の土井彦貿易店の濫觴にして従來は舶來羅紗のみを多く扱ひ來りしが近年は自ら原糸を手當し兩毛方面の機業家に特種の織物を製織せしめ來れるより業績亦看るべきものあり、氏は早大理工科の出身なり。

【趣味】 弓 術 【宗教】 眞宗

【營業收益税】 七六圓

【家庭】 妻ハルエ女 明治三十二年三月十日生奈良縣磯城郡城島村大字忍坂六六西田傳藏氏六女。長女智恵子 大正十年十二月十二日生千代田小學校通學中。二女教吉子 大正十一年十一月十日生千代田小學校通學中。

【主なる親戚】 土井彦一郎氏は實兄にして麴町元園町に毛糸卸商を營む。紀元三次郎氏(甥)は濟生會會計課長にして縁戚西田傳藏氏岳父奈良縣人。

富永眞造氏

明治二十六年五月十六日生

【營業名】 本綿問屋株式會社田端屋商店專務取締役

【營業所】 東京市日本橋區新大阪町一番地 電話(浪花 三三三三)

【住 所】 東京市芝區高輪南町三十番地 電話(高輪 一四〇)

【本籍地】 東京市本郷區湯島新表町百三番地

【略歴】 氏は廣島縣沼隈郡松永町七二七富永勝助氏の五男にして東京帝國大學英法科出身法學士たり曩に同窓關係の株式會社田端屋商店社長田中齊氏に手腕を認められ入りて專務取締役に就任するや良く社長田中氏を援け三百年の歴史を有する同店の經營に献身的に善處し鋭意同店の恢弘に努力しつゝあるものなり、現在田端屋商店關係各會社の重役を兼任し社長田中氏の信認厚し。

【宗教】 眞宗 【所得税】 五九圓

【家庭】 妻テイ女 明治三十年九月十日生。長男映之助氏 大正十二年一月八日生。

【主なる親戚】 本家富永勝助氏 廣島縣沼隈郡松永町七二七。妻女實家芝川照吉氏 大阪市東區高麗橋三丁目十番地大阪毛織及芝川商店重役。

富永茂吉氏

明治二十三年六月二十五日生

【職 名】 コール天生地並に製品卸鬼足袋株式會社取締役

【勤務先】 東京市日本橋區本石町三丁目十七番地電話(日本橋 五七)

【住 所】 府下荏原郡大森町八百五番地 電話(大森 三〇三)

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は静岡縣濱松市傳馬町五十三番地松下文之助氏の男なるが明治二十八年五月六日實母さんと女の生家富永を相續す夙に先代寺田淳平氏に嚆望せられ大正三年十一月六日其長女たを子を娶り爾來岳父の關係事業たる鬼足袋工業、大日本紡績、帝國足袋等の樞機に參與し先代歿後は關係會社の興隆に努力しあり又曾て遠州紡績株式會社取締役等をなし濃厚誠實の紳士として知らる。

【趣味】 讀書

【家庭】 妻たを女 明治二十六年十月十三日生亡寺田淳平氏長女。長女直子 大正四年三月六日生。二女康子 大正七年

〔と〕 十一月二十八日生。三女良子。大正九年十二月十七日生。四女茂子。大正十一年九月三十日生。二男恒吉。大正十五年一月二十四日生。三男素雄。昭和二年八月六日生。

【主なる親戚】 寺田淳平氏（妻女の實兄） 松下喜太郎氏（親戚） 静岡縣濱松市。

【營業收益税】 六七圓

【家庭】 父菊治氏。萬延元年五月十日生。妻喜美女。明治二十四年五月六日生。次男榮次郎氏。大正十四年一月十六日生。長女壽子女。昭和三年七月九日生。

【主なる出身者】 麻布區廣尾町萬屋吳服店鈴木徳次郎氏。

富山喜太郎氏

明治十三年四月八日生

【營業】 綿布卸商

【營業所】 東京市日本橋區通鹽町十二番地 電話（浪花三〇）

【住所】 同所

【本籍地】 栃木縣下都賀郡栃木町大字栃木城内百二十三番地

【略歴】 氏は幼少の頃神田區岩井町野代徳次商店に入り勤続二十七年然るに主家破綻により退店する事となり府下大島町に染色工業を営む父菊治氏の營業を補佐し居たるが大正四年桶町に獨立し昭和四年現所に移轉したるものなり扱品は綿物紡績緋裏地等にして兩毛東海道筋東北方面を販路とするものなるが營業方針保守的にして人物温順なれば賣買兩方面の印象佳なるものあり。

【趣味】 園藝 【宗教】 日蓮宗 【所得税】 五七圓

友岡新藏氏

明治十三年十月十五日生

【營業又】 織物現金問屋株式會社杉浦商店事務取締役

【勤務先】 東京市日本橋區本石町四ノ二三電話（日本橋一〇六〇）

【住所】 府下豊多摩郡中野町米川三番地電話（中野四〇一）

【本籍地】 滋賀縣高島郡水尾村大字鴨二千八百三十四番地

【略歴】 氏は滋賀縣人亡友岡竹次郎氏長男にして明治四十四年十一月十六日家督を相続す是より先き明治廿四年十二歳の時上京直ちに當店に入店せるが勤勉實直なる氏は漸次舊主三郎兵衛氏の信用拔擢を受け大正十二年十二月株式會社に組織を變更するや（現時資本金三十萬圓）其の取締役に就任し昨年更らに専務取締役に任じ經營一切の衝に當る。由來友岡家は同氏を初め當店創業當時より杉浦家に仕ふること既に三代に及び同氏亦勤続約四十年に達せり曩きに主家並に各方面の衆

望を荷ひ經營の全責任を負ふや更らに業容の進展に寢食を忘れて努力しつゝあり、温厚勤嚴なる紳士にして、日露戰役偉勳に依り金鷄勳章を賜り功七級勳七等に叙せらる。

【趣味】 盆栽 【宗教】 曹洞宗 【所得税】 四〇七圓

【家庭】 母かた女。嘉永四年十月十一日生。妻女志津女。明治廿一年八月四日生。滋賀縣人亡足立成基氏長女。明治四十四年四月二十二日婚姻入籍。姉なる女。明治六年八月二十日生。長女多加女。大正二年六月二十四日生。府立第五高女卒。養子金藏氏。明治三十三年十二月八日生。京都府人亡三大寺正八氏五男。昭和三年四月十三日養子縁組をなす。當店勤務。

【主なる親戚】 三大寺正一郎氏。同店取締役養子金藏氏實兄。義兄足立節三氏。滋賀縣高島郡饗庭村大字饗庭九五五番地農業。

徳永四郎氏

明治十五年五月二十二日生

〔と〕

【營業】 木綿金巾卸商

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町七番地 電話（浪花四六）

【住所】 同所

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は三重縣飯南郡漕代村大字早瀬農亡徳永源三郎氏の四男として生る明治二十八年上京日本橋區本町柏原孫右衛門商店に奉公し大正三年主家廢業と共に得意其他の主家の地盤を踏襲し日本橋區葺屋町に獨立開業し震災には相當の損失を蒙りたるも現所に再起奮闘し今日に及びしものにして採算家なりと稱せらる。

【趣味】 音楽 【宗教】 門徒宗 【所得税】 二二圓

【家庭】 妻かね女。明治二十七年一月二十四日生。日本橋區本石町十八中村多七氏の長女。長女千恵子女。大正十年一月二日生。小學校在學。三女弘子女。大正十五年一月三十一日生。四女幸子女。昭和四年六月一日生。

遠山儀兵衛氏

明治四十二年三月二十九日生

【營業】 木綿物卸

【營業所】 東京市日本橋區大傳馬町三丁目五番地電話（浪花三三）

【住所】 同所

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は牛込區納戸町一磯貝小八氏二男にして大正八年四月九日先代儀兵衛氏の養子となれるものなり昭和三年二月

〔と〕

二十三日前戸主儀兵衛氏病歿に因り前名庄之助氏を更め家督相續襲名し現在に至る。

【所得税】 一〇一圓 【營業收益税】 二二四圓

【家庭】 養母モト女 明治十一年八月十五日生。

【主なる親戚】 東京市牛込區納戸町一磯貝小八氏 實父。神奈川縣足柄下郡小田原町市川文左衛門氏 伯父(養母兄)。

【家庭】 祖母やえの女 弘化元年九月二十日生。母やす女 明治六年七月十八日生。妻保子女 明治二七年五月一日生。弟賢一氏 明治三十四年四月一日生。四男勝久氏 昭和五年九月十四日生。

【主なる親戚】 酒井要一郎氏 母の義弟下谷區竹町十二番地 同業。

戸田左一郎氏

明治二十四年四月一日生

【營業】 吳服太物洋反物小賣商おばなや吳服店主

【營業所】 東京市麻布區坂下町三十六番地 電話(高輪五九一)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は愛知縣中島郡祖父江町字山崎亡戸田倭三郎氏の長男にして昭和二年七月倭三郎氏死歿に因り家督相續す十六歳にして上京し日本橋區芳町おばなや吳服店に奉公し、大正元年兵役に服したるが服役後大正六年迄奉公を續け同年圓滿退店の上現所に獨立開業せり。

【趣味】 寫眞、生花、茶の湯、書畫 【所得税】 九四圓

【地租】 三九圓

ぬの部

沼崎勘兵衛氏

元治元年七月十八日生

【營業】 袴帶及兒服加工卸

【營業所】 東京市日本橋區通旅籠町九番地 電話(浪花三〇七)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は東京府荏原郡矢口村鹽澤惣左衛門氏の五男に生れ十三歳の時上京日本橋區長谷川町袴帶卸沼崎勘兵衛商店に入り先代病歿するや望まれて養子となり明治二十四年八月十七日家督相續襲名せり、明治三十年二月二十二日現妻女すま女と結婚す因に二男泰次郎氏は昭和三年七月三日叔父鹽澤豐藏氏死亡の跡を相續の爲め荏原郡石口町に分家し袴帶子供服小賣を營み居れり。

【所得税】 一〇〇圓 【營業收益税】 一〇〇圓

【家庭】 妻すま女 明治七年一月十五日生。長男武男氏 明治三十五年九月十九日生。五女靜江女 明治四十年七月二十七日生。三男廣之助氏 大正四年三月三十日生。婦ふみ女 明治四十一年六月二十二日生武男氏妻。孫淑江女 昭和五年

七月二十八日生。

【主なる親戚】 市内牛込區喜久井町三五田野義雄氏 四女龍子女の夫。荏原郡大森町中原田中豊之助氏 妻女實弟。

お(を)の部

大村彦一郎氏

明治三十一年五月三日生

【職業】 百貨店株式会社白木屋取締役社長

【は勤務先】 東京市日本橋區通一丁目九番地 電話(日本橋)二三〇三

【住 所】 府下荏原郡品川町北品川宿三一八番地 電話(高輪)三三〇

【本籍地】 京都市中京區堺町通二條上ル龜屋町百六十九番地

【略歴】 氏は十代亡大村彦太郎氏の長男にして昭和二年十二月十三日嚴父彦太郎氏死歿に依り同三年一月十二日家督を相續す。夙に京都府立中學を卒業し前白木屋呉服店取締役たりしが先代歿後は代りて株式会社白木屋代表取締役社長となり今日に至る現職以外に旭絹織株式會社監査役、大村保全合名會社代表社員、京都府教育會及同美術協會副會長等を兼任しつゝあり。

【趣味】 謠曲、スポーツ 【宗教】 臨濟宗

【所得税】 四一五圓

【家庭】 母ダイ女 明治三年一月十五日生大阪高女卒、大阪府人男爵鴻池善右衛門氏妹、明治二十九年二月五日亡彦太郎

氏と婚姻入籍、妻茂子女 明治三十一年十二月二十三日生、

京都府人男爵三井壽太郎氏妹 學習院女學部卒、大正十年五月二十四日婚姻入籍。長女澄子女 大正十一年八月二十六日生。二女登喜子女 大正十二年八月二十五日生。三女豊子女

大正十三年十月十四日生。四女高子女 昭和二年五月二十五日生。弟武男氏 明治三十二年八月二十一日生、慶大文科卒、同校圖書館員、義妹綾子女 明治三十五年十一月六日生

東京府人宏達彌氏妹 大正十五年二月二十六日大村武男氏と婚姻入籍。姪昭子女 昭和二年一月一日生。弟和之助氏 明治三十九年十二月二十日生慶大經濟科卒。妹コズエ女 明治

四十一年三月十五日生、京都府立第一高女卒。

【主なる親戚】 伯父鴻池善右衛門氏 男爵從四位勳三等、鴻池銀行社長、大阪市東區今橋二ノ五五。義兄三井壽太郎氏 男爵正五位東神倉庫株式社長東京市麴町區富士見町一の三六。

義兄宏達彌氏 東京市麻布區市兵衛町二ノ五。義兄嵯峨二郎氏 大正七年中央大學商科卒、横濱正金銀行東京支店勤務。

大村彦一郎氏實姉當子女夫、麴町區富士見町二ノ四五。義弟中川高貞氏 京都市室町丸太町下る三井銀行京都支店勤務實

妹文子女夫。伯父中田彦三郎氏 京都市武者小路新町西入る惟誠堂病院院長、伯母きく女夫。

大森喜右衛門氏

明治十四年七月十日生

【營業】 銘仙及生絹染絹織並に卸

【營業所】 東京市日本橋區本石町四丁目二十 電話(日本橋)二三〇三
六番地東京支店 電話(三三)三三八

【住 所】 埼玉縣秩父郡秩父町 電話(三三)・EO・三〇五

【本籍地】 同 秩父郡秩父町大字大宮千三百十六番地

【略歴】 氏は埼玉縣秩父町素封家大森家の十四代目にして先代喜右衛門氏の長男なり、大正十五年十二月先代病歿に因りて家督相續し同時に前名長次郎を改めて喜右衛門を襲名す、埼玉縣多額納税者にして秩父銀行頭取の外秩父自動車秩父鐵道の各取締役を兼任し同地實業界に重きをなす、家業は享保年間の開業に係り元根古屋絹の買織店たりしが約四十年前前土地主要産物たる銘仙の勃興するや之が買織商として業界に進出し目下秩父町本店の外東京に卸問屋を營み京都及び埼玉縣飯能町、同越生町等に出張所を置き業界一流店として名あり、濃厚なる紳士なり。

【宗教】 禪宗 【所得税】 一二、五六五圓

【家庭】 妻トヨ女 明治十六年六月二十四日生。長男丹次郎

氏 明治四十年六月八日生昭和五年三月慶應大學經濟學部卒

大森彦八氏

明治十六年十一月十日生

【職 名】 大森喜右衛門商店東京支店支配人

【營業所】 東京市日本橋區本石町四丁目二十六番地 電話(日本橋)二三〇三・二〇六・二〇六

【は勤務先】 同 麴町區富士見町六丁目五ノ一番地 電話(九段)三〇六

【住 所】 同 本籍地 同

【略歴】 氏は埼玉縣秩父郡秩父町大字大宮一三二六番地イ號七大森喜右衛門氏實弟にして昭和五年十一月十一日分家す。

是より先き氏は年少の頃上京し學業に就かむと志望しある中家庭の事情ありて父兄の業務を補佐する事となり鋭意斯業を修得し大正十五年東京支店支配人に就任今日に至る資性濃厚にして當店發展の爲め熱心努力しつゝあり。

【趣味】 圍碁 【宗教】 禪宗

【家庭】 妻女スズ女 埼玉縣人福島七兵衛氏長女、明治廿二年八月九日生、明治四十一年四月三十日婚姻入籍。長男喜八郎氏 明治四十四年三月二十七日生、第一高等學校文科二年生。二男重信氏 大正三年三月二十九日生、東京府立第一中學校五年在學。三男淳正氏 大正六年九月十四日生、府立高等學校二年在學。長女啓世女 大正十年五月三日生、青山師範附屬小學校四年在學。四男關作氏 大正十三年一月一日生、同上二年在學。五男通男氏 大正十五年六月二十五日生。【主なる親戚】 實兄大森喜右衛門氏 埼玉縣秩父町大字大宮二六。義父福島七兵衛氏 同縣同郡大宮町大宮二〇四。

大森 和平氏

明治三十二年二月十五日生

【營業又
は職名】 吳服太物洋反物小賣高島屋吳服店主

【營業所又
は勤務先】 東京市淺草區馬道町一丁目十一番地 電話(淺草 11011)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は中學校卒業後語學に堪能なりしより歐米巡遊を思立ち二年程海外に在りしも大正十二年五月實父奇禍に遭ひて死歿せるより直に歸朝相續せるものなり、爾來本業に對する經驗淺きにも係らず先代以來の番頭鹽田達之進氏の補佐を受け經營今日に至る。

【所得税】 七三〇圓 【營業收益税】 三〇〇圓

【家庭】 祖母ます女 文久元年七月十一日生。妻ふみ女 明治三十七年九月十三日生。長女淑子女 大正十五年一月三日生。二女美智子女 昭和四年二月二十五日生。

【主なる親戚】 市内日本橋區蠅蝨町二丁目一四吉田辰五郎氏 妻女實兄。

大橋 藤 八氏

明治二十五年二月二十五日生

【營業又
は職名】 各種織物問屋大橋安次郎商店當主

【營業所】 東京市日本橋區富澤町二十六番地 電話(浪花 11011)

【住 所】 東京市外西巢鴨町新田千八十九番地

式會社に勤務す。

【主なる親戚】 母の實家滋賀縣神崎郡下稻葉村黒澤金四郎氏 豪農。妻の叔父 銀座尾張町内藤彦一氏。日本橋區彌生町織物問屋中川平七氏。實弟 市外小岩町大橋安次郎氏。

【主なる出身者】 日本橋區村松町越後織物問屋野村外松氏。同區富澤町風呂敷問屋多羅尊禮氏。同區高砂町文庫業中澤太郎次氏。同區同町加工綿布商 野田喜代松氏。

大橋 安次郎氏

明治二十八年四月十一日生

【營業】 各種織物問屋

【營業所】 東京市日本橋區富澤町二十六番地 電話(浪花 11011)

【住 所】 府下南葛飾郡小岩町二千五百六十一番地

【本籍地】 東京市日本橋區富澤町九番地

【略歴】 氏は大橋藤八氏の弟にして大正十二年六月分家す府下中野町にありし濟美學院を出で京橋區八丁堀中島屋吳服店に入り斯業を見習ひ歸りて家業に従事す兄藤八氏を補佐し來れるが大正十二年震災後名義人となり今日に至れるものにして世事に通じ穩健なる商人なり。

【宗教】 淨土宗 【所得税】 八三圓

【本籍地】 東京市日本橋區富澤町九番地

【略歴】 同家は郷里江州に於て代々酒造業を営み本業は先代藤八氏の創業に係る先代は田源商店に修業し廿一歳の時獨立せり才氣縱橫商手腕に長じ又奇行に富みし人と聞く即ち店礎を築かれし人なるが明治卅七年四十餘歳にして歿す嗣子定吉氏即ち當主尙ほ年少なりしかば未亡人とみ女之を後見し遺業を繼承し克く之を守り斯界の中堅問屋となれるものなり、震災後營業名義を弟安次郎氏に變更し業容の進展に努めたるが營業には氏も亦當時參割して營業主と變りなく爾來順調に復興し今日に至る、氏は慶應商工科を出て先代を襲名したるものにして人物實業界稀に見る温健なる紳士なり。

【趣味】 書畫、讀書 【宗教】 淨土宗

【所得税】 一二六圓

【家庭】 母とみ女 明治二年十月十九日生、滋賀縣神崎郡下稻葉村黒澤金四郎氏妹。妻は津女 明治二十七年一月九日生 株式會社松屋吳服店常務内藤彦一氏姪。長男康男氏 大正十一年一月十二日生。二男庸雄氏 大正十三年十月七日生。三男啓吾氏 大正十五年六月十六日生。四男信夫氏 昭和三年五月二十三日生。弟三郎氏 明治三十四年九月生、早稻田大學商科卒業。弟六郎氏 慶應大學商科卒業し現在富士紡績株

【營業收益税】 九八圓

【家庭】 妻きく女 明治三十六年三月二十三日生滋賀縣蒲生郡日野村大字松尾百四十番地材木業吉田宗三郎氏二女。長女富美女 大正十二年十月十四日生。次女和子 大正十四年三月一日生。長男信一郎氏 昭和二年十二月五日生。

【主なる親戚】 日本橋區富澤町實兄大橋藤八氏。滋賀縣神崎郡下稻葉村豪農黒澤金四郎氏 母の實家。日本橋區富澤町織物問屋中川平七氏。

大橋 治左衛門氏

文久二年八月二十九日生

【營業】 吳服太物毛斯綸小賣商

【營業所】 東京市下谷區上野町二丁目七番地 電話(下谷 五三四)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は埼玉縣北足立郡大間木村亡矢作伴次郎氏の二男にして年少時より先代治左衛門氏に仕へ後望まれて長女かね女の婿養子となる。同時に前名佐兵衛を治左衛門に改む。家は享和二年越後三條町に創業し文政十一年現所に進出して爾來順調に經過せしが治左衛門氏は既に老境に入りたれば營

業は長男治三郎氏これを繼承したり。治三郎氏は年少時より

日本橋區堺町堺屋古着店に奉公し二十四歳の頃退店して支那に渡り雜貨類の販賣に従事したる事ありて近時は同業の爲めに奔走し又公共的方面に盡せし事少からず。

【宗教】 眞宗 【所得税】 九八圓

【家庭】 妻かね女 安政六年二月十五日生先代治左衛門氏長女長男治三郎氏 明治十五年五月十二日生。治三郎氏妻ひさ女 明治廿七年七月十一日生下谷區上野花園町木村善三郎氏妹。治三郎氏長女孫治子女 明治四十年八月二十二日生。同二女正子女 大正四年五月一日生忍岡高女在學中。同三女誠子女 大正六年十月二十五日生忍岡高女在學中。同四女道子女 大正八年九月十六日生。同五女君子女 大正十一年一月三日生。同六女昭子女 昭和四年十月五日生。

【主なる親戚】 新潟縣三條町大橋敬作氏。埼玉縣北足立郡大間木村亡矢作伴二郎氏。下谷區上野花園町七番地木村善三郎氏小石川區同心町大河原文藏氏。

【主なる出身者】 本所區錦糸堀岩澤三吉氏 吳服小賣商。埼玉縣浦和町驛前武笠政之助氏 吳服小賣商。同縣鳩ヶ谷町磯貝常五郎氏 吳服小賣商。

大橋 登羅女

明治四年九月一日生

【營業】 吳服太物洋反物小賣尾張屋吳服店主

【營業所】 府下荏原郡品川町大字北品川宿九番地 電話(高輪 三三三)

【住所】 同 所 電話(高輪 三三三)

【本籍地】 同 所

【略歴】 同女は品川の材木商大橋清太郎氏の實妹にして明治二十七年日本橋區瀬戸物町東國屋吳服店に勤務せし春三郎氏を婿養子に迎へて分家し現所に本業を開始するに至れり而して春三郎氏は明治三十四年病歿其後品川大火に焼失せるも多額の保険金の收得して更に一層羽翼を延べ大正十一年には洋館二階建の現店舗を新築するに至れり營業は當主監督の下に永年勤続の加古又七氏支配人格となり今日に及べるものにして品川一流の本業者たり。

【所得税】 一、八五〇圓 【營業收益税】 三五〇圓

【家庭】 養子成子女 大正三年十月卅日生大橋清太郎氏長女

【主なる親戚】 荏原郡品川町品川步行新宿五十四番地材木商大橋清太郎氏 實兄。

大橋 平三郎氏

明治二十五年五月五日生

【營業】 綿布卸商

【營業所】 東京市日本橋區大傳馬町二丁目九番地 電話(浪花 三三)

【住所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣愛知郡愛知川町大字中宿八十八番地

【略歴】 氏は亡大橋善治氏の二男にして年少より市内日本橋區田所町綿布問屋澤井藤助商店に奉公し大正十一年九月退店し堀留町三丁目四番地に住ひして近縣への出張販賣を爲し居たるが震災後現所に進出したるものなり而して震災後の再起に際しては小泉合名會社出身なる弟廣吉氏より若干の出資を得て共同經營を爲したるが一昨年廣吉氏は別れて現在府下に小賣商を營む要するに堅實主義を以て着々成績を挙げつゝあるものなり。

【宗教】 眞宗

【家庭】 妻ハナ女 明治三十三年三月二十日生、栃木縣足利郡山前村農亡首藤慶助氏の次女。長女尙子 大正十年九月十九日生、長男幸八氏 昭和四年五月一日生。

大久保久七氏

明治三十一年十二月十六日生

【營業又】 關東織物卸大久保久七商店主
 【職業名】 關東織物卸大久保久七商店主
 【營業所又】 東京市日本橋區富澤町十一番地 電話(浪花 九四)
 【勤務先】 同 所 電話(浪花 四六五)
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は千葉縣印旛郡埜野村大久保常平氏の長男にして前名を眞雄と稱す明治四十一年二月姻戚關係なる亡大久保久七氏養子となり早稻田實業學校を卒業す大正九年八月養父病歿せるより家督相續し同年九月久七を襲名せり。家業は明治十七年頃先代久七氏の創業に係り關東織物卸商として重きをなす資性温厚にして店務を管掌す。

【趣味】 謠曲(觀世) 【宗教】 日蓮宗
 【所得税】 一、三二五圓 【營業收益税】 四六二圓
 【家庭】 妻勤女 明治三十八年七月十三日生跡見女學校出身長女延世女 大正十三年三月八日生。三女淑子女 昭和二年八月五日生。長男精一氏 昭和五年一月十六日生。
 【主なる親戚】 黒川眞前氏 妻女里方淺草區小島町二十八番地控訴院判事。大久保順氏 義兄。横山忠兵衛氏 義兄順氏

實家長野縣上伊那郡赤穂村藥種商。久保田松之助氏 義姉ゆき女里方日本橋區堀留町

【主なる出身者】 青山平吉氏 淺草區北松山町、モスリン小賣商。金井彦三郎氏 足利市伊勢町運送業。伊坂留吉氏 京橋區靈岸島町印刷業。辻村徳次郎氏 濱松市板屋町織物問屋。大住正三郎氏 日本橋區村松町行木商店内、織物商。

大久保順氏

明治二十一年二月四日生

【營業又】 關東織物卸大久保久七商店支配人
 【職業名】 關東織物卸大久保久七商店支配人
 【營業所又】 東京市日本橋區富澤町十一番地 電話(浪花 九四)
 【勤務先】 東京市本郷區駒込神明町二十八番地
 【住 所】 東京市本郷區駒込神明町二十八番地
 【本籍地】 東京市日本橋區富澤町十一番地

【略歴】 氏は長野縣上伊那郡赤穂村二〇九三戸主横山忠兵衛氏の實弟なり幼時上京して先代大久保久七氏に仕へ勤勉努力遂に其人物を見込まれて大正元年七月十八日養娘ゆき女の婿養子となり現姓を名乗り先代歿後當主久七氏と協力營業を一層盛大ならしめつゝあり資性、細心、快活、營業熱心をもつて知らる。

【宗教】 日蓮宗

【家庭】 妻ゆき女 明治二十六年十二月二十九日生。長女操女 大正四年一月一日生。長男登久藏氏 大正六年三月八日生。二男豊治氏 大正八年八月十一日生。三男慶三氏 大正十年九月八日生。四男裕正氏 大正十三年五月九日生。五男裕義氏 大正十三年五月九日生。二女昭子 昭和二年二月十五日生。三女澄江 昭和五年九月十八日生。

【主なる親戚】 大久保久七氏(義弟にして店主)日本橋區富澤町。横山忠兵衛氏(實兄にして生家相續人)長野縣赤穂村二〇九三。久保田松之助(妻女里方)日本橋區堀留町。其他は大久保久七氏欄參照。

大久保省次氏

明治三十二年七月一日生

【營業又】 中形裏地問屋岡正合資會社支配人
 【職業名】 中形裏地問屋岡正合資會社支配人
 【營業所又】 東京市日本橋區富澤町四番地 (電話浪花 八五・八六)
 【勤務先】 同 所
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 栃木縣那須郡馬頭町百三十一番地

【略歴】 氏は栃木縣那須郡馬頭町一三一番地大久保良一氏の實弟にして生家は酒味噌油商を營む、大正三年一月七日上京日本橋區富澤町四番地中形裏地加工卸商岡正合資會社に入店精

勵克く店務に勉め次第に登用せられ前支配人高瀬榮太郎氏の退店後同店支配人となる資性頗る堅實の人なりとの評あり。

【趣味】 圖案模様 【宗教】 眞言宗
 【家庭】 母千代女 明治六年七月六日生れ郷里にあり。兄良一氏 明治二十九年四月七日生(酒味噌油業を郷里に營む)妹カネ 明治四十四年一月七日生れ實家にあり。妹ダイ 大正五年七月三日生公民學校通學中。弟四郎氏 明治三十八年三月二十八日生通旅籠町宮崎商店勤務中。弟七造氏 大正二年十月十六日生白石甚兵衛商店勤務中。

大久保捨吉氏

明治二十二年六月十六日生

【營業又】 羅紗切賣商
 【職業名】 羅紗切賣商
 【營業所又】 東京市芝區愛宕下町二丁目四番地 電話(芝 三〇一)
 【勤務先】 同 所
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣犬上郡彦根町大字西馬場一五番屋敷大久保繁八氏の六男に生れ大正十三年十月現所に分家さる。十五歳の折上京し京橋區南傳馬町杉浦幾太郎商店に奉公し二十三歳の折主家の破綻に遭ひて退店し京橋桶町に於て羅紗鞘取り

【お・を】

を初め漸次切賣業に轉換し現在に至る。

【宗教】 浄土宗 【所得税】 五三圓

【營業收益税】 七三圓

【家庭】 妻女兼子女 明治三十一年二月生、芝區神谷町二八
結城龜吉氏長女なるが實家相續人なりし關係上之を廢家の上

大正十三年婚姻す。長女熱子女 大正十三年三月生。養子隣

一氏 大正十年三月生、豊多摩郡澁谷町字宮益町四上條彦太

郎氏六男昭和二年一月入籍。

【主なる親戚】 實兄大久保喜三郎氏 滋賀縣犬上郡彦根町大
字西馬場十五番屋敷。

大熊柳三氏

明治十二年九月二十五日生

【營業】 吳服卸商

【營業所】 東京市神田區元柳原町五 電話(浪花三三六・三〇九)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は府下王子町眞壁鐵之助氏の三男として出生、少
壯時代を通じ伊勢丹吳服店に勤務し、明治四十年十一月埼玉
縣北足立郡南平柳村大字廣郷二九一番地の素封家大熊武右衛

門氏の婿養子となり、同四十二年現業を開始せり、氏爲人剛
直にして細心商機に敏なれば、爾來種々と企て、當らざるな
く幸運を把持して、今日市中貸呉服商の首班たるの隆域に在
り、兩參年來健康を害し起居常ならざれば、閑居して店務は
概ね支配人若林氏に委ね靜養中なり。

【趣味】 盆栽 【宗教】 日蓮宗

【所得税】 二七四四圓

【家庭】 妻せい女 明治十年八月三十一日生埼玉縣北足立郡

南平柳村地主大熊武右衛門氏長女。長男吉三郎氏 明治四十
年十一月十八日生府立第四中學校卒業後家業従事。三男豊三

郎氏 明治四十五年七月十一日生府立第一商業學校五學年在

學。四男博三郎氏 大正四年九月二十三日生府立第一商業學

校三學年在學。

【主なる親戚】 大熊武右衛門氏 埼玉縣北足立郡南平柳村大
字元郷二九一地主。

大熊丑之助氏

明治三十五年八月七日生

【營業】 太物卸商

【營業所】 東京市日本橋區田所町十七番地 電話(浪花三〇三)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代丑之助氏の四男なり昭和五年六月六日家督
を相續し後丑之助を襲名す幼名を光太郎と稱し早大文科に哲
學を専攻し易學に通曉して夙に名あり、光山と號す。又書道

に造詣深く、高林五峰氏の高弟にして現に日本美術協會員た

り如峰の號斯道に汎く、業界諸般に多士齊々たりと雖も若冠

にして修養の士氏如きは誠に稀に見るところにして隆盛なる

父業を繼ぎて夙夜店頭に孜々たるも氣品を持して悠揚迫らざ

る概あり、又温厚の好紳士たり、店頭諸氏に一風の氣品存す

るは氏の徳望の反映たらんか、顧客に接して追従に墮せず而

かも優にして如才なく店頭盛賑なり當店扱品は遠尾三松山備

後青梅所澤産綿布の全般に亘り特に唐棧地の取引は業者の間

に一頭地を抜くものなり。

【趣味】 書道、畫道、讀書 【宗教】 眞言宗

【所得税】 一三三圓 【營業收益税】 六七圓

【地租】 五一圓

【家庭】 母はる女 明治四年十一月四日生、先代丑之助氏未
亡人元深川區佐賀町にて吳服商たりし中山留吉氏の女。妻高

子女 明治三十八年八月二十日生、本郷湯島新花町前田一郎

氏の妹にして府立第二高女出身の才媛、昭和四年一月十九日

婚姻入籍。長女君子女 昭和四年十二月十日生。妹秀子女 昭

和四十年八月二日生。弟錦治氏 明治四十二年十月一日生

現在東京商大本科一學年在學。妹ミチ女 大正二年二月九日

生御茶ノ水高女專攻科に在學。

【主なる親戚】 大熊一信氏 日本橋區通油町十八番地にて織

物商、先代丑之助氏長女キヨ女の夫。前川斧次氏 日本橋區

久松町一三番地にて織物商先代丑之助氏次女貞子女其長男と

婚姻。

【主なる出身者】 徳丸惠三氏 埼玉縣蕨町にて當店の買糶店

小峰善政氏 下谷區數寄屋町にて吳服商。

大熊吉松氏

明治十八年二月一日生

【營業】 中形、裏地、捺染卸商

【營業所】 東京市日本橋區久松町二番地 電話(浪花三三六)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は埼玉縣蒲生村の出身にして元日本橋區村松町に

在りし同業山口某商店に勤めしが大正元年獨立せり、最初はブローカーとして逐次地盤を築き後村松町三十四番地に店舗を開設本業を専門とし、昭和三年八月現所に移店せり、爲人實直にして無理なく柔和にして世評良し。

【宗教】 日蓮宗 【所得税】 一二圓

【家庭】 妻きよ女 明治二十四年十二月六日生 府下南足立郡淵江村大字竹塚五九九番地地主 森屋伸右衛門氏妹、長男松雄氏 明治四十四年五月七日生 家業従事。長女歌子女 大正元年十一月十三日出生 家居裁縫茶道花道に堪能なり。二男榮一氏 大正三年五月十三日生 家業従事。三男貞次郎氏 大正八年七月八日生。四男仁氏 大正十四年一月七日生。五男昭治氏 昭和二年四月一日生。

【主なる親戚】 藤波藤三郎氏 淺草區猿若町一丁目に住居、各劇場用小道具貸業。森屋伸右衛門氏 府下南足立郡淵江村地主。

大熊一信氏

明治十七年九月十七日生

【營業】 近在、遠、三、尾州綿布卸商

【營業所】 東京市日本橋區通油町十八番地 電話、浪花三〇〇

【住所】 同所
【本籍地】 同所

【略歴】 氏は埼玉縣内間木村字濱崎三一荒川菊藏氏の二男として出生。年少時日本橋區長谷川町下田助次郎商店に入り精勤中同區田所町大熊丑之助氏に囑望せられ其息女きよ女の婿養子となる。爾來織物商として養父の業を輔佐よく力めしが大正十一年分家獨立して現所に本業を經營せり、爲人勤勉にして又如才なし。

【宗教】 眞言宗 【所得税】 七〇圓

【營業收益税】 八四圓

【家庭】 妻きよ女 明治二十四年五月二日生 日本橋區田所町先代亡大熊丑之助氏の息女。長男常司氏 大正二年九月十六日生、東京府立第一商業學校五學年在學。長女ツグ子女 大正四年九月十七日生、私立櫻蔭高等女學校三學年在學。二男武志氏 大正七年二月二十一日生、東京府立第一商業學校一學年在學。三男文三氏 大正九年二月十四日生。四男尙助氏 大正十年十二月十二日生。六男重男氏 昭和五年一月三日生。

【主なる親戚】 大熊丑之助氏 日本橋區田所町一七にて同業夫人實兄。前川斧次氏 日本橋區久松町十三にて織物業、夫

人の次妹斧次氏息に婚姻縁組。

大字大宮三六三。

大塚長次郎氏

明治二十一年四月十三日生

【營業】 銘仙及生染絹織並に卸大森喜右衛門商店東京支店支

【職業】 配人代理

【營業所】 東京市日本橋區本石町四丁目二十六番地

【住所】 東京市本郷區金助町七十三番地

【本籍地】 埼玉縣秩父郡秩父町大字大宮千九十六番地

【略歴】 氏は埼玉縣人亡大塚富作氏長男にして、大正五年十月一日家督相続をなす、明治三十六年四月當店に入り恪勤約三十年の長きに亘り頗る忠實の士にして現在營業部兼庶務部主任にして支配人代理たり。

【趣味】 スポーツ 【宗教】 禪宗

【家庭】 妻女カネ女 明治二十九年三月二日生、埼玉縣人井上松五郎氏四女 大正二年十二月二十六日婚姻入籍。長男清一郎氏 大正四年八月二日生 東京府立第五中學四年在學。二女園子女 大正八年十月六日生、本郷小學六年在學。三女イヨ子女 大正十一年八月二十二日生、同小學三年在學。

【主なる親戚】 義父井上松五郎氏 埼玉縣秩父郡大宮町大字大宮四五二。大塚スズ女 長女政子女養母、同縣同郡秩父町

大塚芳松氏

明治三十二年三月十九日生

【營業】 博多帶地卸

【營業所】 東京市日本橋區久松町十九番地 電話、浪花一七五

【住所】 同所

【本籍地】 福岡縣嘉穂郡桂川村大字土師三千四百四十七番地

【略歴】 氏は亡大塚辰五郎氏の四男にして年少時より同縣天道町魚吉吳服店に奉公し多年恪勤せしが十九歳の時大阪に來り博多帶地商糸源都染源太郎商店に入店す。而して震災後主家が東京店を新設するに及び氏は信認を得て上京その主任として活躍す。昭和二年氏は獨立して右東京店を自己經營下に繼承することとなり爾來業勢の向上に努めつゝ今日に至る。温良の士にして家庭に一女あり。

【趣味】 スポーツ、圍碁 【宗教】 眞宗

【家庭】 政恵女 明治四十年三月五日生、福岡市上小山町都築吉之助氏長女。長女操子女 昭和五年七月二十日生。

【主なる親戚】 前記都築吉之助氏 元博多織製織業。本籍地大塚猶次郎氏 實家農。

大塚 伸 女

大正八年十二月三十日生

【職業又】 吳服セル及祝儀仕立品卸大塚繁松商店主

【は勤務先】 東京市神田區岩本町六番地 電話(浪花三三〇)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 同女は同店前店主大塚繁松氏の長女にして昭和二年九月父繁松氏の死亡によりて家督相続し母だけ女親權者として營業を繼承せり。繁松氏は茨城縣行方郡玉造村より出で十二歳の頃大塚家の養子となり初め煙草の卸業を営み居たるも之が專賣となるや日本橋區長谷川町岡田小平商店に入り明治二十九年約一ケ年にして退店本業を開始せり、大正八年一時營業を株式組織となしたるも同十年之を解散して個人經營に還元し爾來奮闘意り無かりしが前掲年月病を得て歿せるものなり。

【所得税】 二〇二圓 【營業收益税】 一一二圓

【家庭】 母だけ女 明治十八年十二月二十七日生。妹満女 大正十一年三月二十六日生。妹榮女 大正十四年二月二十五日生。

【主なる親戚】 福本氏 母里方神田區佐久間町三丁目。

大塚竹次郎氏

明治元年三月十五日生

【職業又】 吳服太物洋反物小賣片岡屋吳服店店主

【は勤務先】 東京市小石川區柳町二十二番地 電話(小石川一〇三〇)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は淺草區三筋町寺田又次郎氏の二男に生れ明治二十七年七月大塚いね女の養子となり同三十五年二月いね女の隠居に因り戸主となる。當初氏は魚行商を営めるも後斯業を見習ひ明治三十九年獨立す。爾來順調に經過し來れるが近年老境に入れるを以て店務は殆ど嗣子友八氏に委ね居れり。

【趣味】 義太夫 【宗教】 日蓮宗

【所得税】 一一〇七圓 【營業收益税】 二三八圓

【家庭】 長男友八氏 明治三十六年八月一日生現在店務を擔當しつゝあり。次男竹松氏 明治四十一年十月十四日生京華商業學校卒業現在店務從事。五女梅子女 大正元年九月十日生佐藤高等女學校卒業。六女久子女 大正五年五月十三日生佐藤高等女學校在學中。なほ昭和三年分家せし二女なか女

明治三十年十一月二十七日生及び同女婿養子大塚富五郎氏は共に同家あり店務を補佐しつゝあり。
【主なる親戚】 淺草區阿部川町片岡慎輔氏 吳服商。四谷區傳馬町三丁目島田常次郎氏 吳服商。

大前捨次郎氏

明治十九年五月二日生

【職業又】 加工綿布セル卸商合資會社大前商店代表社員

【は勤務先】 東京市日本橋區元濱町五番地 電話(浪花三三〇)

【住 所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣神崎郡八幡村大字小川千四十八番地

【略歴】 氏は亡大前長左衛門氏の次男にして日本橋區彌生町染糸商栗田直太郎商店に入り勤続十七年大正六年圓滿退店して同區橋町に獨立斯業を開始し漸次進展し同業者間に認めらるゝに至りしが十二年震災にて打撃深く然れ共販路が地方多かりしかば直後再起し營業を續け來りしが昭和六年四月資本金一萬圓の合資會社に組織を變更せり。

【宗教】 淨土眞宗 【營業收益税】 六一圓

【家庭】 妻きり女 明治二十九年六月四日生。長男爲太郎氏 大正七年二月五日生府立第三商業學校通學。長女良子女

【職業】 裏地染絳中形卸商

【は勤務先】 東京市日本橋區通油町七番地 電話(浪花三三〇)

【住 所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣神崎郡八幡村大字小川千四十八番地

【略歴】 氏は滋賀縣神崎郡八幡村字小川千四十八番地大前長左衛門氏三男なり年少より日本橋區木綿問屋藤野嘉平商店(現存せず)に奉公し勤続十四年にして退店し同區橋町河岸(目下元濱町)實兄大前捨次郎氏の店舗を根據として北海道方面専門の卸業を開始し大正十年現所に移轉し爾來順調に進展し昭和四年三月現店舗を買収するに至れり資性快活營業熱心をもつて知らる。

【宗教】 門徒宗 【所得税】 二四圓

【營業收益税】 三六圓

大前龍太郎氏

明治二十四年三月八日生

【職業】 裏地染絳中形卸商

【は勤務先】 東京市日本橋區通油町七番地 電話(浪花三三〇)

【住 所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣神崎郡八幡村大字小川千四十八番地

【略歴】 氏は滋賀縣神崎郡八幡村字小川千四十八番地大前長左衛門氏三男なり年少より日本橋區木綿問屋藤野嘉平商店(現存せず)に奉公し勤続十四年にして退店し同區橋町河岸(目下元濱町)實兄大前捨次郎氏の店舗を根據として北海道方面専門の卸業を開始し大正十年現所に移轉し爾來順調に進展し昭和四年三月現店舗を買収するに至れり資性快活營業熱心をもつて知らる。

【宗教】 門徒宗 【所得税】 二四圓

【營業收益税】 三六圓

【お・を】

【家庭】 妻みき 明治三十四年一月四日生滋賀縣犬上郡豊里村大字西村、林宇吉三女。長女久子 大正十三年十月十六日生
【主なる親戚】 綿布卸商大前捨次郎(日本橋元濱町)は氏の實兄なり。

大前龍太郎氏

明治二十五年四月十九日生

【營業】 洋反物加工卸
【營業所】 東京市日本橋區岩代町一番地 電話(浪花五〇八)
【住 所】 同 所
【本籍地】 京都市左京區淨土寺西田町二十二番地
【略歴】 氏は大前宗五郎氏二男に生る年少より京都市御幸町洋反物卸山添商店に勤務し居ること數年後同店が東京に支店を設置するや、同支店詰となりしも大正九年主家廢業の爲め退店す而して暫く洋反物ブローカーを營み居りしが大正十二年六月現妻女を迎へ昭和三年一月頃より純然たる加工卸に轉ぜるものなり、昭和四年五月宗五郎氏隱居に因り家督相続す。
【營業收益税】 五〇圓
【家庭】 父宗五郎氏 文久二年九月十五日生。母すて女 慶應三年十一月二十九日生。妻とり女 明治三十五年八月三十

日生。長男一男氏 大正十四年一月二日生。二男龍夫氏 昭和二年二月八日生。長女敏子女 昭和三年九月二十七日生。妹てる女 明治二十七年十月十八日生。二女智子女 昭和六年四月二十一日生。
【主なる親戚】 本所區表町二六尾ヶ井慶三氏 妻女實弟。

太田治三郎氏

明治二十五年三月二日生

【營業】 京吳服卸商
【營業所】 東京市日本橋區長谷川町十二番地 電話(浪花一五九)
【住 所】 同 所
【本籍地】 滋賀縣愛知郡西小椋村大字小倉千九百二十四番地
【略歴】 氏は亡太田音之助氏の次男にして年少時小泉合名會社大阪店に入り東京支店開設と共に東京店詰となり大正七年京都本店詰たりし從兄太田與惣兵衛氏と共に無事退店し合同して營業を開始したるものにして協力經營し漸次進展して現所に進出したるものなり京都店は昭和六年三月廢し日本橋區通油町に半襟類の卸業を開設したるものなり性圓滿奮闘家として知らる。
【宗教】 淨土宗

【家庭】 妻さと女 明治三十二年七月二十九日生愛知郡西小椋村大字小倉農吉川與三治郎氏の長女。長子了三氏 大正十三年八月十二日生家庭圓滿なり。
【主なる親戚】 氏の從兄 太田與惣兵衛氏日本橋區通油町半襟問屋。

太田音吉氏

明治十六年六月二十五日生

【營業】 羅紗直輸入卸商
【營業所】 東京市麴町區山元町二丁目一番地 電話(九段 〇〇〇)
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所
【略歴】 氏は前戸主太田音吉氏長男なり、府立第四中學を卒業後爾來家業に従事す、當店は先代音吉氏が明治九年頃陸軍被服裁縫業を開始せるに端を發し大正七年頃迄一貫して洋服商を營み同年よりは羅紗商に轉じ震災後より直輸入卸業となり今日に至る。當主は舊名を岩吉と稱し大正十五年三月二十四日先代を襲名せるものなり。
【趣味】 野球 【宗教】 淨土宗
【營業收益税】 一一二圓

【家庭】 妻女ロク女 明治二十一年一月二十七日生東京府南多摩郡鶴川村大藏一九八一番地加藤正作氏二女。二男壽吉氏 明治四十五年二月十三日生、商大豫科三年在學。三男祐吉氏 大正三年六月二十三日生、府立第四中學四年在學。二女乃婦子女 大正九年六月十一日生、麴町小學四年在學。三女治子女 大正十三年四月九日生。
【主なる親戚】 從兄太田昌義氏 府下南多摩郡稻代村大丸、地主。加藤靖一氏 日本橋區小田原町一六醫學士原町田病院長。
【主なる出身者】 羅紗切賣業福島豐次郎氏 麴町區麴町三丁目。羅紗切賣並洋服商市瀬三五氏 四谷區南傳馬町。洋服商矢田俊介氏 麴町區山元町二丁目八番地太田屋。洋服商古部清治氏 麴町區山元町二丁目。羅紗商鈴木吾市氏 麴町區麴町九丁目巴屋分店。

太田進氏

明治二十年六月一日生

【營業又】 羅紗切賣商合資會社ウール商會代表社員
【は職名】
【營業所又】 東京市麴町區飯田町二丁目四番地 電話(九段 二〇〇)
【は勤務先】

【住 所】 府下北多摩郡武藏野町吉祥寺八百八十三番地
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は麴町區山元町二丁目一番地羅紗商亡太田晋吉氏の二男にして明治三十五年二月實兄晋吉氏より分家す年少の頃より亡父の薫陶を受け後大正七年日本橋區蠅殼町に本業を開始し箱賣専門の營業をなし居りたるが同十年現所に移り洋服商相手の切賣専門に轉じたり、大正十二年一月資本金一萬圓の合資會社を設立したるが其の後種々變遷あり昭和三年十二月に至りて改めて金一萬圓の現會社を組織し其の代表社員となりて今日に及ぶ。

【家庭】 妻とせ女 明治二十四年十二月十六日生。長男正氏 大正三年三月二十一日生。二男三朗氏 大正六年十二月三日生。長女福子女 大正九年五月二日生。二女徳子女 大正十二年二月十四日生。

【主なる親戚】 渡邊丈三郎氏 〔妻女里方〕 府下戸塚町大字源兵衛二百六番地。太田晋吉氏 〔實家〕 麴町區山元町二丁目一番地羅紗卸商。

大沼辰之助氏

明治十三年七月十八日生

【營業】 廣幅織物卸商
【營業所】 東京市日本橋區大傳馬町三丁目二番地 電話 浪花 107A
【住 所】 同 所 電話 〔浪花 美 57〕
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は千葉縣印旛郡白井町士族故大沼善太郎氏の三男に生れ年少時上京日本橋區大工町居屋商店に斯業を修習し明治四十四年同區新材木町十二番地に獨立す。爾來奮闘努力漸次業績を挙げ資産を作り。東京震災後現所に店舗を建築移轉したるものなるが現在廣幅足袋地問屋として業容實力共に備り同業一流商店として業界に知らる。資性濃厚實頭腦明晰なる紳士なり。

【趣味】 園芸 【宗教】 門徒宗 【所得稅】 三三七圓
【營業收益稅】 一四〇圓

【家庭】 妻きん女 明治十六年十一月九日生 牛込區西五軒町五十二番地小管國吉氏長女なり。二女モト女 大正二年五月三日生 三輪田高等女學校在學。長男健治氏 大正四年三月十五日生 慶應大學理財科在學。二男理二氏 大正六年二月五日生 私立中央商業在學中。三女光江女 大正十一年五月一

日生。四女澄江女 大正十二年九月十日生。

【主なる親戚】 兄大沼光氏 下谷區竹町にて洋服商を営む。義弟米田六郎氏 本所區東兩國町莫大小卸商。

大内元三郎氏

明治六年一月二十九日生

【營業又 職名】 毛織物既製品卸商 合名會社大内元三郎商店代表社員

【營業所又 勤務先】 東京市神田區松枝町十五番地 電話 〔浪花 美 5〕

【住 所】 府下北豊島郡瀧ノ川町字田端四百七十九番地 電話 〔小石川 四七〇〕

【本籍地】 東京市神田區松枝町十五番地

【略歴】 氏は長野縣長野市後町通り織物卸商亡大内孝吉氏の三男として生れ幼時より家業に就きて修業を積み父親死亡後は實兄梅太郎氏を援け家運の隆盛を計り明治四十一年に至り資金二十圓を携へ上京せり、爾來尾州方面の屑織物等を扱ひ苦心を重ね刻苦精勵以つて漸次伸展し殊に好況時代には異状の業績を残し業界中堅店として活躍せり、然るに十二年震災に依り受けたる打撃甚大なるものあり再び容易ならざる苦心の結果復興し昭和四年五月現店舗本建築を了し漸進的歩調を以つて業容を備へ更に之を擴大しつゝ現在に至れるものにし

て昭和五年一族を以つて資本金五萬圓の合名會社に改め氏は之が代表社員たり此の間震災負債約七萬圓を完済せる事は同店の爲め特筆すべき事にして氏の着實濃厚なるは業界一般の定評する處にして昭和五年東京羅紗既製品卸商組合設立せらるや推されて第一次組合長に就任せり然して現在同組合のため奔走を續けつゝあり。

【宗教】 禪宗 【所得稅】 五二〇圓

【營業收益稅】 二七四圓

【家庭】 妻ふじ女 明治十三年五月一日生。長男幼時死亡。二男政司氏 明治四十年八月七日生 錦城商業卒業後目下店業に従事。三男慎司氏 明治四十三年四月七日 明治中學卒業後目下店業に従事。長女有子 大正六年五月二日生 櫻蔭女學校二年在學。四男貞治氏 大正十五年一月九日生。

【主なる親戚】 實兄大内梅太郎氏 長野縣長野市後町通り洋服及洋品商。妻女實家高村宇一郎氏 長野縣稻荷山町一四、砂糖卸商。

【主なる出身者】 南勝司氏 東京市下谷區谷中初音町、洋服註文仕立商。並木山藏氏 郡山市本町、古着商。

〔お・を〕

大野長之助氏

明治三十五年三月八日生

【營業】 洋傘シヨール及雜紗既製品卸
【營業所】 東京市日本橋區元濱町六番地 電話(浪花 五三〇)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代兼太郎氏の長子に生れ日本橋小學校卒業後父業の許にありて修業いたし居りしが昭和五年四月二十八日突然先代の死去に依りて相續せるものなり同店の創業は先々代長藏氏にて先代は日本橋區馬喰町江川庄兵衛氏の二男なりしが幼時大野家の養子となり大正十二年相續してより地味堅實を以つて良く地盤の擴張に成功せる人なれば氏も亦先代の遺業を繼ぎ其の實を全ふせんが爲めに努力し居るものなり、店業は目下従業員八名を擁し得意は主として近縣に置く。

【趣味】 謡 曲 【宗教】 日蓮宗 【營業收益税】 八九圓
【家庭】 實母くに女 明治十五年生。次弟進三郎氏 明治四十二年二月生慶應普通部卒業後目下家業に在り。長女八重子女 明治四十五年三月生山脇高等女學校卒業後目下家庭に在り。二女直子女 大正三年四月生山脇高等女學校四年在學中三弟清三郎氏 大正七年七月生久松小學校六年在學中。

【主なる親戚】 先々代生家大野敬三氏 千葉縣夷隅郡總野村農業。實母生家荒木善太郎氏 埼玉縣北埼玉郡大越村四四三農業。甥山田民三郎氏 府下下戸塚町三〇四日本橋區中央ビルにて金物類ブローカー。先々代甥近藤福松氏 東京市下谷竹町一〇吳服太物小賣商。

大岡信二郎氏

明治三年七月六日生

【營業】 綿布生地卸及加工商
【營業所】 東京市日本橋區久松町十四番地 電話(浪花 三三五)
【住所】 同 所
【本籍地】 東京市日本橋區龜井町十二番地

【略歴】 氏は先代宗宣氏の二男にして滋賀縣犬上郡多賀村に生る。當家は代々官幣大社多賀神社に奉仕する神官職たりしが、氏は志すところあり、幼少の頃單獨上京し、日本橋區田所町に在りし薩摩商店に奉公せしが、明治三十年圓滿退店して獨立營業に移れり。資性温順にして堅實なれば世評もよく又商手腕に富み逐年發展して今日の業礎を築けり。然れども近年些か健康を害し勞々既に老境に在れば、店務一切は婿養子彌吉氏執掌し現在には孫相手に樂隱居の姿なり。

【趣味】 謡曲

【宗教】 神道

【所得税】 二四圓

【營業收益税】 五〇圓

【家庭】 妻津留女 明治十一年三月十五日生、深川區靈岸町四〇番地増田榮二郎氏長女明治三十四年三月二十五日婚姻入籍。婿養子彌吉氏 明治三十一年一月八日生東京市芝區金杉四丁目二十二番地兩角金次郎氏の兄にして日本橋區彌生町麻生商店に勤務中共爲人を認められ大正十三年十二月八日信二郎氏長女壽美女と縁組婚姻入籍。長女壽美女 明治三十七年四月十九日生、彌吉氏夫人。孫弘氏 大正十五年一月二日生、彌吉氏長男。孫千鶴子女 昭和三年一月一日生、彌吉氏長女。孫脩氏 昭和五年四月五日生、彌吉氏二男。
【主なる親戚】 増田貞次郎氏 麻布筭町に吳服小賣商、夫人の弟。

大林庄内氏

明治十八年八月五日生

【營業】 加工綿布卸仲次商
【營業所】 東京市日本橋區久松町三番地 電話(浪花 四九四)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣蒲生郡桐原村大字安養寺一二四六番戸亡大林庄兵衛氏の三男なり二十五歳の時上京日本橋區新材木町横田利吉商店に勤務恪勤十年の後獨立ブローカーとなりたるが當時洋反物界には先人多く自然活動の餘地尠きより綿布のブローカーに轉じ勤勉努力怠らず漸次得意先の信用得大正十一年一月獨立本業を開始するの域に達し目下瓦斯、新モスナフトール友禪等を主として取扱ひ業容亦順調にして取引振の堅實なるをもつて知らる。

【趣味】 野球

【宗教】 淨土宗

【所得税】 一〇八圓

【營業收益税】 三一圓

【家庭】 妻たね女 明治二十七年三月十九日生滋賀縣愛知郡豊國村大字畑田六五七七西澤源治氏の三女にして家事の傍ら克く店務を輔佐しあり。
【主なる親戚】 實兄大林岩次郎氏 京都市東洞院佛光寺上るに組糸商を営む。

大垣懋一氏 (通稱 角次郎)

明治十四年一月九日生

【營業】 毛斯綸小物加工卸

〔お・を〕

【營業】 加工綿布卸仲次商
【營業所】 東京市日本橋區久松町三番地 電話(浪花 四九四)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

〔お・を〕

【營業所】 東京市日本橋區堺町六番地 電話(浪花 三〇四)
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は長野縣南安曇郡梓村大垣恒五郎氏の長男にして十四五歳の時上京同區田所町毛斯繪洋反物問屋青木五兵衛商店に奉公し大正元年二月無事退店獨立す主家在勤中より角次郎と稱したれば現時亦通稱とせり、資性溫和着實なり。

【宗教】 眞言宗

【家庭】 妻女はな女 明治十八年一月十六日生。長女初枝女 明治四十二年六月十六日生。淑徳女學校卒業。二女俊子女 明治四十五年六月十六日生。高等小學校卒業。三女喜美子女 大正四年九月十六日生。淑徳女學校在學。長男秀太郎氏 大正七年七月二十一日生。京橋小學校在學。二男恒治氏 大正十一年十二月二十日生。久松小學校在學。四女良子女 大正十四年十月八日生。五女照子女 昭和四年四月二十九日生。

【主なる親戚】 革二氏 實弟上揚梓村にて農業。大垣永壽郎氏 本家埼玉縣南埼玉郡武里村。永田精吉氏 妻里方麻布區廣尾町一番地。

大辻松吉氏

明治十六年九月二十七日生

【營業所】 太物卸合資會社大辻商店出資社員

【職業名】 東京市日本橋區彌生町五番地 電話(浪花 六〇四)

【勤務先】 同 所
【住 所】 同 所
【本籍地】 滋賀縣神崎郡八幡村大字種千五十八番地

【略歴】 氏は亡大辻藤平氏の次男にして市内織物問屋中川平七商店に奉公し勤続十八年同店支配人たりしが大正四年退店翌五年主家援助の下に本業を開始し其後の好況に業績を挙げしが十二年震災に打撃あり加へて數年來極度に健康を害し爲めに店務を見る能はず昭和五年三月合資會社として妻女芳子女代表社員となして營業を続け商勢漸進の道程にあるものと謂ふ。

【宗教】 淨土眞宗 【所得税】 二五圓

【營業收益税】 五六圓

【家庭】 妻女よし女 明治二十四年十一月十五日生。

【主なる親戚】 實兄滋賀縣神崎郡八幡村大字種千五十八番地 農業大辻重吉氏。弟日本橋區長谷川町木綿商大辻安吉氏。妻の父愛知郡八木莊村吳服小賣商磯島彌平氏。

大澤 曠氏

明治十七年五月二十八日生

【營業所】 吳服太物小賣合資會社武藏屋吳服店代表社員

【職業名】 府下豊多摩郡澁谷町上通三丁目十九番地 電話(青山 二二〇)

【勤務先】 同 所

【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は東京府西多摩郡古里村白丸大澤大助氏の四男にして大正八年三月分家一家を創立す。年少時より市内四谷武藏屋吳服店に入り大正六年圓滿退店の上現所に獨立して以來漸次營業の擴張を計り同十一年には同町内に更に昭和三年には府下高圓寺驛前通りに夫々支店を新設し昭和三年十月營業を資本金二萬五千圓の合資會社に變更せり。主家四谷武藏屋吳服店が株式組織に變更さるゝに際しては其の發起人となり會社設立後は監査役の位地に在りしなど斯業に對する經驗淺からず。

【所得税】 一、〇五八圓

【營業收益税】 三九二圓 【地租】 二八圓

【家庭】 妻女子ヨ女 明治二十八年七月二十九日生。長男武一氏 大正四年八月二十五日生。二女澄江女 大正九年九月二十日生。二男清氏 大正十三年十月二十一日生。三男昭氏

昭和元年十二月二十八日生。四男進氏 昭和三年十一月三十日生。

【主なる親戚】 水田恒雄氏 妻女里方、四谷區左門町七十四番地。

大西キミエ女

明治三十年一月十五日生

【營業所】 府下豊多摩郡澁谷町上通三丁目五十六番地

【職業名】 府下豊多摩郡澁谷町上通三丁目五十六番地 電話(青山 二七五)

【勤務先】 同 所
【住 所】 同 所
【本籍地】 府下荏原郡大崎町大字下大崎三百七番地

【略歴】 同女は徳島縣の人にして父相藏氏は永年吳服商を營み一時京都に移りたるも後再び上京し同女は其の傍ら三越裁縫部に勤め或は和服仕立物業を營み其の後大正六年二月山梨縣北巨摩郡江草村小澤清晴に嫁ぎ二女を擧げたるも故ありて大正十二年七月離婚し同時に父と分家一家を成し爾來獨身にて府下五反田に吳服小賣商を續け大正十三年扱品を廣巾として現在に及ぶ。

【營業收益税】 七二圓

【家庭】 長女靜子女 大正六年十一月二十八日生。二女文子

女 大正十年一月五日生。
【主なる親戚】 小澤太七氏 實弟京都市在住廣巾商。

大瀧 正一氏

明治四十四年一月十六日生

【營業又
は職名】 羅紗切賣業合名會社大瀧羅紗店代表社員
【營業所又
は勤務先】 東京市日本橋區室町三丁目六番地 電話(日本橋 三九七)
【住 所】 東京市赤坂區青山高樹町十六番地ノ七電話(青山 三六六)
【本籍地】 東京市日本橋區室町三丁目六番地

【略歴】 氏は東京府人亡大瀧兼吉氏の長男にして大正十四年十一月兼吉氏死亡に因り家督相続す。家業は先々代岳四郎氏の創業にして明治十五年に始まり大正八年四月合名會社となす。氏は慶應理材料を卒業し店員にして出資社員たる村上英一氏の補佐を受けて營業に従事し大阪市東區備後町には支店を有し居りて出資社員岡愛之助氏を支店長として擔當せしめあり。

【所得税】 九四九圓

【家庭】 祖母くら女 明治五年四月十六日生。妹富子女 大正三年十月六日生。繼母スエ女 明治二十七年三月二十四日生。大正十五年二月生。生家なる群馬縣高崎市新町五丁目岡田

謹吾氏方へ復籍し異母妹弟たる妹和子女(大正十一年十一月十二日生)及び弟良三氏(大正十四年三月十四日生)も共に岡田氏方へ入籍せり。

【主なる親戚】 大瀧信一氏 姉長子女夫、日本橋區室町三丁目六番地。大瀧源藏氏 伯父、日本橋區江戸橋三丁目五番地

羅紗商。大瀧兼藏氏 伯父、神田區須田町十一番地羅紗切賣製品卸商。大瀧辰五郎氏 伯父、神田區小川町洋服既製品卸商

大瀧 源藏氏

明治十二年八月四日生

【營業】 羅紗及綿布卸商
【營業所】 東京市日本橋區江戸橋三丁目五番地 電話(日本橋 三〇・三四八)
【住 所】 同 所
【本籍地】 東京市日本橋區通三丁目四番地ノ二

【略歴】 氏は日本橋區川瀬石町十九番地亡吉田久次郎氏の長男にして夙に日本橋區通り二丁目十一番地羅紗切賣商亡大瀧源藏氏方に仕へたりしが望まれて明治三十三年六月同氏の養子となる。元鐵五郎と稱し後鐵太郎と改めたるが大正元年十月先代源藏氏死亡に因り家督相続するや相次で源藏を襲名せり大正十二年資本金百萬圓の株式會社大瀧商店を設立せしも

昭和四年九月之を解散して個人經營に還元せり。

【趣味】 謠 【宗教】 眞宗 【所得税】 二七四圓

【家庭】 養母てい女 明治二年七月二十二日生。妻せい女 明治二十年三月五日生。長女きく女 明治三十九年十月十六日生。二女千代女 明治四十年十月十九日生。婿養子繁造氏 明治二十五年八月十七日生。山梨縣人鹽川丑次郎氏二男にして大正十二年六月源藏氏長女きく女と婿養子縁組。繁造氏長女百合子女 大正十三年一月一日生。同二女久美子女 大正十五年六月十四日生。

【主なる親戚】 大瀧辰五郎氏 實弟、神田區小川町洋服既製品卸商。大瀧兼藏氏 實弟、神田區須田町十一番地羅紗卸商。大瀧正一氏 甥、日本橋區室町三丁目六番地羅紗卸商。

大瀧 兼藏氏

明治二十三年十月十八日生

【營業】 羅紗切賣業
【營業所】 東京市神田區須田町二十一番地電話(神田 三三三)
【住 所】 府下北豊島郡日暮里町字渡邊町 電話(下谷 五〇〇)
【本籍地】 東京市神田區須田町二十一番地
【略歴】 氏は日本橋區江戸橋三丁目五番地大瀧源藏氏實弟な

奥井 新左衛門氏

明治十四年一月十三日生

【營業】 木綿金巾問屋

り。夙に同區室町三丁目六番地羅紗商大瀧番四郎商店に入店多年勤務の後店主岳四郎氏三女じん女の婿養子となり大正八年十一月分家して現所に獨立す。大正十二年震災の損害は相當巨額に達したるも、直後間もなく復興し現時約五拾萬圓の年商を遂行せる外、昭和四年八月京城府南大門通三丁目に支店を設置只管營業の發展に努力しつゝあり、濃厚篤實なる紳士にして、現に京濱羅紗同盟會第二部長たり。
【宗教】 禪宗 【所得税】 八一圓
【營業收益税】 三三六圓
【家庭】 妻女じん女 明治二十七年八月十六日生、青山女學院卒業、趣味茶の湯、生花。長女光子女 大正二年二月十三日生、東洋高等女學校卒業。
【主なる親戚】 實兄大瀧源藏氏 日本橋區江戸橋三丁目五番地、羅紗商。實兄大瀧辰五郎氏 神田區小川町、洋服既製品小賣。甥大瀧正一氏 日本橋區室町三丁目六番地、羅紗商。

【營業所】 東京市日本橋區大傳馬町一丁目七番地 電話(浪花)三六・一五〇
【住 所】 滋賀縣神崎郡南五個莊村大字川並五百五十二番地
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣神崎郡南五個莊村亡塚本原三氏の四男として生れ前名宗三郎氏と稱す、塚本同族合名會社出資社員塚本源三郎氏は氏の實兄に當る關係上(株式)塚本に業務を見習つたが先代奥井新左衛門氏に望まれて明治四十一年十二月同氏の養子となり翌年一月先代長女はな女と結婚す而して大正十四年三月先代病歿に依り相續襲名せり、同店は業界に於ける老舗にして業容店格共に備り、着實濃厚なる氏は良く先代の遺業を全し且つ益々進展しつゝあるものなり。

【宗教】 眞宗 【所得税】 一二六圓
【營業收益税】 二八六圓

【家庭】 妻はな女 明治二十二年九月九日生。長女道子女 明治四十二年八月九日生、京都第一高女卒業後家庭に在り。長男新吉氏 明治四十四年六月十一日生、京都第三高等學校三年在學。二女照子女 大正三年十一月十二日生京都第一高等女學校五年在學。二男豊治郎氏 大正十年八月四日生、京都市竹間小學校三年在學。三男清氏 昭和三年十二月十六日生京都市中京區間の町東夷比須川上ルに住す。

【主なる親戚】 實兄塚本源三郎氏 滋賀郡神崎郡南五個莊村塚本合名社員塚本源三郎氏 關參照。分家奥井萬左衛門氏 京都市烏丸綾小路南入ル織物卸商。分家奥井平次郎氏 京都市室町高辻上ル吳服卸商。

【主なる出身者】 小川善一郎氏 北海道北見國枝幸、吳服小賣商。

奥澤茂三郎氏

明治十九年十月二十九日生

【營業又職名】 クレツプ廣幅綿布卸株式會社奥澤商店社長
【營業所又勤務先】 東京市日本橋區葎屋町一番地東京出張所 電話(浪花)四三〇
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は朽木縣佐野町の人奥澤泰一郎氏の次男にして泰一郎氏は數十年前佐野町に綿縮機業を開始し久しく其個人經營たりしが課税關係にて營業名義を次男茂三郎氏に變更し更に大正十年十二月資本金五十萬圓の株式會社となし茂三郎氏社長となり經營今日に及べるものにして横濱に本店を有し佐野町に支店を又神戸及東京に出張所を置き氏は東京にありて之を統率し居るものなり而して奥澤家は氏の長兄歌次郎氏相

續され會社は其一族の出資に係る斯くして同家の資産は世評三百萬圓と稱せられ實力業容共に業界有力商店と稱せらる茂三郎氏は足利市織物問屋金井商店にて業務を見習ひたる事あり商才ある堅實家なり。

【趣味】 園藝 【宗教】 曹洞宗 【所得税】 一五四圓

【家庭】 妻女ヨシ女 明治二十二年八月十五日生。長男幸次郎氏 明治四十四年五月十九日生、横濱高等商業學校生。長女シメ子 大正七年六月二十一日生市立第一高女通學中。

【主なる親戚】 朽木縣田沼町大字新吉水質業中田良吉氏妻女里方。

【主なる出身者】 横濱市不老町廣巾織物商小林金三郎氏。同市萬代町同業田村又一氏。大阪東區伊賀町吳服卸商飯塚雄三氏。

奥田藤八氏

明治十二年四月十二日生

【營業】 關東織物問屋
【營業所】 東京市日本橋區橋町一丁目十一番地 電話(浪花)四三〇
【住 所】 同 所
【本籍地】 三重縣一志郡雲出村大字島貫

【略歴】 同店は十代繼承の店舗にして佐野長が草履をぬぎたりと稱さるゝ程の老舗なるが先々代が驕りに長じたる結果日露戰時の不況に蹉跌を來すに至れるも先代卯三郎氏は若くして歿し當主相續したるものにして當主は泰三郎と稱し祖父藤八を襲名したるものなり而して同氏は年少より大阪東區本町織物問屋中島商店に勤め二十五歳の頃退店家業を繼承したるものなるが其頃流石の老舗も衰微し居たるが熱心家業の復興に努め漸進して遂に現容を示すに至れり震災には相當の打撃ありしも支障なく營業を續け來りて經營振り手堅く順次向上の傾向にあり資性穩健又情誼に厚き紳士なり。

【趣味】 書畫 【宗教】 禪宗

【所得税】 四〇九圓 【營業收益税】 二三五圓

【家庭】 母美津女 安政六年六月十三日生。妻てい女 明治二十一年十月二十一日生。二男富次郎氏 明治四十四年七月十五日生。三男三郎氏 大正二年七月八日生、帝都商業學校卒業。四男憲治氏 大正二年七月八日生。五男五郎氏 大正六年一月十七日生。二女博代女 大正八年七月廿七日生。三女きぬ女 大正十一年二月廿六日生。四女みち子女 大正十五年一月六日生。五女孝子女 昭和五年二月二十一日生。

【主なる親戚】 妻の實家本郷區湯島天神町一丁目富田欣一郎

【お・を】

氏。
【主なる出身者】日本橋區久松町織物卸岩佐信七氏。同町吳服問屋福田才兵衛氏。足利市織物卸商佐藤忠七氏。

奥野忠三郎氏

明治三年九月十九日生

【營業所】モスリン卸
【營業所】東京市日本橋區長谷川町七番地 電話、浪花(三〇)
【住所】同 所
【本籍地】同 所

【略歴】氏は甲府市の出身にして元同市にて吳服太物の仲間商内をなし居りしが、大正二年出京日本橋區新材木町十四番地に斯業を開始し更に三年現所に店舗を建築して移轉し來れるなり。地味堅實なる經營振りにあり。

【趣味】大弓 【宗教】浄土宗

【所得税】八一圓 【營業收益税】五〇圓

【家庭】妻ゑい女 明治十三年八月二十六日生 甲府市工町山田定兵衛氏長女。長男國造氏 明治三十七年四月二十六日生 大阪市田村駒商店にて斯業を見習ひ現在は在店して父業を補佐しつゝあり。四女英女 明治四十四年五月十日生日之出女

學校卒業。三男芳藏氏 大正二年三月二十四日生。五女豊子女 大正九年二月二十一日生。

【主なる親戚】甲府市工町山田權一氏 米穀業。

【主なる出身者】本鄉區天神町遠藤嘉吉氏 モスリンブローカー。千葉縣野田町齋藤菊藏氏 莫スリン小賣店。

奥住市太郎氏

明治十八年一月二十八日生

【營業所】廣幅綿布卸商
【營業所】東京市日本橋區久松町三番地 電話(浪花 三三〇)
【住所】同 所
【本籍地】同 所

【略歴】氏は亡彌吉氏の長男、四谷區鹽町二の二に出生す十五歳にして日本橋區田所町山崎作次郎商店に入り格勤十四年大正二年圓滿退店、舊主の聲援を受け主に洋反物のブローカーとして獨立せしが後廣中綿布を併せ取扱ひ大正四年二月田所町に移住熱心努力して同六年久松町一八に店舗を開設し好況に向ひ業績進展越えて八年現所を買収して現業を専門とするに至る正直寛大にして世評よく現在盛業中なり。

【趣味】謠曲、園藝 【宗教】日蓮宗

【營業所】東京市日本橋區新業物町一番地 電話(浪花 五五)

【住所】同 所

【本籍地】滋賀縣犬上郡東甲良村大字横關三百七番地

【略歴】氏は奥川佐平氏の次男に生れ年少にして上京日本橋區橋町にありし丸市田商店に勤め後渡米したるが計畫成らずして歸國當時兄佐平治氏が同じく丸商店を出で同區久松町に織物業を經營せんとするに參加し協同經營を爲したるが明治四十五年分れて獨立斯業を開始す。爾來精勵努力相當資産を作る、先年義弟なる本郷白山川並氏の關係より一時合資會社に組織を改めたるが最近之を解散して氏個人名義に還元す。

【趣味】競馬 【宗教】門徒 【所得税】三三圓

【家庭】妻ハツ女 明治二十五年三月二十八日生 同縣犬上郡西甲良村大字下之郷千二百二十七番地川並和吉氏長女。長女繁子女 大正二年十一月十二日生、日本橋高女在學。長男金松氏 大正五年一月二日生 府立第一商業在學。二男金次氏 大正七年一月一日生 府立第一商業學校在學。二女君子女 大正九年三月二日生。三男信藏氏 大正十一年十一月二十八日生。三女美代子女 大正十四年八月二十日生。

【主なる親戚】實兄奥川佐平次氏府下幡ヶ谷無職妻女弟。川

【お・を】

奥川金之助氏

明治十九年十月二十四日生

【營業所】中形裏地卸商

【所得税】九四圓 【營業收益税】一七七圓
【地租】四五圓
【家庭】妻さだ女 明治二十四年十一月五日生、四谷區左門町一番地柳川元三郎氏 二女大正二年十二月九日婚姻入籍。長男一雄氏 大正五年一月三十一日生、家業從事。長女倭文子女 大正八年四月九日生。二男市夫氏 大正十一年一月四日生。二女豊子女 大正十三年七月二十三日生。三女昭子女 昭和元年十二月二十九日生。四女定代女 昭和四年十二月二十四日生。弟善三氏 明治二十四年十二月五日生、大正二十一年一月妻帯現在府下淀橋町角管に住ひ春夫徳子女の二兒あり丸善株式會社仕入部係長なり。弟源三郎氏 明治三十三年五月三日生、大正十三年九月妻帯現住所府下井荻町字荻窪、第一火災海上保險會社市内課長なり。
【主なる親戚】柳川福次郎氏 夫人さだ女の弟にして四谷區左門町一番地に白米商を經營す。

並太三郎氏 日本橋區濱町二丁目半襟卸業。

奥田幸三郎氏

明治二十一年三月二十八日生

【職業又】 毛斯輪卸合資會社丸富商店代表社員
【は職名】 東京市日本橋區富澤町二十九番地 電話(浪花三三〇)
【營業所】 同 所
【住 所】 同 所
【本籍地】 三重縣津市大字津入江町五番屋敷

【略歴】 氏は津市中之番町黒川増次郎氏の弟にして明治三十四年十二月奥田つや女の養子となり養母死亡により家督を相続す。年少時より日本橋區富澤町堀越常七商店(現存せず)に奉公し二十有餘年勤続せしが震災後主家の閉店により退店獨立せり。當初は同僚中島氏と共に(因)商店を設立、日本橋區通旅籠町に店舗を構へ、後匿名組合組織として營業す。更に昭和二年に至り現合資會社に變更して氏はその代表社員となり銳意業勢の向上に努めつ、今日に及ぶ。

【趣味】 圍碁、將棋 【宗教】 眞宗

【家庭】 妻ゆき女 明治三十五年三月十日生 三重縣飯南郡松坂町大字新町山中源藏氏三女。長男正夫氏 大正十二年一月二十四日生。

六日生。

【主なる親戚】 赤坂區青山南町二三奥村鐵治郎氏 義弟。芝區兼房町六高木春吉氏 妻女里方。

小田久太郎氏

慶應二年十月五日生

【職業又】 百貨店株式会社三越専務取締役
【は職名】 東京市日本橋區駿河町七番地 電話(日本橋三三二)
【營業所又】 府下豊多摩郡中野町小瀧四十番地 電話(四谷四六〇)
【は勤務先】 同 所
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は東京市赤坂區青山南町士族亡小田忠三郎氏の長男にして明治九年先代死亡に依り家督を相続せり、慶應義塾大學卒業後三井物産會社に入り工業部新町紡績所長となり後絹糸紡績會社支配人に累進せしが退社して三越に入り大阪支店長及び常務取締役を経て現時同店専務取締役たり、三越今日の繁榮は氏の熱心なる努力と卓越せる手腕に因る事の大きなものにして東西實業家及び各方面に於て確固たる地位と信頼を博しつゝあるものなり。

【宗教】 眞宗 【所得税】 一九、八八六圓

【家庭】 妻コマ女 明治十二年一月一日生。二男隆二氏 明

【主なる親戚】 前記山中氏 搾乳業、三重縣久居町牛場熊次郎氏 吳服小賣商。

奥村善助氏

明治二十二年三月二十五日生

【職業又】 吳服太物小賣太丸屋吳服店主
【は職名】 東京市京橋區尾張町一丁目二番地 電話(銀座三六〇)
【營業所又】 同 所
【は勤務先】 同 所
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は京橋區南鍋町濱口榮太郎氏男にして幼名彦太郎と稱し伊勢新吳服店に見習ひ明治二十六年三月當家に養子となれるものなり其後前戸主鐵治郎氏隱居により家督を相続す因に同店は天保十二年先々代善助氏の創業に係る約五十年前までは同區鍋町に於て營業爲せるも明治十三年現所に移轉し漸次業容を築き現在に及びしものなり。

【所得税】 六九〇圓 【營業收益税】 三三六圓

【家庭】 繼母フク女 慶應元年四月十五日生。妻とみ女 明治二十六年三月二十一日生。二女文子女 大正十年五月二十五日生。二男正夫氏 大正十四年一月二日生。三男實氏 大正十五年十一月十五日生。三女千鶴子女 昭和四年十一月十

治三十五年二月二十七日生 慶應大學經濟學部卒 安田本店勤務

三男博吉氏 明治三十七年七月十九日生 慶應大學經濟學部卒業。長女喜美子女 明治四十四年一月三十日生 双葉高等女學校卒業。二女智子女 大正五年十月三日生。三女悦子女 大正八年一月十三日生。隆二氏妻忠子女 明治三十八年九月十八日生。孫篤氏 昭和五年六月二十一日生。博吉氏妻智恵子女 明治四十一年十二月二十四日生。

【主なる親戚】 妻女實家矢野義弓氏 東京市外大久保百人町帝國生命、三共製藥重役。忠子女實家大谷光暢氏 京都市島丸七條上ル伯爵眞宗大谷派管長。智恵子女實家益田孝氏 東京市外北品川宿男爵三井合名相談役。

小川源兵衛氏

明治十年七月十六日生

【職業】 近在、結城、越後物及中形卸商
【營業所】 東京市日本橋區富澤町十八番地 電話(浪花三三六)
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は長野縣上伊那郡片桐村北村二吉氏の四男にして舊名を義一と稱す明治十八年六月亡小川源兵衛氏に望まれて

氏の養子ナセ女の婿養子となり同四十三年三月分家したるも大正四年十一月源兵衛氏病歿したるより家督相續して翌五年九月源兵衛を襲名す家業は先代の創業に係り當源兵衛氏は嘗て本所區舊福田屋呉服店に奉公したる事ありて經驗淺からざるが大正十五年七月長女美智女に宗次郎氏を昭和四年四月次女梅子女に嘉吉氏を夫に婿養子として迎へ營業を分擔せしめあり。

【宗教】 神 道 【所得税】 四、六六〇圓

【營業收益税】 五八圓 【地租】 八五圓

【家庭】 妻ナセ女 明治十五年九月二日生。婿養子宗次郎氏 明治三十五年五月十四日生。桐生高工卒。長女美智女。長女美智女 明治三十九年五月三日生。浦和高女卒。婿養子嘉吉氏 明治三十七年一月二十日生。次女梅子女 明治四十一年七月十六日生。浦和高女卒。三女繁子女 明治四十三年十月三十一日生。浦和高女卒。孫富子女 昭和二年七月三十一日生。宗次郎氏長女。孫榮子女 昭和五年四月八日生。同二女。【主なる親戚】 小川松右衛門氏 妻實父滋賀縣坂田郡今川村中村芳太郎氏 宗次郎氏實父崎玉縣北足立郡與野町。宮崎徳次郎氏 嘉吉氏實父神奈川縣津久郡内郷村。【主なる出身者】 市内日本橋區村松町八番地織物並に文庫卸

商亡中川金兵衛氏。

小川勘重郎氏

明治十九年十月三十一日生

【營業】 太物卸

【營業所】 東京市日本橋區濱町一丁目十七番地

【住 所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣坂田郡西黒田村大字八條三百八十九番地

【略歴】 氏は亡小川巳之助氏長男に生る大正四年六月二十五日滋賀縣南郷里村金澤とめの女と婚姻を爲し二女を擧ぐ同六年十一月十九日前戸主小川巳之助氏病歿により家督相續せり而して昭和二年九月八日妻女亦病歿し長女はつ子女は昭和五年四月一日日本橋區馬喰町四丁目圓藤藏吉氏と婚姻し二女よし子女は同年八月病歿せり、氏は年少より上京し日本橋區久松町宮川商店に奉公し大正三年獨立せるものなり。

【家庭】 妻のぶ女 明治三十二年一月三十日生。養子卯三郎氏 明治二十四年二月十六日生。實弟。

【主なる親戚】 日本橋區馬喰町四丁目十四番地、圓藤茂吉氏 長女夫。滋賀縣坂田郡南郷里村金澤與惣吉氏 亡妻とめの女實弟。千葉縣君津郡巖根村安藤兼二郎氏 現妻のぶ女里方

小川竹次郎氏

明治十九年一月九日生

【營業又】 百貨店 株式会社高島屋東京支店建築委員長

【職名】 東京市京橋區南傳馬町一丁目 電話(京橋代表)二二六一

【勤務先】 六番地

【住 所】 同 赤坂區丹後町五十五番地 電話(青山)四二〇七

【本籍地】 府下豊多摩郡落合町大字上落合七百三番地

【略歴】 氏は京都府南桑田郡千代川村字小川亡小川重助氏の三男にして大正八年八月實兄源次郎氏より分家し一家を成す現時同店建築委員長として業容の擴張に伴ふ店舗の新築業務を擔當しあり其の手腕力量は齊しく内外に期待せらるゝ所なり。

【宗教】 佛 教 【所得税】 一一四圓

【家庭】 妻ふみ女 明治二十七年十月二十日生。京都市下京區五條通り猪熊東入柿本町小島卯吉氏長女。長女正子女 大正四年七月十五日生。長男博通氏 大正八年五月一日生。二女京子女 昭和四年十一月二十四日生。

【主なる親戚】 兄小川源次郎氏 京都府南桑田郡千代川村小川三。前記小島卯吉氏。

小川利男氏

大正四年三月四日生

【營業又】 呉服太物洋反物小賣丸屋呉服店主

【職名】 東京市芝區白金猿町十七番地 電話(高輪)八二〇

【營業所】 同 所

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は東京府人亡小川金藏氏の長男にして昭和四年一月金藏氏病歿に因りて家督相續す金藏氏は北多摩郡砂川村の出身にして年少時より立川町丸屋呉服店に奉公し忠勤永年の後明治四十一年退店獨立せり。

【所得税】 三五二圓 【營業收益税】 一二六圓

【家庭】 母トキ女 明治二十六年二月九日生。姉喜代野女 大正二年十二月三日生。妹田鶴江女 大正五年九月九日生。弟州氏 大正八年九月十七日生。弟寛氏 大正十一年一月八日生。妹須深子女 大正十二年六月一日生。妹嘉子女 大正十四年五月三日生。

【主なる親戚】 園部辰五郎氏 母里方北多摩郡砂川村百四十六番地。

小川 豊三氏

明治十五年八月二十三日生

【營業又】 吳服太物類小賣合資會社増見屋吳服店代表社員
 【職業名】 東京市京橋區銀座座五丁目一番地七號 電話(銀座三三三)
 【營業所】 同 所
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は年少より牛込區市ヶ谷あまさげ屋吳服店(現存せず)に奉公し退店後自宅にありて實兄の業務を補佐し居りしが大正十三年十二月實兄は腦溢血にて急死せしかば直に營業を繼承せるものなり。尙本年三月十八日資本金五千三百圓の合資會社に組織を變更し氏は其代表社員に就任せり。

【所得稅】 一九六圓 【營業收益稅】 一三一圓

【家庭】 妻いと女 明治二十六年十月十二日生。長男嘉一郎氏 大正十年九月二十八日生。長女富貴子女 大正十三年三月三日生。二男保彦氏 昭和二年一月十六日生。

【主なる親戚】 市内芝區柴井町二十九番地綱島源吉氏 妻女實弟。

小川 清藏氏

明治二十七年一月十五日生

【營業又】 廣幅綿布卸商、株式會社宮崎商店常務取締役
 【職業名】 東京市日本橋區通旅籠町三番地 電話(浪花二二五二六美)
 【營業所】 東京市日本橋區通旅籠町三番地 電話(浪花二二五二六美)
 【住 所】 千葉縣蘇我町字馬加中宿
 【本籍地】 東京市日本橋區通旅籠町二十一番地

【略歴】 氏は埼玉縣南埼玉郡荻島村大字南荻千二百二十四番地亡小川榮吉氏の次男に生る年少より前記宮崎商店に入り同店が株式會社となるに及びては常務取締役に就任し今日に至れるものにして一昨年歐米に渡航し販路開拓の爲め約壹ケ年間各地を視察したる事あり。

【趣味】 乗馬 【宗教】 法華宗

【家庭】 母たね女 明治元年七月十一日生。妻アヤコ女 明治三十二年八月二十五日生。弟愛次氏 明治三十六年一月四日生。日本橋區住吉町に於て喫茶店を營む。妹はな女 明治四十四年三月九日生。長男精一氏 大正十年四月十一日生。二男欽二氏 大正十二年六月十四日生。長女澄子女 大正十五年八月十七日生。

小野 三郎氏

明治四年十二月二十九日生

【營業又】 本總問屋奥井新左衛門商店支配人
 【職業名】 東京市日本橋區大傳馬町二丁目七番地 電話(浪花二二五二六美)
 【營業所】 同 所
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 滋賀縣神崎郡南五個莊村大字川並五百九十九番地

【略歴】 氏は本籍地に於て小野泰藏氏の三男として生れ明治十六年奥井新左衛門商店京都店に入り先代に仕へ恪勤多年明治二十四年東京店設置せらるゝや選ばれて東京詰となり爾來累進明治三十七年支配人に就任以つて今日に至る氏は業界稀に見る着實堅固なる人にして業容店格共に備はる奥井商店の支配人として絶大の信用を博しつゝあるものなり。

【宗教】 眞宗

【家庭】 妻はな女 明治十二年二月二十二日生。長男捨三氏 明治四十四年十二月三日生八日市中學卒業後東京日本橋區通旅籠町廣布卸商宮崎商店在店。二男英輔氏 大正三年八月二十日生八幡商業學校五年在學。二女浪女 大正七年三月四日生愛知川女學校二年在學。

【主なる親戚】 妻女實家前田善平氏 滋賀縣犬上郡日夏村元

小澤 保彦氏

明治二十六年十一月四日生

【營業又】 婦人子供エプロン製造卸商小澤合名會社代表社員
 【職業名】 東京市神田區豐島町二十七番地 電話(浪花二二五二六美)
 【營業所】 同 所
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 東京市日本橋區馬喰町一丁目二十二番地

【略歴】 氏は小澤傳次郎氏の長男なり、長野縣上諏訪町に生れ十六歳の時上京して日本橋區田所町洋反物商大濱商店に入り約十年間斯業を見習ひ圓滿退店し大正九年淺草區猿屋町にて獨立創業し爾來刻苦精勵したれば業容異數の伸展なし大正十二年現所に移轉し現容を構えるに至れり、實弟善次郎氏と協力一致の活氣ある商内をなし業界に於ける新進者と目され將來を期待され性格は温厚にして商才に富み堅實なる人物と知られ居れり。

【趣味】 旅行 【宗教】 淨土宗 【所得稅】 五二圓

【營業收益稅】 二八圓

【家庭】 父傳次郎氏 明治三年十一月九日生。母さか女 明治十六年九月一日生。妻たま女 明治卅年二月二十日生。神田區美土代町書籍商高岡寅次郎氏二女。長男信男氏 大正十年八月十四日生。二男保弘氏 大正十二年三月四日生。三男澄男氏 大正十四年三月二十五日生。四男金造氏 大正十五年三月二十五日生。長女扶佐女 昭和三年七月七日生。弟善次郎氏 明治三十八年一月二日生。日下實兄を補佐して家業に従事中性温厚なり。妹きみ女 明治四十年六月二十七日生。日本橋區小傳馬町銅鐵商秋山實氏と婚姻。妹晃女 大正十年七月七日生。

【主なる親戚】 義弟岡部義信氏 綿布加工商日本橋區馬喰町一丁目。義弟秋山實氏 鋼鐵商日本橋區小傳馬町。

【主なる出身者】 赤羽國雄氏 ฟูエルトカラー商神田區向柳原町。松田定一郎氏 帽子商神田區向柳原町。竹内徳廣氏 子供服加工商本所區石原町。

岡田壯四郎氏

明治十年九月六日生

【職業名】 中形裏地問屋岡正合資會社社員

岡田正吉氏

明治三十二年一月十二日生

【職業名】 中形裏地問屋岡正合資會社代表社員

【營業所又】 東京市日本橋區富澤町四番地 電話(浪花)八七

【住 所】 府下豊島郡瀧野川町上中里百八十一番地 電話(大塚)三六七

【本籍地】 東京市日本橋區富澤町四番地

【略歴】 氏は先代岡田正次郎氏の嫡男なり先代は明治十五年五月本業を開始したるが其經營才能に特出せると共に、江戸中形裏地の改良に努力し斯業に盡す處尠ならずされば同店發賣にかゝる福助裏地は夏季の製品たる中形類と共に毎時博覽會に出品して常に優秀品たる榮譽を荷えり明治四十四年先代歿後氏は家督を相続し同時に營業を資本金十萬圓の岡正合資會社となし義兄壯四郎氏の後を承けて代表社員となる性温和頗る頭腦明晰をもつて知らる。

【趣味】 讀書 【宗教】 淨土宗 【所得税】 六、九九二圓

【家庭】 母マツ女 安政五年一月十二日生は徳川幕府の重臣土井樂永氏の二女なり。妻とん女 明治三十三年六月二十五日生は富山縣東礪波郡廣塚村田屋一三四〇廣川竹次郎氏四女。

【營業所又】 東京市日本橋區富澤町四番地 電話(浪花)八七

【住 所】 府下北豊島郡巢鴨町千三百七番地 電話(大塚)三六七

【本籍地】 東京市日本橋區富澤町四番地

【略歴】 氏は栃木縣下都賀郡稻葉村大字七ツ石九番地戸主小倉憲信氏の四男なり夙に上京して中形裏地問屋岡正商店に勤務せるが後ち其人物を見込まれ店主故岡田正次郎氏の二女八重子の婿養子となり正次郎氏歿後義弟正吉氏と共同出資の岡正合資會社となし同店經營の衝に當りしが正吉氏長ずるに及び其經營を任せ目下大體を監督し居るに止まれり氏の關係事業としては東京榨油專務日清紡績取締日新染布南洋貿易社長東亞製麻七尾セメント東京モス取締役帝國殖産合資(代表社員)等にして性着實をもつて知らる。

【宗教】 淨土宗 【所得税】 八二五七圓

【家庭】 妻ふじ女 東京府人浦野金藏氏二女明治十二年五月五日生。長男正衛氏 金澤四高に修學、明治三十九年九月十五日生。

【主なる親戚】 岡田正吉氏 富澤町岡正合資會社代表社員 小倉太一郎氏(巢鴨町)は甥に當る。浦野仁兵衛氏(牛込通寺町帽子商)義兄。

【主なる親戚】 岡田壯四郎氏は義兄に當る。(同欄参照)

【主なる出身者】 澤田兵太郎氏(日本橋區新材木町)金巾商。

故井田長作氏(新大阪町)金巾商。高瀬榮太郎氏(長谷川町)中形裏地商。

岡田小平氏

明治三十三年二月二十五日生

【營業所】 京吳服關東絨物セル卸商 電話(浪花)三六七

【住 所】 東京市日本橋區長谷川町八番地 電話(浪花)三六七

【本籍地】 東京市日本橋區長谷川町八番地

【略歴】 氏は茨城縣那珂郡湊町字元町五八二〇料理業小藤家安達四郎吉長男、幼少より日本橋區長谷川町岡田小平商店に奉公し其實直を認められ二十歳にして同店の仕入部主任を委ねられ益々信望厚き際小平氏の病歿するに及び妻母くら女の懇望切にして長女ゆき女の婿として同家に入籍し其の名與四郎を小平と襲名し爾來亡主の後を繼承したり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 日蓮宗 【所得税】 一五〇圓

【營業收益税】 一三七圓

【家庭】 養母くら女 明治五年十月二十一日生。妻ゆき女

【お・を】

明治三十七年七月二十四日生、先代小平氏の長女。
【主なる親戚】 生家料理業安達小次郎氏（茨城縣那珂郡湊町小平氏實弟。養母生家豪農田村庄太郎氏）埼玉縣北葛飾郡旭村前新田。
【主なる出身者】 吳服卸商齋藤誠治氏（神田區松枝町八。吳服卸商高橋儀三郎氏）日本橋區通鹽町

【家庭】 妻ミネ女（明治二十五年三月十四日生、京都府立第一高女卒。長男寛治氏）大正四年八月五日生、日本大學商科在學中。二男益三氏（大正五年十二月十六日生、店務見習中。長女満津子女）大正十五年一月二十日生。
【主なる親戚】 橋本幸三郎氏（妻實兄、京都市寺町綾小路下ル雛人形商。）

岡田吉次郎氏

明治十六年八月二日生

【營業】 桐生御召卸
【職業名】 桐生御召卸
【營業所】 東京市日本橋區通油町二十五番地 電話（浪花六九）
【住所】 同 所
【本籍地】 京都市上京區下長者町通烏丸西入鷹司町十七番地
【略歴】 氏は京都府人亡勝見利吉氏の二男にして明治二十三年十二月父方の親戚岡田タカ女の跡を相續す、夙に京都商業實業學校を卒業し下村株式會社に入店勤続三十六年に及ぶ其の間累進して同店取締役となり東京支店主任たりしが昭和五年十月同支店の廢止さるゝや殘務整理後退店して同年十二月現所に本業を開始せり。
【宗教】 淨土宗 【營業收益税】 四一圓

岡田良夫氏

明治二十三年十月五日生

【營業】 吳服月賦販賣富士屋吳服店主
【職業名】 吳服月賦販賣富士屋吳服店主
【營業所】 東京市淺草區茅町一丁目十二番地 電話（淺草四七四）
【住所】 同 所
【本籍地】 府下豊多摩郡千駄ヶ谷町大字千駄ヶ谷三百四十五番地
【略歴】 氏は沼津市岡田善建氏の長男に生れ適齡に達して第一師團經理部に入隊し滿期と同時に再入營志願を爲し主計準士官迄昇進せり然れ共震災直後恩給年限に達せるより退職し叔父と共に下谷區二長町に合名會社伊豆金吳服店を組織せるも大正十五年十二月獨立するに至れり、大正十一年一月三十日新田しげ女と婚姻し同日善建氏隱居により家督相續す。
【所得税】 一一六圓

【家庭】 父善建氏（安政四年七月二十二日生。妻しげ女）明治三十四年八月一日生。長女經子女（大正十一年十一月二十四日生。長男良一氏）大正十三年七月二十三日生。二男哲郎氏（大正十五年一月十八日生。三女道子女）昭和三年三月十一日生。四女壽子女（昭和五年三月二十六日生。）
【主なる親戚】 市外千駄ヶ谷三四五岡田明氏及壽郎氏（實弟。沼津市上香貫五三小川清作氏）妹二三枝女の夫。福井縣大野郡上社村寶慶寺第十五號新田彌四郎氏（妻女里方。）

岡島菊藏氏

慶應二年五月二十日生

【營業】 毛斯繪問屋堀越合名會社支配人
【職業名】 毛斯繪問屋堀越合名會社支配人
【營業所】 東京市日本橋區通旗籠町十二番地 電話（浪花二七五）
【住所】 東京市神田區末廣町十番地
【本籍地】 同 所

【お・を】

【略歴】 氏は埼玉縣入間郡金子村大字上谷ヶ貫六一三戸主藤井三吉氏の二男として生る、明治十九年六月二十一日岡島太助氏の養子となり現姓を名乗る夙に埼玉縣川越市に於て近在織物の買繼をなし居り屢々取引について堀越本店に出入し居る内先代堀越勘治氏に認められ買繼業を廢めて明治三十五年

岡島久七氏

明治三十年九月五日生

【營業】 八王子織物卸商
【職業名】 八王子織物卸商
【營業所】 東京市日本橋區富澤町二十八番地 電話（浪花六九）
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所
【略歴】 氏は元の名を久次郎と呼び滋賀縣坂田郡島居本村大字古西法寺一八植田卯之吉氏の長男として出生、年少時下村株式會社に入社、同店東京店に精勤中、先代久七氏に望まれ大正十二年二月八日其婿養子となり、昭和三年五月三日先代逝去せしに因り家督相續をなす、後久七を襲名したるが、

【お・を】

努力家にして父業を益々隆昌ならしめ家庭圓滿、業容順調なり。

【宗教】 浄土宗 【所得税】 五五五圓

【營業收益税】 一一二圓
【家庭】 養母とみ女 明治四年七月十一日生。妻梅子女 明治三十四年十月二十四日生。大正十二年二月八日婚姻。長男貞一郎氏 大正十三年四月九日生。長女扶紗子女 昭和三年七月四生。

【主なる親戚】 岡島喜八郎氏 甲府市柳町に於て吳服商。

岡 清 藏氏

明治二十一年十二月十三日生

【營業又】 百貨店株式会社白木屋取締役兼雜貨部長

【職業又】 東京市日本橋區通一丁目九番地 電話(日本橋三四一)

【勤務先】 府下豊多摩郡中野町大字中野三千三百番地

【住 所】 和歌山市久保町三丁目二番地

【略歴】 氏は和歌山縣人岡安兵衛氏二男にして大正七年九月三日分家す、大正五年慶應義塾理財科を卒業し、翌年六月白木屋呉服店に入社商務部助役を経て同十二年九月大阪支店營業課長となり十三年十月歐米各國を視察翌年五月歸朝同年八月

月副支店長に昇進其後幾何もなく同店支店長に拔擢され昭和四年東京本店販賣部長に轉任更に職制改革に困り雜貨部長となり今日に至る。

【趣味】 旅行、繪畫、音樂 【宗教】 眞宗

【所得税】 一七〇圓
【家庭】 妻幸女 明治二十八年八月三日生東京府人岩本文右衛門氏二女中村高女卒、大正八年十二月二十日婚姻入籍。長女佐知江女 大正七年十月三十一日生。二男十次氏 大正十二年三月二十三日生。三男省三氏 大正十四年四月四日生。四男龍藏氏 昭和三年二月一日生。

【主なる親戚】 義父岩本文右衛門氏 東京市深川區古石場町一九番地。實父岡安兵衛氏 和歌山市上町三二番地。

岡本寅之助氏

明治二十三年三月二十五日生

【營業又】 半襟小物類卸合會社岡仙商店東京支店支配人

【職業又】 東京市日本橋區通油町十三番地 電話(浪花美六)

【勤務先】 同 所

【住 所】 同 所
【本籍地】 京都市下京區萬壽寺通烏丸西入御供町善孝二番地

【略歴】 氏は京都市下京區烏丸通五條上る悪王子町三岡本仙

助氏の四男にして大正七年十二月分家し一家を成す、年少より家業たる半襟服装品卸に從事し居たるが大正七年同店の合名會社に組織變更するに及びて社員に列し後東京支店支配人として業務を擔當しあり、濃厚にして着實内外の印象良しく各方面に多大の信用を博し居り現時店員二十名を使用して熱心經營の任に當り業容順調なる進展を示せり。

【宗教】 佛教

【家庭】 妻ハマ女 明治三十一年十月七日生。長女千枝子女 大正十一年四月二十二日生。長男脩一氏 大正十三年三月六日生。

【主なる親戚】 妻父田畑武兵衛氏 京都市下京區烏丸通三條下る饅頭屋町六〇五。

岡村榮次郎氏

明治十九年二月一日生

【營業又】 羅紗既製品卸合會社岡村商店代表社員

【職業又】 東京市神田區岩本町五番地 電話(浪花六三)

【住 所】 同 所
【本籍地】 栃木縣下都賀郡野木村大字丸林九百三十二番地

【略歴】 氏は栃木縣人岡村磯吉氏の長男にして昭和三年四月磯吉氏隱居に因りて家督相續す、年少時上京して洋服職の徒弟となり二十歳頃より市内淺草區子供服卸商島田又右衛門商店に入り後同店本郷支店主任たりしが明治四十三年本所區吉田町に獨立し絨製品並に洋傘の小賣商を開始市内數ヶ所に支店を設けたり、大正七年三月主家島田商店出身者十餘名を糾合し資本金一萬五百圓の合資會社富士商店を設立自ら外三名と共に代表社員となりて羅紗既製品卸商を營みたるが其後退社するもの續出し結局大正十年七月現所に進出して會社資本金を一萬五千圓に増額し商號を合資會社岡村商店として營業を繼續せしが昭和五年一月從來の會社を解散して新に資本金十萬圓の合資會社岡村商店を設立其の代表社員となりて今日に及ぶ最初設けたる市内數ヶ所の支店は或は讓渡し或は閉鎖して目下同店支店と目すべきものに日本橋區人形町、牛込區山吹町の二ヶ所の小賣店あり。

【所得税】 三四圓 【營業收益税】 二二圓

【家庭】 父磯吉氏 萬延元年三月七日生。妻きよ女明治二十六年二月十日生。長女千代女 明治四十四年七月三十一日生。二女泰江女 大正四年四月九日生。三女智江女 大正六年六月一日生。四女叔子女 大正八年三月十八日生。五女弘子女

【お・を】

大正十年四月十三日生。六女照子女。大正十五年七月十三日。
【主なる親戚】 山中與右衛門氏。妻女實兄、茨城縣猿島郡古河町。

岡本己之助氏

明治二十六年七月三日生

【營業】 綿布加工品卸商
【營業所】 東京市日本橋區久松町四十八番地 電話(浪花三三)
【住 所】 同 所
【本籍地】 群馬縣碓氷郡安中町大字安中五百四十五番地

【略歴】 氏は群馬縣安中の人。岡本三吉氏の長男に生れ年少の時上京し日本橋區長谷川町毛斯綸卸商西村平次郎商店に奉公し震災直前退店し獨立したるものにして開業資金は主家在店中の蓄積にして主として別珍半襟及紐等を加工し之を毛斯綸屋系統の仲間に賣込みつゝあるものにして創業以來順調に進出し現在既に相當の實力を有するに至れり人物頭腦明晰なる奮闘家なり。

【宗教】 眞 宗

【家庭】 母とく女。文久三年九月二十六日生。弟安雄氏。明

治三十七年六月十一日生。妻とよ女。明治三十二年七月十六日生。長男保之氏。大正十一年十二月十二日生。長女房子女。大正十三年十一月十六日生。妹もと女。明治三十年八月十五日生。次男藏司氏。大正十五年三月二十一日生。次女和子女。昭和五年九月二十二日生。

岡本貴一郎氏

明治十六年八月二十六日生

【營業又】 廣幅細綿織物及加工品卸合資會社岡本貴商店代表社員
【職名】 同
【營業所】 東京市日本橋區久松町三十一番地 電話(浪花八〇)
【住 所】 同 所
【本籍地】 京都市上京區出水通葎屋町西入元福大明神町百六番地

【略歴】 氏は京都の人。岡本ふみ女の息にして前名を喜一郎と稱し大正十年貴一郎と改む十五歳の時上京某店に修業し本業者となりしものなり以前は洋傘ショールの加工卸をも兼ね此方面に相當力を注がれしが震災後は漸次廣巾織物及加工物に轉じ來り販路はデパート其他の雜貨屋筋なるが昭和五年四月資本金二十萬圓の合資會社となし今日に及ぶ。

【趣味】 觀劇、運動 【宗教】 淨土眞宗 【所得税】 八一圓

【營業收益税】 九八圓 【地租】 一七圓

【家庭】 妻くら女。明治二十五年五月十四日生。長男壽一氏。明治四十四年八月八日生。慶應豫科通學。長女きみ子女。大正二年一月二十四日生。三輪田女學校卒業。次男俊二氏。大正三年三月三日生。第一高等學校通學。次女とみ子女。大正四年十月三日生。三輪田女學校通學。四男昭氏。昭和三年八月十七日生。

【主なる親戚】 岡本孝三氏。氏の弟。京都市上京區黒門通メリヤス製造卸、宮内龜太郎氏。妻女里方。埼玉縣浦和町家具商。藤野秀雄氏。弟。京都市松原通足袋卸商。岩井盛次氏。弟。京都市上京區黒門出水廣巾織物及加工品卸商。
【主なる出身者】 東京市小石川區上富坂町雜貨卸商田中増藏氏。

黃地金左衛門氏

明治十一年九月九日生

【營業】 風呂敷卸商
【營業所】 東京市日本橋區新大坂町三番地 電話(浪花三七三)
【住 所】 同 所
【本籍地】 滋賀縣愛知郡豊椋村大字長廿六番屋敷
【略歴】 氏は滋賀縣愛知郡豊椋大字長二六番屋敷先代金左衛

門氏の長男なり。明治十四年九月家督を相續し同三十五年三月三十一日幼名爲治郎を改め金左衛門を襲名す同年姻戚たる東京市日本橋區織物問屋澤井藤助商店風呂敷部營業一切を譲受けて上京營業を開始す、資性着實にして頗る堅實の遣り口にて従業し來れるより逐年業容を更張して賣先地盤の堅固なるは既に評あり。

【趣味】 繪 畫 【宗教】 眞言宗

【家庭】 妻とい女。明治二十六年七月二十九日生。滋賀縣愛知川町沓掛六〇番屋敷渡邊四良平氏二女。弟太七氏。明治十三年十一月二十八日生。澤井藤助商店前支配人目下兄を補佐。弟妻ぬい女。明治二十七年六月十日生。滋賀縣神崎郡八日市内藤善之二女。太七氏長男健治氏。大正五年十月二日生。京華高等在學。同二男光治郎氏。大正八年三月十四日生。本郷高等小學校在學。姪久子。大正十年八月六日生。瀧の川小學校通學。同三男元三郎氏。大正十三年三月二十八日生。瀧の川小學校在學。同四男彦造。昭和二年七月五日生。同五男良輝。昭和四年一月四日生。

【主なる親戚】 澤井藤助氏。日本橋區田所町金巾問屋。堀井新次郎氏。神田堀井齋寫堂主(従兄弟)。渡邊四郎氏。岳父息は郷里に於て小學校長をなす。

黄地岩治郎氏

明治三十年九月十六日生

【營業】 中形裏地卸

【營業所】 東京市日本橋區岩代町一番地

【住所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣愛知郡豊稜村大字長二百四十三番地

【略歴】 氏は亡黄地銀三郎氏長男に生れ、明治三十七年七月二十六日滋賀縣愛知郡豊稜村大字長四一番屋敷亡黄地金三郎氏養子となり、同四十三年四月十四日家督相續をなす、郷里小學校を卒業後直ちに上京し、市内日本橋區新大阪町辰巳屋商店に入店、勤続約十四年にして大正十三年九月現所に獨立爾來着實に經營し今日に至る。

【宗教】 眞宗

【家庭】 養母すて女 明治十年七月十九日生。妻女せつ女 明治四十年二月五日生、滋賀縣愛知郡八木莊村大字元持八四番屋敷川口宇藏氏二女、愛知高女卒業趣味生花。長男銀治郎氏 昭和四年六月七日生。

【主なる親戚】 義兄川口宇藏氏 滋賀縣愛知郡八木莊村大字元持八四番屋敷、麻布製造販賣。従兄黄地金左衛門氏 日本橋區新大阪町三織物卸。従兄堀井新治郎氏 神田區鍛冶町

寫版製造販賣堀井磨寫堂店主。従兄黄地太七氏 東京府下瀧野川町日本橋區田所町澤井藤助商店前支配人。

尾崎詮次氏

明治二十七年四月二十七日生

【營業】 雜吳服卸商

【營業所】 東京市神田區岩本町十番地 電話(浪花511)

【住所】 同上

【本籍地】 府下北多摩郡大和村字高木三百六十九番地

【略歴】 氏は本籍地に於て尾崎龍藏氏の次男として生れ土地の小學校卒業後十三歳の折其親戚に當る市内神田佐久間町に在りし島田九一郎商店に入り恪勤多年遂に支配人たりしが大正十年間滿退店し下谷區二長町に獨立せり爾來逐年發展の折柄舊主島田氏廢業するに當りて其得意先を委さるゝに及び面目一新現所に移轉今日に至れり。

【趣味】 書畫、謡 【宗教】 眞言宗 【所得税】 一三圓

【營業收益税】 三九圓

【家庭】 實母フキ女 明治元年十一月生。實兄徳孝氏 明治二十五年六月生。弟恒治氏 明治四十一年三月生。姉ノブ女 明治三十六年三月生。兄妻なみ女 明治二十六年六月生。

沖野喜久治氏

明治二十四年八月十一日生

【營業】 吳服卸商

【營業所】 東京市日本橋區濱町二丁目十一番地 電話(浪花555)

【住所】 府下南葛飾郡小岩町字宮本町六十五番地

【本籍地】 東京市日本橋區濱町一丁目十一番地

【略歴】 氏は千葉縣長生郡高根本郷村沖野辰五郎氏實弟なり千葉縣立茂原中學二年修了後、明治三十九年上京し日本橋區久松町山本嘉七商店に入り、勤続十四年の後大正八年無事退店して現所に本業を開始今日に至る、大正十二年震災に於て相當損害を喫したるも間も無く復起し、現時店員三名を督して第一線に活動しつゝあり。

【趣味】 將棋、觀劇 【宗教】 日蓮宗 【所得税】 六一圓

【營業收益税】 七〇圓

【家庭】 妻女もと女 明治三十一年三月十六日生群馬縣碓氷郡豐岡村大字下豐岡六番地清水太三郎氏四女、群馬縣立高崎高等女學校卒業。長女喜子女 大正九年十一月十七日生、小岩小學四年在學。二女桂子女 大正十一年三月二十七日生、同上小學三年在學。長男耕平氏 大正十二年十月三日生、同小學一年在學。三女晏子女 大正十五年八月十四日生。二男

兄長女キク女 大正十年一月生。同長男庄市氏 大正十一年九月生。同二女益子女 大正十三年八月生。同三女和子女 昭和二年一月生。同四女澄子女 昭和五年五月生。以上本籍地に在りて農業に従事す。叔父友吉氏 明治四年三月生。同妻ナミ女 明治十三年十二月生。同長女フク女 明治四十三年九月生。同二男傳藏氏 大正六年六月生。以上本籍地に在りて飲食店に従事す。弟福太郎氏 明治三十一年十月生。同妻チカ女 明治三十七年二月生。同長男延夫氏 昭和五年六月生。以上神田區東松下町吳服卸商營む。弟國造氏 明治三十八年十二月生神田區東松下町藤井商會員。弟貞季氏 明治四十四年八月生大阪美津濃商店員。弟梅治氏 大正三年六月生自店に在り。妻みよ女 明治三十三年一月生。長男光雄氏 大正十二年七月生。

【主なる親戚】 實母實家指田一雄氏 府下北多摩郡村山村中藤醫師。姉タケ女縁先森崎堯一氏 東京市京橋區長澤町下駄商。叔父妻女實家島田留吉氏 府下西多摩村農。兄妻女實家長谷川重次氏 埼玉縣入間郡元狹村農。先妻實家吉野仙吉氏 南米智利國雜貨商。妻女實家中豪與吉氏 日本橋區濱町吳服小賣。弟妻實家宇田川六藏氏 四谷區永住町石材商。

光利氏 昭和三三年二月十二日生。四女恵子女 昭和三五年二月四日生。

【主なる親戚】 實兄沖野沖三氏 千葉縣長生郡高根本郷村岩沼飛地一九九六番地、商業(荒物雜貨吳服小賣)。實兄沖野辰五郎氏 千葉縣長生郡高根本郷村宮成一四二三番地農業。從兄田村重治郎氏 日本橋區濱町一丁目一一番地、吳服卸。義弟清水太平氏 群馬縣碓氷郡豐岡村大字下豐岡六番地妻女もと女實弟農業。

わ の 部

渡邊喜之助氏

明治五年八月一日生

【營業】 羅紗既製品卸

【營業所】 東京市神田區豐島町二十五番地 電話(浪花突八)

【住所】 府下代々幡町初臺五千五十八番地 電話(四谷二三四)

【本籍地】 東京市神田區豐島町二十五番地

【略歴】 氏は秋田市大町三丁目五番地平民戸主渡邊喜兵衛氏實弟にして明治三十年七月二十六日分家す、年少より郷里に於いて藥種商を經營せる前記喜兵衛氏の業務を補佐しつゝありしが明治二十六年頃上京し日本橋區馬喰町一丁目古着商を開業同三十三年四月現所に移轉し次いで古服の賣買より現業に轉換大正七年十二月松本豊作氏を昭和二年十二月大島壽氏を夫々息女の養子に迎へ父子協力家業の發展に努力しつゝあり曩に京濱羅紗同盟會の第四部會長に推薦され多年業界の進展に努力す。

【趣味】 植木、謡曲(觀世)

【宗教】 日蓮宗

【營業收益税】 二五二圓

【家庭】 妻女ジュン女 明治八年十月廿六日生、秋田縣平鹿郡横手町横手一三九番地戸主小松徳治氏四女、實家は吳服太

物卸業を營む。長女キヨ女 明治三十年五月十七日生、大正七年十二月廿三日豊作氏と婚姻、私立女子商業學校卒業、趣味生花。四女千代子女 明治三十五年十一月二十八日生、昭和二年十二月二十六日大島壽氏と結婚、一ツ橋高女卒業、趣味長唄。養子豊作氏 明治廿四年二月十九日生、神奈川縣高座郡淺水村農平民戸主松本勘十郎氏四男、北海道小樽市色内町既製品卸鈴木商店に約十年勤続せり。孫謙之助氏 大正七年十二月十三日生、渡邊豊作氏長男代々幡小學校在學。孫益江女 大正十一年九月二十五日生、渡邊豊作氏長女代々幡小學校在學。婿養子壽氏 明治三十二年七月一日生、埼玉縣比企郡北吉見村大字中新井四〇六番地の三戸主大島正司氏弟實家米穀商。孫喜久代女 昭和二年十二月二十一日生。

【主なる親戚】 義弟藤咲稻太郎氏 羅紗既製品卸神田區柳原河岸一八號地。

【主なる出身者】 羅紗既製品小賣柴田正氏 沼津市上土町。羅紗既製品小賣渡邊善次郎氏 秋田市上通町。

〔わ〕

渡邊七郎氏

明治十六年八月三日生

【營業】 羅紗切賣商
【營業所】 東京市下谷區三ノ輪町四番地 電話(下谷西區)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は茨城縣眞壁郡長讚村字押尾五八七渡邊熊次氏の三男に生れ十九歳の折上京し淺草區三軒町原毛商松山商店に現業を見習ひ後日露戦争に従軍し功に依り勳八等瑞寶章を賜る除隊後一時主家に歸り店務を補佐したる上店主諒解の下に府下千住町に獨立し大正七年現所を買収して進出す爾來羅紗切賣商として今日に至れり。

【宗教】 眞宗 【所得税】 五五圓

【營業收益税】 七〇圓

【家庭】 妻ぬい女 明治十九年四月十二日生。長女千代女 明治三十九年六月二十日生。長男金藏氏 明治四十一年十一月二十九日生。二男建次郎氏 明治四十三年二月二十四日生
【主なる親戚】 妻女實家青木源重氏 群馬縣利根郡利南村新橋四六農。木家渡邊森三郎氏 茨城縣眞壁郡長讚村押尾五八農業。

四年四月二十二日生

【主なる親戚】 山梨縣南都留郡船津村宮下金一郎氏。同縣南都留郡瑞穂村渡邊利太郎氏。

渡邊六三郎氏

明治二十五年三月九日生

【營業】 吳服太物洋反物小賣渡六吳服店主
【職業名】 吳服太物洋反物小賣渡六吳服店主
【營業所】 東京市四谷區新宿二丁目七十八番地 電話(四谷三區)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は茨城縣西茨城郡笠間町の人にして十六歳の時上京し本郷區田町北垣洋品店(現存せず)に奉公すること約十余年の後、主家蹉跌せるため退店して大正五年現所に洋品店を開業爾來順調に推移せしが大正十年火災に遭い商品及び家具什器一切を烏有に歸せり。當時火災保険契約等も相當ありたる爲め再起には支障なかりしも、親戚等よりの勸告もあり吳服業の有利なるを知りて茲に現業者に轉換せるものなり。

【趣味】 旅行 【宗教】 禪宗 【所得税】 一八圓

【營業收益税】 八三圓

【家庭】 妻ます女 明治三十年十二月二十一日生、後藤和雄

渡邊金次郎氏

文久三年二月九日生

【營業】 洋服裏地切賣商 合資會社丸五商店代表社員
【職業名】 洋服裏地切賣商 合資會社丸五商店代表社員
【營業所】 東京市神田區鍋町十五番地 電話(浪花五區)
【住所】 同 所
【本籍地】 山梨縣南都留郡瑞穂村下吉田二百四十六番地

【略歴】 氏は奥脇五右衛門氏の三男にして渡邊太兵衛氏の養子なり明治三十三年四月養父の隠居により家督を相続す、大正八年の頃上京して神田區岩本町に株式會社丸五商店を設立し斯業を営みたるも震災により解散し災後現合資會社を新設し營業を持續す。昭和六年六月神田區平永町より現所に移轉せり。

【宗教】 日蓮宗 【所得税】 一三一圓

【營業收益税】 九四圓

【家庭】 二男晃氏 明治二十三年二月十四日生現在神田區岩本町に於て獨立營業をなす。晃氏妻美女 明治二十二年十二月十六日生山梨縣南都留郡本村奥脇丹藏氏二女。晃氏長男隆三氏 明治四十四年六月三日生。同二男泰次氏 大正四年五月十九日生。同二女禮子女 大正六年三月十九日生。同三男彰三氏 大正十一年二月二十一日生。同四男誠也氏 大正十

氏妹。長女登美子女 大正十年四月二十四日生。二女幸子女 大正十三年十一月六日生。長男逸郎氏 昭和三年九月一日生。

【主なる親戚】 名古屋市西區下長者町三丁目後藤和雄氏 綿布卸商。名古屋市東區桶屋町三丁目後藤善三氏 綿布卸商。

渡邊忠三郎氏

明治二十九年十月十三日生

【營業】 染吳服加工卸商
【營業所】 東京市日本橋區江戸橋二丁目四番地二
【住所】 同 所
【本籍地】 京都市上京區河原町通廣小路上ル中御堂町四百十九番地

【略歴】 氏は本籍地渡邊和三郎氏の四男として生れ明治四十五年より京都市室町通り三條上ル染吳服卸林藤助商店に奉公し京都東京兩店に勤務すること十餘年其の間精勵を以て聞え店主の信認頗る厚かりしが大正十二年十一月圓滿退店して現所に本業を開始し無難を辿りて今日に至る。性温厚にして周圍の印象宜しくその着實なる經營振は着々仲展の實を擧げつゝ推移す同店扱品は趣味の吳服たる特殊高級品として斷然他品を凌駕しあり。前途尙發展の餘裕ありと云ふ可し。

【わ】

【趣味】 圖案集 【宗教】 日蓮宗
 【家庭】 妻サト女 明治三十七年五月五日生。長女浩子女 昭和三年六月二十二日生。
 【主なる親戚】 實兄渡邊富三郎氏 京都市寺町今出川下る帶地商伊藤平商店西陳店支配人。叔父藤田嘉助氏 京都市元誓願寺通黒門東入ル緞子商。義兄松井次三郎氏 京都市神田區北乗物町八悉皆業。

渡邊 與八氏

明治十五年六月二十日生

【營業又】 洋服裏地卸小賣合資會社渡與商店代表社員
 【職業名】 同上
 【營業所】 京都市神田區須田町二十三番地 電話(神田三三七)
 【住所】 府下豊多摩郡野方町上沼袋百二十一番地
 【本籍地】 山梨縣南都留郡瑞穂村下吉田八十一番地
 【略歴】 氏は山梨縣人亡渡邊與吉氏の二男にして明治四十一年一月同縣人亡渡邊與八氏の養子となる大正七年十一月十一日先代與八氏死亡せるに因り家督相續し同八年一月舊名與四郎を改めて與八を襲名す本業は明治二十二年頃先代が郷里に於て開始せしに始まり後幾何もなくして京都市神田區錦町三丁目に移り明治三十二年更に同區永富町十一番地に移轉一時

は同區小柳町に支店を出したるが昭和五年三月一日營業を資本金三萬圓の合資組織となし現所に移轉す。

【所得稅】 三〇九圓 【營業收益稅】 一六八圓

【家庭】 養母みね女 明治元年七月二十一日生。妻はつ女 明治二十五年十二月十九日生。長男力藏氏 大正四年十二月十七日生。長女純江女 大正六年三月十六日生。
 【主なる親戚】 渡邊源太郎氏 從兄、山梨縣南都留郡瑞穂村山本鎌之丞氏 妻女里方、神田區皆川町。

渡邊 久藏氏

慶應元年三月九日生

【營業又】 吳服及ビ仕立物小賣商山登屋店主
 【職業名】 同上
 【營業所】 京都市芝區源助町十六番地 電話(芝三三三)
 【住所】 同上
 【本籍地】 京都市芝區源助町二十二番地
 【略歴】 氏は府下荏原郡矢口村原田忠藏氏の三男にして明治十八年九月亡渡邊彌三郎氏の死亡跡家督相續人として入籍す、約三十年前本業を開始したるも嗣子無かりしため明治四十年四月生家親戚筋たる荏原郡矢口村原田幸次郎氏の三男作三氏を養子として迎へ下谷區佐野仁吳服店に營業を見習はし

め退店後家業に従事せしめたるが昭和三年六月本郷區駒込坂町に山登屋支店を出し之が擔當者として業務に當らしめあり。

【家庭】 妻さよ女 慶應三年十月二十九日生。養子作三氏 明治二十五年九月十五日生。作三氏妻よし女 明治三十一年十月二十日生。作三氏長男敏久氏 大正十一年六月二十五日生。同長女梅子女 大正十四年九月十五日生。
 【主なる親戚】 遠藤長次郎氏 妻女實兄芝區日蔭町二丁目一番地。原田清太郎氏 作三氏の實兄荏原郡矢口村。齋藤市助氏 婦よし女養父神田區岩本町三十三番地織物卸。

渡邊 春吉氏

明治二十三年五月二十五日生

【營業又】 羅紗及綿布卸商渡春合名會社代表社員
 【職業名】 同上
 【營業所】 京都市神田區元岩井町二番地 電話(浪花美六七)
 【住所】 同上
 【本籍地】 京都市日本橋區高砂町十四番地
 【略歴】 氏は朽木縣人渡邊忠藏氏の三男にして十六歳の折上京し市内日本橋區米倉嘉兵衛商店に入り格勤する事十五年に及び大正七年圓滿退店と共に日本橋區浪花町に斯業を以つて

獨立せしが其の後高砂町を経て昨年現所に進出せり是より義大正十三年合資會社渡春商店を設立し無限責任社員となり、更に昭和五年二月十一日渡春合名會社に組織を變更其の代表社員に就任今日に至る。

【趣味】 釣り、野球 【宗教】 眞言宗
 【家庭】 妻ます女 明治三十一年三月生。長女高子女 大正七年八月十九日生。
 【主なる親戚】 實兄渡邊茂平氏 朽木縣下都賀郡間々田町一三農業。妻女實父小島國雄氏 京都市牛込區山吹町印刷業。
 【主なる出身者】 針谷勝利氏 京都市下谷區御徒町羅紗卸仲立業。室賀良三氏 高崎市新紺屋町吳服太物小賣商。

渡邊 兵吾氏 (通稱)

明治三十一年一月九日生

【營業】 蒲團編卸商
 【營業所】 京都市日本橋區高砂町七番地 電話(浪花三三三九)
 【住所】 同上
 【本籍地】 千葉縣君津郡久留里町市場五百六十九番地
 【略歴】 氏は渡邊助太郎氏の五男なり土地の高等小學校卒業後十五歳の折上京し日本橋區橋町綿布卸商中治商店(現存せ

【わ】

す)に入り格勤する處ありたるが大正十二年震災直前主家閉店に當り退店し災後橋町に獨立せり爾來奮勵年次進展し昭和二年現所に進出せり氏は極めて快活なる性質を有し堅實なる經營方針を以て熱心努力しつゝあり。

【趣味】 野球、テニス 【宗教】 眞言宗

【家庭】 父助太郎氏 安政三年十一月二十六日生。母チヨ女 慶應三年十一月十二日生。亡長兄清藏氏長女ゆき女 明治四十二年十一月三十日生。同二女はる女 大正三年一月二十八日生。同三女きみ女 大正七年三月三十日生。以上本籍地に在り。兄金造氏 明治二十九年三月五日生目下米國ロスアンゼルスに在りて雜貨商を營む。妻まつ女 明治四十一年七月八日生。長男省一氏 昭和三年十二月十四日生。

【主なる親戚】 姉いわ女縁先玉木富治郎氏 東京市深川區東六間堀町建具商。兄渡邊平吉氏 市外杉並町高圓寺不動銀行本店監査課員。姉さく女縁先向山豊吉氏 淺草區猿若町二番地緒卸商。母實家山田市の助氏 千葉縣久留里町字浦田農業弟宮野忠吉氏 千葉縣木更津町雜穀商。妻まつ女實家田村喜三郎氏 千葉縣君津郡小植村元助役。

【主なる出身者】 奥村秀雄氏 市内日本橋區富澤町布團地附屬卸商。

渡邊祥藏氏

明治二十年五月五日生

【營業】 絹綿布卸

【營業所】 東京市神田區岩本町二番地 電話(浪花七六六)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は新潟縣人渡邊半治氏の長男に生れ明治二十六年二月家督相續をなす、年少時出京し神田區岩本町六番地古着仕立物卸商大塚商店に奉公したるも勤続十七年にして退店大正六年五月現所に本業を開始爾來舊主の地盤を辿りて熱心經營に従事しつゝあり。

【宗教】 眞 宗 【營業收益税】 七五圓

【家庭】 實父半治氏 文久三年十一月二十七日生前戸主亡渡邊六造氏長男。妻女はつ女 明治二十九年三月二十九日生、埼玉縣大里郡深谷町大字深谷三〇四番地平民戸主田口半五郎氏長女、大正三年四月十三日婚姻入籍。二男長治氏 大正六年四月二十八日生。

【主なる親戚】 義父田口半五郎氏 埼玉縣大里郡深谷町字深谷三〇四番地農業。

か の 部

柿原萬藏氏

明治二十四年七月五日生

【營業】 秩父銘仙買繼卸

【營業所】 出張所 東京市日本橋區長谷川町十三番地 電話(浪花七六六・三五七五)

本店 埼玉縣秩父町大字大宮電話(秩父へ・高・二五)

【住 所】 同 所

【本籍地】 埼玉縣秩父郡秩父町大字大宮千七十三番地

【略歴】 氏は埼玉縣秩父町の素封家亡柿原萬藏氏の長男にして大正八年五月父萬藏氏病歿して家督を相續襲名せり、藏前高工染色科出身にして染色方面に關する造詣淺からず家業の外西武銀行頭取、秩父林業取締役、秩父鐵道監査役等各方面に關係し埼玉縣多額納税者にして内外の信望厚し、家業は享保年間の開業に係り秩父銘仙の發達には大いに與つて力あり同地織物の買繼商として夙に東京に進出せり。

【宗教】 淨土宗 【所得税】 一四、九三四圓

【家庭】 母イサ女 慶應元年三月四日生亡平沼寅吉氏長女。

妻富士子女 明治卅二年八月十二日生亡渡邊沙鷗氏二女。妹

ハツ女 明治二十八年六月二十六日生山脇高女卒業にして柿原仲次氏妻女なり。弟萬次郎氏 明治三十一年拾月一日生明大卒後武州銀行池袋支店に勤務。弟萬之助氏 明治三十五年六月七日生法政大學卒後秩父本店にあり。婿養子仲次氏 明治二十四年一月二十四日生高野近太郎氏二男にして大正八年十二月妹ハツ女と婿養子縁組入籍。長女映子女 大正十一年六月五日生秩父大宮小學校通學中。二女路子女 大正十二年八月十五日生秩父大宮小學校在學中。長男恭一氏 大正十三年十月一日生、秩父大宮小學校在學中。弟萬次郎氏妻養子女 明治四十年一月八日生宮内實氏長女。三女昱子女 昭和五年二月十日生。甥宏一氏 昭和五年六月二十六日生柿原萬次郎氏長男なり。

【主なる親戚】 柿原龜吉氏 (埼玉縣秩父町分家) 柿原合名代表社員。平沼伊平氏 (飯能町生絹買繼問屋) 母の生家親戚。渡邊方舟氏 (中野町書家) 妻女の兄に當る。高野近太郎氏 (埼玉縣秩父郡白川村) 義弟仲次氏生家。宮内實氏 (元第一銀行本郷支店長) 弟萬次郎氏妻女の生家。

【主なる出身者】 柿原清二氏 (在熊ヶ谷) 買繼商。柿原合名會社 (在秩父及東京) 染絹卸及林業。

【か】

[か]

柿原 龜吉氏

明治十六年六月九日生

【職業名】 銘仙、紬、生絹、染絹、卸商柿原合名會社代表社員
 【職業所】 東京市日本橋區通旅籠町四番地電話(浪花)七〇八(三六八)
 【住 所】 埼玉縣秩父郡秩父町大字大宮七百三十五番地
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は秩父町の買纏商柿原萬藏氏の一族亡柿原竹三郎氏の二男にして長兄定吉氏生家を相続したるより大正十四年九月九日分家して一戸を創立す。而して長兄歿後生家の營業たる營業を監督し來れるが從來同店は柿原萬藏商店東京店としての稱號の下に營業し來れるも柿原萬藏商店には區内長谷川町に直屬の出張所等もある爲め其點を考慮し昭和三年二月一日柿原合名會社東京支店と改稱し氏は其一族に押されて代表社員となる、一ツ橋高商の出身の紳士にして多趣味の人なるが特に弓術に秀づ。

【趣味】 謠曲、琵琶、弓術 【宗教】 淨土宗

【所得税】 二、一一〇圓

【家庭】 妻フミ女、醫學博士故小久保惠作二女明治二十四年十一月五日生。長男謙一氏、熊谷谷中學校通學大正二年八月十九日生。三男達男氏、秩父大宮小學校通學中大正七年三月

二十二日生。長女アサ女、秩父大宮小學校通學中大正九年七月二十七日生。四男政吉氏、大正十二年一月十二日生。秩父大宮小學校通學中。二女フサ子、大正十四年八月二十八日生。三女紀久子、昭和五年一月二十三日生。
 【主なる親戚】 柿原萬藏氏(秩父町買纏問屋)柿原本家。小久保惠作氏(秩父郡高篠村大字定峰十二番地)妻女の生家。
 【主なる出身者】 關口勘兵衛氏(龍五商店)日本橋區堺町三番地。

柿沼久四郎氏

明治二十一年十月十五日生

【職業名】 吳服太物洋反物小賣合資會社上州屋吳服店社員
 【職業所】 東京市本所區吾妻橋二丁目三番地 電話(墨田)八〇
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は栃木縣下都賀郡部屋村齋藤彦松氏の四男にして深川區森下町高島屋大森已之吉商店に營業を見習ひ明治四十四年退店先代柿沼善之助氏に囑望せられて長女の婿養子となり養父よりの出資にて現所に本業を開始し附近一流の店舗となりたり然るに氏は近年兎角健康勝れず且同地は區劃整理後

賣行頓に減退し小賣場所としての地利を失ひし觀あり、前途益々賣行衰退を見込まざるべからざる事情より營業に見切りをつけ専念靜養せんとする意圖より昭和五年三月資本金四萬圓の合資會社を組織し古參店員鈴木三郎氏を代表社員とし氏は三萬圓の出資(有限)を爲し今日に至る。

【營業收益税】 二〇四圓

【家庭】 養母ぶん女、明治三年七月二十五日生。長女喜代子女、明治四十四年三月十日生。長男久義氏、大正四年九月二十二日生。二男盛男氏、大正九年四月二十三日生。
 【主なる親戚】 栃木縣下都賀郡部屋村五七齋藤彦松氏、實父

垣内幸太郎氏

明治二十一年十一月二十五日生

【職業名】 毛織物問屋株式會社垣内商店取締役社長
 【職業所】 東京市京橋區銀座西三丁目三番地 電話(京橋)1001
 【住 所】 東京市牛込區市谷富久町四番地 電話(四谷)三三三
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は靜岡縣小笠郡雨櫻村小柳津善平氏二男に生れ、明治四十四年三月、東京高等商業學校を卒業、後更に同校専攻部に進み優秀なる成績を以て大正二年三月同部を卒業し、

同年七月古河合名會社に入社す。而して同三年一月垣内徳三郎氏長女千重女の婿養子となり、同時に合名會社垣内商店社員となる、大正五年倫敦出張所を設置、同九年二月資本金百萬圓を以て株式會社に組織變更を爲し、取締役社長に就任今日に至り、大正九年一月大阪支店を、昭和五年三月三日神田出張所を設立し、現時斯界第一流問屋に伍して遜色無きに至りし店格と業容を示しつゝあるは、蓋し氏の努力と人格に因るものならむ、大正十四年一月京濱羅紗同盟會々長に推選され、昭和四年一月更に同會々長に再選され目下相談役たり資性頗る潤達温厚にして、學識徳望共に業界稀に見る紳士なり。

【趣味】 旅行、謠曲 【宗教】 天台宗 【所得税】 三七一圓

【家庭】 妻女千重女、明治二十六年十月二十六日生、垣内徳三郎氏長女學習院女學部卒業、特に旅行長唄に興味あり。長男泰郎氏、大正三年十二月二十六日生、成城學園中學部二年生。長女道子女、大正六年八月二十九日生、成城學園女學部二年生。二男直介氏、大正九年二月六日生、成城學園小學部四年生。三男純三氏、大正十一年七月二十五日生、成城學園小學部二年生。

【主なる親戚】 義弟垣内武二氏、東京市外王子町、早稻田大

【か】

學卒業、立教中學教諭にして且當店監査役なり。實兄小柳津一郎氏。靜岡縣小笠原村農業者。
【主なる出身者】 羅紗切賣並に加工、卸、島田末吉氏。日本橋區通二丁目一番地。婦人子供服生地卸商林新太郎氏。神田區淡路町二葉屋。

川崎榮助氏

明治十五年一月一日生

【職業】 足袋、毛織物既製品問屋株式会社川崎商店社長

【營業所】 東京市日本橋區田所町十三番地 電話(浪花三三三)

【住】 東京市芝區車町三十五番地 電話(高輪三六)

【本籍地】 東京市日本橋區田所町十三番地

【略歴】 川崎商店は通稱萬榮と稱す同店は明治八年の創業に係る先代榮助氏は千葉縣の人にして横濱の某足袋店に奉公し後ち主家の得意先なる市内日本橋區伊勢町足袋生地問屋野本茂兵衛氏に知られて同家の息女梅女と縁組み同區人形町に獨立して足袋商を開業したるが元來利殖の念深く然も機を視るに敏なる人なりしより梅女の貯金壹萬圓をもつて總武鐵道株を極力買集め多大の利益あり川崎家今日の資産基礎實に此際

め更に利あり其後和田豊治氏等と結び同氏系統事業の大株主となる斯くして資産は著増せるも店舗には資金を限定し業容の過張を戒め來れるが大正十年先代歿後同氏子息現榮助氏は傳之助計之助氏等の實弟と共に株式會社川崎商店(現在資本金十萬圓)を設立し氏は其社長となる目下實弟計之助氏社長を輔佐しあり社長は幼名を芳次郎氏と稱す大正十年十一月二十五日先代歿後襲名せるものなり又計之助氏は神戸高商の出身業務に熱心なり。

【趣味】 謠曲、ゴルフ 【宗教】 眞言宗

【所得税】 一二四八八圓

【家庭】 母むめ女。萬延元年十一月九日生東京市人野本茂兵衛氏叔母。妻孝子。明治二十一年六月十五日生銀座宮田藤左衛門三女。長女佐保子。明治四十二年七月一日生東京女學館出身。長男一氏。明治四十四年一月二日生慶應普通部出身。二男二郎氏。大正三年九月二十八日生慶應普通部。三男脩三郎氏。大正六年三月十四日生慶應普通部。四男達司氏。大正九年六月十四日生慶應幼稚部。五男悟郎氏。大正十三年七月八日生高輪幼稚園。

【主なる親戚】 野本茂兵衛氏(雜司ヶ谷)母里方。宮田藤左衛門氏銀座玉屋時計店主妻女里方。川崎傳之助氏芝區櫻田本郷

町一四實弟。川崎計之助氏麴町區永田町一ノ三實弟、

川崎寅藏氏

明治二十三年十月二十一日生

【營業】 吳服卸商

【營業所】 東京市日本橋區繩張町三丁目六番地 電話(茅場町三六)

【住】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣坂田郡法性寺村字賀野六十八番地川崎文之介氏の次男に生れ大正十二年一月分家す年少の時京都市吳服問屋市田次郎商店に入り後東京支店詰となり精勤十八ヶ年大正九年圓滿退店して獨立木業を開始し爾來今日に及べるものなるが其間大正十二年度の震災あり深甚なる打撃を蒙りたりと雖も後支障なく再起し比較的順調の經路を辿り來れるものにして人物温和着實業界に信望あり。

【宗教】 淨土眞宗 【所得税】 一八四圓

【營業收益税】 一四五圓

【家庭】 妻ヒサ女。明治二十九年七月十日生、栃木縣下都賀郡三崎村大字都賀百四十八番地飯塚茂十郎氏の長女。長女徳子女。昭和三年九月十五日生。

川村千代吉氏

明治七年十月十七日生

【營業】 太物卸商合資會社カネチ川村商店

【營業所】 東京市日本橋區堺町五番地 電話(浪花三〇〇)

【住】 東京市牛込區拂方町十三番地 電話(牛込四四)

【本籍地】 東京市日本橋區堺町五番地

【略歴】 氏は滋賀縣神崎郡能登川村北須田亡川村長右衛門氏の四男にして明治三十九年二月實兄歌次郎氏より分家し一家を成す十二歳の時上京して日本橋區長谷川町田源商店に奉公すること十二年退店の後實兄阿部三代吉氏と共に双子金巾裏地等の卸商を始め後分離して日本橋區新乗物町に獨立し明治四十年現所に進出す而して既に資産を作し老境にあれば昭和六年三月營業を合資會社カネチ川村商店に組織變更するに及び隠退して爾來大態を監督し居れり。

【宗教】 眞宗 【所得税】 二七〇圓

【營業收益税】 一六八圓

【家庭】 妻ます女。明治十七年一月四日生。養子眞一氏。明治三十年一月十五日生鐵道省勤務同店出資社員。婦とみ女。明治四十四年二月四日生滋賀縣坂田郡島居本村二一五原喜平次氏四女眞一氏妻。

【主なる親戚】阿部三代吉氏||小石川區武島町二七。原喜平次氏||滋賀縣坂田郡鳥居本村大字原十四番地妻女里方。
 【主なる出身者】川原崎増造氏||日本橋區久松町一。加藤仁一郎氏||京都市松原室町西入ル帛紗風呂敷麻布卸商。

川村忠五郎氏

明治十三年一月一日生

【職業名】木綿卸株式会社川喜田商店常務取締役兼東京支店長
 【職業所又】は職務先 東京市日本橋區大傳馬町二丁目十七番地 電話(浪花)三〇〇〇
 【住 所】府下豊多摩郡澁橋町柏木九百九十番地 電話(四谷三三三)〇〇〇
 【本籍地】三重縣河藝郡栗真村大字中山三百九十九番地

【略歴】氏は前戸主川村七兵衛氏三男にして明治三十五年八月二日家督を相続す明治二十四年當店に入り只管主家隆興の爲めに努力する處あり、大正十二年十一月一日東京支店長となり、同七年三月株式会社創立と同時に常務取締役に就任現今に至る、洵に温厚なる紳士なり。

【趣味】野球 【宗教】眞宗

【家庭】實兄忠三郎氏||明治三年一月十五日生。妻女きん女||明治二十七年九月一日生、三重縣人中野竹次郎氏長女大正二年五月十二日婚姻入籍。長女きよ女||大正二年十月二十九

日生日本橋高女卒業。長男幸市氏||大正七年八月十二日生東京高等學校一年在學中。三女芳子女||大正十二年七月十六日生。四女美代子女||昭和二年八月十五日生。

【主なる親戚】杉本藤六氏||三重縣河藝郡栗真村大字中山十番屋敷實妹いつ女養父。義弟増田保之助氏||同縣同郡同村同字五五番屋敷實妹わき女の夫。義弟仲田兵八氏||岡山縣兒島郡莊内村大字長尾二〇九三實妹くに女の夫。義弟川村宗助氏||三重縣河藝郡栗真村大字中山六〇番屋敷實妹しゆう女夫。義父中野竹次郎氏||三重縣河藝郡白塚村三七番屋敷。

川村嘉七氏

明治二十八年八月十二日生

【職業名】綿布卸商合資會社川村商店代表社員
 【職業所】東京市日本橋區富澤町二十番地 電話(浪花)四六八
 【住 所】同 所
 【本籍地】滋賀縣神崎郡能登川村大字北須田二十四番地

【略歴】氏は愛知郡豊岡村亡國寄四郎兵衛氏の養子にして明治四十年故川村富治郎氏を便りて上京其店務に携る事二十年偶々富治郎氏病歿し其遺言に因り國寄家を廢家して主家の養子となる、爾來營業を繼承し質素堅實に經營して無理なく業

容の充實に力め來れり、近く好配偶を迎えて家督を相続し先代名を襲ふこととなるやに聞く、資性温和質實の士なり。

【趣味】骨董 【宗教】眞宗

【家庭】養母すゑ女||明治十二年一月三十一日生、滋賀縣神崎郡能登川村大字北須田七十四番屋敷深田彦五郎氏の六女にして亡川村富治郎氏の夫人。

【主なる親戚】深田政吉氏||大阪市北區信保町にて綿布商、養母の兄。深田尚吉氏||大阪市東成區中本町に於て毛莫大小商、養母の弟。

川田伊三郎氏

明治十年十一月十三日生

【職業名】木綿硝子卸株式会社長谷川商店常務取締役支配人
 【職業所又】は職務先 東京市日本橋區大傳馬町二丁目九番地 電話(浪花)二八四
 【住 所】三重縣津市門前町千七百三十五番地
 【本籍地】同 所

【略歴】氏は三重縣人亡川田傳兵衛氏の三男にして大正四年三月實兄川田安太郎氏より分家して一家をなす十三歳の時より長谷川商店に入り爾來忠勤怠り無かりしが累進して取締役となり昭和六年春更に常務取締役となり今日に及ぶ。目下支

配人として郷里津市との間を隨時往復し業務擔當に寧日無し

【宗教】門徒宗

【家庭】妻ゆき女||明治二十一年一月二十日生。養女ひさ子女||明治四十年一月十四日生、伊三郎氏實兄亡安太郎氏二女婿養子準造氏||明治三十五年六月二十八日生、ひさ子女夫。孫利夫氏||昭和四年二月二十三日生、準造氏長男。

【主なる親戚】齊藤芳之助氏||妻里方、三重縣飯南郡松江村水谷光次郎氏||從弟、日本橋區大傳馬町一丁目十二番地。川田房太郎氏||從弟、津市常盤町。清水房太郎氏||準造氏生家、三重縣鈴鹿郡石藥師村。

川瀬與四郎氏

明治十八年五月二十八日生

【職業名】京吳服卸商市田文次郎東京店支配人
 【職業所又】は職務先 東京市日本橋區新乗物町十四番地 電話(浪花)三九六
 【住 所】府下北豊島郡日暮里町千四十四番地
 【本籍地】滋賀縣坂田郡六莊村大字下坂濱九十二番地

【略歴】氏は本籍地に於て亡川瀬嘉十郎氏の四男として生れ郷里六莊小學校卒業後十四歳にして京都市市田文次郎本店に入り恪勤多年漸次重用せらるゝに及び東京店支配人として轉

【か】

任し爾來着實温健なる經營振りを以つて創業以來約二百年の歴史を有する主業の補佐役を全うし居るものなり、氏は此の間現妻女の養家たる石川家に入籍せる事あるが二子を擧げた後之を石川家の相続人とし再び妻女と共に川瀬家に復籍したれども今日依然として石川家を扶養しつゝあるものなり。

【宗教】 門徒宗

【家庭】 妻なみ女 明治二十三年八月六日生 東京市京橋區亡和久本金次郎氏六女。長男敏雄氏 大正十一年二月二十四日生 市内千駄木小學校三年在學。二女美津子女 大正十三年十月四日生。二男秀雄氏 昭和五年四月十日生。外實際長女にして現在石川姓を名乗る濱子女 跡見女學卒業。同良雄氏 市立一中三年在學。

【主なる親戚】 長兄川瀬嘉十郎氏 本籍地に於て父業相續農業。弟川瀬幾藏氏 東京市内日本橋區葺屋町京吳服卸商。實母實家尾板憲藏氏 東京府下巢鴨町金融業。熊木治平氏 東京府下大塚町金融業。妻女實家石川やす女 目下氏の現住所に在りて扶養しつゝあり。

川瀬幾藏氏

明治二十二年六月二日生

【營業】 京吳服卸商

【營業所】 東京市日本橋區葺屋町十六番地 電話(浪花六九)

【住所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣坂田郡六莊村大字下坂濱九十二番地

【略歴】 氏は本籍地に於て亡川瀬嘉十郎氏の五男として生れ郷里六莊尋常高等小學校卒業後一時速記學を修めたる事あるが十六歳の折京都市黒部八郎平商店に入り約一ケ年の後東京店詰として轉勤するに及び其の温厚にして機敏なる手腕は漸次重用せられ遂に支配人に任ぜられたり、而して昭和五年三月圓滿諒解の下に退店し直ちに現所に獨立せり、扱品は京都市松居淺井商店製品最も多く仲間卸専門にして開業淺きにかゝらず得意筋確實性に富み居ると共に諒解ある取引先と拔目なき手腕は相俟つて着々進展の歩道にあるものなり以つて其の將來を期待せらる。

【宗教】 門徒宗

【家庭】 妻鈴子女 京都市姉小路通足立山太郎氏長女 明治二十八年四月二十七日生。二男鎮一氏 大正九年十二月二十八日生 東華小學校三年在學。三男磯二氏 大正十一年十二月二

十六日生 東華小學校二年在學。其の他長兄次兄同一戸籍面にあるも略詳親類欄参照。

【主なる親戚】 長兄川瀬嘉十郎氏 本籍地に於て父業相續農業。次兄川瀬與四郎氏 東京府下日暮里町市田文次郎商店東本店支配人。實母實家尾板憲藏氏 東京府下巢鴨町金融業。熊木治平氏 東京府下大塚町金融業。妻女實家足立幸次氏 京都市姉小路通西入鍛冶町悉皆業。

川瀬留吉氏

明治十一年十月六日生

【營業】 モスリン綿布小賣株式會社いきみや代表取締役

【營業所】 東京市四谷區新宿三丁目九番地 電話(四谷器八)

【住所】 府下豊多摩郡淀橋町角管八十二番地 電話(四谷七七)

【本籍地】 東京市芝區白金志田町三十一番地

【か】

【略歴】 氏は滋賀縣加茂郡老蘇村字内野川瀬善兵衛氏の三男にして永年日本橋區富澤町近與商店に奉公し大正十一年退店の後大阪にて東京問屋を得意とするモスリン卸業を開始したるが震災後の十二月十一日再び上京して日本橋區橋町二丁目に店舗を構へ大正十三年五月迄經營を續けたり之より先大正十二年十二月いさみや前經營名義人近藤喜一郎氏名義にて市

川上源三郎氏

明治二十四年四月十四日生

【營業】 モスリン加工卸商

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町十三番地 電話(浪花二五)

【住所】 同 所

【本籍地】 福井縣南條郡武生町幸五十四番地

【か】

【略歴】氏は川上源三郎氏の長男、父源三郎氏は郷里に於て吳服小賣商を開業し居りしが廢業上京す氏は京華商業を卒業の後日本橋區新乗物町牧田商店に入店し大正十二年三十三歳にして退店日本橋區葺屋町に獨立開業し、震災後現所に移轉したるものなり、父源三郎氏隱居壽と改名氏家督を相續し其の名英一を源三郎と改名す。

【趣味】 謡曲、野球、將棋 【宗教】 日蓮宗

【家庭】 父壽氏 嘉永六年十一月十五日生。妻ハツイ女 明治三十年九月六日生。福井縣今立郡鯖江町下深江五三番地北野和三郎氏長女。長女文枝女 大正六年四月七日生。千代田高女在學。二男弘氏 大正十年十二月十五日生。久松小學在學。四男兵五郎氏 昭和二年九月十五日生。

【主なる親戚】 北野和三郎氏 下谷區役所吏員府下保谷村字上保谷妻女實家。關地良純氏 元建築技師本郷區西片町叔父。

川上悦二氏

明治十九年八月二十七日生

【營業又
は職名】 吳服太物小賣川上吳服店主

【營業所又
は勤務先】 東京市淺草區地方今戸町三番地 電話(淺草六區)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】氏は長野縣東筑摩郡鹽尻村小松新三郎氏の二男に生れ年少上京淺草區地方今戸町竹間吳服店に奉公せるが明治四十三年望まれて吉原貸座敷川本樓の長女の女婿となり同時に分家して若干の資産を分與され現住所に開業し主として遊廓持込を爲し前賣を兼營す、其後火災又は震災等に遭遇せしも經營宜しきを得て無事復興し現店舗を建築するに至れり。

【所得税】 二二二圓 【營業收益税】 一六二圓

【家庭】 妻よし江女 明治二十二年十二月九日生。長男芳信氏 明治四十二年八月三日生。長女泰代女 大正二年五月二日生。三男隆司氏 大正九年一月廿一日生。四男登代彦氏 大正十三年一月三日生。三女京子 大正十五年九月廿四日生。

川口繁次郎氏

明治七年一月三十日生

【營業
所】 風呂敷手拭加工卸商

【營業所】 東京市日本橋區新乗物町十二番地 電話(浪花三區)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】氏は福井縣敦賀町川口貞次郎氏の長男にして明治十九年氏が十三歳の時上京日本區富澤町前川太兵衛商店に入り在店十三年にして明治三十二年圓滿退店し現所に獨立開業し爾來地味堅實主義を以て進み今日に至れるものなり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 眞宗

【家庭】 母フサ女 嘉永五年九月二十日生福井縣敦賀町亡安田孫平氏二女なり。妻チヨ女 明治十五年七月二十六日生日本橋區岩代町高橋庄太郎氏二女。長男邦太郎氏 明治三十五年八月一日生慶大豫科出身にして現在家業に従事す長女富美子女 明治四十三年六月十二日生跡見高女卒業。二女秀子女 大正五年八月二十一日生 跡見高女在學中。

【主なる親戚】 龜澤半次郎氏 日本橋區小網町四丁目煙草元賣捌。淺井政治郎氏 牛込區砂土原二ノ一六。

【主なる出身者】 小西孝太郎氏 滋賀縣犬上郡神崎村相谷。

川口安次郎氏

明治十六年一月十日生

【營業又
は職名】 綿布洋傘卸川口合資會社代表社員

【營業所又
は勤務先】 東京市日本橋區橋町一丁目十四番地 電話(浪花五區)

【住 所】 同 所

【本籍地】 東京市日本橋區橋町一丁目七番地

【略歴】氏は新潟縣刈羽郡南鯖石村石會根二二三目崎市左衛門氏二男として生れ明治三十三年上京して三重縣出身の川口萬之丞商店に奉公せしが其の後妻女及び主人の相踵で歿するに及び後妻しか女に入夫して明治四十年四月家督を相續し營業を繼承す次いで明治四十五年店舗を高砂町より現所に移轉し多少の曲折を経て今日に至る昭和三年十一月營業を現組織に改め業容を縮少して一意挽回に努力し地味に經營し居れり

【趣味】 圍碁 【宗教】 眞宗

【家庭】 妻しか女 明治十四年九月一日生。養子久次郎氏 明治三十八年八月十一日生三重縣飯南郡松尾村阿形四〇七西川久吉氏二男。姉テル女 明治四十年七月二十九日生新潟縣刈羽郡南鯖石村字石會根三七〇一駒形常八氏長女。

【主なる親戚】 兄目崎貞一氏 新潟縣刈羽郡南鯖石村字石會根二二三。

【主なる出身者】 小倉小太郎氏 市内淺草區瓦町メリヤス製造業。山室寛氏 市内日本橋區濱町一丁目裏地卸商。

【か】

川島齋兵衛氏

明治十二年五月二十七日生

【營業】 中形裏地加工卸商
【營業所】 東京市日本橋區長谷川町十二番地 電話(浪花三三三)
【住所】 東京市麻布區狸穴町四番地二號 電話(赤坂三三〇)
【本籍地】 東京市日本橋區長谷川町十二番地

【略歴】 氏は滋賀縣神崎郡南五個莊村大字川並一二七故川島齋兵衛氏の二男にして長兄夭折により明治二十年十二月先代の歿後幼年にして家督を相続し翌二十一年十一月齋兵衛を襲名し前名恒次郎を改む家業は明治五年先代の創業に係り爾來奮闘努力の結果數十萬圓の資産を積み氏之を受継ぎて實株利殖により數百萬圓の富を築く今日營業は内容の充實と相俟つて堅實なる推移にありと雖も大魚の片鱗に過ぎず、性温厚着實にして内外の信望厚し因に現邸宅は舊川村元帥邸なり。

【宗教】 眞宗 【所得税】 五〇七〇圓

【營業收益税】 七〇圓

【家庭】 妻たつ女 明治十三年三月二日生滋賀縣神崎郡旭村北町屋八三加地源一郎氏妹。長男齋兵衛氏 明治四十年七月三十日生慶應義塾大學在學。長女つね女二女あい女(山脇高女卒) 何れも他家に嫁す。

【主なる親戚】 長女つね女婿川島二郎氏 麻布區狸穴町四、三井銀行員。二女あい女婿江口賢一氏 名古屋市中區南吳服町一ノ三半襟小物卸商江口理一郎氏長男。

【主なる出身者】 川端捨二郎氏 日本橋區堀留町三ノ一手拭夕オル卸商。藤井直吉氏 日本橋區大傳馬町二ノ三四風呂敷卸。清水清太郎氏 日本橋區田所町二十二ミシン加工業。石田與三吉氏 日本橋區葎町十手拭印伴天卸商。川島仁三郎氏 四谷區左門町吳服悉皆業。

川手幸之助氏

明治三十二年三月二十日生

【營業】 帛紗卸商宮井傳之助商店東京支店支配人
【職業名】 帛紗卸商宮井傳之助商店東京支店支配人
【營業所】 東京市日本橋區堺町七番地 電話(浪花二六三)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は京都府葛野郡朱雀野村亡川手源三郎氏の長男と生れ京都安寧小學校卒業後十一歳の折京都市宮井傳之助本店に入り恪勤多年に及び漸次重要せられ同店京都西陣工場主任を経て大正十三年十月東京支店支配人として赴任以つて今日に至る氏は此の間大正九年歩兵第三十八聯隊に入營滿洲に出

征せし事あり、店業は京都に本店を有し大阪及東京に各支店を設けて商陣を整へ居るものにて帛紗卸商として東西各デパート及問屋筋に得意を有す氏は機敏にして且つ商手腕に富み其の將來を最も期待せられ居るものなり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 日蓮宗

【家庭】 妻千代女 明治四十一年七月十三日生昭和二年七月婚姻。長女美千代女 昭和三年九月十九日生。長男克祐氏 昭和五年九月三十日生共に家庭に在り。

【主なる親戚】 實弟川手安造氏 京都市油小路四條上る宮井傳之助本店意匠部主任。義兄福井彦一氏 京都市上立賣新町上る家具商(實姉縁先)。妻女實家橋本文二郎氏 東京府下瀧之川町西ヶ原元日本橋區堺町にて酒屋業。

川合通之氏

明治二十年十月二十二日生

【營業】 毛織物加工卸
【營業所】 東京市神田區和泉町一番地 電話(下谷三六八)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は三重縣西柘植村川合庄助氏の長男にして久しく

小學校教員を奉職せるも明治三十三年志を抱きて上京し先輩の紹介にて第一銀行書記補に採用されたることあり、されど幾何もなくして退職し其後ライオン齒磨本舖小林商店員、裁縫請負組合(被服廠に屬するも現存せず)書記等を経て明治四十三年頃洋服裁縫を開始したるが始めにて大正九年現業に轉換し今日に至る。

【所得税】 二三四圓 【營業收益税】 五〇圓

【家庭】 妻いか女 明治五年二月二十三日生。二男庄司氏 明治三十四年三月二十三日生。姉ますへ女 慶應三年五月二十三日生。婦チヨ女 明治四十三年六月二日生庄司氏妻。

【主なる親戚】 三重縣阿科郡瀬田村川瀬宗太郎氏 妻女實弟茨城縣那珂郡湊町五千七十七番地小池初太郎氏 チヨ女従兄

河原崎忠治郎氏

明治二十一年五月十一日生

【營業】 各種織物卸小泉合名會社東京支店支配人
【職業名】 各種織物卸小泉合名會社東京支店支配人
【營業所】 東京市日本橋區富澤町二、三番地 電話(浪花二二三)
【住所】 同 所
【本籍地】 滋賀縣神崎郡伊庭村千九百六十四番地

【略歴】 氏は滋賀縣神崎郡伊庭村二百六十一番屋敷戸主河原

【か】

崎滋松氏の弟なるが大正四年十一月二十四日同村一、九六四に分家一戸を創立す幼時小泉合名會社大阪支店に入店明治三十九年同店東京支店の設置せらるゝや前支配人疋田忠次郎氏と共に東京詰となり爾來刻苦勉勵怠らず大正七年前支配人引退後の後を承けて同店支配人たり、資性着實にして店員の統制行届き同店業容の逐年隆盛となれるは一に其奮闘に負ふ處多しと説かる。

【宗教】 門徒宗

【家庭】 妻米女 滋賀縣人山田喜藏氏長女、長男孝雄氏 大正八年十月五日生郷里伊庭小學校在學。長女文子 大正十年十月三十一日生郷里伊庭小學校在學。二女絹子 大正十二年十一月十一日生。

【主なる親戚】 河原崎忠五郎氏 滋賀縣伊庭村(學商實兄)。山田喜藏氏 滋賀縣北五個莊村築瀬(妻女の里)。

河原崎傳四氏

明治二十二年七月一日生

【營業】 半襟小物及麻布卸商

【營業所】 東京市日本橋區田所町十二番地 電話(浪花三三〇)

【住所】 同所

【本籍地】 滋賀縣神崎郡伊庭村二千二百八十番地

【略歴】 氏は河原崎傳右衛門氏の長男なり同家は麻布の機業を営みありしが氏は年少時上京日本橋區通油町織物問屋中井長兵衛商店に入り勤続二十四年大正十三年圓滿退店して本業を開始せり現在弟英一氏をして補佐せしめ京濱小賣屋を得意に熱心經營しつゝあり、英一氏は滋賀縣麻布買繼商中村源藏商店出身なり。

【宗教】 浄土眞宗

【家庭】 妻ヨネ女 明治二十九年三月十四日生京都府久世郡大久保村農東萬次郎氏の次女。長女君子女 大正十一年五月二十日生、弟榮一氏 明治二十五年四月一日生、弟英一氏妻女ヨツ女 明治三十五年五月二十一日生滋賀縣神崎郡五峰村機業小林源五郎氏長女、長男昭三氏 昭和三年三月三日生。

【主なる親戚】 従兄河原崎傳七氏 滋賀縣神崎郡伊庭村麻布機業。同河原崎又右衛門氏 織物整理業。

河窪二郎八氏

明治十七年一月六日生

【營業】 關東織物卸商

【營業所】 東京市日本橋區元濱町六番地 電話(浪花四八)

河村道之助氏

明治三十年五月二十六日生

【營業】 西陣帶地卸

【營業所】 東京市日本橋區堺町五番地 電話(浪花五九九)

【住所】 同所

【本籍地】 京都市中京區間三町通御池上ル高田町四百九十八番地

【略歴】 氏は滋賀縣蒲生郡中野村米澤留之助氏の二男に生れ大正八年、河村滿壽女の養子となり同家の相続人として入籍す神崎商業學校卒業後松居織工場に入り各支店を歴任の上大正十四年一月東京店主任として轉任し手腕を振ふ處ありたるが昭和三年十一月無事退店の上斯業を以つて獨立せり現在の得意先は三越及渡邊都二商店を以つて大部分を占め居るものにして極めて強き立場にあり氏は家族全部を京都の本籍地に置き月二回程度仕入のため西下滞在し居るものなり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 眞宗

【家庭】 養母河村滿壽女 嘉永元年九月二日生。妻三千子女 明治四十二年一月一日生。長男義雄氏 昭和四年一月二十一日生。二男衡一氏 昭和五年九月四日生。

【主なる親戚】 生家藤澤善太郎氏 滋賀縣蒲生郡中野村字今崎六一無職。妻女實家北村千藏氏 滋賀縣犬上郡彦根町橋向

【か】

【住所】 同所

【本籍地】 滋賀縣犬上郡高宮町二百九十四番屋敷

【略歴】 氏は本籍地亡他郡四郎氏の長男として生れ明治三十一年七月家督を相続せり、十四歳の折上京し舊西山喜兵衛商店に入り恪勤する事多年明治四十五年圓滿退店と共に區内長谷川町二五番地に獨立し大正十二年六月現所を買収して進出したるものなり、氏は性極めて堅實にしてそれより割出されたる營業も亦小堅しと稱せらる。

【宗教】 眞宗

【家庭】 實母あさ女 萬延元年十二月廿八日生。妻英女 明治三十年七月十五日生。長女房女 大正元年十一月六日生。長男義一氏 大正八年一月五日生。二男眞二氏 大正十一年七月七日生。二女晴江女 大正十二年十一月六日生。三女照女 昭和二年七月十五日生。四女好女 昭和四年一月十九日生。

【主なる親戚】 實母實家辻善平氏 大阪市西區羅紗既製品卸商。實姉縁先高橋喬齊氏 東京市本郷區根津宮永町針醫師。亡先妻實家中島正吉氏 東京市日本橋區濱町紙器製造業。現妻女實家廣瀬寛三氏 滋賀縣坂田郡鳥居本村米穀商。

二〇番地表具商。

河野千代吉氏

明治八年十月二十二日生

【營業】 羅紗既製品卸商

【營業所】 東京市神田區柳町一番地 電話(浪花)二三五

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は埼玉縣北足立郡常光村河野平兵衛氏の四男として生れ夙に上京し市内神田區東龍岡町毛織物既製品卸商島村助七商店に入り修業後明治三十七年獨立せり爾來良く進出し地味なる經營に終始せるも震災に依る打撃甚大なるものあり且つ爾後の市況概して香しからざる中に在りて銳意復興に努力しつゝあるものにして氏は温健にして嘗つて京濱羅紗同盟會第四部長に選せられたる事あり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 眞宗

【所得税】 四八〇圓 【營業收益税】 一八二圓

【家庭】 長男周一氏 明治三十九年十一月二十七日生。二男通次氏 明治四十二年十一月十七日生。

【主なる親戚】 本家河野和吉氏 埼玉縣北足立郡常光村、農

業。亡妻實家河野茂三郎氏 埼玉縣北足立郡常光村、無職。

河西近泰氏

明治二十二年一月十二日生

【營業】 洋傘生地及羅紗卸商

【營業所】 東京市神田區富松町八番地 電話(浪花)三二七

【住 所】 同 所

【本籍地】 山梨縣中巨摩郡三惠村十日市場七百二十七番地ノ二

【略歴】 氏は本籍地河西一資氏の三男として生る、小學校卒業後一時生糸の買付等を始め生家において奮闘せしが十九歳の折渡米を志し兩親に懇願せしも許されず止む無く上京し叔父河西三九郎氏の世話にて羅紗商太田吉商店に入れり、爾來格勤多年大正四年間滿退店と共に藥研堀にブローカーとして獨立せり當時薄資なりしも良く奮闘を重ね大正九年の恐慌期續いて十二年の震災時の二大難關を切抜け漸次名を揚ぐるに成功し現時洋傘卸商として市内有数の業容を作するに至れり氏は意志強く商才に富み且全身之れ勤儉の感を起さしむる風格を備へ居るものにて其の主要買先たる岩井、土井の兩店を初め各方面より將來を待望せらつゝあり、現時東京洋傘開屋同業組合評議員たる外神田橋本小學校兒童獎勵會理事、富松

町々會幹事に選せられあり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 淨土宗 【所得税】 六〇圓

【營業收益税】 八一圓

【家庭】 妻とめ女 明治二十七年二月一日生。

【主なる親戚】 實兄河西新次郎氏 山梨縣中巨摩郡三惠村十日市場、無職。本家且實母實家河西豊太郎氏 東京市外大久保町東京電燈取締役外九會社重役代議士。叔父河西三九郎氏 東京市四谷區南町元住友銀行京都支店長。叔父河西寛一郎氏 大阪市天王寺區小宮町、京都工商株式會社常務取締役。妻女實家花輪友義氏 東京市神田區豊島町三六婦人子供服羅紗既製品卸商河西南商店子服部主任。

金子良吉氏

明治二年六月十二日生

【營業】 毛斯綸洋反物問屋株式會社杉村商店常務取締役

【營業所】 東京市日本橋區新木町一番地 電話(浪花)一三・一六・三〇〇

【住 所】 府下豊多摩郡代々木町代々木四四八番地 電話(四谷)三六六

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は群馬縣山田郡桐生新町亡金子松次郎氏の三男として生れ實兄千代吉氏死去に依り明治十六年家督を相続す、

夙に杉村商店に入り先代に仕へ爾來格勤する事約五十年に及び現時同店常務取締役として同店內外の要務に參與し杉村友次郎氏を補佐して益々斯業の恢弘に努め居れり、同店は東西織物界に於ける重鎮たるは古くより定評ありて氏の温容にして且つ老練なる風格手腕は業界に名あり、而して又各方面より絶大なる信頼を博しつゝあり現時東京モスリン紡織會社の監査役なり。

【趣味】 書畫、謡曲 【宗教】 天台宗

【所得税】 一二六圓

【家庭】 長男直澄氏 明治三十三年一月二日生。同妻榮女 明治三十七年八月二十三日生。孫精宏氏 昭和三年五月十九日生。孫佳子女 昭和四年八月十二日生。以上市内深川區門前仲町二五に於てモスリン小賣店を營む。三男振武氏 明治三十八年十月廿五日生早稻田大學理工學部在學中。五男陽之助氏 明治四十三年五月五日生目下長男直澄氏方にあり。二女富子女 明治四十四年十二月二十一日生第一高女卒。六男冬樹氏 大正二年十一月二十五日生。

【主なる親戚】 從弟黒川眞先氏 千葉縣市川町東京地方裁判所判事。長男妻女實家牧野芳三郎氏 東京市日本橋區元大阪町一一モスリン小賣商。分家次男清次氏 東京市外大崎町居

木橋一九七、逓信省官吏。

金盛佐平治氏

明治九年六月十九日生

【職業名】 子供服地及子供服加工卸小賣合名會社坂上商店代表社員
 【職業所】 東京市小石川區指ヶ谷町五十三番地 電話(小石川)三五〇〇
 【勤務先】 東京市小石川區指ヶ谷町四十五番地
 【住 所】 東京市小石川區指ヶ谷町四十五番地
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は小石川區指ヶ谷五十三番地亡金盛多兵衛氏の二男にして明治三十四年分家して一家を成す生家は四代前より味噌醬油製造業を営み來れるが氏は明治卅九年從來の質商を廢して吳服商を始め爾來醬油部と共に順調に發展し大正七年一族を以て合名會社坂上商店を設立せり。後大正十一年には洋品雜貨をも兼營し同十三年に至りて子供服部を設け以て今日に及ぶ。

【家庭】 妻きく女 明治十五年十一月十三日生。長男藏一氏 明治四十年四月二十八日生。四女たへ女 大正三年十一月十八日生。二男良治氏 大正八年三月六日生。

【主なる親戚】 妻女里方矢澤林七氏 同店婦人子供服部擔當者。長女佐久女夫井出孝吉氏 小石川區竹早町。三女ゆき女

夫篠崎覺太郎氏 小石川區竹早町。

金安榮之助氏

明治十七年二月十九日生

【職業名】 毛織物卸商合資會社金安商店代表社員
 【職業所】 東京市芝區露月町十三番地 電話(芝)一〇〇〇
 【勤務先】 東京市芝區露月町十三番地 電話(芝)一〇〇〇
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代建次郎氏の三男なり、新潟縣三島郡來迎寺村に生れ十八歳の時上京して神田區岩本町八毛織物卸商武神榮吉商店に入り格勤二十五年間主家の隆盛に貢獻し大正十二年圓滿退店し現所に於て獨立創業し越えて十三年合資會社を組織して代表社員となり爾來地味堅實なる方針を辿りたれば業容漸次伸展し名實共に具備せる店舗として知られ居れり、資性着實にして忍耐力強く平素身を持するに嚴たり。

【趣味】 讀書 【宗教】 淨土眞宗
 【所得稅】 一七五圓

【家庭】 妻津留女 明治二十二年二月七日生、京橋區南小田原町二丁目二五會社員北島盛治氏姉戸板高等女學校卒業。長女壽子女 明治四十三年八月五日生、日本橋區江戶橋一丁目

五砂糖商川村太兵衛氏と婚姻。二女チエ女 大正二年四月二十四日生。東京女學校在學中。三女道女 大正五年六月八日生。東京女學校在學中。四女タマ子女 大正八年七月十七日生。長男信太郎氏 大正十年一月二十八日生。五女カヨ子女 大正十一年七月十一日生。

【主なる親戚】 今居三吉氏 麻布區今井町辯護士。八町榮八氏 新潟縣古志郡上川西村農。

門田嘉右衛門氏

明治十六年七月二日生

【職業名】 關東織物卸
 【職業所】 東京市日本橋區通旅籠町五番地 電話(浪花)三〇三〇
 【勤務先】 東京市日本橋區通旅籠町五番地 電話(浪花)三〇三〇
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 滋賀縣神崎郡旭村大字山本七十二番地

【略歴】 氏は茨城縣結城町大字結城三百七十四番地戸主平民野村榮治氏の長男にして幼名を京藏と稱す年少にして日本橋區彌生町舊堀兵商店に奉公し居たるが人物を見込まれて明治四十一年十二月二十四日同區綿布問屋門田嘉右衛門氏の養嗣子となる明治四十四年七月六日先代を襲名し大正四年九月主家を退店して一時閉店したる家業を復興し如才なき遣り口は

取引者間に次第に信賴され現容をなすに至る至して初代は江州の出身なる關係上本籍は尙其郷里にあり。

【宗教】 淨土宗 【所得稅】 五〇圓

【家庭】 妻多津女 明治二十五年十月三十日生江州神崎郡旭村五百二十四番地布佐兵衛氏四女。養女のぶ女 明治四十四年一月十九日生神崎郡南五箇莊村大字石馬寺七百九十九番地山川久吉氏二女昭和三年七月二十一日入籍。

【主なる親戚】 坊野宗兵衛氏 (日本橋區橋町金巾卸商) 先代は先代嘉右衛門氏の實弟。甥野村榮二氏 茨城縣結城町。妻女里布施林藏氏 滋賀縣神崎郡旭村。

【主なる出身者】 山本元三郎氏 (長谷川町) 加工綿布卸商。星野情一郎氏 (元濱町) 織物卸。根本榮次郎氏 久松町金巾卸商。

門坂治三氏

明治二十一年二月二十日生

【職業名】 羅紗綿布及附屬品卸門坂商店主
 【職業所】 東京市芝區源助町二十五番地 電話(芝)三八〇〇
 【勤務先】 東京市芝區源助町二十五番地 電話(芝)三八〇〇
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は神奈川縣藤澤町門坂喜太郎氏の弟にして年少の

〔か〕

頃上京して東京市日本橋區江戸橋大瀧源藏商店に奉公し勤続約十年二十四才にして退店大正元年四月獨立したるものなるが爾來芝布忠商店の後援を受け急速に業容を擴張し來れるものなり。

【所得税】 一一〇圓

【家庭】 妻結美女 明治三十年一月十六日生。長男善一氏 大正六年十二月二十四日生。長女富久女 大正八年四月二十三日生。二女美津女 大正十年六月一日生。二男敏雄氏 大正十五年五月五日生。三男正夫氏 昭和三年七月二十四日生
【主なる親戚】 兄門坂喜太郎氏 神奈川縣高座郡藤澤町千八百八十三番地。妻兄島崎伊三郎氏 横濱市野毛町三丁目百三十番地。

桂田傳治郎氏

明治十一年二月二十四日生

【營業】 モスリン洋反物卸商

【營業所】 東京市日本橋區富澤町十七番地 電話(浪花 九三三・三三三〇)

【住 所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣神崎郡八幡村大字垣見殿屋敷五百九十八番地

【略歴】 氏は本籍地に於て亡桂田久右衛門氏の二男として生

れ、生家は現主を以つて十九代を傳ふる舊家たり、十三歳の時

上京し市内日本橋區彌生町織物卸商中川平七商店に入り創業當時より恪勤多年遂に支配人として主家に盡す處少なからざりしが約二十年前獨立して現業を開始せり爾來時機に應じ常に善處し其の手腕を遺憾なく認めらるゝと共に今日の商勢を博するに成功せるものにて氏は快活且つ世話好きにして東京織物問屋組合の役員たる外東京モス綸同盟會の幹事、久松小學校後援會役員等公共の職に推され常に業界のために盡瘁するところ少なからず。

【趣味】 讀書 【宗教】 門徒宗

【家庭】 妻正女 明治十九年五月二十四日生。四女滋子女 大正三年一月四日生日本女子商業學校卒。長男平八郎氏 大正四年十二月廿日生慶應商工部在學。二男傳二郎氏 大正七年一月三日生慶應商工部在學。五女久子女 大正八年十二月十一日生久松小學校在學。六女八重子女 大正十一年一月二十日生久松小學校在學。七女治子女 大正十三年八月九日生久松小學校在學。

【主なる親戚】 本家桂田秀夫氏 中川平七商店々員。妻女の實家黒谷義一氏 目下市外荻窪在。

桂田敏一氏

明治二十八年一月二十一日生

【營業】 近在織物卸桂田合名會社代表社員

【營業所】 東京市日本橋區高砂町一番地 電話(浪花 七〇)

【住 所】 同 所

【本籍地】 東京市日本橋區浪花町十一番地

【略歴】 氏は滋賀縣神崎郡八日市町亡桂田廣吉氏の長男なり同縣立神崎商業學校卒業後、東京市日本橋區長谷川町近在織物問屋山本清次郎商店に入店、勤続十餘年、日本橋區濱町に獨立後浪花町に轉ず大正十二年大震災に遭遇し逸早く埼玉縣大宮町に避難し萬難を排して再起し奮闘の結果相當業績を收め、同十四年現所に歸住す、依然近在織物の關西筋への賣込卸として努め夏期中形をも加ふ曩きに組織を合名會社に變更したるも營業は變らず。

【趣味】 旅行、圍碁、野球 【宗教】 金光教

【所得税】 二四圓 【營業收益税】 五〇圓

【家庭】 妻えい女 明治二十六年七月十日生東京市本所區北新町三十八草川龜吉氏長女。次男直一氏 大正十四年十月二十七日生。三男清次郎氏 昭和四年三月三十日生。叔母宇乃

女 明治元年六月二十二日生。姉つね女(未亡人)は其長女絹子女と共に郷里八日町に居住し祖先の墳墓を守りつゝあり。

【主なる親戚】 滋賀縣神崎郡八日市町山本源次郎氏(地主)。

東京市本所區若宮町一六九近藤幸一郎氏(鑄造業)。東京府下六郷町田邊仁三郎氏(滿鐵技師)。

桂松之助氏

明治二年十一月二日生

【營業】 半襟卸商

【營業所】 東京市日本橋區葺屋町一番地 電話(浪花 四九)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は京都市上京區亡中村金兵衛氏の二男に生れ實母の生家たる桂家を再興せる人なり十一歳にして京都市半襟問屋たる榎垣商店に入り恪勤十七年に及びしが二十八歳の折問屋退店の上東京市日本橋區高砂町に獨立せり爾後幾多の曲折を経て大正六年舊主死歿に依り其の東京店引揚ぐる事となりたるため氏は一切を引受け丸竹商店として經營今日に至れり得意はデパート専門にして殊に三越との關係深きものあり氏は思慮深く且つ對者に如才無ければ一般より好印象を以つて

【か】

迎へられ居り現在葦屋町常任評議員たり。

【趣味】 俳諧・碁・将棋、骨董 【宗教】 金光教

【所得税】 九四九圓 【營業收益税】 三九二圓

【家庭】 妻キン女 明治十二年二月五日生、京都市上京區亡北村山兵衛氏四女(實家現在廢家同様)。長男壽一氏 明治三十五年六月十六日生東京帝大哲學科卒業新潟高等學校教授。

二男雅二氏 明治卅八年三月三十一日生自店京都仕入店主任二女種子女 大正六年三月三十日生市立第一高女在學。

【主なる親戚】 實兄中村金之助氏 京都堺町御地下る無職。

實弟田中喜兵衛氏 京都市外嵐山無職。長女縁先田中島傳次郎氏 市内日本橋區葦屋町東京ドライヤス會社社員。

龜井喜一郎氏

安政五年五月九日生

【營業業】 吳服双子卸商龜井喜合名會社社員

【營業所】 東京市日本橋區富澤町三番地 電話(浪花)四〇〇

【住所】 同 所

【本籍地】 群馬縣桐生市横山町二百五十二番地

【略歴】 氏は桐生市の出身にして年少の頃より横濱市長者町信州屋吳服店に奉公し、斯業を見習ふこと多年、無事退店し

郷里なる書上商店より國産品の供給を受け京濱間に行商を営

みたるに業績見るべきものあり、漸次餘裕を生ぜしより明治

二十九年頃日本橋區橋町に店舗を構へ現業を開始す。以來長

谷川町及び田所町に轉じ更に明治四十二年現所に再轉せり、

氏は既に老境にあれば店務一切は子息榮一氏に擔當せしめ居

たれども昭和五年十一月資本金九千圓の合資會社を新設し上

掲榮一氏代表社員となれり。

【趣味】 義太夫 【宗教】 神道

【家庭】 妻ミツ氏 文久三年九月十九日生群馬縣新田郡寺井

村本幕多次郎氏二女。二男榮一氏 明治二十年一月七日生早

稻田實業學校卒業店務擔當。榮一氏妻ヒサ女 明治二十九年七月二十七日生關根敏雄氏妹埼玉女子師範卒業。孫本子女 大正四年二月五日生櫻蔭女學校在學中。

【主なる親戚】 淺草區二天門前鈴木熊太郎氏 吳服小賣商。埼玉縣松山町關根敏雄氏 福井農學校教員。神田區松枝町岸晉五郎氏 絹布卸商。神田區橋本町武藤光次氏 絹布卸商。

龜井眞一郎氏

明治四十年十一月十四日生

【營業業】 毛織物卸

【營業所】 東京市日本橋區小傳馬上町五番地 電話(浪花)四〇五

【住所】 同 所

【本籍地】 愛知縣丹羽郡扶桑村山那八百十一番地

【略歴】 氏は愛知縣人龜井金治郎氏の長男なり、數年前愛知縣立第一中學校を卒業し爾來令夫の經營せる名古屋市東區本櫻町三丁目龜井羅紗店にありて家業を修得、本年二月東京支店設置さるゝと同時に氏は同店擔當者となり現在店員三名と共に店内に起居す、性温厚にして熱心業務に従事しつゝあり

【趣味】 野球 【宗教】 禪宗

【家庭】 實父金治郎氏 明治十年六月二十八日生、本籍地戸

主龜井敬逸氏實弟、大正八年四月分家、現在名古屋本店を經營す。實母わい女 明治二十一年八月二十二日生、愛知縣栗栗栗栗村大字島村字更江七番地戸主小島五兵衛氏姉、明治

四十年三月二十一日龜井金治郎氏と婚姻す。實弟義次氏 明治四十四年三月十日生、第一高等學校文科三年在學。實妹ゆ

き子女 大正二年二月十八日生、名古屋市立第一高女卒業。

實弟文男氏 大正三年十二月十一日生、小學卒業後家業に従

【か】

事す。實弟外正氏 大正六年八月二十六日生、愛知縣立第一中學一年在學。

【主なる親戚】 叔母小島てつ女 愛知縣栗栗栗栗村大字島村字更江七番地。

加藤五兵衛氏

明治二十六年二月二十七日生

【營業業】 廣幅綿布切賣問

【營業所】 東京市神田區柳町三番地 電話(浪花)二・七〇六・七三七

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は東京府人亡加藤五兵衛氏の四男にして前名を武之助と稱す大正十一年先代死亡に因り家督を相続し同年六月五兵衛を襲名す、家業は先々代彌平氏の創業に係り先代五兵衛氏の代に至りては「土手の五兵衛」として一般に聞えたり目下埼玉縣蕨町には直營の製織工場を有し義弟加藤甲次郎氏と共に營業に精勵せり。

【所得税】 四三五圓 【營業收益税】 一三四圓

【家庭】 妻とく女 明治三十二年二月十二日生、長女文女 大正十一年三月一日生。

【主なる親戚】 加藤亮太郎氏 妻女實兄、市外大崎町大字白銀猿町。加藤甲次郎氏 義弟、神田區臺所町九番地。加藤末藏氏 義兄、日本橋區通鹽町ワイシャツ商。

加藤 清氏

明治二十年十二月十五日生

【營業】 羅紗生地及既製品卸

【營業所】 東京市京橋區寶町二丁目一番地

【住 所】 東京市本郷區駒込曙町二十一番地 電話(京橋三三三・四五六)

【本籍地】 愛知縣幡豆郡一色町大字對米字七蒲池四十九番地

【略歴】 氏は愛知縣人亡加藤國松氏長男にして大正六年四月十日家督を相続す。郷里中學を卒業後醫學を志し上京せるが家事の事情に依り中途廢學し、二十四歳の時麹町區十丁目羅紗商佐藤太三郎商店に入店、後年支配人に昇進前後十四年間勤続して功績あり、大正十二年六月主家諒解の下に無事退店し翌十三年現所に斯業を創始す。溫厚にして實着熱心なる人物なり。

【趣味】 旅行 【宗教】 眞宗 【所得税】 六四圓

【家庭】 妻かね女 明治三十一年七月十七日生、東京府人鈴木源之助氏二女。大正九年十月十二日婚姻入籍。長男源太郎

氏 大正十年二月二十五日生。
【主なる親戚】 義父鈴木源之助氏 東京市麴町區下六番町一七、妻かね女實父。

加藤 孝輔氏

明治十四年一月十五日生

【營業】 毛斯綸洋反物卸商

【營業所】 東京市日本橋區元濱町十二番地 電話(浪花三三〇)

【住 所】 同 所

【本籍地】 埼玉縣北葛飾郡田宮村字佐左衛門八百三十一番地

【略歴】 氏は本籍地故加藤又市氏の二男として生れ年少より同縣岩槻町太物荒物卸長野庄三郎商店に奉公せしが二十二歳の時志を立て、上京し日本橋區青物町海産物問屋西川喜八商店に入り忠勤數年に及び店主の信任厚かりしも退店して日本橋區富澤町齋藤太市商店の懇請により帳場を手傳ひ其の間業務を習得して明治四十四年久松町西縁河岸に開業後久松町一に轉じ漸次産を成すと共に大正十年九月現所を買得して進出し震災をも無難に切抜け着々伸展して今日に至る現時店員十三名を使用し熱心従事しつゝあり。

【宗教】 眞言宗 【所得税】 一五圓

【營業收益税】 二二圓 【地租】 七九圓

【家庭】 妻イト女 明治二十一年十二月二十日生。長女きみ子女 大正二年十一月十五日生、東洋家政女學校卒。三女芳子女 大正五年九月一日生日本橋高女在學。四女光江女 大正十一年十二月十一日生。

【主なる親戚】 義兄加藤利兵衛氏 本籍地農。兄加藤又五郎氏 埼玉縣南埼玉郡岩槻町荒物商。妻兄福田儀三郎氏 埼玉縣北埼玉郡三俣村北篠崎二農。

加藤 乙松氏

明治三十二年三月一日生

【營業】 風呂敷卸商

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町二十三番地 電話(浪花四五六)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は福井縣丹生郡殿下村風尾第四號三十九松尾多作氏の七男として生れ大正五年舞鶴海兵團に入り歐州大戰に際して功により勳八等を賜る大正七年病氣のため兵役免除となり同九年上京し加藤長三郎商店に入り恪勤數年に及びり然るに大正十二年主人死去に次ぎ震災に襲はれ加藤家再起不能を

傳へらるゝ時に至り忠誠義侠の氏は自ら求めて主家に入籍し一家の盛衰を双肩に擔ひて奮闘努力良久今日の再興を確立せるものなり氏は謹嚴なる素質を有し嘗つて入營中貯蓄して百數十圓を郷里に送金せる等の逸話ありて一般の氣受け良好なり。

【宗教】 門徒宗 【所得税】 一〇四圓

【營業收益税】 九一圓

【家庭】 養母セキ女 明治二十五年八月十二日生。妻はな女 明治三十一年十二月四日生埼玉縣鳩谷町亡豊田德藏氏六女長男禎一氏 昭和二年一月十八日生。二男佳男氏 昭和四年十二月十二日生。妹幸子女 大正十年二月十五日生。

【主なる親戚】 養母實家梅原悦太郎氏 東京市外幡ヶ谷電氣ラヂオ商。生家加藤多作氏 福井縣丹生郡殿下村農業。妻實家豊田德藏氏 埼玉縣鳩ヶ谷町荒物雜貨卸。

【主なる出身者】 村松一夫氏 東京市日本橋區長谷川町風呂敷卸商。

加藤正之祐氏

明治二十八年十二月十四日生

【營業又】 織物現金問屋加藤正商店擔當者

【は職名】 東京市日本橋區橋町一丁目六番地 電話(浪花三三三)

【營業所又】 東京市小石川區西江戸町十二番地電話(小石川三三三)

【住所】 東京市上京區一條通千本西入島丸町三百六十三番地

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は京都府乙訓郡新神足村中小路庄九郎氏の長男にして大正二年二月京都市一條通千本西入る京吳服帶地及各種織物卸商加藤正次郎氏長女エン女に入夫婚姻をなし同時に家督相續して現在に及ぶ、夙に加藤正次郎商店に入りて營業を見習ひつゝありしが大正十二年關東大震災直後の十一月同店東京店の新設さるゝや其の主任として上京し爾來現金問屋として苦心經營中なり。

【家庭】 妻エン女 明治二十六年七月二十一日生。長男正義氏 大正二年二月十六日生。二男正信氏 大正五年五月二十五日生。三男三郎氏 大正九年十一月十三日生。四男茂氏 大正十四年五月十八日生。

【主なる親戚】 加藤正次郎氏 妻女生家京都市一條通千本西入。

加藤甲次郎氏

明治二十七年五月十二日生

【營業又】 廣幅綿布卸加藤五兵衛商店擔當

【は職名】 東京市神田區柳町三番地 電話(浪花三三三・Pock・Pillip)

【營業所】 東京市神田區臺所町九番地

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は牛込區市ヶ谷富久町六十番地佐竹寅次郎氏の息にして大正九年七月加藤五兵衛商店先代五兵衛氏の二女富士女と婚養子縁組入籍し大正十三年二月分家して一家を成す日下加藤五兵衛商店に義兄五兵衛氏を扶けつゝあり。

【家庭】 妻富士女 明治三十五年一月二日生。

【主なる親戚】 加藤五兵衛氏 義兄、神田區柳町三番地廣幅綿布商。加藤末藏氏 義兄、日本橋區通鹽町ワイシヤツ商。

加藤章三氏

明治二十六年九月十四日生

【營業】 吳服太物洋反物小賣商

【營業所】 東京市深川區猿江裏町百十一番地

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は府下北多摩郡立川町加藤與平氏四男に生る多年日本橋區人形町通り立花屋吳服店に奉公し其後大正十一年に至り現所を買収して獨立せり、されど幾何もなく震災に遭遇し深甚なる打撃を被りしかば鋭意復興に努力し區劃整理には現店舗をも改築し今日に至れるものなり。人物手腕あり又遣り口若干派手なるやに評され居れどよく顧客を吸収しつゝあり。

【家庭】 妻かね女 明治三十五年八月二十八日生。養子淑光氏 大正十四年四月十八日生。

【主なる親戚】 市内本郷區弓町二丁目九佐々木秋次郎氏 妻女實父。深川區猿江裏町百十一佐々木守氏 養子淑光氏の伯父。

加島光三氏

明治四十年六月七日生

【營業】 甲斐絹袖裏傘地朱子卸

【營業所】 東京市神田區松枝町十五番地 電話(浪花三三三)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 同店は先代の開業に係る先代は東京府下北多摩郡大

神村石川平吉氏の次男として生る年少の頃より日本橋區大傳馬町向山商店(現在なし)に勤務し精勵の聞えあり嚆望せられ明治三十八年十二月廿八日深川區木場材木商加島徳右衛門氏長女とよ女の婚養子となり退店して現所に本業を開始し熱心努力怠らず業容を盛大ならしめ大正十二年の震災には家屋商品の焼失並に賣掛の固定等合して約二十八萬圓餘の損失を蒙りしも買掛金六萬五千圓に對しては定期預金を引き出し殆んど値引を強要する等の事なく奇麗に決濟を了せりされば仕入先に對する印象は一層良好となり災後の復興著敷店主は益々業務に勉勵しありしが昭和四年一月廿七日病歿するに至れり當主は其長男幼名を光一郎氏と稱し夙に早稻田實業學校を卒業先代歿後襲名し父業を繼承經營を全からしめつゝあり。

【趣味】 登山、旅行 【宗教】 門徒宗

【所得税】 二九五圓 【營業收益税】 一五七圓

【家庭】 祖母のぶ女 文久二年六月十日生。政島留藏二女。母とよ女 加藤徳右衛門長女。明治十八年十月二十日生。義兄豊藏氏 明治卅一年七月十三日生。横濱市南太田町字清水耕地六九〇井口與三郎氏弟。姉歌子女夫。姉歌子女 明治三十九年七月八日生。義兄豊藏氏妻女。

【主なる親戚】 林紋藏氏(市外世田ヶ谷町) 伯父。加島平吉